

平成30年度  
事業報告書

社会福祉法人 恵泉会

- 目 次 -

① 恵泉会法人本部	1	～	8	ページ
② 障害者支援施設若草園	9	～	14	ページ
③ 障害者支援施設若生園	15	～	19	ページ
④ 生活介護事業所パルめぐみ	20	～	25	ページ
⑤ 恵泉会グループホーム	26	～	32	ページ
⑥ 恵泉会地域生活支援センター	33	～	36	ページ
⑦ 多機能型事業所若葉園	37	～	42	ページ
⑧ 就労継続支援B型さくらワークス	43	～	46	ページ
⑨ 登米市児童発達支援センターこじか園	47	～	54	ページ
⑩ 南方保育所	55	～	58	ページ
⑪ 事業所内保育所キッズつぼみ	59	～	62	ページ
⑫ 特別養護老人ホーム光風園	63	～	67	ページ
⑬ 特別養護老人ホーム松風園	68	～	73	ページ
⑭ 豊里デイサービスセンター百楽荘	74	～	78	ページ
⑮ 特別養護老人ホーム萩風園	79	～	83	ページ
⑯ 中田デイサービスセンター菊風荘	84	～	87	ページ
⑰ 特別養護老人ホーム迫風園	88	～	93	ページ
⑱ 迫デイサービスセンター翠風荘	94	～	99	ページ
⑲ 特別養護老人ホーム南風園	100	～	105	ページ
⑳ 南方デイサービスセンター南寿荘	106	～	109	ページ
㉑ 地域密着型特別養護老人ホーム東和	110	～	115	ページ
㉒ 東和高齢者福祉施設デイサービス	116	～	120	ページ
㉓ 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス	121	～	123	ページ
㉔ 地域密着型特別養護老人ホームゆりの郷	124	～	128	ページ
㉕ 地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷	129	～	133	ページ
㉖ 恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘	134	～	138	ページ
㉗ 地域密着型通所介護恵泉会デイサービスセンターほんわか	139	～	143	ページ
㉘ 恵泉会ヘルパーステーション	144	～	146	ページ
㉙ 恵泉会介護支援センターいきいき	147	～	151	ページ
㉚ 恵泉会介護支援センターらくらく	152	～	155	ページ
㉛ 恵泉会東和介護支援センター	156	～	159	ページ
㉜ 恵泉会とよま介護支援センター	160	～	164	ページ
㉝ 登米市迫地域包括支援センター	165	～	169	ページ
㉞ 恵泉会サービス付き高齢者向け住宅恵はあと	170	～	172	ページ
【施設整備関係】				
㉟ 恵泉会グループホームスプリングラー設備等整備事業報告	172の1			ページ
㊱ 特別養護老人ホーム迫風園ロボット等介護機器導入支援事業報告	172の2			ページ
【事故報告関係】				
㊲ 平成30年度 ヒヤリハット・軽微・事故・苦情処理報告	173			ページ

# 平成30年度 恵泉会法人本部 事業報告

## 【 概 況 】

### 1. 基本理念の実現に向けた取り組み

社会福祉諸制度をめぐる大きな変革の中、当法人の役職員が、社会福祉法人の使命や自ら果たすべき役割を再確認し、法人の基本理念を指標にして利用者・地域社会に施設・事業所の姿勢を表明することに努めた。

### 2. 利用者のサービス向上に向けた取り組み

社会福祉法人の使命である安定性、継続性を図るうえで、これまでの実績を踏まえた現状、さらには将来的なニーズに向けてサービスの質の向上を図った。

また、福祉サービスを提供するにあたっては、「利用者に選ばれるサービスとは何か」「望まれるサービスの質とは何か」「利用者本位のサービスとは何か」を常に念頭に置き、利用者のサービス向上に向けた各種の取り組みを行った。

- 1) 各施設・事業所において、サービス自己評価及び恵泉会第三者委員による評価を実施し、抽出された要改善事項について十分検討し、改善に努めた。
- 2) 各施設・事業所の苦情解決責任者及び恵泉会第三者委員出席のもと、苦情処理・サービス向上委員会を開催し、平成29年度に発生した苦情・介護事故等の分析・検討を行い、提供するサービスの質の向上を図った。
- 3) 情報開示、広報活動の取り組みとして、恵泉会会報誌(1回)を発行した。また、法人の公益性と経営の透明性を高めるため、情報公開の手段としてワムネット(財務諸表等電子開示システム)とホームページを活用し、恵泉会基本理念や計算書類、事業報告書、監事監査報告書等を公表した。
- 4) サービスの質の向上のために、恵泉会職員研修大会をはじめ、職員の意識改革に取り組む研修や会議等を行った。

### 3. 経営管理における取り組み

経営管理においては、各種事業でのプラスの収支差額を目標とし、経常活動による事業で獲得した収支差額の範囲内で、施設整備等による計画、財務活動による計画を樹立することに努めた。

- 1) 平成30年度に計画された施設整備、設備整備、高額物品の取得等については、複数者による入札や見積合わせを実施し、執行額の削減に努めた。また、東和高齢者福祉施設給湯設備改修工事費、萩風園脱衣室・特別浴室改修工事費の財源については、施設整備等積立資産を取り崩して充当した。
- 2) 日常要する経費については、漫然と延長的に捉えるのではなく、無駄を排除し、共同購入を推進するなど、効率性の追求に努めた。

### 4. 職員の経営参加に対する取り組み

職員の経営参加を積極的に推進し、各種計画の立案に際して広く職員から提案を求め、集約する体制作りにも努めた。また、法人内各事業間の連携を意識して広い見地から計画を練るため、統括施設長・施設長・管理者が参加する経営者会議を延べ4回開催した。

### 5. 職員の資質・専門性の向上に向けた取り組み

職員が意欲と自信をもって働き、専門職員としての資質向上を目指す「人づくり」と「学び」の重要性を意識し、人事考課制度とのつながりを持たせながら、計画的・総合的な人材育成としての職員研修制度を強化し、各種研修を実施した。

特に、経営・管理職には、様々な課題解決のための能力や人材マネジメント力、経営者として必要な財務管理能力が求められることから、法人のゴーイングコンサーン(法人が将来に渡って事業を継続していくという前提)に必要な「知識と実行力」のある経営者・次世代リーダーの育成を目的として、専門家にコンサルティング協力を依頼し、「管理職育成研修」及び「中核職員研修」を通年で実施した。

6. 地域貢献事業の取り組み

社会福祉法の改正により、高い公益性を有する社会福祉法人に求められる役割として「地域における公益的な取組」を実施し、地域社会に貢献する責務が課された。

恵泉会では、法人が持つ人的資源や物的資源、これまで培ってきた知識や技術などを活用し、多様化・複雑化する福祉ニーズを充足させる地域貢献事業に積極的に取り組んだ。

- 1) 講師等派遣事業の実施
- 2) 社会福祉法人による利用者負担軽減対策事業の実施
- 3) オレンジカフェ(認知症カフェ)の実施

7. 恵泉会介護職員初任者研修の実施

恵泉会では、働きながら介護の基礎を学び、仕事の原理・原則、基本を身につけ、研修終了後も資格(介護福祉士)取得や専門性の更なる向上に自ら取り組める土台形成を目的として、恵泉会介護職員初任者研修を開講し、平成30年度は7名が研修を修了した。

【行事・研修・会議・委員会等】

1. 行事

(1) 会務

年月日	内 容
H30.04.02	辞令交付式
H30.04.27	辞令交付式
H30.05.01	辞令交付式
H30.05.22	社会保険の適用拡大に関する説明会(対象職員2名)
H30.06.03	恵泉会介護職員初任者研修開講式(迫風園)受講者7名
H30.06.25	登米地域パートナーシップ会議(登米総合産業高校)
H30.06.26	グループホーム消防設備設置工事完成検査(わたの実ホーム)
H30.06.27	登米総合産業高校企業訪問 1名
H30.07.20	登米市税務課による家屋調査(かごだんホームⅡ)
H30.07.26	宮城県による平成29年度社会福祉施設等施設整備事業現地確認(わたの実ホーム)
H30.07.27	登米市就職ガイダンス(登米総合体育館)
H30.08.09	若生園居住棟新築事業説明会(登米市米川公民館)
H30.08.10	若生園居住棟新築事業 近隣住民及び代表者等に対する説明会(若草園)参加者10名
H30.08.24	若生園居住棟新築工事起工式(若生園居住棟建設地)
H30.08.30	定年退職者再雇用説明会(平成30年度定年退職者5名対象)
H30.09.03	辞令交付式
H30.09.20	古川年金事務所による社会保険総合調査 調査員4名
H30.09.29	恵泉会介護職員初任者研修修了式(迫風園)修了者7名
H30.10.02	特定求職者雇用開発助成金の適正な制度活用に関する調査 調査員2名
H30.10.08	第29回恵泉会福祉旗登米市招待少年野球大会(光ヶ丘球場・大東球場)12チーム参加
H30.10.29	登米地域パートナーシップ会議(登米総合産業高校)
H30.11.21	東和高齢者福祉施設給湯設備改修工事完成検査(東和高齢者福祉施設)
H30.12.03	萩風園脱衣室・特別浴室改修工事完成検査(萩風園)
H30.12.28	仕事納め
	辞令交付式
H31.01.04	仕事始め
H31.01.31	辞令交付式
H31.02.28	辞令交付式
H31.03.25	登米市障害者相談支援事業委託業務見積合わせ(登米市南方庁舎) 登米市委託事業(支援ハウス・生きがいデイサービス)見積合わせ(登米市南方庁舎) 登米市迫地域包括支援センター運営事業委託業務見積合わせ(登米市南方庁舎)
H31.03.29	辞令交付式

## (2)採用・登用関係

年月日	内 容
H30.04.27	職員採用試験(随時試験-看護職員)〈人物審査〉受験者1名
H30.06.19	職員採用試験(随時試験-介護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
H30.07.18	職員採用試験(随時試験-保育士)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
H30.08.21	職員採用試験(随時試験-介護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名 職員採用試験(随時試験-看護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
H30.09.03	平成31年4月1日付け職員採用一次試験(看護職員・介護職員・保育士)〈書類審査〉受験者5名
H30.09.06	平成31年4月1日付け職員採用一次試験(介護職員)〈書類審査〉受験者1名
H30.09.10	平成31年4月1日付け職員採用二次試験(看護職員・介護職員・保育士)〈筆記試験・人物審査〉受験者6名
H30.09.10	平成31年4月1日付け職員採用二次試験(看護職員・介護職員・保育士)合否判定会議
H30.09.21	平成31年4月1日付け職員採用試験(高校新卒の部-介護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者7名 平成31年4月1日付け職員採用試験(高校新卒の部-介護職員)合否判定会議
H30.10.26	職員採用試験(随時試験-一般・大卒等)〈人物審査〉受験者1名
H30.10.29	職員採用試験(随時試験-看護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
H30.11.02	職員採用試験(随時試験-看護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
H30.11.07	職員採用試験(随時試験-一般・大卒等)〈筆記試験〉受験者1名
H31.01.07	職員採用試験(随時試験-保育士)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
H31.01.16	准職員登用一次試験〈書類選考〉受験者11名 正職員登用一次試験〈書類選考〉受験者28名
H31.01.22	平成31年4月1日付け臨時職員採用試験(看護職員)〈人物審査〉受験者1名
H31.01.25	准職員登用二次試験〈人物審査〉受験者11名 准職員登用試験合否判定会議
H31.01.28	正職員登用試験〈人物審査〉受験者16名 正職員登用試験合否判定会議
H31.01.29	平成31年4月1日付け臨時職員採用試験(看護職員)〈筆記試験〉受験者1名
H31.02.04	平成31年4月1日付け採用職員入職説明会(在宅サービス支援棟)新規採用職員9名参加
H31.02.12	平成31年4月1日付け職員採用試験(介護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
H31.03.11	平成31年4月1日付け採用職員入職説明会(在宅サービス支援棟)新規採用職員7名参加 平成31年4月1日付け職員採用試験(看護職員)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名
H31.03.27	平成31年4月1日付け職員採用試験(看護職員)〈人物審査〉受験者1名
H31.03.28	平成31年4月1日付け職員採用試験(保育士)〈筆記試験・人物審査〉受験者1名

## 2. 職員研修実施状況

## (1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.04.23	人事考課者研修	理事長・常務理事 参事	対象職員10名
H30.06.08	新任職員研修	理事長・常務理事 参事・迫風園施設長	対象職員11名
H30.06.15	新任職員研修	理事長・常務理事 参事・迫風園施設長	対象職員12名
H30.09.28	第39回恵泉会職員研修大会 ○講演「新時代を勝ち抜くための仕事戦術」 ～登米市の未来と恵泉会、そしてラグビー～	ウエルフェア・J・ユナイテッド 代表取締役社長	恵泉会役職員等 160名
H31.01.16	フォローアップ研修	理事長 迫風園施設長	対象職員23名
随時	管理職育成研修 全11回	ウエルフェア・J・ユナイテッド 専務取締役 社会保険労務士	対象職員29名
	中核職員研修 全3回		対象職員19名
随時	ケアマネージャー試験対策講習会 全13回	国家資格取得対策委員ほか	職員延べ43名
随時	介護福祉士筆記試験対策講習会 全16回	国家資格取得対策委員ほか	職員延べ62名
随時	介護職員初任者研修 全28回	恵泉会職員	受講・修了者7名

## (2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
H30.05.29	安全運転管理者法定講習	宮城県公安委員会	登米市	参事
H30.05.31	宮城県社会福祉法人経営者協議会 理事会	宮城県社会福祉法 人経営者協議会	仙台市	常務理事
H30.06.29	宮城県社会福祉法人経営者協議会 定期総会・研修会	宮城県社会福祉法 人経営者協議会	仙台市	常務理事 参事
H30.07.17	宮城県社会福祉施設事務担当職員研修	宮城県・宮城県社会 福祉協議会	仙台市	事務員
H30.09.27	宮城県社会福祉法人経営者協議会 理事会	宮城県社会福祉法 人経営者協議会	仙台市	常務理事
H30.10.26	第1回次世代介護経営塾	宮城県	仙台市	総括主任
H30.11.14	第2回次世代介護経営塾	宮城県	仙台市	総括主任
H30.11.15	年末調整説明会	佐沼税務署	登米市	副主任
H30.11.26	第3回次世代介護経営塾	宮城県	仙台市	総括主任
H30.12.21	第4回次世代介護経営塾	宮城県	仙台市	総括主任
H31.01.11	第5回次世代介護経営塾	宮城県	仙台市	総括主任
H31.02.05	社会福祉法人の運営等研修会	宮城県	仙台市	副主任2名
H31.02.07	宮城県介護経営塾視察研修	宮城県	東京都	総括主任
H31.02.13	障害者雇用納付金制度事務説明会	高齢・障害・求職 者雇用支援機構	栗原市	総括主任
H31.02.22	第6回次世代介護経営塾	宮城県	仙台市	総括主任
H31.03.12	宮城県社会福祉法人経営者協議会 理事会	宮城県社会福祉法 人経営者協議会	仙台市	常務理事

## 3. 会議開催状況

## (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 数	参 加 者
経営者会議	施設・事業所経営に関する検討、その他	4回	理事長・常務理事 参事・統括施設長 施設長・管理者・法人本部

## (2) 理事会

開 催 日	内 容
H30.04.05	第1回 (出席者:理事8名/8名 監事3名/3名) 平成30年度 恵泉会収支補正予算(第1号)について審議 社会福祉法人恵泉会はせやま相談支援事業所運営規程について審議
H30.06.13	第2回 (出席者:理事8名/8名 監事3名/3名) 平成29年度 恵泉会事業報告及び収支決算の承認について審議 監査報告 定時評議員会の日時及び場所並びに議題・議案の決定について審議 社会福祉法人恵泉会定款の一部変更について審議 社会福祉法人恵泉会役員等の報酬及び旅費に関する規則の一部改正について審議 平成30年度 恵泉会収支補正予算(第2号)について審議 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について 寄付金の報告について
H30.07.09	第3回 (出席者:理事8名/8名 監事3名/3名) 若生園居住棟新築整備事業計画について審議

	平成30年度 恵泉会収支補正予算(第3号)について審議 若生園居住棟新築整備にかかる条件付一般競争入札の公告について審議 社会福祉法人恵泉会職員給与支給規則の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会准職員給与支給規程の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会経理規程の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告) 業績手当の支給について審議
H30.10.30	第4回 (出席者:理事8名/8名 監事3名/3名) 若葉園事業計画の追加について審議 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について 入札実施に伴う契約の報告について 社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告) 寄付金の報告について
H30.11.28	第5回 (出席者:理事8名/8名 監事3名/3名) 平成30年度 恵泉会収支補正予算(第4号)について審議 中間監査の報告について
H30.12.12	第6回 (出席者:理事8名/8名 監事3名/3名) 社会福祉法人恵泉会職員就業規則の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会職員給与支給規則の一部改正について審議 平成30年度 恵泉会収支補正予算(第5号)について審議 登米市有財産(土地)の譲渡契約について審議 業績手当の支給について審議
H31.01.21	第7回 (出席者:理事6名/8名 監事3名/3名) 恵泉会サーバーシステムの入替及び再構築について審議 恵泉会各施設・事業所給食業務委託の更新について審議 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について 社会福祉法人恵泉会各施設・事業所運営規程の一部改正について(報告)
H31.03.07	第8回 (出席者:理事8名/8名 監事3名/3名) '19年度 恵泉会各種事業計画及び収支予算について審議
H31.03.25	第9回 (出席者:理事8名/8名 監事2名/3名) 社会福祉法人恵泉会職員就業規則の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会職員育児休業等に関する規程の一部改正について審議 社会福祉法人恵泉会相談支援事業所くろーば一運営規程の廃止について審議 平成30年度 恵泉会収支補正予算(第6号)について審議 第三者委員の選任について審議

(3) 評議員会

開催日	内 容
H30.06.28	定時評議員会 (出席者:評議員9名/9名 理事8名/8名 監事3名/3名) 決議事項 社会福祉法人恵泉会定款の一部変更について審議 社会福祉法人恵泉会役員等の報酬及び旅費に関する規則の一部改正について審議 報告事項 平成29年度決算について ・恵泉会事業報告(運営状況及び内部管理体制)について ・恵泉会会計(計算関係書類及び財産目録)について ・会計監査人の監査報告について ・監事監査報告について その他の報告事項 ・県指導監査の指摘事項及び改善状況について ・若草園利用者虐待事案の改善について ・会計監査人の名称等の変更について

## (4) 監査会

実施日	実施施設・事業所	監査員等
【平成29年度決算監査】		
H30.05.16	恵泉会介護支援センターいきいき 恵泉会介護支援センターらくらく 恵泉会東和介護支援センター 恵泉会とよま介護支援センター 登米市迫地域包括支援センター ほんわか 恵泉会ヘルパーステーション パルめぐみ	恵泉会監事
H30.05.17	萩風園・菊風荘 恵泉会グループホーム	〃
H30.05.21	迫風園・翠風荘 南方保育所	〃
H30.05.23	東和 東和高齢者福祉施設通所介護 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス 遠山荘 恵はあと キッズつぼみ	〃
H30.05.24	南風園・南寿荘	〃
H30.05.25	松風園・百楽荘	〃
H30.05.28	若草園・若生園・さくらワークス・若葉園	〃
H30.05.30	ほたるの郷 こじか園 恵泉会地域生活支援センター	〃
H30.05.31	光風園・ゆりの郷	〃
H30.06.01	法人本部・取りまとめ	〃

実施日	実施施設	監査員等
【平成30年度中間監査】		
H30.11.01	東和 東和高齢者福祉施設通所介護 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス 遠山荘 恵はあと キッズつぼみ	恵泉会監事
H30.11.02	こじか園 ほたるの郷	〃
H30.11.05	若草園・若生園・さくらワークス・若葉園	〃
H30.11.06	恵泉会介護支援センターいきいき 恵泉会介護支援センターらくらく 恵泉会東和介護支援センター 恵泉会とよま介護支援センター 登米市迫地域包括支援センター ほんわか 恵泉会ヘルパーステーション	〃
H30.11.07	萩風園・菊風荘 恵泉会グループホーム	〃
H30.11.09	恵泉会地域生活支援センター パルめぐみ 南方保育所	〃
H30.11.14	光風園・ゆりの郷	〃
H30.11.15	松風園・百楽荘	〃
H30.11.16	迫風園・翠風荘	〃
H30.11.19	南風園・南寿荘	〃
H30.11.22	法人本部・取りまとめ	〃

## (5) 会計監査人監査

開催日	内 容	実施拠点区分	会 計 監 査 人
H30.05.10	WJU監査法人による監査 平成29年度会計監査人監査(第4回)	法人本部	WJU監査法人 公認会計士
H30.05.11			
H30.06.12	平成29年度恵泉会決算に関する会計監査 人の監査報告会(法人監事3名出席)	法人本部	〃
H30.08.02	あすの監査法人による監査 平成30年度会計監査人監査(第1回)	法人本部	あすの監査法人 公認会計士
H30.11.07	あすの監査法人による監査 平成30年度会計監査人監査(第2回)	法人本部	〃
H30.11.08		法人本部 南方保育所	〃
H31.01.23	あすの監査法人による監査 平成30年度会計監査人監査(第3回)	法人本部	〃
H31.01.24		若草園 パルめぐみ	〃
H31.01.25		南風園	〃

## (6) 入札会

開催日	件名	立会人(役職名等)
H30.04.06	グループホーム消防設備設置工事 (条件付き一般競争入札)	(理事) (監事) (登米市職員)
H30.07.30	若生園居住棟新築工事 (条件付き一般競争入札)	(理事) (監事) (登米市職員) (設計業者)

## (7) 各種工事等打合せ

開催日	内 容	場 所	出 席 者
<b>【グループホーム消防設備設置工事】</b>			
H30.04.25	第1回工事打合せ	在宅サービス支援棟	常務理事 参事・副主任
H30.06.14	第2回工事打合せ		
<b>【東和高齢者福祉施設給湯設備改修工事】</b>			
H30.09.25	第1回工事打合せ	東和高齢者福祉施設	常務理事 参事・副主任
H30.10.09	第2回工事打合せ		
<b>【若生園居住棟新築工事】</b>			
H30.09.05	第1回工事打合せ	若生園居住棟建設地 現場事務所	常務理事 参事 総括主任 副主任
H30.09.25	第2回工事打合せ		
H30.10.09	第3回工事打合せ		
H30.10.24	第4回工事打合せ		
H30.11.07	第5回工事打合せ		
H30.11.21	第6回工事打合せ		
H30.12.05	第7回工事打合せ		
H30.12.19	第8回工事打合せ		
H31.01.09	第9回工事打合せ		
H31.01.23	第10回工事打合せ		
H31.02.06	第11回工事打合せ		
H31.02.20	第12回工事打合せ		
H31.03.05	第13回工事打合せ		
H31.03.20	第14回工事打合せ		
H31.04.03	第15回工事打合せ		

【萩風園脱衣室・特別浴室改修工事】			
H30.10.12	第1回工事打合せ	在宅サービス支援棟	常務理事 参事・副主任

(8) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出 席 者
H30.12.25	防火管理者会議	在宅サービス支援棟	常務理事 参事・副主任
随時	障害事業施設長等会議(全10回)	在宅サービス支援棟	参事 他、障害サービス 事業施設長
随時	恵はあと入居審査会(全10回)	在宅サービス支援棟	理事長 常務理事・参事 審査員

4. 委員会開催状況

開催日	内 容	場 所	出 席 者
H30.04.27	第1回職場研修委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 参事・グループホーム施設長 法人本部1名
H30.05.30	国家資格取得対策委員会	在宅サービス支援棟	常務理事 松風園施設長・迫風園施設長 グループホーム施設長・委員3名
H30.06.04	第1回地震防災対策委員会	在宅サービス支援棟	常務理事・参事 委員18名・法人本部2名
H30.06.19	第1回賞罰委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 委員5名・法人本部3名
H30.08.01	第1回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	グループホーム施設長 委員15名
H30.08.24	第2回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	グループホーム施設長 委員14名・法人本部1名
H30.09.11	苦情処理・サービス向上委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 第三者委員3名 委員18名・法人本部3名
H30.09.14	第3回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	グループホーム施設長 委員13名・法人本部1名
H30.09.21	第4回恵泉会職員研修大会実行委員会	在宅サービス支援棟	グループホーム施設長 委員15名
H31.02.28	第2回賞罰委員会	在宅サービス支援棟	理事長・常務理事 委員5名・法人本部3名

5. 各種サービス評価実施状況

実施日	実 施 施 設	評 価 員 等
【平成30年度施設サービス評価】		
H30.11.28	松風園・百楽荘	恵泉会第三者委員
H30.12.07	光風園・ゆりの郷・遠山荘・キッズつぼみ	〃
H30.12.10	若草園・若葉園・若生園・さくらワークス	〃
H30.12.11	萩風園・菊風荘・恵泉会グループホーム	〃
H30.12.14	東和高齢者福祉施設・ほんわか	〃
H30.12.17	ほたるの郷・こじか園	〃
H30.12.18	南風園・南寿荘・南方保育所	〃
H30.12.19	迫風園・翠風荘・パルめぐみ・取りまとめ	〃

# 平成30年度 障害者支援施設若草園 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所在地 宮城県登米市東和町米川字町裏120番地1
- 2) 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
- 3) 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
- 4) 開設年月日 平成23年 4月 1日
- 5) 事業・利用定員

事業	利用定員
生活介護・施設入所支援	60名
短期入所	4名
計	64名

## 【 基 本 方 針 】

恵泉会の基本理念並びに、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、「施設入所」と「生活介護」の事業を一体的に行う障害者支援施設として、利用者個々の特性に配慮しつつ、一人ひとりの人権を重んじ、その人がその人らしく充実した生活を安心して営むことができるよう支援してきました。必要に応じて他事業所や関係機関とも連携を深め、法令遵守のもと、安全で信頼のおけるサービスに取り組み、効率・効果的及び健全な運営に努めました。また、地域で生活している障害者(児)や家族のニーズに応えるべく、施設機能と専門性を活かし事業を行うとともに、地域と施設が継続して交流活動を促進し、地域で一定の役割を果たしました。

## 【 重 点 項 目 】

- ・高齢等による認知症や疾病を抱えた利用者やそのご家族のニーズを確認し、そのニーズにできる限り即しながら支援し、生活の質を高められるよう対応しました。
- ・利用者様の高齢化が進み、90%が知的障害者の方々のため、一般の方々より若年齢から心身の機能低下や様々な生活習慣病を原因としたリスクが高く、早い段階からの認知症のリスクも考えられたことから、常に身体・行動変化の確認・記録を行い、家族・専門職員・医療機関との連携を密にし、認知症ケアや個別ケア等の支援や介護を念頭に、安全で安心した生活を送ることができるよう対応しました。
- ・地域で生活されている障害者(児)の方々やその家族に対して、短期入所・日中一時支援で随時対応。セーフティーネットとしての役割を果たしました。
- ・地域に根ざした施設運営を目指し、地域住民や地域の学校及び事業所等と交流図りました。
- ・職員間で虐待防止委員会や会議等で障害者虐待防止法の周知や障害者虐待防止策を検討。「虐待を行わない」「見逃さない」「放置しない」という意識を強く持ち、虐待防止に関する基本的支援姿勢の確認をくり返し周知徹底を図りました。また、接遇の再確認を行い、行動障害に対する専門的な支援力を高め、サービス提供面からも利用者の権利擁護(虐待防止)に積極的に取り組みました。
- ・不審者の侵入に備え、施設整備・防犯用具等(外周センサー・さすまた・防犯カメラ等)常に点検・整備し、職員に対する危機管理意識を高めるための研修や教育に努めるとともに、必要に応じて、警察や警備会社等の協力も得つつ、防犯講習や防犯訓練を実施。利用者の安心安全に暮らせる環境を実現しました。
- ・若草園・若生園の入所者対象に、利用者の心身の状況やその置かれている環境等に応じて、各事業所のサービス管理責任者との連携を図り、利用者の選択に基づいて適切なサービスが総合かつ効率的に提供されるよう計画相談事業を実施しました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 21,364 名(施設入所支援) 16,041 名(生活介護)
2. 年間稼働率 97.55 %(施設入所支援) 99.39 %(生活介護)  
(目標稼働率 96.00 % 96.00 %)
3. 年間平均障害程度区分 区分 4.57 (施設入所支援) 区分 4.54 (生活介護)
4. 月別利用状況

施設入所支援事業

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	209	210	210	217	207	210	217	210	215	207	196	217	2,525
区分4	703	711	718	740	702	715	678	656	661	647	616	679	8,226
区分5	567	573	565	515	499	506	583	555	575	572	529	585	6,624
区分6	278	310	300	372	372	360	349	310	341	341	308	348	3,989
計	1,757	1,804	1,793	1,844	1,780	1,791	1,827	1,731	1,792	1,767	1,649	1,829	21,364

生活介護事業

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	171	177	172	180	175	171	180	172	161	160	140	161	2,020
区分4	542	567	549	574	575	547	528	505	517	502	440	506	6,352
区分5	396	412	396	367	356	352	414	391	413	414	361	413	4,685
区分6	210	230	221	279	276	264	266	234	258	253	226	267	2,984
計	1,319	1,386	1,338	1,400	1,382	1,334	1,388	1,302	1,349	1,329	1,167	1,347	16,041

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末入所者数	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
30年4月13.18日	お花見外出行事	お花見の開花に合わせて外出を企画し、春の訪れを実感し、季節感を味わって頂いています。	利用者 8名 職員 4名
30年6月15日	レクリエーション大会	家族と一緒に体を動かす機会を設定し、和気あいあいと家族との交流を深めて頂いています。	利用者 61名 家族 32名 職員 16名
30年10月14日	芋煮・作品展示会	活動で作成した作品を展示し、家族に見て頂きながら秋の味覚(芋煮汁)を楽しみ、家族とふれあいを深めて頂いています。	利用者 60名 家族 44名 職員 14名
30年12月21日	クリスマス忘年会	クリスマス行事と一年間の労を労い、ボランティアを依頼し、慰問等楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 60名 職員 14名
31年1月18日	新年会	新年を健康で迎えられた事に感謝し、ボランティアを依頼しながら会食し楽しい時間を過ごして頂きました。	利用者 60名 職員 14名
31年2月4日	節分・年祝い	今年は節分・豆まきを行うことで季節感を感じて頂いています。	利用者 58名 職員 14名

【短期入所事業サービス、他】

1. 年間延べ利用人員 607 名
2. 年間稼働率 41.58 %  
(目標稼働率 40.00 %)
3. 年間平均障害程度区分 4.19
4. 月別利用状況【短期入所事業】(年間延べ利用人員 607 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	2	0	2	0	2	0	2	0	0	0	8
区分2	7	9	9	4	4	4	9	9	4	4	4	4	71
区分3	2	2	6	8	15	5	3	5	9	4	2	7	68
区分4	13	13	11	15	15	26	23	25	28	24	31	37	261
区分5	5	2	0	0	11	0	0	13	0	0	4	14	49
区分6	8	9	4	22	24	19	20	5	9	0	13	17	150
計	35	35	32	49	71	54	57	57	52	32	54	79	607

5. その他の障害福祉サービス  
月別利用状況【日中一時支援事業】(年間延べ利用人員 235 名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登米市	18	20	18	17	16	14	19	19	12	15	14	13	195
南三陸町	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
栗原市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
気仙沼市	1	1	0	1	5	4	5	4	4	4	4	4	37
計	19	22	20	18	21	18	24	23	16	19	18	17	235

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
30年 4月10日	コンプライアンスについて	統括施設長	職員9名
30年 4月11日	事故報告書の書き方・個人記録の記載とパソコン入力について(勉強会)	生活支援員	職員1名
30年 4月11日	個人記録の記載とパソコン入力について(勉強会)	生活支援員	職員1名
30年 4月12日	事故報告書の書き方・個人記録の記載とパソコン入力について(勉強会)	生活支援員	職員1名
30年 4月16日	事故報告書の書き方について・小遣い管理と処理について(勉強会)	生活支援員	職員1名
30年 4月17日	コンプライアンスについて	統括施設長	職員8名
30年 4月18日	小遣い管理と処理について(勉強会)	生活支援員	職員2名
30年 6月19日	食中毒について	管理栄養士	職員7名
30年 6月25日	障がい者虐待防止・権利擁護セミナー	O氏	職員17名
30年 7月10日	接遇研修	管理者	職員7名
30年10月18日	コンプライアンス(虐待防止)について	統括施設長	職員8名
30年10月30日	口腔ケアについて	S氏	職員8名
30年12月14日	感染症予防研修	看護師	職員7名
31年 1月17日	リスクマネジメント研修	生活支援員	職員8名
31年 1月31日	移乗・体位交換について	生活支援員兼サービス管理者	職員7名
31年 2月26日	排泄ケア研修	白十字・M氏・A氏	職員6名

## (2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
30年 4月26日	第41回定期総会の開催について	宮城県知的障害者福祉協会	ホテル 白萩	職員1名
30年 5月 25日	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市・姉齒松風会・恵泉会	南方庁舎	職員1名
30年 6月 8日	恵泉会新任職員研修	恵泉会	法人事務局	職員1名
30年 6月 15日	恵泉会新任職員研修	恵泉会	法人事務局	職員1名
30年 6月29日	指定障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県保険福祉部	宮城県庁	職員1名
30年 8月 11日	発達性読み書き障害のすべて	東北大学医学部小児科	東北大学 医学部	職員1名
30年 8月 22日	職場のモチベーション向上研修	社会福祉法人宮城県社会福祉協議会	ハーネル仙台	職員1名
30年8月23・24日	サービス管理責任者等スキルアップ研修会	宮城県知的障害者福祉協会	ホテル 白萩	職員1名
30年 8月 31日	指定障害福祉サービス事業者集団指導について	宮城県東部保健福祉事務所	石巻合同庁舎	職員1名
30年 10月 3日	社会福祉施設の階層別リスクマネジメント研修(入門編)	宮城県社会福祉協議会	フォレスト仙台	職員1名
30年 10月24日	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修	登米市	南方庁舎	職員2名
30年 11月 1日	社会福祉施設の階層別リスクマネジメント研修(管理監督者編)	宮城県社会福祉協議会	フォレスト仙台	職員1名
30年 11月28日	宮城県知的障害者福祉協会施設長研修会	宮城県知的障害者福祉協会	TKPガーエンシティ	職員1名
30年 12月4日	アングーマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	東京エレクトロンホール	職員1名
31年 2月7日	障害者施設支援部会・宮城県知的障害者施設親の会連合会合同研修会	宮城県知的障害者福祉協会	宮城県障害者福祉センター	職員1名
31年 3月8日	精神障害者相談支援研修会	宮城県精神保健福祉協会	栗原文化会館	職員1名
31年 3月13日	登米栄養士会 合同研修	登米栄養士会	登米市合同庁舎	職員1名
31年 3月15日	地域生活支援拠点等の整備促進に必要な機能の強化充実のための都道府県ブロック会議	厚生労働者、宮城県	宮城県市町村振興協会研修室	職員1名

## 2. 会議開催状況

## (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職 員 会 議	各種行事・各部署・委員会等申し送り及び検討等	月1回	施設長・管理者・事務員・サビ管・生活支援員・看護師・管理栄養士
支 援 会 議	利用者の生活状況及び活動班状況の検討等	月1回	施設長・管理者・サビ管・生活支援員・看護師・管理栄養士
給 食 会 議	給食について委託業者と評価・検討及び情報交換等	月1回	管理者・管理栄養士・看護師・生活支援員・利用者様

## (2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
ケア会議 (随時開催)	利用者様の日常生活における本人からの要望や課題・改善点等について協議・検討を図る。	スタッフルーム・相談室	管理者・サビ管・生活支援員 看護職員・管理栄養士
障害児者支援 ワーキング部 会 (月1回)	8施設の共有事項について検討	若草園	管理者・サービス管理責任者 各担当職員

### 3. 委員会開催状況

#### (1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	事故報告を分析し、事故再発防止及び発生時の対応を検証して改善策検討する。また、感染症の予防と改善に取り組む。マニュアルの見直し。	月1回	管理者・サビ管・事務員・看護師・管理栄養士・生活支援員
サービス向上委員会	サービスの質の向上に資するための過程や結果の分析・検討を行う。自己評価及び第三者評価による改善への取組みと対応。利用者・家族アンケート実施し、サービス向上に係る改善について検討。	月1回	管理者・サビ管・管理栄養士・生活支援員
身体拘束・虐待防止委員会	人権擁護や虐待防止、身体拘束「ゼロ」の取り組みや検討。	月1回	管理者・サビ管・管理栄養士・生活支援員
感染症・褥瘡予防対策委員会	利用者・職員等の感染症の予防対策と褥瘡発生メカニズムの基本知識習得や発生及び防止に対する体制の整備。	随時	管理者・サビ管・管理栄養士・生活支援員
研修委員会	内部・外部研修の調整・企画し、職員の資質向上を図る。	月1回	管理者・事務員・生活支援員
防災委員会	防災訓練調整及び防災設備の整備改修等	月1回	管理者・サビ管・事務員・看護師・管理栄養士・生活支援員

#### (2) その他の委員会

開催日	内 容	場 所	出席者
各月	障害児者支援施設ワーキング部会	施設持ち回り	統括施設長・管里者
各月	事務担当者部会	施設持ち回り	事務員
各月	看護師部会	施設持ち回り	看護職員
隔月	栄養士部会	施設持ち回り	管理栄養士
年2回	恵泉会地震防災対策委員会	法人本部	管理者

### 【施設機能の開放】

#### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

##### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
30年 5月11日	登米産業高校福祉科 1年生・生徒	施設実習	生徒9、教諭1
30年 6月 12日	迫支援学校高等部3年～15日	施設実習	1名
30年 7月6日	東和総合支所保健師、東北文化学園	施設見学	3名
30年 7月 11日	いきいき学園八期生	窓ふき掃除及び交流会	22名
30年 7月 19日	ふじの実学園	施設見学	5名
30年 7月 23日	迫支援学校先生	施設見学	19名
30年 7月 26日	登米産業高校福祉科 2年生・生徒	施設実習	生徒19、教諭2
30年 11月 3日	栗原あすなろクラブ	施設見学	8名
30年 11月 29日	東北工大学生	施設見学	7名
30年 12月 21日	ほっと・サロンとめ	慰問	2名
31年 1月 18日	優友会	慰問	7名

##### (2) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
30年 5月16日 ～30年5月30日	登米産業高校福祉科2年生	介護実習	2名	2名
31年 2月5日 ～31年2月14日	登米産業高校福祉科四釜教諭	平成30年度福祉系高等学校教員養成派遣研修	1名	1名
計			3名	3名

## 【今後の取り組み】

1. 高齢等による認知症や疾病を抱えた利用者やそのご家族のニーズを確認し、そのニーズにできる限り即しながら支援し、生活の質を高められるようにします。
2. ・利用者様の高齢化が進み、90%が知的障害者の方々のため、一般の方々より若年齢から心身の機能低下や様々な生活習慣病を原因としたリスクが高く、早い段階からの認知症のリスクも考えられます。常に身体・行動変化の確認・記録を行い、家族・専門職員・医療機関との連携を密にし、認知症ケアや個別ケア等の支援や介護を目指し、安全で安心した生活を送ることができるようになります。
3. 個々の障害(知的障害・身体障害・難病・精神障害の方の利用の増加もあり)の特性に応じた支援に心がけ、利用者が少しでもストレスを減らせるための工夫をします。
4. 地域で生活されている障害者(児)の方々やその家族に対して、将来的な「地域包括ケア」を目指し生活支援上のセーフティーネットの役割(短期入所、日中一時支援等)を果たすようにします。
5. 地域住民や地域にある公共施設(学校・保育所等)との交流活動を通し、地域に根ざした施設運営を目指します。
6. 職員間で毎月虐待防止委員会や会議等で障害者虐待防止法の周知や障害者虐待防止策を検討し、「虐待を行わない」「見逃さない」「放置しない」という意識を強く持ち、基本的姿勢の確認をくり返し行います。また、接遇の再確認や同姓介護の確認や行動障害者に対する専門的な支援力を高め、サービス提供面からも利用者の権利擁護(虐待防止)に積極的に取り組みます。
7. 不審者の侵入に備え、施設整備・防犯用具等(外周センサー・さすまた等)常に点検・整備し、職員に対する危機管理意識を高めるための研修や教育に努めるとともに、必要に応じて、警察や警備会社等の協力も得つつ、防犯講習や防犯訓練を実施し、利用者の安全確保に努めます。
8. 次年度より若草園・若生園の入所者対象に計画相談支援の事業を行うことにより、利用者の心身の状況やその置かれている環境等に応じて、利用者等の選択に基づき、各事業所のサービス管理責任者との連携を図り、適切なサービスが総合かつ効率的に提供されるよう配慮します。

# 平成30年度 障害者支援施設若生園 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市東和町米川字西綱木24  
 2) 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会  
 3) 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会  
 4) 開 設 年 月 日 平成23年4月1日  
 5) 事 業・利用定員

事 業	利 用 定 員
施設入所支援、生活介護	50 名
短期入所支援	2 名
計	52 名

恵泉会の基本理念並びに、障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律に基づき、「施設入所支援」と「生活介護」の事業を一体的に行う「障がい者支援事業所」として、利用者個々の特性に配慮しつつ、一人ひとりの人権を重んじ、その人がその人らしく充実した生活を安心して営めるよう支援します。必要に応じて他事業所や関係機関とも連携を深めながら、安全で信頼のおけるサービスに取り組み、効率・効果的及び健全な運営に努めていきます。また、地域で生活している障がい者(児)や家族のニーズに応えるべく、施設機能と専門性を生かし事業を行うとともに、地域と施設が継続して交流活動を促進できるように地域での役割を果たします。

## 【 重 点 項 目 】

1. 利用者個々の意向を尊重し、障がいや疾病の状態に合わせた個別支援計画書のもと、利用者の方々の笑顔が多くみられ、その人らしい自立した生活を送れるよう支援しました。
2. 保険者とや関係機関と連携を図り安全安心なサービスを利用していただけの事故防止に努め、また障がい者虐待防止法を遵守し、利用者の人権擁護に努めました。
3. 医療機関との連携を図り、心身の健康管理及び感染症予防に努めました。
4. 地域で生活されている障がい児(者)の方々やその家族に対して、生活支援上のセーフティネットの役割(短期入所、日中一時支援)を果たす努力をしました。
5. 防犯、防災(自然災害)、防火について、計画に沿った訓練を実施し、リスクの改善等を行い、利用者の安全第一に努めました。
6. 地域住民や地域の公共施設(学校・保育所等)との交流活動をとおり、地域に根ざした施設運営を目指しました。
7. 専門職としてのスキルアップを図り、他種協働の基、若生園の利用者の重度高齢化に対しての介護支援体制を整えるよう努力しました。

## 【 利 用 状 況 】

- |             |          |        |          |        |
|-------------|----------|--------|----------|--------|
| 1. 年間延べ利用人員 | 17,315 名 | (施設入所) | 12,785 名 | (生活介護) |
| 2. 年間稼働率    | 94.88 %  | (施設入所) | 95.06 %  | (生活介護) |
| (目標稼働率)     | 96.00 %  | (施設入所) | 96.00 %  | (生活介護) |
| 3. 年間平均障害程度 | 4.68     |        | 4.67     |        |
| 4. 月別利用状況   |          |        |          |        |

施設入所支援事業

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	240	232	238	279	275	261	273	250	278	246	224	248	3,044
区分4	416	433	420	434	397	361	371	360	377	391	333	400	4,693
区分5	320	366	359	361	362	360	349	360	354	388	364	399	4,342
区分6	434	400	399	430	453	450	452	450	465	454	399	450	5,236
計	1,410	1,431	1,416	1,504	1,487	1,432	1,445	1,420	1,474	1,479	1,320	1,497	17,315

生活介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	198	198	197	207	206	194	206	205	207	184	160	184	2,346
区分4	296	312	299	312	287	255	266	255	267	280	236	289	3,354
区分5	247	275	264	271	272	264	265	242	263	291	260	297	3,211
区分6	319	301	294	321	337	330	338	330	345	337	286	336	3,874
計	1,060	1,086	1,054	1,111	1,102	1,043	1,075	1,032	1,082	1,092	942	1,106	12,785

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	4
退所者数	0	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	4
月末入所者数	50	49	50	50	49	48	47	48	49	49	49	49	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.04.16	お花見会	利用者の皆様と一緒に、お花見気分を味わいながら楽しいひとときを過ごされました。	利用者 49名 職員 6名
H30.07.05	七夕交流会	米川小学校6年生の児童を迎え、唄や踊りの披露や参加者みんなで短冊作り等、楽しく交流会が行われました。	利用者 47名 職員 11名
H30.09.24	お月見会	食堂に用意したススキと活動時に作ったお供え団子他の前で手を合わせて十五夜の雰囲気を楽しめました。	利用者 20名 職員 4名
H30.12.18	クリスマス会	利用者様の発表の場として、ハンドベル演奏や大漁唄いこみやヤングマンやUSAの曲に合わせて職員と一緒に踊ったり、クリスマスケーキのケーキカットやプレゼント等、楽しい時間を過ごされています。	利用者 47名 職員 7名
H31.01.22	新年会	職員の踊りで利用者様も大変盛り上がり、甘酒で乾杯し、新年を迎えられたことをお祝いしています。	利用者 47名 職員 7名
H31.02.15	節分豆まき	職員扮する鬼に豆をぶつけて厄を祓い、還暦を迎える利用者を皆さんで祝い、年中行事を楽しめました。	利用者 45名 職員 11名
H31.03.05	ひなまつり交流会	南方保育所4歳児を招き、ダンスや歌を披露して頂き、園児たちと交流を図り、楽しい時間を過ごされています。	利用者 47名 職員 7名

【短期入所者・日中一時サービス】

- 年間延べ利用人員 247 名
- 年間稼働率 33.84 %  
(目標稼働率 40.00 %)
- 年間平均障害程度 3.52

4. 月別利用状況(短期入所)

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分3	30	33	36	18	17	18	17	12	0	0	0	14	195
区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分5	14	0	2	2	0	0	2	2	2	2	0	2	28
区分6	0	0	0	0	0	0	2	3	2	7	6	4	24
計	44	33	38	20	17	18	21	17	4	9	6	20	247

- (1) 短期入所 (年間延べ利用人員) 247 名 (稼働率) 33.84 %  
 (2) 日中一時支援事業 (年間延べ利用人員) 183 名 (稼働率) 25.07 %

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.4.5	新任職員・転勤者勉強会(若生園の概要等)	管理者	3名
H30.4.4	〃 勉強会(防災機器の取り扱い等)	生活支援員	3名
H30.4.5	〃 勉強会(利用者小遣い管理と処理)	生活支援員兼サビ管	3名
H30.4.12	〃 勉強会(公用車の取り扱いについて)	生活支援員	3名
H30.4.6	〃 勉強会(栄養管理・栄養マネジメント)	管理栄養士	3名
H30.4.9	〃 勉強会(入浴介助について)	生活支援員	1名
H30.4.13	〃 勉強会(事故報告書の書き方について)	生活支援員	3名
H30.4/17.18	〃 勉強会(排泄介助について)	生活支援員	3名
H30.4.13	〃 勉強会(食事介助と口腔ケアについて)	生活支援員兼サビ管	3名
H30.5/14.17.23.30	コンプライアンスガイドラインについて	統括施設長	21名
H30.6.6	食中毒予防の基本・食品管理・正しい手洗いについて	管理栄養士	5名
H30.6.11	新任職員勉強会(若生園の概要等)	管理者	1名
H30.6.12	〃 勉強会(防災機器の取り扱い等)	生活支援員兼サビ管	1名
H30.6.12	〃 勉強会(排泄介助について)	生活支援員	1名
H30.6.15	〃 勉強会(利用者小遣い管理と処理)	サビ管	1名
H30.6.21	〃 勉強会(栄養管理・栄養マネジメント)	管理栄養士	1名
H30.7/13.19	兼務発令拠点区分会計処理・伝達研修	事務員	1名
H30.6.25	恵泉会障害福祉サービス事業所権利擁護研修会(若草園にて)	宮城県障害者 権利擁護センター	10名
H30.7.19	〃 (パルめぐみにて)	宮城県障害者 権利擁護センター	8名
H30.7.26	介護基礎研修・車椅子移乗	生活支援員	4名
H30.8.9	発達障害について	管理者	9名
H30.8.23	身体拘束・虐待防止について	生活支援員	4名
H30.9/20.21	介護基礎研修・食事介助	生活支援員	6名
H30.11.16	感染症予防対策について(利用者と同時間開催)	看護師	6名
H30.12/20～ ～H31.1/31	キャラバン操作研修(リフトの操作含め)	生活支援員	4名複数回実施

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
H30.5.25	平成30年度登米市障害福祉サービス事業所職員等研修会	登米市他	登米市南方庁舎	生活支援員
H30./6/8	恵泉会新任職員研修	恵泉会	本部事務局	生活支援員
H30./6/8	恵泉会新任職員研修	恵泉会	本部事務局	生活支援員
H30./6/15	恵泉会新任職員研修	恵泉会	本部事務局	生活支援員
5月～3月	恵泉会管理職研修	恵泉会	本部事務局	生活支援員
7月～9月・11月	恵泉会中核職研修	恵泉会	本部事務局	生活支援員兼サビ管
H30.7.12	宮城県社会福祉施設中堅・監督職員研修	パレス 宮城野	仙台市	サービス管理責任者
H30.8.23～24	宮城県知的障害者福祉協会 サービス管理責任者等スキルアップ研修会	ホテル白萩	仙台市	生活支援員兼サビ管
H30.10/24.25	平成30年度宮城県サービス管理責任者研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	生活支援員
H30.11/29.30	平成30年度宮城県サービス管理責任者研修(介護)	宮城県社会福祉協議会	仙台市	生活支援員

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	施設運営全般に関する協議	毎月第3木曜日	全職種
支援会議	サービス全般に関する協議	毎月第2木曜日	全職種
ケア会議	利用者の支援に関する協議	年3回	本人・行政・地域生活支援センター・施設職員等
給食会議	利用者の食事に関する協議	毎月第4木曜日	管理者・栄養士・准看護師・生活支援員

## (2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出 席 者
恵泉会防災会議	恵泉会防災計画の立案等(年1回)	恵泉会事務局	防火管理者
入所検討会議	入所待機者の中から入所受け入れについて協議します。	若生園	統括施設長・管理者・副主任・サビ管・栄養士・准看護師・生活支援員
H30.08.07	平成30年度第1回事務担当者部会	迫風園	事務員
H30.12.25	平成30年度第2回事務担当者部会	光風園	事務員
H31.03.12	平成30年度第3回事務担当者部会	恵泉会在宅支援棟	事務員

## 3. 委員会開催状況

## (1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
リスクマネジメント委員会	施設内事故の検証・分析、事故予防・対応策立案等	年10回	管理者、栄養士、准看護師、生活支援員
サービス向上委員会(研修委員会)	サービス評価の実行、集計、報告等。研修内容	年6回	管理者、栄養士、生活支援員
身体拘束、虐待防止対策委員会	身体拘束、暴言、暴力、放置等防止策立案等	年10回	管理者、栄養士、生活支援員
感染症予防等委員会	感染症予防の計画、立案等	年3回	管理者、准看護師、栄養士、生活支援員
防災委員会	若生園防災計画の立案等	年6回	管理者、栄養士、准看護師、生活支援員

## (2) その他の委員会

開催日	内 容	場 所	出 席 者
H30.06.04	恵泉会地震防災対策委員会	恵泉会事務局	防火管理者
H30.06.14	第1回障害児者支援ワーキング	こじか園	管理者
H30.07.23	第2回障害児者支援ワーキング	こじか園	管理者
H30.09.14	第3回障害児者支援ワーキング	若草園	管理者
H30.10.19	第4回障害児者支援ワーキング	若草園	管理者
H30.11.08	若生園居住棟新築委員会	若生園	管理者他5名
H30.11.30	第5回障害児者支援ワーキング	若生園	管理者
H30.12.12	若生園居住棟新築委員会	若生園	管理者他6名
H31.01.11	第6回障害児者支援ワーキング	事務局2階	管理者
H31.02.22	第7回障害児者支援ワーキング	こじか園	管理者
H31.02.22	若生園居住棟新築委員会	若生園	管理者他4名

## 【施設機能の開放】

## 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

## (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
H30.05.11	登米産業高校2年生	施設見学	11名
H30.06.05	気仙沼市 Sさん	施設見学	5名
H30.07.06	東北文化大学・看護科学生	施設見学	2名
H30.07.23	迫支援学校 教諭	施設見学	20名
H30.08.22	東松島市 Sさん	施設見学	5名
H30.10.05	栗原市 Gさん	施設見学	4名
H30.11.26	登米市 Iさん	施設見学	2名
H30.11.30	登米市 Aさん	施設見学	4名

## (2) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
H30.5/16.5/23.5/30	登米総合産業高校 福祉科	障害者支援施設介護実習	3名	9名
H30.6/11~6/22	迫支援学校	現場実習	1名	10名
計			4名	19名

## 【今後の取り組み】

1. 生活の場(居住棟)が、全室個室のユニット型となり、更なる個別支援の促進を図り、利用者様が安心して暮らせる空間・その人らしい生活空間を創り、利用者の満足度へ繋がります。
2. 利用者個々の意向を尊重し、障がいや疾病の状態に合わせた個別支援計画書のもと、高品質なサービスを提供し、その人らしい自立した生活を送れる支援をします。
3. 保険者や関係機関と連携を図り安全安心なサービスを利用していただけの事故防止に努め、また障がい者虐待防止法を遵守し、利用者の人権擁護に努めます。
4. 医療機関との連携を図り、内部研修を心身の健康管理及び感染症予防に努めます。
5. 地域で生活されている障がい児(者)の方々やその家族に対して、生活支援上のセーフティネットの役割(短期入所、日中一時支援)を果たします。
6. 利用者の安全を第一に、防犯、防災(自然災害)、防火に努めます。
7. 地域住民や地域の公共施設(学校・保育所等)との交流活動をおし、地域に根ざした施設運営を目指します。
8. 専門職としてのスキルアップを図り、他職種協働の基、重度高齢化への介護支援体制を整えます。

# 平成30年度 生活介護事業所パルめぐみ 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地	登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2
2. 設 置 主 体	社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体	社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日	平成17年4月1日
5. 利 用 定 員	35 名

平成30年度は契約者数48名でスタート、年間の動向は8名が生活介護利用契約、2名が契約解除となりました。利用状況においては、利用日数を増やしたいとの希望があり、随時更新しています。送迎は希望時間に可能な限り対応した上で最も合理的なルートを組みました。

日中一時支援事業においては、生活サイクルの維持を目的として、迫支援学校時代に利用していた方々が、他事業所が休み(土、月、祝日)のときに利用するケースが本年度も増加しています。一方で、放課後デイサービス事業所がいくつか出来たことで、迫支援学校の放課後利用が減ったという現実がありました。また、法人内事業所を短期利用しながら日中はパルめぐみを利用するというケースにも可能な限り送迎対応しています。

利用状況は、利用者の増加と重度化に加え、若い利用者の疾病や気持ちの不調による入院(精神障害)も見られています。日頃から利用者の状況を把握していることで、変化が見られた時に早く、正確な申し送りをしたことで入院へと繋がったこともありました。また、ADLの低下やてんかん発作の危険性がある方が多くなったことで、マンツーマンでの支援が著しく増加しました。本人達の行動(時間)に合わせた支援を行っているが、時間帯によっては他の利用者への支援と重複し、対応が遅れてしまうこともありました。

平成30年度も表情、声のトーン、身振り・手振りをいながらコミュニケーションを図り、利用者個々のモチベーションアップをしながら支援にあたりました。利用者それぞれの意思や自己表現を引き出しながら、さまざまな場面で自己選択できるよう支援を進めています。意思の表出が難しい利用者に関しては、家族等との連携を深めながら方向性を導き出すよう努力しています。

日中活動においては、少人数での活動を行うことでより柔軟な対応が出来るようにとクラブ活動を組み込むも、従来の活動を希望する方が多く現状を維持しています。その分、カラオケ等の余暇や誕生月外出などの外出の充実化を図りました。映画鑑賞や楽天イーグルス観戦など、普段家庭で行うことが困難なものを実施した際には、ご家族より好評をいただいています。また、地域社会へのアピールする機会として継続して行ってきた年末のトーンチャイム演奏会は、例年行ってきた登米市役所迫庁舎ではなく登米市南方庁舎福祉事務所に場所を移し、多くの方に観ていただきました。地域の方々との共生という法人の理念に向けた取り組みを今後もしていきます。

## 【 重 点 項 目 】

### 1. 生活介護

入浴、排泄及び食事介助を必要とされる方が増加し、一人ひとりの状況に応じて対応した。車いす使用者の個浴利用について、入浴時間の希望がある場合、午前8時30分から午後5時の間で他利用者との調整をしながら出来る限り対応した。排泄介助では、下肢麻痺によって立位が困難な利用者に対して2名対応し、安心安全な排泄を目指した。食事介助では、それぞれ利用者を介助しやすい環境を整えた。また、利用者増加によりテーブルの配置を見直し、食堂用のイスを購入することでより多くの方が利用できる環境を整えている。精神障害の利用者やには、随時寄り添い支援の強化を実施し情緒の安定を図った。

### 2. 健康管理

高齢となる利用者や重度の障害を持つ方が増えてきたことに伴い、健康状態に不安を残す方も増えた。ご家族からの申し送りや日々の健康チェック、活動の様子、ご本人の発する言葉や様子を注視し、健康状態が悪い場合にはご家庭や関係機関に連絡し、通院の提案をするなど早期の回復を図った。また、インフルエンザやその他感染症に対し、湿度管理やうがい・手洗いの徹底に加え、医療機関から講師をお迎えして手洗い方法の研修をするなどして感染症に対する意識喚起をした。

### 3. 機能訓練・療法的活動支援

身体機能低下が懸念される方が多くなってきたことに伴い、健康器具を使用して体を動かす時間を増やすなど、機能訓練に力を入れた。体重の増加が気になる利用者などを中心に時間を設けている。ヨガ教室も心身のリラックスが可能な時間として皆さんに定着しており、積極的な参加がみられた。従来から継続している音楽療法については、利用者の増加により主体的な参加が出来なくなるよう配慮している。また、天気の良い日には散歩に行き公園で軽運動をして運動不足の解消に努めた。

4. 活動機会の提供

園芸や創作活動などの従来の日中活動のほか、デジタルカメラを用いた撮影会やカラオケ、書道など趣味的な活動を増やし、多様な自己表現が出来るよう支援した。一方で、入浴介助・排泄介助対象者の増加により活動時間の確保が困難なときも多く、園芸での成果は満足のものにはならなかった。

昨年度同様、四季に応じた行事を行うことで、皆さんに季節の移り変わりを感じてもらうことが出来た。社会資源の活用として、初めて迫公民館を借用し運動会を実施。秋の日帰り旅行では仙台空港を見学し、普段あまり見ることのできない間近での飛行機の離着陸に多くの利用者が満足感を示していた。各種外出のほか、楽天イーグルスの試合観戦を行うなど、各種イベントへの参加も実施した。

5. その他

迫支援学校の体験実習のほか、就労移行支援での職場実習の受け入れも積極的に行い、1名の方が年度末から雇用となっている。また、今年度も地域の高校生ボランティアも受け入れている。

地域行事は、第11回目となるトーンチャイム演奏会を登米市役所迫庁舎から南方庁舎に場所を移して実施した。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 10,588 名
2. 年間稼働日数 308 日
3. 年間稼働率 98.22 % (生活介護)
4. 年間平均障害程度区分 4.12
5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分2	2	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
区分3	230	235	227	264	254	234	279	233	220	229	221	235	2,861
区分4	348	409	393	405	386	383	427	441	449	458	401	476	4,976
区分5	120	126	115	103	103	99	127	122	119	118	111	127	1,390
区分6	110	131	117	118	112	107	121	109	111	105	100	113	1,354
計	810	902	856	890	855	823	954	905	899	910	833	951	10,588

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	1	0	1	0	1	0	0	1	1	1	1	8
契約終了者数	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
月末契約者数	49	50	50	51	51	51	51	50	51	52	53	54	+ 6

【利用者サービスの状況】

1. 日中活動サービス

(1) 行事

実施日	行 事 名	内 容	参加者数
H30.04.11 12,13,14,16	お花見	長沼フットピア公園など、市内の桜の名所を巡り、桜を見てきている。青空の下、満開の桜を楽しんだ。	利用者 46名 職員 13名
H30.05.23	運動会	迫体育館を借用し、初めて施設外での運動会を実施。2グループに分かれ、様々な競技に利用者それぞれが出場。応援に駆けつけた家族の飛び入り参加もあり、大いに盛り上がった。	利用者 40名 職員 13名
H30.06.20	社会見学	仙台市にて宮城県庁見学を行い、地下鉄を使って長町へ移動。雨の中の移動となるも、ザ・モール仙台にて買い物を楽しんだ。	利用者 38名 職員 15名
H30.07.25	南方児童クラブ 交流会	南方児童クラブの小学生10名を迎え、交流会を行っている。紙飛行機作りを一緒に行い、全員で飛行距離を競った。児童の方々がダンスを披露してくれ、曲に合わせて歌い出す利用者もいて、会場は和やかな雰囲気となっている。	利用者 30名 職員 12名
H30.08.16	スイカ割り	生活介護事業利用者、日中一時支援事業利用者とともに夏の風物詩であるスイカ割りを楽しんだ。スイカの位置を教える声会場内に響き渡っていた。	利用者 28名 職員 12名

H30.08.29 30	かき氷祭	厳しい暑さの中、かき氷で涼をとる。好きな味を選んでかき氷を堪能した。	利用者 75名 職員 22名
H30.09.13	ドラムサークル	ファシリテーターをお招きして実施。打楽器を中心に様々なパーカッションを使い、音の強弱や速さを変えるなどして音色の違いや多様なリズムを体感した。	利用者 38名 職員 11名
H30.09.20	生け花	様々な花を一人一人が好きなように生けている。同じ花でもそれぞれの個性が感じられる作品が出来た。	利用者 37名 職員 10名
H30.10.26	発表会	家族と世話人を招き、活動の発表会を行った。音楽療法によるトーンチャイム発表、創作や書道、カメラ撮影による作品展示、活動や行事のスライドショーなど、日頃の活動の成果をみていただいた。	利用者 43名 職員 13名
H30.11.14	社会見学	仙台空港に行き、飛行機の離着陸を間近で見ている。迫力満点の様子に、多くの方が感嘆の声をあげていた。食べ放題の昼食と、イオンモール名取店での買い物にも満足の声が多く聞かれた。	利用者 43名 職員 14名
H30.12.20	クリスマス会	職員の出し物にビンゴ大会、そして初となる中華バイキングが今年のクリスマス会。あまり見ることのできない職員のダンスに大盛り上がりした後はビンゴで景品をゲットし、心ゆくまで中華を堪能したことでもいいクリスマスイベントになったようだ。	利用者 43名 職員 13名
H30.12.25	トーンチャイム演奏会	第11回となるトーンチャイム演奏会は、南方総合支所で実施。生活介護利用者・日中一時利用者の家族や関係機関の職員などの観覧もある中、全9曲の音色が1階ラウンジに鳴り響いている。	利用者 11名 職員 3名
H30.12.28	紅白歌合戦	テレビの紅白歌合戦に倣い、初めての紅白歌合戦を実施。紅白に分かれ、各チーム5名ほどの代表者で総合得点を競い合った。来年も歌合戦をしたいとの感想もあり、年末の恒例行事となってきている盛り上がりだった。	利用者 43名 職員 10名
H31.01.04 5	初詣	迫町佐沼の津島神社へマイクロバスを使用して初詣に行っている。賽銭を持ってくる方もいて、今年1年の抱負を胸に2拍手をしていた。	利用者 34名 職員 5名
H31.01.16	新年会	餅つきをして昼食に持ちを食べるという新年の開始にふさわしい行事。杵が欠けてしまうというトラブルがありつつも、昼食時には三種の味を楽しんでいた。	利用者 42名 職員 13名
H31.02.01	節分会	年男・年女の御祝いをした後、ホールにて10メートル級の長い恵方巻を一本作っている。呼吸を合わせるのが難しくうまく形を作れない方もいる中、全員で協力して完成させている。	利用者 42名 職員 13名
H31.03.01	ひなまつり会	パネルシアターという新たな試みを入れ、利用者の興味を引いた。昼食は菱餅型ちらし寿司と、具材を個人で乗せて固める作業をして世界で一つのちらし寿司を堪能した。	利用者 43名 職員 13名
H31.03.07	歌の会	プロアーティストをお招きし、利用者の誰もが関心をもてる「歌」を楽しんだ。その歌声は利用者の胸に響くもので、思わず自分もと口を動かすほど。最後は全員で一緒に歌い、盛り上がった。	利用者 40名 職員 12名

【その他の利用者サービス】 日中一時支援事業

1. 年間延べ利用人員 1,100 名 (利用上限 10 名)
2. 年間稼働日数 308 日
3. 年間稼働率 35.71 %
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

日中一時利用人数		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用市町村	登米市	93	92	100	67	68	74	105	99	97	76	92	104	1,067
	栗原市	3	3	3	4	2	1	2	1	1	1	1	0	22
	南三陸町	1	1	1	2	1	1	1	1	1	0	0	1	11
	計	97	96	104	73	71	76	108	101	99	77	93	105	1,100
	稼働日数	25	27	26	26	27	25	27	26	25	24	24	26	308
	利用者/日	3.9	3.6	4.0	2.8	2.6	3.0	4.0	3.9	4.0	3.2	3.9	4.0	3.57

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講 師 ( 講 演 者 )	参 加 者
H30.05.24	管理職育成研修	WJU	サービス管理責任者
H30.06.14	食中毒について	看護師、事務員兼栄養士兼生活支援員	全職員(及び利用者)
H30.07.03	管理職育成研修	WJU	サービス管理責任者
H30.07.04	中核職員研修	WJU	事務員兼栄養士兼生活支援員
H30.07.18	管理職育成研修	WJU	サービス管理責任者
H30.07.27	防犯指導について～パニックボタン操作について～	佐沼警察署・セコム	全職員(及び利用者)
H30.08.06	管理職育成研修	WJU	サービス管理責任者
H30.08.30	Microsoft Office～業務に使える操作について～	生活支援員	全職員
H30.09.09	中核職員研修	WJU	事務員兼栄養士兼生活支援員
H30.09.18	管理職育成研修	WJU	サービス管理責任者
H30.11.20	管理職育成研修	WJU	サービス管理責任者
H30.11.21	中核職員研修	WJU	事務員兼栄養士兼生活支援員
H30.12.10	自閉症について	サービス管理責任者兼生活支援員	全職員
H30.12.21	管理職育成研修	WJU	サービス管理責任者
H31.01.09	コンプライアンスについて	管理者	全職員
H31.01.15	管理職育成研修	WJU	サービス管理責任者
H31.02.26	防災、災害について	サービス管理責任者	全職員(及び利用者)
H31.03.06	管理職育成研修	WJU	全職員
H31.03.20	メンタルケア研修	生活支援員	全職員

(2) 外部研修

年月日	内 容	開 催 地	参 加 者
H30.05.25	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修	登米市南方庁舎	生活支援員
H30.06.25	障害者虐待防止権利擁護セミナー	若草園	生活支援員
H30.06.29	第1回指定障害福祉サービス事業所等集団指導	宮城県庁	サービス管理責任者
H30.07.19	障害者虐待防止権利擁護セミナー	パルめぐみ	生活支援員
H30.07.20	クレーム研修	仙台市	サービス管理責任者兼生活支援員
H30.08.29	タイムマネジメント研修	仙台市	事務員兼栄養士兼生活支援員
H30.09.06	苦情解決研修	仙台市	サービス管理責任者
H30.10.18	強度行動障害研修	エポカ21	サービス管理責任者兼生活支援員
H30.10.19	強度行動障害研修	エポカ21	サービス管理責任者兼生活支援員
H30.10.24	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修	登米市南方庁舎	生活支援員
H30.10.24	サービス管理責任者研修	仙台市	生活支援員
H30.10.25	サービス管理責任者研修	仙台市	生活支援員
H30.10.31	サービス管理責任者研修	仙台市	生活支援員
H30.11.01	強度行動障害研修	エポカ21	サービス管理責任者兼生活支援員
H30.11.02	強度行動障害研修	エポカ21	サービス管理責任者兼生活支援員
H30.11.20	高次脳機能障害者支援者研修	登米市民病院	生活支援員
H30.11.29	サービス管理責任者研修	仙台市	生活支援員

H30.11.30	サービス管理責任者研修	仙台市	生活支援員
H30.12.14	障害児・者支援スタッフ研修会	登米市民病院	生活支援員
H31.01.16	フォローアップ研修	恵泉会法人本部	生活支援員

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	連絡事項・各セクション毎協議、検討	第1水曜日	全職員
ケア会議	利用者支援方法、身体状況等の検討	随時	全職員
給食会議	献立内容の検討、利用者嗜好、提供状況	毎月1回	サービス管理責任者・栄養士・看護職員
恵泉会種別部会	事務部会、サビ管部会、障害者推進委員会	毎月1回	栄養士、サビ管、事務員

### (2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
H30.08.17	職場実習打合せM.S様	相談室	地域生活支援センター サビ管
H30.09.21	迫支援学校打合せ	相談室	教諭 サビ管
H30.10.04	迫支援学校打合せ	相談室	教諭 サビ管
H30.12.05	迫支援学校打合せ	相談室	教諭 サビ管
H30.12.18	職場実習打合せM.S様	相談室	地域生活支援センター サビ管
H31.01.11	迫支援学校打合せ	相談室	教諭 サビ管

## 3. 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
サービス向上委員会	生活・日中活動支援、給食、行事の実施	随時	サビ管・生活支援員
リスクマネジメント委員会	安全対策、事故検証、苦情解決の実施	随時	サビ管・生活支援員
食中毒予防・感染対策委員会	衛生維持管理、清掃消毒、感染対策の実施	随時	看護師・サビ管・生活支援員
身体拘束廃止・人権侵害対策委員会	身体拘束・人権侵害の予防と取り組み	随時	サビ管・生活支援員
研修委員会	施設内・施設外研修の計画実施	随時	サビ管・生活支援員
サービス評価委員会	第三者サービス評価のとりまとめ、検証改善	随時	サビ管・生活支援員

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
H30.04.20	K.S様(登米市)	見学(利用希望者 GH)	2名
H30.04.27	M.S様(登米市)	見学(実習希望者 地域生活支援センター)	3名
H30.06.04	K.S様(登米市)	見学(利用希望者 GH 地域生活支援センター)	3名
H30.06.29	R.T様(登米市)	見学(利用希望者 GH)	3名
H30.08.10	聖和学園短期大学学生	見学	7名
H30.08.23	宮城県登米総合産業高等学校	見学	3名
H30.08.31	K.S様(登米市)	見学(利用希望者 地域生活支援センター)	3名
H30.10.09	M.S様(登米市)	支援ボランティア	1名
H30.10.11	M.S様(登米市)	支援ボランティア	1名
H30.10.13	M.S様(登米市)	支援ボランティア	1名
H30.11.27	M.S様(登米市)	見学(実習希望者 地域生活支援センター)	2名
R1.12.13	A.U様(登米市)	見学(利用希望者 GH)	2名
H31.02.04	恵泉会新規採用内定	見学	9名
H31.03.13	こじか園	見学(家族等)	14名

(2) 実習

年 月 日	団 体 名	実 習 内 容	実 人 数	延 人 数
H30.05.16	宮城県登米総合産業高等学校	介護実習(3日間)	3名	9名
H30.09.07	M.S様(登米市)	職場実習(5日間)	1名	5名
H30.10.20	H.C様(登米市)	産業現場体験実習(4日間)	1名	4名
H30.12.17	H.O様(登米市)	産業現場体験実習(3日間)	1名	3名
H31.01.07	M.S様(登米市)	職場実習(5日間)	1名	5名
H31.01.21	H.O様(登米市)	産業現場体験実習(5日間)	1名	5名
計			3名	31名

【今後の取り組み】

1. 生活介護

家庭(在宅)やグループホームなどから通う人たちそれぞれにあった介助法を模索しながら、環境作りや支援をおこなっていきます。

また、通所を通して基本的な生活習慣やマナー・服装・身だしなみなど社会性を身につけると共に、ふれあいや対話を通して情緒の安定や良好な信頼関係を構築し、利用者にとって居心地の良い空間を目指していきます。

2. 健康管理

高齢の方や病気を抱えている利用者も増加傾向にあるため、日々の状態観察をしながら異常の早期発見・早期対応に努めます。また、病気の状況や注意点などに関わる内容については、ご家庭や各機関と密に連絡を取り合いながら、疾病予防及び悪化防止に努めていきます。

感染症の予防にも早期に対応しながら、万が一感染症の症状が見られた場合には、直ちにご家庭や関係機関に連絡して通院などを提案し、感染症拡大を阻止していきます。

3. 機能訓練・療法的活動支援

身体機能の維持向上や自立の促進を図るため、音楽療法及びヨガ教室は今年度も継続していきます。

また、機能訓練についても、各利用者の状況やご家族の要望を受け、機能訓練が可能な器具などを使用して毎日実施していきます。必要に応じて、関係機関より理学療法士や言語聴覚士をお迎えし、状況に応じた訓練を実施していきます。

4. 活動機会の提供

創作活動や木工芸活動の他、趣味活動としてカメラや書道、ダンスなど新たな活動を取り入れるとともに、利用者一人ひとりの希望も取り入れながら活動を楽しむ場としていきます。また、様々な活動を体験することで趣味の幅を広げていきます。

地域行事・事業所内行事で作品発表の場を持つことを通し、社会参加の機会を増やしていきます。

5. その他

良質かつ適切なサービス提供実施の取り組み、関係機関や地域、家族との連携を重視し、地域社会に開かれた事業所となるよう努めることを主に置き、随時ボランティアの受け入れ、体験や職業実習についても、お手伝いさせていただきます。

また、日常の各種活動(対外的なものも含めて)の様子をパルめぐみブログを通してご紹介したり、定期的に広報誌を作成・発行してご紹介していきます。

# 平成30年度 恵泉会グループホーム 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地 登米市中田町浅水字長谷山352-2
2. 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日 平成18年10月1日(障害者自立支援法第29条第1項に基づく指定)
5. 利 用 定 員 112名 (※H31. 4. 1現在)  
(ホーム数) 21ホーム:27住居

ホーム名	定員	住 所	住居区分	物件形態
みなみホーム	6名	登米市南方町瀬ノ淵	一戸建て	法人所有
ラベンダーホームⅠ	3名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有
ラベンダーホームⅡ	2名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有
ラベンダーホームⅢ(サテライト型)	1名	登米市東和町米川字西綱木	一戸建て	法人所有
かごだんホームⅠ	6名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	法人所有
かごだんホームⅡ	8名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	法人所有
わたの実ホーム	6名	登米市東和町錦織字大舟渡	一戸建て	賃貸借
梨の木ホーム	6名	登米市東和町米川字中嶋	一戸建て	賃貸借
わかばホーム	6名	登米市東和町米川字中嶋	一戸建て	賃貸借
とよまホーム	5名	登米市登米町寺池鉄砲町	一戸建て	賃貸借
にしきホーム	6名	登米市中田町上沼字籠壇	一戸建て	賃貸借
こまひきホーム	5名	登米市中田町石森字駒牽	一戸建て	賃貸借
石森ホーム	4名	登米市中田町石森字小人町	一戸建て	賃貸借
すみれホーム	6名	登米市中田町石森字境塚	一戸建て	賃貸借
くりの実ホーム	6名	登米市中田町石森字下川原毛	一戸建て	賃貸借
光ヶ丘ホーム	4名	登米市迫町佐沼字光ヶ丘	一戸建て	賃貸借
かきの実ホーム	6名	登米市迫町佐沼字江合	アパート	賃貸借
やまびこホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借
やまびこホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借
ももの木ホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借
ももの木ホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字萩洗	一戸建て	賃貸借
こだまホーム	4名	登米市迫町佐沼字内町8	アパート	賃貸借
はさまホームⅠ	2名	登米市迫町佐沼字上舟丁	一戸建て	賃貸借
はさまホームⅡ	2名	登米市迫町佐沼字上舟丁	一戸建て	賃貸借
かりんホームⅠ	5名	登米市迫町佐沼字江合	一戸建て	賃貸借
かりんホームⅡ(サテライト型)	1名	登米市迫町佐沼字江合	アパート	賃貸借
さつきホーム	4名	登米市南方町内ノ目	一戸建て	賃貸借

平成30年度は、事業所指定の更新に合わせ老朽化ホームや建築基準法適用外建物の移転・整備を重点的に進めている。

また、利用者の防災安全対策として、わたの実ホームに宮城県社会福祉施設整備事業費補助金を活用し、スプリンクラー及び自動火災通報装置設備の一式を整備した。併せて、これまで家庭用連動型自動火災報知器を使用していたホームについて、登米市消防の指導のもと、特定小規模施設用連動型自動火災報知設備への交換及び誘導灯設備の新設を計画的に進めており、2019年度には全てのホームの防災設備が行政基準を満たす仕様へと改善が図られる見通しである。

職員育成の部分では、外部研修の活用主体から内部研修及びOJT機能の強化を目指し、職員会議や世話人会議の場の時間を有効活用し、ミニ研修と位置付け、「方針」「知識」「技術」を柱としてグループ課題を取り入れながら広く業務改善に取り組んだ。その中において、行政機関や介護保険事業者との連携を強化する取り組みを広げ、介護保険サービスへの移行やショートステイ給付の拡大など、高齢・重度化する利用者の将来に合わせたサービスの変更も推進した。

【 重 点 項 目 】

1. 老朽化物件および建築基準法適用外建物等の移転・整備について
  - ①よつばホーム → 土砂災害危険区域のため廃止・移転(かごだんホームⅡへ)
  - ②くりの実ホーム → 建築基準法適用外(建物面積)のため移転(中田町加賀野地区新物件へ)
  - ③かきの実ホーム → 建築基準法適用外(建物用途)のため倉庫2階部分の居住を廃止し、  
迫町佐沼江合地区へ移転
  - ④光ヶ丘ホーム → 建物老朽化のため同光ヶ丘地区へ移転(旧かきの実ホーム母屋部分へ)
  
2. 高齢・重度化する利用者への対応
  - ①若草園・若生園との連携強化(新規入所待機申請者延べ10人)
  - ②若生園への入所決定者(2名)
    - ※1名－平成30年11月に入所となる。
    - 1名－令和元年5月に入所予定となる。
  - ③介護保険認定(新規認定申請者3名)
  - ④恵泉会介護支援センターとの連携強化(ケアマネジャー担当依頼)
  - ⑤介護保険サービスの利用者(4名)
    - ※1名－東和高齢者福祉施設(デイサービス)利用
    - 1名－迫風園(ショートステイ)および翠風荘(デイサービス)利用
    - 1名－福祉用具貸与サービス利用
    - 1名－ゆりの郷・萩風園(ショートステイ)利用
  - ⑥夜間支援体制の強化(かごだんホームⅠ・Ⅱの地域拠点化)
    - ※2019年4月より夜間支援対応の利用者枠を6名から10名に拡大
  - ⑦利用サービス等の変更・見直し
    - ※一般就労から福祉就労へサービス変更－5名
    - 一般就労から生活介護へサービス変更－1名
    - 生活介護から福祉就労へサービス変更－1名
  
3. 消防設備の整備・拡充
  - ①スプリンクラー設備の新設(わたの実ホーム)
  - ②自動火災通報装置設備の新設(わたの実ホーム)
  - ③特定小規模施設用連動型自動火災報知設備への交換  
(ラベンダーホーム, 新光ヶ丘ホーム, すみれホーム, はさまホーム)  
(こだまホーム, にしきホーム, 石森ホーム, くりの実ホーム, わたの実ホーム)

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人数 39,795 名
2. 年間稼働日数 365 日
3. 年間稼働率 97.35 %
4. 年間平均障害支援区分 3.24
5. 月別利用状況

(1) 共同生活援助

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
区分2	657	661	626	673	646	657	672	660	611	623	577	651	7,714
区分3	1,367	1,342	1,329	1,390	1,349	1,367	1,456	1,366	1,372	1,372	1,259	1,390	16,359
区分4	1,099	1,153	1,135	1,171	1,121	1,099	1,140	1,134	1,137	1,162	1,113	1,182	13,646
区分5	88	93	90	93	83	88	93	90	87	58	56	62	981
区分6	60	62	60	62	62	60	62	60	62	62	56	62	730
計	3,301	3,342	3,270	3,420	3,292	3,301	3,454	3,340	3,300	3,308	3,089	3,378	39,795
日数	3,360	3,472	3,360	3,472	3,472	3,360	3,472	3,360	3,472	3,472	3,136	3,472	40,880
稼働率	98.2%	96.3%	97.3%	98.5%	94.8%	98.2%	99.5%	99.4%	95.0%	95.3%	98.5%	97.3%	97.3 %

(2) 計画相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本計画	0	4	4	8	3	8	4	2	7	3	2	5	50
モニタリング	0	8	7	10	11	10	9	15	5	10	13	14	112
合 計	0	12	11	18	14	18	13	17	12	13	15	19	162

6. 契約の状況

(1) 共同生活援助

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
契約終了者数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2
月末契約者数	111	111	111	112	112	112	112	111	111	111	111	110	-1

(2) 計画相談支援

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	5	12	10	10	11	9	10	4	0	1	5	5	82
契約終了者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末契約者数	5	17	27	37	48	57	67	71	71	72	77	82	+82

【利用者サービスの状況】

1. 入居者支援

(1) 生活支援(共同生活援助・相談支援状況)

①形態・月別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5
電話	5	4	5	10	3	5	3	6	5	2	5	8	61
訪問	2	0	2	0	1	1	0	1	0	1	0	2	10
計	9	5	8	10	4	6	3	7	5	3	5	11	76

(2) 健康管理

①通院先・月別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
精神)佐藤医院	5	6	6	5	6	4	5	9	5	5	4	7	67
精神)三峰病院	1	1	6	16	4		2		12	11	10	2	65
精神)石越HP	1	1	1	1	1	2	2	3	2	2	2	1	19
登米市立米谷病院	6	7	6	10	4	6	6	15	7	10	6	2	85
上杉皮膚科医院	8	8	13	11	8	8	7	9	4	6	8	8	98
その他(登米市民病院他)	37	30	53	52	43	42	72	58	68	52	43	36	586
計	58	53	85	95	66	62	94	94	98	86	73	56	920

②市内・市外別対応件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
市内	50	51	77	65	50	58	86	86	84	74	55	44	780
市外	8	2	8	30	16	4	8	8	14	12	18	12	140
計	58	53	85	95	66	62	94	94	98	86	73	56	920

(3) 就労・日中活動支援

①就労・日中活動先への訪問および支援件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	5	3	6	2	2	3	3	4	6	4	4	3	45

## (4) 行事・余暇支援

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.05.26	宮城県障害者スポーツ大会	障害者スポーツ大会(ボウリング競技) 仙台コロナキャットボウルにて開催	利用者 5名 職員 2名
H30.05.27	宮城県障害者スポーツ大会	障害者スポーツ大会(フライングディスク競技) シェルコム仙台にて開催	利用者 5名 職員 2名
H30.06.30	希望外出(秋保方面)	秋保工芸の里を訪れ、こけし絵付け体験を行う。	利用者 2名 職員 4名
H30.07.28	希望外出(作並方面)	定義山、ニッカウキスキー工場等を見学する。	利用者 12名 職員 3名
H30.08.25	希望外出(気仙沼方面)	シャークミュージアム等を見学し、買い物支援を行う。	利用者 7名 職員 2名
H30.09.16	綱木之里大名行列	東和町米川地区の伝統行事に参加する。	利用者 5名 職員 2名
H30.09.29	希望外出(松島方面)	オルゴール館を見学し、遊覧船の乗船、買い物支援を行う。	利用者 7名 職員 2名
H30.10.13	希望外出(松島方面)	仙台海の杜水族館を見学し、昼食はバイキングを楽しむ。	利用者 18名 職員 5名
H30.11.17	希望外出(鳴子)	鳴子温泉・幸雲閣にて日帰り入浴と昼食(宴会)を楽しむ。	利用者 23名 職員 5名
H30.12.29	希望外出(南三陸)	南三陸ホテル観洋にて日帰り入浴と昼食(宴会)を楽しむ。	利用者 54名 職員 9名
H31.02.02	利用者新年会	サンシャイン佐沼にて、利用者自治会(さくらクラブ)の総会 および利用者同士の懇親行事を楽しむ。	利用者 102名 職員 11名
H31.03.23	東北フードマラソン	長沼フートピア公園において「スマイルラン」への招待を受け参加 する。ボランティアの方々と各種イベントにも参加する。	利用者 11名 職員 3名
実 施 回 数		12 回	延 べ 参 加 者 数
			301 名

## 【利用者サービスの向上】

## 1. 職員研修実施状況

## (1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.04.09	世話人ミニ研修(事業計画の理解について)	グループホーム職員	世話人19名
H30.05.09	職員ミニ研修(働き方とグループ課題)	施設長	職員12名
H30.05.11	世話人ミニ研修(グループホームで働くということ)	グループホーム職員	世話人16名
H30.05.24	平成30年度管理職育成研修(Kick Offセミナー)	WJU(株)	職員1名
H30.06.08	職員ミニ研修(記録の書き方)	施設長	職員13名
H30.06.11	世話人ミニ研修(防災計画の理解について)	グループホーム職員	世話人18名
H30.06.12	平成30年度職員コンプライアンス研修	施設長	職員24名
H30.06.25	障害者虐待防止・権利擁護セミナー①	宮城県権利擁護センター	職員8名,世話人10名
H30.07.03	平成30年度管理職育成研修①	WJU(株)	職員1名
H30.07.06	職員ミニ研修(管理職育成研修伝達研修,経営分析)	施設長	職員16名
H30.07.09	世話人ミニ研修(服薬管理について)	グループホーム職員	世話人15名
H30.07.18	発達障害者のより良い支援のために必要なこと	宮城県障害者発達支援センター	職員2名
H30.07.19	障害者虐待防止・権利擁護セミナー②	宮城県権利擁護センター	職員7名,世話人12名
H30.08.06	平成30年度管理職育成研修②	WJU(株)	職員1名
H30.08.08	職員ミニ研修(障害者支援について,安全運転管理について)	施設長	職員11名
H30.08.10	世話人ミニ研修(権利擁護セミナー振り返り,食中毒予防)	グループホーム職員	世話人17名
H30.09.07	職員ミニ研修(サービス提供の基礎理解)	施設長	職員14名
H30.09.10	世話人ミニ研修(座ってできる健康体操・脳トレ)	施設長	世話人15名
H30.09.18	平成30年度管理職育成研修③	WJU(株)	職員1名
H30.09.19	平成30年度中核職員研修①	WJU(株)	職員1名
H30.09.28	平成30年度恵泉会職員研修大会 「新時代を勝ち抜くための仕事戦術」	WJU(株)	職員6名

年月日	内 容	講師(講演者)	参 加 者
H30.10.10	世話人ミニ研修(実地指導伝達研修)	施設長	世話人13名
H30.10.23	平成30年度管理職育成研修④	WJU(株)	職員1名
H30.11.09	職員ミニ研修(実地指導伝達研修)	施設長	職員13名
H30.11.20	平成30年度管理職育成研修⑤	WJU(株)	職員1名
H30.11.21	平成30年度中核職員研修②	WJU(株)	職員1名
H30.12.07	職員ミニ研修(次年度事業の計画指針について)	施設長	職員14名
H30.12.07	職員ミニ研修(高次脳機能障について)	グループホーム職員	職員14名
H30.12.07	職員ミニ研修(保健担当職員研修伝達研修)	グループホーム職員	職員14名
H30.12.20	平成30年度管理職育成研修⑥	WJU(株)	職員1名
H30.12.21	平成30年度管理職育成研修⑦	WJU(株)	職員1名
H31.01.09	職員ミニ研修(対人援助技術の基本)	施設長	職員12名
H31.01.10	世話人ミニ研修(サービス評価結果から考える)	グループホーム職員	世話人16名
H31.01.15	平成30年度管理職育成研修⑧	WJU(株)	職員1名
H31.02.07	職員ミニ研修(次年度予算と事業計画について)	施設長	職員11名
H31.02.08	平成30年度管理職育成研修⑨	WJU(株)	職員1名
H31.02.12	世話人ミニ研修(次年度予算と事業計画について)	施設長	世話人15名
H31.02.15	平成30年度管理職育成研修⑩	WJU(株)	職員1名
H31.02.16	平成30年度家族合同研修(成年後見人制度)	開発法律事務所	家族20名,職員等16名
H31.03.05	職員ミニ研修(働き方改革と有給休暇について)	施設長	職員14名
H31.03.06	平成30年度管理職育成研修⑪	WJU(株)	職員1名
H31.03.18	平成30年度管理職育成研修「経営者プレゼン」	WJU(株)	職員1名

## (2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参加者
H30.05.25	登米市障害福祉サービス事業者職員研修	南方総合支所	登米市	職員2名
H30.06.29	宮城県社会福祉施設「福祉QC活動研修」	宮城県管工事会館	県社協	職員1名
H30.07.12	安全運転管理者研修	宮城県交通安全協会	登米市	職員1名
H30.07.12	宮城県社会福祉施設中堅・監督職員研修	パレス宮城野	県社協	職員1名
H30.07.19	社会福祉施設職員研修「新任職員研修」	パレス宮城野	県社協	職員1名
H30.07.20	クレーム対応研修	東京エレクトロンホール宮城	県社協	職員1名
H30.07.20	視察研修(白石陽光園)		白石陽光園	職員3名
H30.08.27	宮城県障害者福祉施設職員研修	宮城県管工事会館	県社協	職員1名
H30.10.17	宮城県知的障害福祉協会地域支援セミナー	宮城県障害者福祉センター	県知的福祉協会	職員1名
H30.10.24	登米市障害者福祉サービス事業所職員研修	南方総合支所	登米市	職員2名
H30.10.24	リスクマネジメント研修	フォレスト仙台	県社協	職員1名
H30.11.16	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	宮城県管工事会館	県社協	職員1名
H30.11.27	宮城県社会福祉施設職員「保健担当職員研修」	宮城県管工事会館	県社協	職員1名
H30.12.13	障害者ケア向上研修	宮城県大河原合同庁舎	仙南保健福祉事務所	職員1名
H31.03.08	精神障害者相談支援研修会	栗原文化会館	県精神保健福祉協会	職員1名
H31.03.08	障害者グループホームセミナー	エルパーク仙台	仙台市グループホーム連絡会	職員1名
H31.03.22	指定障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県庁	宮城県	職員1名

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参加職員
職員会議	行事計画,支援課題,事務連絡,ミニ研修等	毎月1回	グループホーム・はせやま職員
世話人会議	情報共有,事業方針,業務連絡,ミニ研修等	毎月1回	各ホーム世話人,担当職員
ケア会議	個別支援計画,モニタリング,支援方針等	随 時	利用者,担当職員 他

### (2) その他の会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参加職員
サービス担当者会議	利用サービスに関する各種調整等	随 時	担当職員,関係機関,本人
事例検討会	連携機関の職員を交えての各種支援事例の検討	随 時	担当職員,関係機関
職場連携会議	就労先等を訪問しての情報共有	随 時	担当職員,関係機関,本人
行政機関等連携会議	新規入居希望者等を対象とした情報共有	随 時	担当職員,関係機関

### 3. 委員会開催状況

#### (1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
安全対策委員会	車輛やホームの設備,防災や事故等の検証・検討	毎月1回程度	委員会メンバー, 関係職員
余暇支援委員会	余暇支援内容,行事,利用者自治会の検討	毎月1回程度	委員会メンバー, 関係職員
広報研修委員会	広報誌・内部研修・実習等の検討	毎月1回程度	委員会メンバー, 関係職員
虐待防止委員会	虐待防止,権利擁護,身体拘束に関する検証・検討	随 時	委員会メンバー, 関係職員
サービス評価委員会	サービス評価および業務改善に関する検証・検討	随 時	委員会メンバー, 関係職員
事業計画委員会	事業計画,経営分析,予算計上に関する検討	随 時	委員会メンバー, 関係職員

### 【 施設機能の開放 】

#### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

##### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
H30.4.25	迫支援学校 3年生	体験学習(はさまホーム)	10名
H30.5.7	新規入居希望者 等	体験ステイ(梨の木ホーム)	2名
H30.5.26	新規入居希望者	体験ステイ(梨の木ホーム)	1名
H30.5.31	小松島支援学校	見学(かごだんホームⅠ・Ⅱ)	3名
H30.6.27	新規入居希望者 等	見学(梨の木ホーム)	2名
H30.7.20	宮城県関係者	視察(かごだんホーム 他)	4名
H30.9.6	恵の会役員	視察(かごだんホーム 他)	2名
H30.9.20	新規採用予定者 事前実習	体験実習(かごだんホームⅠ・Ⅱ)	2名
H30.9.26	新規入居希望者 等	見学(かごだんホームⅠ)	3名
H30.11.1	新規入居希望者 等	見学(やまびこホーム)	3名
H30.11.14	美里町 手をつなぐ育成会	視察・研修(かごだんホーム 他)	4名
H30.11.26	姉齒松風会 職員	視察・研修(かごだんホーム 他)	4名
H30.11.27	姉齒松風会 職員	視察・研修(かごだんホーム 他)	4名
H30.11.28	姉齒松風会 職員	視察・研修(かごだんホーム 他)	4名
H30.11.29	白石陽光園 職員	視察・研修(かごだんホーム 他)	5名
H31.2.9	新規入居希望者 等	体験ステイ(かごだんホームⅠ・Ⅱ)	2名
H31.2.14	矢本愛育会 職員・保護者	視察・研修(かごだんホーム 他)	10名
H31.2.17	新規入居希望者 等	見学(さつきホーム 他)	5名
H31.2.23	新規入居希望者	体験ステイ(かごだんホームⅠ・Ⅱ)	1名
H31.3.8	新規入居希望者ご家族 等	見学(かごだんホームⅠ・Ⅱ)	3名
H31.3.14	新規入居希望者	体験ステイ(かごだんホームⅠ・Ⅱ)	1名
H31.3.28	新規入居希望者	体験ステイ(かごだんホームⅠ・Ⅱ)	1名
H31.3.29	新規入居希望者	体験ステイ(かごだんホームⅠ・Ⅱ)	1名
H31.3.30	新規入居希望者	体験ステイ(かごだんホームⅠ・Ⅱ)	1名
H31.3.31	新規入居希望者	体験ステイ(かごだんホームⅠ・Ⅱ)	1名

### 【 今後の事業の取り組み 】

#### 1. 平成31年度(2019年度)恵泉会障害児者支援共通スローガン

『 いっしょに 』 ～あなたによりそう「けいせんかい」～

#### 2. 恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所の職員・世話人が取り組むべき業務への姿勢

- ① 利用者の皆さんの人生を豊かにするため、頼られる存在であり続けること
- ② 利用者の皆さんを全力で愛し、「やさしく」「やわらかな」支援を常とすること
- ③ ご家族や関係機関、関係者の方々から頼りにされ、喜ばれる存在であること
- ④ 余暇の充実を強力に進め、その成果を示し、利用者さんの生活に楽しみと潤いをもたらすこと
- ⑤ 各ホームの安全と衛生を保ち、利用者さんの年齢や特性に合った住環境を整備すること

### 3. 恵泉会グループホーム および はせやま相談支援事業所が実施する重点事業

- ① 利用者さんの特性および年齢に合った住環境の適切な活用と移転整備  
→夜間支援対応型ホームへの転居や老朽化ホームの移転、賃貸借物件の契約見直しなど
- ② 5年後・10年後を想定したアセスメントの実施と将来利用サービスの検討・提案  
→現状での地域生活が困難傾向にある利用者や介護保険移行利用者についての将来設計の実行
- ③ 利用者預り金管理体制の強化および抜本的見直しの実施  
→宮城県ガイドラインに即した帳簿整備ならびに世話人管理範囲の限定適正化
- ④ 相談支援事業の収益性確保と効率的な職員の配置および職務分担の決定  
→報酬単価の水準維持および法人内相談支援事業所間での効率的な連携深化

### 4. 共同生活援助事業所としての役割を明確にし、理想を追求すると共にその実現を目指す

- ① グループホームの役割は、その人のニーズに合うサービスを創り出していく仕事です。  
言い換えれば、利用者さん一人ひとりと一緒に、『地域をつくる』仕事です。
- ② グループホームは、利用者さん一人ひとりの家であり、生活する居住の場です。  
決して集団生活を強いることや指導・訓練が中心となるような場所ではありません。
- ③ 恵泉会のグループホームは、若草園・若生園・若葉園の出身利用者が9割を占めています。  
彼らは施設に入所しているわけではありません。法人全職員は、在宅の利用者さんと同じ目線で、一人ひとりに尊厳をもって接し、主体性のある生き方を応援します。

# 平成30年度 恵泉会地域生活支援センター 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地 宮城県登米市迫町佐沼字中江一丁目10番地4中江第一ビル1-1、1-2
2. 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日 平成18年10月1日
5. 利 用 定 員 なし（利用者の障害種別は問わない）

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 7,802 名  
 登米市障害者相談支援事業・宮城県障害児等療育支援事業 2,173 名  
 指定特定相談支援事業(計画相談支援) 4,024 名  
 障害者就業・生活支援事業 1,605 名

2. 年間稼働日数 294 日

3. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登米市障害者相談支援事業 宮城県障害児等療育支援事業	158	159	240	277	200	150	204	153	140	145	204	143	2,173
指定特定相談支援事業	367	362	419	357	332	370	380	302	259	227	335	314	4,024
障害者就業・生活支援事業	147	128	134	153	143	147	144	135	96	103	143	132	1,605
計	672	649	793	787	675	667	728	590	495	475	682	589	7,802

4. 登録の状況

登米市障害者相談支援事業・宮城県障害児等療育支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	1	0	1	2	3	0	4	3	0	0	3	3	20
月末登録者数	349	349	350	352	355	355	359	362	362	362	365	368	

障害者就業・生活支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規登録者数	10	0	1	3	2	1	0	0	0	0	2	0	19
登録抹消者数	0	1	6	0	0	5	0	3	0	0	0	0	15
月末登録者数	261	260	255	258	260	256	256	253	253	253	255	255	

5. 相談実績件数

登米市障害者相談支援事業・宮城県障害児等療育支援事業

障害者就業・生活支援事業

訪問相談	来所相談	電話相談	機関連携	地域支援他	職場実習	就職者	定着支援
260	289	482	190	3,113	23	26	368

## 【利用者サービスの状況】

1. 日常サービス

- (1) 発達相談

実施日	項 目	内 容	参加者数
H30.07.18	えくぼのひ	宮城県発達障害者支援センター相談員による移動発達相談	1名
	実 施 回 数	1回 延 べ 参 加 者 数	1名

## (2) 療育相談

実施日	項目	内 容	参加者数
H30.04.22	はあとタイム	理学療法士・言語聴覚士による療育相談	2名
H30.05.27	〃	〃	2名
H30.06.24	〃	〃	2名
H30.07.29	〃	〃	2名
H30.08.26	〃	〃	2名
H30.09.30	〃	〃	4名
H30.10.28	〃	〃	4名
H30.11.18	〃	〃	8名
H30.12.16	〃	〃	9名
H31.01.20	〃	〃	8名
H31.02.17	〃	〃	6名
H31.03.24	〃	〃	10名
実 施 回 数		12回	延 べ 参 加 者 数
			59名

## (3) 療育行事

実施日	項目	内 容	参加者数
H30.06.24	オープンはあとアクション	ヨガですっきりリフレッシュ	8名
H30.11.18	〃	カラオケを楽しもう	9名
H31.03.10	〃	ハーバリウム・ワークショップ	17名
実 施 回 数		3回	延 べ 参 加 者 数
			34名

## (4) 在職者交流会

実施日	項目	内 容	参加者数
H30.05.13	たいあつぷ	ストレスを溜め込まずに働こう！	9名
H30.08.05	〃	夏バテ知らずで元気に働こう！	5名
H31.01.20	〃	今年の目標を立ててみよう！	10名
H31.03.10	〃	ハーバリウム・ワークショップ	7名
実 施 回 数		4回	延 べ 参 加 者 数
			31名

## (5) 研修事業等

実施日	項目	内 容	参加者数
H30.06.05	就業支援ネットワーク強化事業	第1回就労関係事業所連絡会	18名
H30.09.05	就業支援ネットワーク強化事業	第2回就労関係事業所連絡会	16名
H30.09.11	就業支援研修事業	しごとサポート講座(すてっぷ)	10名
H30.09.19	就業支援研修事業	しごとサポート講座(若葉園)	2名
H30.11.15	就業支援ネットワーク強化事業	第3回就労関係事業所連絡会	8名
H30.12.03	「ゆい」研修事業	『共にはたらく！』～発達障害のある方の就労～	54名
H31.03.05	就労支援ネットワーク強化事業	第4回就労関係事業所連絡会	13名
実 施 回 数		7回	延 べ 参 加 者 数
			121名

## 【利用者サービスの向上】

## 1. 職員研修実施状況

## (1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参 加 者
H30.04.25	グループスーパービジョン(事例検討)※毎月実施	施設長(スーパーバイザー)	相談業務担当職員
H30.09.28	恵泉会職員研修大会	WJU	職員4名
H31.01.09	法令遵守(コンプライアンス)並びに障害者虐待防止法に関する研修報告	施設長	相談業務担当職員
H31.01.30	アウトリーチ支援における倫理面でのジレンマ	職員(外部研修参加者)	相談業務担当職員

## (2) 外部研修(主な研修)

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
H30.05.25	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修	登米市	登米市	職員4名,他
H30.05.28	精神保健福祉基礎講座 I	宮城県	大崎市	職員1名
H30.06.21	東松島地域 第1回療育支援研修会	宮城県	東松島市	職員2名
H30.06.26	障害者職場定着支援セミナー	労働局、宮城障害者職業センター	仙台市	職員2名
H30.07.19	障害者虐待防止・権利擁護セミナー	恵泉会(センター調整役)	登米市	職員3名
H30.08.08	節酒研修	宮城県	大崎市	職員1名
H30.08.23	東松島地域 第2回療育支援研修会	宮城県	東松島市	職員1名
H30.09.05	相談支援従事者 ファシリテーター養成研修	宮城県	仙台市	職員1名
H30.09.26	相談支援事業従事者養成研修～09/27	宮城県	仙台市	職員2名
H30.10.05	災害こころのケア研修	宮城県	仙台市	職員1名
H30.10.17	東松島地域 第3回療育支援研修会	宮城県	東松島市	職員2名
H30.10.17	地域支援セミナー	宮城県知的障害者福祉協会	仙台市	職員2名
H30.10.19	コノコノセミナー	コノコノ	柴田郡大河原町	職員1名
H30.10.24	登米市障害福祉サービス事業所職員等研修	登米市	登米市	職員4名
H30.10.28	迫地区青少年健全育成研修会	登米市迫教育事務所他	登米市	職員1名
H30.11.13	発達障害者支援セミナーinみやぎ	宮城県	仙台市	職員1名
H30.11.20	高次脳機能障害者支援研修会	宮城県	登米市	職員2名
H30.12.13	東松島地域 第4回療育支援研修会	宮城県	東松島市	職員1名
H30.12.13	北部東部高等学校特別支援教育情報交換会	宮城県教育委員会	登米市	職員1名
H30.12.14	地域リハ推進強化事業 障害児者支援スタッフ研修会	登米保健所	登米市	職員1名
H30.12.17	女川高等学園 進路講演会	女川高等学園	牡鹿郡女川町	職員1名
H30.11.08	精神障害者雇用推進セミナー	宮城県、労働局他	気仙沼市	職員2名
H30.11.15	精神障害者雇用推進セミナー	宮城県、労働局他	石巻市	職員2名
H30.11.21	就業・生活支援センター北海道・東北ブロック経験交流会	青森労働局	青森市	職員1名
H30.11.22	就業・生活支援センター北海道・東北ブロック連絡会	青森 各就業・生活支援センター	青森市	職員1名
H30.11.27	気仙沼就労セミナー	かなえ	気仙沼市	職員2名
H30.12.14	高次脳機能家族交流会	宮城県	登米市	職員1名
H31.01.18	発達障害児支援研修会	宮城県	登米市	職員1名
H31.01.21	宮城県障害者相談支援従事者現任研修 2/20, 27	宮城県	仙台市	職員1名
H31.01.24	思春期問題研修	宮城県	仙台市	職員1名
H31.01.25	宮城県医療観察制度研修会	仙台保護観察所	仙台市	職員1名
H31.02.05	登米保健所 保健所研修	宮城県	登米市	職員3名
H31.02.05	宮城県相談支援従事者スキルアップ研修(上級)	宮城県	仙台市	職員1名
H31.02.08	アメニティーフォーラム23 ～02.10	アメニティーフォーラム実行委員会	滋賀県大津	職員2名
H31.02.25	医療的ケア児等支援者養成研修 2/25, 26, 3/2, 3	宮城県	仙台市	職員1名
H31.02.26	迫地区保健活動推進員研修	登米市	登米市	職員1名
H31.03.06	障がい者家族セミナー	登米市	登米市	職員3名
H31.03.12	地域啓発セミナーinくりはら	ステップアップ	栗原市	職員1名

## 2. 会議開催状況

## (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
相談支援事業者連絡会議	相談支援事業者と福祉事務所との定例協議	毎月実施	相談支援事業担当職員
自立支援協議会運営会議	相談支援事業者と福祉事務所との運営協議	毎月実施	相談支援事業担当職員
職員会議	各事業の現状報告並びに今後の援助対策検討	毎月実施	全職員
職員ミーティング	相談業務の共有化と個別対応方法検討	隔週実施	相談業務担当職員
グループスーパービジョン	相談支援の技術向上等を目的としたOJT	毎月実施	相談業務担当職員
事例検討会	相談支援の技術向上等を目的とした事例検討	隔週実施	相談業務担当職員

## (2) その他の会議(主な会議)

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
H30.05.31	宮城就業支援ネットワーク推進会議及び連絡会議	気仙沼市市民福祉センター	職員3名
H30.07.27	精神障害者地域移行支援事業登米地域支援会議	登米保健所	職員2名
H31.02.13	管内精神保健福祉対策会議	登米保健所	職員1名
H31.02.14	宮城県障害者雇用支援合同会議	宮城県自治会館	職員1名
H31.02.28	宮城就業支援ネットワーク推進会議及び連絡会議	こもれびの降る丘遊学館	職員2名

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
H30.04.25	宮城県立迫支援学校高等部3年生	センター見学・センターの機能説明	11名

## 【事業に伴う成果】

#### (1) 登米市障害者相談支援事業

- ・障がいの種別や状況を問わず、相談を幅広く受け入れることで、地域生活の総合窓口としての位置付けが浸透し、より専門的な機関につながるための、支援の入り口・導入の機能も強くなっている
- ・相談支援の経験を重ねた職員を継続して配置することで、各種制度やサービスの細かな内容に精通し、相談に的確に応じることができ、利用者のライフステージを通じた関わりも可能となっている
- ・利用者のみならず、行政(保健師)や他支援機関から技術協力を求められる場面が増え、直接的な関わり以外にも、支援者のサポートや、支援体制作りの役割を担うことで、地域の支援力向上の一助になっている

#### (2) 宮城県障害児等療育支援事業

- ・療育支援担当に理学療法士と言語聴覚士を配置し、専門的な療育相談を身近な地域で受けられる体制を確保し、発達の状況に合わせた適切な助言・指導を行っている
- ・はあとタイムでの療育相談では、様々な障がい(未診断を含む)特性に合わせて、専門職による個別対応を図り、家族も一緒に参加することで、家庭での療育実践につなげられる内容となっている
- ・発達の遅れに不安を抱く家族の気持ちを受け止め、育児に自信を持てるような働きかけを通じて、不安の緩和を図り、その後のより良い療育に向けて、具体的な行動につなげられている

#### (3) 障害者就業・生活支援センター「ゆい」

- ・「ゆい」登録者のうち、今年度は26名(延べ人数)が就職に結びついている
- ・働き始めるためだけでなく、長期に働き続けるための支援やサポート体制作りについて、企業からの協力依頼が増えており、企業の関心や雇用意欲が高まっている
- ・ハローワークの協力を得て、市内の就労系サービス事業所を対象にした「就労関係事業所連絡会」を年4回開催し、事業所間の連携強化や就労支援の意識向上を図っている
- ・支援学校との連携においては、個別移行支援会議等への参加、「ゆい」事業所見学の受け入れ、学校訪問、授業講師協力などを通して、就労に対する意識醸成の一助を担っている。また、在学中から関わることで、卒業後の切れ目のない支援につながっている

# 平成30年度 多機能型事業所若葉園 事業報告

## 【施設概要】

- |          |                           |
|----------|---------------------------|
| 1. 所在地   | 宮城県登米市東和町米川字西綱木23番地16     |
| 2. 設置主体  | 社会福祉法人 恵泉会                |
| 3. 経営主体  | 社会福祉法人 恵泉会                |
| 4. 開設年月日 | 平成21年 4月 1日               |
| 5. 利用定員  | 40名(就労移行支援6名、就労継続支援B型34名) |

## 【基本方針の実施状況】

### 1. 就労移行支援

一般就労を希望する利用者に対し、個別性を重視した個々の支援計画に基づき、就労のための基礎的な体力や技術及び社会的なマナーの習得を目指すとともに、ハローワーク等の関係機関と連携し、希望や適正にあった就労や職場定着に向けた支援を実施しました。

### 2. 就労継続支援B型

個別性を重視した個々の支援計画に基づき、就労や生産活動等を通して就労の場を提供し、社会生活における習慣の体得と技能の習得を目指しながら、工賃向上計画に準拠して、安定した工賃を払えるよう企業等とも連携を図り、生産体制の確立を図りました。

### 3. 就労定着支援

就労移行支援は利用者との対面による相談等や利用者を雇用した企業への訪問、関係機関との連絡調整等を一体的に実施し雇用の定着を目指よう支援します。

## 【重点項目に対する評価、成果】

### 1. 個別支援の充実

サービス等利用計画に基づき、身体状況や社会的環境に配慮した個別支援計画作成を念頭に実施し、定期的にモニタリングしながら達成状況等を確認し、ニーズに沿った個別支援計画の充実が図れるよう取り組みました。

### 2. 工賃の向上

各作業班毎にコスト軽減や生産・販売の効率化に努めるとともに、新規開拓等にも積極的に取り組み、平成30年度就労継続支援B型事業において、大幅に工賃アップ(29年度実績:月額平均工賃26,980円であったが、30年度実績:月額平均工賃32,087円)となっています。

### 3. 就労支援体制のさらなる充実

関係機関と連携しながら、職場実習や企業合同説明会に参加して就労支援を行い、就労移行支援事業利用者3名が障害者雇用にて就職しました(延べ就職件数3件/31年4月1日現在就職定着者3名)。これにより、31年度は就労移行支援において最大値の報酬単価が見込めます。

### 4. 就労定着に向けた専門的な支援

平成30年10月1日より新たに就労定着支援事業を開始し、7名の方と契約しスタートしましたが、各関係機関との連携や就職先事業所との密な関係を築き、専門的な支援を行い100%の定着率を保持している。これにより31年度は就労定着支援事業における最大値の報酬単価が見込めます。

### 4. 虐待防止等

打ち合わせ時や会議時に、職員間で虐待防止法の周知を図り、虐待を行わない、見逃さない、放置しないという基本的姿勢の確認を繰り返し行いました。

### 5. グリーン工房みやぎ生協加賀野店テナント事業

29年4月よりグリーン工房みやぎ生協加賀野店テナント事業行ってきましたが、出店を通して障害を持った方々を理解していただきながら、社会的障壁の除去に繋がられるよう、障害者の地域社会における共生の実現に向けた社会参加の機会を確保しました。また、事業を通して就労に対する意識の向上を図ると共に、グリーン工房第2工場としての位置づけを確立し道の駅等のBP商品なども製造し更なる工賃支給を目指し取り組みました。

【 利 用 状 況 】

就労継続支援B型事業 定員 34名

1. 年間延べ利用人員 8,198 名
2. 年間稼働日数 244 日
3. 年間稼働率 98.82 % ( 目標稼働率 : 100% )
4. 月別利用状況 ( 延べ利用者数 )

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分 1	19	20	20	20	19	16	21	20	18	16	17	20	226
区分 2	121	127	127	126	130	112	135	124	112	132	132	139	1,517
区分 3	192	178	186	177	193	177	212	202	183	181	184	179	2,244
区分 4	238	247	247	251	249	215	262	252	228	205	209	216	2,819
区分 5	40	40	42	42	38	36	44	42	35	40	39	39	477
未申請	77	85	84	85	86	74	90	85	80	53	57	59	915
合計	687	697	706	701	715	630	764	725	656	627	638	652	8,198

5. 契約状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
契約解除者数	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	4
月末契約者数	36	36	36	36	36	35	36	36	35	34	34	34	- 1

就労移行支援事業 定員 6名

1. 年間延べ利用人員 1,340 名
2. 年間稼働日数 244 日
3. 年間稼働率 91.53 % ( 目標稼働率 : 100% )
4. 月別利用状況 ( 延べ利用者数 )

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分 3	35	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	35
区分 4	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	9
区分 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未申請	103	136	106	112	102	96	117	111	106	100	98	109	1,296
合計	138	136	106	112	102	96	126	111	106	100	98	109	1,340

5. 契約状況

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	5
契約解除者数	1	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	5
月末契約者数	7	6	6	7	6	6	6	6	5	6	6	6	± 0

若葉園(全事業合計) 定員 40名

1. 年間延べ利用人員 9,538 名
2. 年間稼働日数 244 日
3. 年間稼働率 97.73 % ( 目標稼働率 : 100% )
4. 月別利用状況 ( 延べ利用者数 )

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分 1	19	20	20	20	19	16	21	20	18	16	17	20	226
区分 2	121	127	127	126	130	112	135	124	112	132	132	139	1,517
区分 3	227	178	186	177	193	177	212	202	183	181	184	179	2,279
区分 4	238	247	247	251	249	215	271	252	228	205	209	216	2,828
区分 5	40	40	42	42	38	36	44	42	35	40	39	39	477
区分 6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
未申請	180	221	190	197	188	170	207	196	186	153	155	168	2,211
合計	825	833	812	813	817	726	890	836	762	727	736	761	9,538

5. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	5
契約解除者数	0	0	2	0	1	0	0	0	1	1	0	0	5
月末契約者数	41	41	40	41	40	40	40	41	40	40	40	40	±0

就労定着支援事業

- 年間延べ利用人員 42名
- 年間稼働日数 12日以上
- 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	0	0	0	0	0	0	7	7	7	7	7	7	42

4. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	7

【利用者サービスの状況】

1. 週間予定

就労継続支援B型事業

曜日	午 前	午 後
月	出勤押印確認:生産活動	生産活動
火	出勤押印確認:生産活動	生産活動
水	出勤押印確認:生産活動	生産活動
木	出勤押印確認:生産活動	生産活動
金	出勤押印確認:生産活動	生産活動
土	休み	休み
日	休み	休み

就労移行支援事業

曜日	午 前	午 後
月	出勤押印確認:生産活動	生産活動
火	出勤押印確認:生産活動	生産活動
水	出勤押印確認:生産活動	生産活動
木	出勤押印確認:生産活動	生産活動
金	出勤押印確認:生産活動	生産活動
土	休み	休み
日	休み	休み

2. 工賃支払い状況

就労継続支援B型事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	賞与	合計(年間)
月別合計	784,755	775,635	782,095	768,125	782,250	698,720	844,480	798,705	719,615	690,635	697,825	702,500	4,463,332	13,508,672
1人平均月額	21,799	22,161	22,346	21,946	22,350	19,963	24,128	22,820	20,560	20,313	20,524	20,662	131,274	390,847

就労移行支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	賞与	合計(年間)
月別合計	126,500	138,280	123,815	129,630	117,205	103,040	113,540	103,755	100,180	115,210	113,295	124,950	572,402	1,981,802
1人平均月額	18,071	23,047	20,636	21,605	19,534	17,173	22,708	20,751	20,036	19,202	18,883	20,825	95,400	337,871

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年 月 日	内 容	講師(講演者)	参 加 者
H30.05.30	法令遵守に関する研修	統括施設長	職員10名
H30.05.30	施設の防犯・完全確保に関する研修	職員	職員10名
H30.06.25	障害者虐待防止・権利擁護セミナー	県障害者権利擁護センター	職員1名
H30.06.29	安全運転内部研修	統括施設長	職員6名
H30.07.05	集団指導伝達会	集団指導参加者	職員1名
H30.07.19	障害者虐待防止・権利擁護セミナー	県障害者権利擁護センター	職員1名
H30.07.31	伝達研修(虐待防止・権利擁護セミナー・発達障害のよりよい支援)	職員2名	職員9名
H30.09.28	恵泉会職員研修大会	WJU	職員1名
H31.01.16	職員フォローアップ研修	理事長 迫風園施設長	職員1名
年間13回	管理職育成研修	WJU	職員1名
年間3回	WJU中核職員研修	WJU	職員1名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
H30.05.28	事業所職員研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
H30.06.08	就労関係事業所連絡会	ハローワーク迫	登米市	職員1名
H30.06.20	OJT指導者研修	県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
H30.06.28	安全運転管理者講習	県公安委員会	登米市	職員1名
H30.07.11	パックフェスタ	マツモト	仙台市	職員2名
H30.08.23	相談支援従事者研修(2日間)	県障害福祉課	仙台市	職員1名
H30.09.05	就労関係事業所連絡会	ハローワーク迫	登米市	職員1名
H30.09.18	就労定着支援事業理解促進セミナー	県障害福祉課	仙台市	職員1名
H30.09.26	相談支援従事者研修(3日間)	県障害福祉課	仙台市	職員1名
H30.10.11	サトー商会展示会	サトー商会	仙台市	職員2名
H30.10.11	事業所職員研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
H30.12.03	「ゆい」研修事業	障害者就業・生活支援センター「ゆい」	登米市	職員1名
H30.12.25	サービス管理責任者研修(2日間)	県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
H31.03.05	就労関係事業所連絡会	ハローワーク迫	登米市	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	連絡事項・各セクション毎協議、検討	毎月第4木曜日	全職員

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
随 時	スタッフ会議	支援員室他	各班チーフ責任者

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
リスクマネジメント委員会	ヒヤリハットの検証、虐待防止、苦情処理対応検討	随 時	若葉園職員8名
個別支援計画策定委員会	個別支援計画及び利用者支援について検討	随 時	若葉園職員5名
事業所サービス評価委員会	サービス評価に関することを検討	随 時	若葉園職員6名
事業所利用検討委員会	利用希望の方について検討	随 時	若葉園職員6名
防 災 委 員 会	消防計画に基づき防災にについて検討	随 時	若葉園職員8名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年 月 日	団 体 名	内 容	来 訪 者 数
H30.05.11	登米総合産業高校福祉科2年生徒・教員	事業所見学	10名
H30.05.18	アデコ株式会社 支援員	事業所見学	2名
H30.07.02	施設利用希望の方	事業所見学	3名
H30.07.06	東北文化学園大生、東和総合支所保健師	事業所見学	3名
H30.07.23	迫支援学校教員	事業所見学	19名
H30.07.26	登米総合産業高校情報技術科生徒・教員	事業所見学	21名
H30.07.30	アデコ株式会社 支援員	事業所見学	1名
H30.08.07	迫支援学校教員	卒業生の巡回等	3名
H30.08.07	迫支援学校生徒・家族・教員	事業所見学	3名
H30.08.10	聖和短大生	事業所見学	6名
H30.08.28	施設利用希望の方	事業所見学	2名
H30.10.16	米山地域活動支援センター利用者・職員・米山総合支所保健師	事業所見学	9名
H30.11.22	さわおとの森給食部	事業所見学	5名
H30.11.27	ポラリス富谷センター職員、アデコ支援員	事業所見学	3名
H30.12.05	フォンテーヌ職員、アデコ支援員	事業所見学	2名
H30.12.07	丘の上子どもホーム利用者・職員	事業所見学	2名
H31.02.19	施設利用希望の方	事業所見学	2名
H31.03.13	こじか園保護者・職員	事業所見学	15名
H31.03.14	迫支援学校高等部生徒・保護者	事業所見学	3名
計			104名

(2) 実習

年 月 日	団 体 名	実 習 内 容	実 人 数	延 人 数
H30.05.08	東和中学校生徒(3日間)	職場体験学習	3名	9名
H30.05.16	登米総合産業高校(1日間)	介護実習	3名	3名
H30.05.23	登米総合産業高校(1日間)	介護実習	3名	3名
H30.05.30	登米総合産業高校(1日間)	介護実習	3名	3名
H30.05.30	米川小学校2年生	パン作り体験	25名	25名
H30.06.11	迫支援学校高等部(10日間)	産業現場実習	3名	30名
H30.06.11	迫支援学校高等部(5日間)	産業現場実習	1名	5名
H30.06.30	みんなの家	パン作り体験	17名	17名
H30.10.15	迫支援学校高等部(10日間)	産業現場実習	2名	20名
H30.10.22	迫支援学校高等部(5日間)	産業現場実習	1名	5名
計			61名	120名

## 【今後の取り組み】

1. 個別支援の充実
  - ・サービス等利用計画に基づき、利用者の希望や意向に添った目標を設定し、身体状況や特性、社会的環境に配慮した支援計画を立案します。また、定期的にモニタリングしながら達成状況を確認し、ニーズに沿った個別支援計画の充実を図ります。
2. 工賃の向上
  - ・新商品開発はもとより、商品製造の増産体制、販路拡大を図ります。
  - ・利用者に対し、各種作業の工程や技術を身につけるよう支援します。
  - ・職員は、各種作業の専門的知識習得のため、自己研鑽に努めます。
  - ・コスト意識の浸透を図り、経費削減に取り組み、無駄を無くすよう努めます。
  - ・工賃向上計画に基づき、作業する達成感、責任感が得られるように幅広い作業提供を実施し、工賃支給を継続させます。
3. 就労支援体制のさらなる充実
  - ・希望に沿った就労が出来るよう、日々の作業を通して、働くうえで必要な資質の向上を図ります。
  - ・企業や関係機関と連携した支援体制を作ります。
4. 虐待防止等
  - ・障害者権利条約、障害者基本法、障害者差別解消法、障害者虐待防止法等で示されている事を大事にして利用者支援を行います。
  - ・職員は利用者の権利を侵さないことはもちろん、積極的に擁護主体であるという自覚を持ち、基本的姿勢の確認を繰り返します。
5. 新規事業の検討
  - ・新規の事業を検討するとともに、利用者の高齢化重度化を鑑み、他事業所と連携しながら今後のあり方等について検討します。

# 平成30年度 就労継続支援B型さくらワークス 事業報告

## 【施設概要】

- |          |                    |
|----------|--------------------|
| 1. 所在地   | 宮城県登米市東和町米川字西綱木6-1 |
| 2. 設置主体  | 社会福祉法人 恵泉会         |
| 3. 経営主体  | 社会福祉法人 恵泉会         |
| 4. 開設年月日 | 平成19年1月1日          |
| 5. 利用定員  | 30名                |

## 【基本方針の実施状況】

恵泉会の基本理念である「人間の尊厳」「人権の擁護・平等・主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」を基本とし、就労継続支援B型事業を提供しました。利用者の基本的な人権を尊重し、個々の有する能力及び適性を十分考慮し、信頼と思いやりの心で社会自立と就労支援を中心に行い就労移行を促進し、社会の一員として必要な技術を習得させ、個性を尊重して安心して暮らせる社会実現に向かうための社会的役割を果たします。又、他事業所と連携を図り効率の良い運営がとり図られるよう努めました。

- ①障害者総合支援法に基づく日常生活・社会生活の支援が共生社会を実現するため社会参加の機会の確保及び地域生活における共生を資するよう努めました。
- ②利用者の自己決定と自己選択の尊重を基に、課題に対応したサービス提供体制を整えることで希望する作業活動を支援しました。
- ③利用者の社会自立を目指し就労移行、雇用に向けた企業への職場訪問や実習の取り組みを推進しました。
- ④グループホームとの生活面・就労面・精神面での情報の共有を図りながら連携した支援にあたりました。

## 【重点項目に対する評価、成果】

○地域生活において重要な・就労支援(生産活動の実施、職場規律の指導)・生活支援(健康管理、相談支援、余暇支援)を柱に、利用者の状況に応じた対応に心がけ、地域との関わりについても軽度生活援助の作業を通し当事業所の存在を地元を示せたのではと思われる。また、利用者の高齢・重度化が進んでいることから、今後の支援体制の検討を行いました。

○利用者個々のサービス等利用計画に基づき、ニーズに合った個別支援計画を作成し、利用者本位のサービスを提供しました。また、サービスの支援体制を整備しながらサービスの質、量の充実に努めました。

- ①自立支援 … 日中活動を充実させることにより、個々に応じた対応が可能となり生活リズムの安定につながりました。
- ②主体性の尊重 … 自己選択・自己決定できる機会を拡充し、本来の能力がよい方向で発揮できるよう支援しました。
- ③就労支援 … 利用者の雇用及び就労移行业業へのステップアップに向けた支援を行いました。
- ④地域生活の充実 … 地域との連携を強めた活動を展開しました。
- ⑤家族支援 … 総合的な支援体制を整えるため、家族との協力関係の構築に努めました。

### 1. 受託加工

#### ・ミヤギトップ

ディズニー製品の作成、梱包 ◇受注量は年間を通じ一定レベルを確保しました。

#### ・エスコアハーツ

給湯器解体・仕分け ◇受注量は年間を通じ一定レベルを確保しました。

#### ・登米神社お正月用品作成(1回)

### 2. 受託事業

軽作業(除草・窓清掃・草刈等) 91件

登米市軽度生活援助作業 26件

登米市水道配水池除草作業 2箇所×年3回

3. 法人内受託作業  
 若草園 洗濯、窓清掃(1回)草刈り(3回)芝刈り(3回) 恵泉会法人本部 窓清掃(1回)園庭・駐車所除草(3回)  
 萩風園 窓清掃(2回)草刈り・園庭周囲(2回) パルめぐみ 窓清掃(1回)園庭・駐車所除草(3回)  
 南風園 窓清掃(3回)草刈り(1回) こじか園 園庭除草、周囲草刈り(3回)  
 南寿荘 窓清掃(3回)草刈り(1回) 南方保育所 草刈り(1回)  
 若生園 草刈り、除草(2回)園庭側溝清掃(1回) ほんわか 畑耕運、窓清掃(1回)  
 菊風荘 窓清掃(2回) 恵泉会体育館 草刈り(3回)  
 ◇法人内の受託作業は、施設毎に見直ししながら今後も継続して行く。
4. 法人内販売(微酸性電解水生成・販売)  
 恵泉会法人本部、ヘルパーステーション、若草園、若生園、パルめぐみ、恵泉会介護支援センター、こじか園

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 6,567 名  
 2. 年間稼働日数 244 日  
 3. 年間稼働率 89.71 %  
 4. 年間平均区分 2.86  
 5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
区分2	113	119	116	121	130	108	132	124	114	112	110	119	1,418
区分3	277	291	286	290	285	259	319	308	280	279	248	264	3,386
区分4	120	124	126	126	124	90	123	124	113	112	130	136	1,448
区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
非該当	27	29	26	28	26	24	27	28	25	26	23	26	315
合計	537	563	554	565	565	481	601	584	532	529	511	545	6,567

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
契約終了者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末契約者数	28	28	28	28	28	28	29	29	29	29	29	29	+1

【 利用者サービスの状況 】

1. 週間予定

曜日	午 前	午 後
月	出勤確認:作業	作業
火	出勤確認:作業	作業
水	出勤確認:作業	作業
木	出勤確認:作業	作業
金	出勤確認:作業	作業
土	休み	休み
日	休み	休み

2. 工賃支払い状況

就労継続支援B型事業所

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	一時金	合計(年間)
月別合計	345,185	360,830	350,070	352,480	345,895	305,300	378,210	370,445	333,615	324,745	313,590	328,200	1,378,098	5,486,663
1人平均月額	12,328	12,887	12,503	12,589	12,353	10,904	13,042	12,774	11,504	11,198	10,813	11,317	47,521	191,732

3. 余暇・レクリエーション活動

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.04.19	さくらワークスお花見会	さくらの開花に合わせて、地元若草神社にてお花見弁当を食べながら利用者、職員との交流を図った。	利用者 23名 職員 7名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.06.25	虐待防止・権利擁護研修(1回目)	宮城県障害者権利擁護センター	職員3名
H30.07.19	虐待防止・権利擁護研修(2回目)	宮城県障害者権利擁護センター	職員1名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
H30.07.18	発達障害者のよりよい支援のために大切なこと	障害者支援ワーキング	こじか園	職員1名
H30.10.24	障害者虐待を防止するための体制整備について	登米市福祉事務所	南方総合庁舎	職員1名
H30.10.24	サービス管理責任者研修	宮城県	東京エレクトロンホール宮城	職員1名
H30.10.25	サービス管理責任者研修	宮城県	東京エレクトロンホール宮城	職員1名
H30.10.31	サービス管理責任者研修	宮城県	東京エレクトロンホール宮城	職員1名
H30.11.15	障害者雇用促進セミナー	宮城県	石巻合同庁舎	職員1名
H30.12.25	サービス管理責任者研修	宮城県	東京エレクトロンホール宮城	職員1名
H30.12.26	サービス管理責任者研修	宮城県	東京エレクトロンホール宮城	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	利用者の状況確認報告並びに援助対策検討	毎月最終木曜日	統括施設長・事務員他全職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	ヒヤリハットの検証・虐待防止、苦情処理対応検討	随時	さくらワークス職員7名
サービス向上委員会	サービス支援評価、工賃アップ向上等評価検討	随時	さくらワークス職員7名
個別支援計画策定委員会	個別支援計画及び利用者支援について検討	随時	さくらワークス職員7名
事業所サービス評価委員会	サービス評価に関すること	随時	さくらワークス職員7名
感染予防委員会	利用者の衛生管理と感染予防に対する実践対策、研修	随時	さくらワークス職員7名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
H30.05.16	登米総合産業高校	作業現場における介護・支援実習	2名	6名
	計		2名	6名

## 【今後の取り組み】

○地域生活において重要な就労支援(生産活動の実施、職場規律の指導)・生活支援(健康・相談援助・職場規律)を軸として、利用者個々の状況に応じた支援を誠意を持って行って参ります。また、地域で働く職業意識も高揚させながら、地域との関わりやグループホームとの連携、家族との相互理解を深めていく。

○個別支援計画を作成する上でのアセスメント・モニタリング等を実施し、①自立支援②主体性の尊重③就労支援④地域生活の充実⑤家族支援等を中心としたニーズを発掘し、その人らしい暮らしの実現に向けて行く。また、高齢・重度化に伴う身体的・精神的な配慮を含めた部分も支援計画に結び付ける。更に、関係事業所(若葉園)との協議、連携を図る。

1. 受託加工事業について、(株)リハーツ東北の(給湯器解体作業)・ミヤギトップの(ディズニー製品の作成、梱包)を中心に行います。受託作業単価が安価であること、能力的な受け入れ制限等があり、バランスを調整して今後の取り組みを行っていく。技術を伝達できる利用者の育成を図りながら事業へ取り組む。また、ミヤギトップへは年間を通じての安定供給を要望し、重度者の作業として定着出来るようにする。
2. 受託事業について、軽作業(一般作業、窓掃除、草刈り、支障木伐採等)の請負、特に地域や一般からの請負について依頼が多く、時期によっては多忙な状況となり作業の受け入れ調整が必要。また、登米市の軽度生活援助事業を法人として受託し、東和地区を限定とした利用者の地域ニーズも加味しながら継続し、さらに岩手県アーク牧場の作業委託を受け(除草・運搬等)1年を通しての利用者支援、人材育成も含めながら継続した事業を推進していく。
3. 法人内受託作業について、若草園、南風園、南寿荘、パルめぐみ、こじか園、迫風園、若生園、ほんわか、ゆりの郷、萩風園等10数施設から窓掃除、除草、草刈り、芝刈り等を受託し、各事業所の協力を得ながら計画的に取り組む。
4. 法人内販売について、微酸性生成電解水を販売しています。法人内施設(恵泉会事務局支援棟1階・2階、若草園、若生園、パルめぐみ、こじか園等)の利用実績と収益に結びつける。感染症や衛生処理に効果的であったという実績を持って今後も販売の拡充に努める。

# 平成30年度 登米市児童発達支援センターこじか園 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所在地 登米市中田町上沼字大柳117番地2
2. 設置主体 登米市
3. 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開設年月日 平成23年 4月 1日 (指定管理開始)
5. 利用定員 指定障害児通所支援事業  
・児童発達支援(未就学児) 10名  
・放課後等デイサービス(就学児) 15名  
・保育所等訪問支援 定員区分なし  
指定障害児相談支援事業(児童サポートセンター「バンビ」)  
・指定障害児相談支援 定員区分なし  
・指定特定相談支援(計画相談) 定員区分なし  
登米市および石巻市地域生活支援事業  
・障害児日中一時支援事業 20名(障害児通所支援契約者を主とする)

こじか園では、障害児の通所支援事業所として平成23年度の指定管理開始から3期目の2年が経過し、指定管理施設として質の高い療育プログラムの提供を目指し、サービス提供および事業運営を行ってまいりました。施設設置者である登米市や地域の計画相談支援事業者からの指導および協力により、障害児相談支援ならびに保育所等訪問支援についても、効果的な事業推進が図られるよう努め、実績も着実に伸びつつあります。

事業の実施にあたっては、児童福祉法や障害者総合支援法等関係法令および登米市児童発達支援センターこじか園条例、ならびに恵泉会理念に沿った運営を行うことを基本とし、これまで全体での集団活動がメインとなっていた活動プログラムについて、障害者差別解消法にある「合理的配慮」の観点から、個々の発達や障害特性に応じたプログラム開発およびスタッフ体制の工夫に力を入れ、段階に応じた小集団活動を基軸とした療育過程の実践に努めました。心の安定や見通しをもった行動、期待して待つこと、挑戦する意欲など、小さな集団で訓練することで、周囲の環境変化についても少しずつ克服できる力を養い、園外での体験療育の機会も増やしております。

また、家族参加型行事については、「家族と共に考える子育て」を目標とし、合同企画行事の実施や家族・支援者向けセミナー(通称:こじ豆)の開催などを行いました。

## 【 重 点 項 目 】

1. (こ) 子供たちの「できる」「できた」、一瞬の感動を大切にします。

個々の障害特性等に応じた支援を強化するため、個別支援計画の作成にあたっては、児童発達支援管理責任者を中心とした個別のサポートチームを編成し療育プログラムを作成しました。子供たち一人ひとりの「できる」「できた」を大切にしながら、今後もより専門的なサポートを目指して参ります。

- ◇モニタリング件数 … 児童発達支援 45件 , 放課後等デイサービス 62件  
(継続障害児支援利用援助) 保育所等訪問 28件 , 障害児相談支援 62件
- ◇個別支援計画作成数 … 児童発達支援 40件 , 放課後等デイサービス 72件  
(障害児支援利用計画) 保育所等訪問 23件 , 障害児相談支援 55件
- ◇サポート検討(会議) … 児童発達支援 49回 , 放課後等デイサービス 82回  
(ケアカンファレンス) 保育所等訪問 29回 , 障害児相談支援 55回
- ◇職員向けアンケート(運営・サービス・行事分野)…11月実施,達成度評価

2. (こ) 自分で「伝える」、自分で「考える」、自分で「決める」力を伸ばしていきます。

3つの力を伸ばしていけるよう、活動内容に合わせて個別・小集団・全体といった様々な活動形態を日々取り入れて活動しました。また、就学児においては、自主研修外出として、同じ分野に興味関心のある児童がグループをつくり、研修場所や研修内容を自分たちで企画・相談し、社会体験のための外出を実施しました。

- ◇個別活動 … 生活訓練, 自立課題, 学習補習, 作業訓練, 機能訓練
- ◇小集団活動 … 粗大運動, 音楽療法, 園芸活動, からだづくり(運動訓練)
- ◇全体活動 … はじまりの会, かえりの会, リズム活動, 各種行事
- ◇自主研修 … 実施回数 9回, 参加児童 70名

3. (か) 家族の「想い」、家族と一緒に「子育て」、家族同士の「交流」を大事にします。

ご家族や関係機関など、子供たちや施設に関わりのある方々や機関とのつながりを大切にしながら療育を進めました。家族参加型行事の充実や保護者・支援者向けセミナー(こじ豆)の実施など、年間を通じて企画・実践いたしました。また、保護者が自由に集い情報交換や親交を深められる場(通称:こじカフェ)を設定し、定期開催させていただきました。

- ◇参加交流行事 …… 療育参観, 親子遠足, タベのつどい, 親子レクゲームなど
- ◇実施回数 …… 9回(家族等参加延べ人数 189名)
- ◇こじカフェ …… 18回 営業日に実施(延べ151名利用)
- ◇家族・訪問先アンケート(運営・サービス・行事分野)…12月(家族)、2月(訪問先)実施,満足度評価

【 利 用 状 況 】

≪ 障害児通所支援事業, 障害児相談支援事業 ≫

1. 年間延べ利用人員 7,371 名 (障害児通所支援事業)※児童発達支援+放課後等デイサービス
2. 年間稼働日数 244 日 (児童発達支援)  
306 日 (放課後等デイサービス)  
244 日 (保育所等訪問支援)  
244 日 (障害児相談支援/バンビ)
3. 年間稼働率 104.85 % (障害児通所支援事業)※児童発達支援+放課後等デイサービス  
(107.46) % (児童発達支援) 定員 10 名  
(103.46) % (放課後等デイサービス) 定員 15 名  
8.8 件 (保育所等訪問支援 月平均訪問件数)  
8.8 件 (障害児相談支援/バンビ 月平均提出件数)

4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
児童発達支援	199	222	240	236	222	182	245	230	196	200	217	233	2,622
放課後等デイサービス	391	395	402	412	415	389	398	379	395	370	385	418	4,749
保育所等訪問支援	3	7	12	9	2	11	10	11	11	10	10	9	105
障害児相談支援	13	12	18	6	7	6	5	6	10	5	5	12	105
計	606	636	672	663	646	588	658	626	612	585	617	672	7,581

5. 契約の状況

	前年度末	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数(児童発達支援)	15	3	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	21
契約者数(放課後等デイ)	30	4	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	37
契約者数(保育所等訪問)	11	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	13
契約者数(相談支援)	29	3	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	36
契約終了者数(児童発達支援)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9
契約終了者数(放課後等デイ)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
契約終了者数(保育所等訪問)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
契約終了者数(相談支援)		0	0	0	3	0	0	0	0	1	0	0	0	4
月末契約者数	85	95	100	102	99	99	100	103	103	103	103	103	91	91

【療育サービスの状況】

1. 療育支援サービス

(1) 年間行事

① 児童発達支援

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.04.16	療育説明会	通所利用にあたっての確認事項、平成29年度行事予定 看護体制について、給食提供について	家族 15名 職員 8名
H30.04.13	からだづくり (さくら観察会)	登米市米山町 平筒沼ふれあい公園にてさくら観察会と 散策活動や遊具を使った体づくりを楽しむ	児童 13名 職員 12名
H30.05.25	からだづくり	未就学児童の体力維持・増進を目的とした公園での園外 療育(モーランド/気仙沼市本吉)	児童 10名 職員 8名
H30.06.08	いちご収穫体験	米山にあるいちごハウスの協力により、体験学習として登 米市産いちごの収穫体験を行う	児童 16名 職員 12名
H30.06.15	療育参観	全体での療育活動や各クラス毎小集団療育の活動を公 開し家族に園での様子を見てもらいながら保護者同士や 保護者と職員との交流を図る機会とした	児童 12名 家族 11名 職員 8名
H30.06.29	からだづくり	未就学児童の体力維持・増進を目的とした公園での園外 療育(南方花菖蒲の郷公園/南方町)	児童 11名 職員 7名
H30.07.06	七夕会	七夕飾りの製作や行事についてパネルシアターを用いて 七夕の由来を学習	児童 15名 職員 7名
H30.07.14	タペのつどい	地域の幼稚園や保育所で経験するような「お祭り」行事を 体験させたいという保護者の希望を汲み取り企画・実施、 射的、水ヨーヨーつり、スーパーボールすくい、手作り体 験コーナー、ボランティアによる発表など保護者と協力し て行う	児童 16名 家族 51名 ボランティア 11名 職員 15名
H30.08.28	体験療育	海水浴場で、波の音や砂浜の感触など実際に体験し 様々な経験の幅を広げながら季節ならではのあそびを楽 しむ(袖浜/志津川)	児童(未就) 13名 児童(就学) 1名 職員 14名
H30.09.21	からだづくり	未就学児童の体力維持・増進を目的とした公園での園外 療育(長沼フットピア公園/迫町)	児童 12名 職員 8名
H30.10.12	親子遠足	未就学児と保護者を対象にバス遠足を企画・実施、ズーバラダ イス八木山にて記念撮影、ヤギのエサやり体験に参加、動物園 内を見学したり、お土産の買い物体験などを行う。	児童 15名 家族 15名 職員 12名
H30.11.16	療育交流会	石巻市かもめ学園との相互交流行事、かもめ学園を会場 としてリズム体操、楽器遊び、バルーン遊びでの合同療 育を行う。	児童 12名 職員 11名 かもめ 18名
H30.11.22	からだづくり	未就学児童の体力維持・増進を目的とした公園での園外 療育(長沼フットピア公園/迫町)	児童 9名 職員 7名
H30.12.07	からだづくり	未就学児童の体力維持・増進を目的とした公園での園外 療育(豊里総合運動公園/豊里町)	児童 8名 職員 6名
H30.12.18	親子クリスマス会	普段の療育の様子を公開、またお楽しみイベント・クリスマ ス会としてゲストによる音楽コンサート、サンタからのプレ ゼント、手作りのスペシャルバイキング給食を親子で楽し む。	児童 18名 家族 18名 職員 15名 ゲスト 3名
H31.01.17	地域交流会	登米市社協のコーディネートにより、中田地区の独居高 齢者グループ(まろにえの会)との交流行事を実施、音楽 療法の倉田先生をお招きし音楽交流会を行う。	児童 14名 職員 11名 ゲスト 1名 高齢者 27名 社協 2名
H31.01.25	からだづくり	未就学児童の体力維持・増進を目的とした公園での園外 療育(くりでんミュージアム/栗原市若柳町)	児童 12名 職員 7名
H31.02.01	豆まき会	豆まき、節分の由来についての学習	児童 11名 職員 15名
H31.02.22	からだづくり	未就学児童の体力維持・増進を目的とした公園での園外 療育(長沼フットピア公園/迫町)	児童 12名 職員 7名
H31.03.01	ひな祭り会	ひな祭りの由来についての学習	児童 13名 職員 11名

H31.03.09	平成30年度 卒園・修了セレモニー	1年間のまとめの行事として実施 思い出DVDの上映、記念品の贈呈、学習成果の発表	児童 17名 家族 27名 職員 21名
H31.03.20	からだづくり	未就学児童の体力維持・増進を目的とした公園での園外療育(モーランド本吉/気仙沼市本吉町)	児童 11名 職員 9名

② 放課後等デイサービス

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.04.21	療育説明会	通所利用にあたっての確認事項、平成30年度行事予定 看護体制について、給食提供について他	家族 13名 職員 3名
H30.05.12	社会研修第1班	おうちづくりの学校(スモリの家/大郷町)への研修外出 共通の興味関心を持つ児童がグループを編成し外出を企画	児童 6名 職員 5名
H30.06.03	社会研修第2班	宮城県共同募金会によるプロ野球の招待観戦、楽天イー グルスの応援と会場見学(楽天生命パーク/仙台市)	児童 6名 職員 4名
H30.06.08	りんご生育体験	小野寺りんご園(中田町)にて、りんごの木の作業体験 (はさみを使ったつぼみの剪定)を実施	児童 7名 職員 3名
H30.08.25 H30.08.26	宿泊体験	サンオーレ袖浜(南三陸町)にて海岸の奉仕活動や、自立 に向けての課題把握のため、高等部の児童がグループを 編成し実施	児童 6名 職員 4名
H30.09.08	社会研修第3班	電車乗車体験(松島、塩釜方面)への研修外出 共通の興味関心を持つ児童がグループを編成し外出を企画	児童 7名 職員 6名
H30.10.10	りんご生育体験	小野寺りんご園(中田町)にて、りんごの収穫作業体験を 実施	児童 16名 職員 10名
H30.10.20	社会研修第4班	ズーパラダイス八木山(仙台市)への研修外出 共通の興味関心を持つ児童がグループを編成し外出を企画	児童 5名 職員 6名
H30.10.27	親子レクゲーム大会	親子参加型行事としてレクスポーツ交流会および手作り 芋煮汁の昼食会を実施	児童 15名 家族 31名 職員 15名
H30.11.03	社会研修第5班	岩手サファリパーク(一関市藤沢町)への研修外出 共通の興味関心を持つ児童がグループを編成し外出を企画	児童 9名 職員 7名
H30.12.21	クリスマス会	クリスマスの由来についての学習	児童 21名 職員 12名
H31.01.18	カラオケ外食	カラオケ店でカラオケを楽しむ 共通の興味関心を持つ児童がグループを編成し外出を企画	児童 4名 職員 3名
H31.02.01	豆まき会	豆まき、節分の由来についての学習	児童 18名 職員 11名
H31.03.13	施設見学	家族と共に施設見学を実施(パルめぐみ、若草園若葉 園、さくらワークス)	家族 8名 職員 7名
H31.03.20	卒園お祝い食事 会	卒業卒園をお祝いし、これから社会に出る門出に際して 食事会を実施	児童 1名 職員 6名
H31.03.29	卒園生を祝う会	1年間のまとめの行事として実施 記念品の贈呈や卒園する高校3年生をみんなで祝う	児童 19名 職員 12名

【その他の児童サービス】

《 登米市日中一時支援事業 》

1. 年間延べ利用人員 1,777 名
2. 年間稼働日数 309 日
3. 年間稼働率 28.75 %
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
日 中 一 時	4時間未満	206	102	96	194	309	100	92	86	145	100	83	202	1,715
	4～6時間	3	6	1	1	9	0	0	0	4	3	0	25	52
	6～8時間	1	0	0	0	6	0	0	0	2	0	1	0	10
	8時間以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	送迎	106	53	58	100	154	49	51	53	75	46	39	95	879
合計(送迎含まず)	210	108	97	195	324	100	92	86	151	103	84	227	1,777	

【療育サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修(こじか園主催・実施関係)

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.04.20	登米市の療育支援支援システムについて	施設長	こじか園職員 18名
H30.05.22	腰痛予防について	看護師	こじか園職員 17名
H30.06.15	こじ豆①『就学について学ぶ』	迫支援学校	保護者等 14名
H30.07.20	コンプライアンス研修(交通法規の遵守)	施設長	こじか園職員 15名
H30.08.30	コンプライアンス研修(身体拘束の禁止について)	管理者	こじか園職員 6名
H30.09.06	こじか園ペアレント・プログラム①	地域生活支援C	保護者等 10名
H30.09.20	こじか園ペアレント・プログラム②	地域生活支援C	保護者等 7名
H30.09.21	フルインクルージョンについて	施設長	こじか園職員 14名
H30.10.04	こじか園ペアレント・プログラム③	地域生活支援C	保護者等 8名
H30.10.08	こじか園ペアレント・プログラム④	地域生活支援C	保護者等 6名
H30.10.26	障害者虐待防止について	管理者	こじか園職員 8名
H30.11.01	こじか園ペアレント・プログラム⑤	地域生活支援C	保護者等 10名
H30.11.06	こじ豆②『言葉を話すまでのプロセス』	県リハセンターST	保護者等 39名
H30.12.19	目指すべき職員のイメージ	施設長	こじか園職員 18名
H30.12.19	コンプライアンス研修(虐待の防止について)	管理者	こじか園職員 10名
H31.01.31	こじか園ペアプロ フォローアップ	地域生活支援C	保護者等 6名
H31.02.21	発達障害者支援体制の充実・強化	施設長	こじか園職員 16名
H31.02.26	障害者虐待防止法について	管理者	こじか園職員 6名

(2) 内部研修(法人本部主催・実施関係)

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.06.08	新任職員研修(第1グループ)	法人役員 他	職員2名
H30.06.15	新任職員研修(第2グループ)	法人役員 他	職員2名
H30.09.28	第39回 恵泉会職員研修大会	WJU	職員3名
H31.01.16	准職員フォローアップ研修	法人役員 他	職員3名
H30.05.24 ～ H31.03.18	管理職育成研修	WJC	職員2名

(3) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
H30.05.23	障がい福祉支援者サポート事業	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
H30.05.25	登米市障害福祉サービス職員等研修①	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
H30.06.13	特別支援教育研究会	登米市教育研究所	登米市	職員2名
H30.06.25	障がい者虐待防止・権利擁護セミナー	恵泉会グループホーム	登米市	職員1名
H30.07.12	安全運転管理者等講習会	宮城県安管協会	登米市	職員1名
H30.07.18	発達障害者支援センターえくぼ研修	ワーキング部会	登米市	職員6名
H30.07.19	障がい者虐待防止・権利擁護セミナー	恵泉会グループホーム	登米市	職員1名
H30.07.26	2018 チャイルドサマーセミナー	(株)チャイルド	仙台市	職員1名
H30.08.07	給食施設調理従事者等研修会	登米保健所	登米市	職員1名
H30.08.20	特別支援学校専門性向上研修	迫支援学校	登米市	職員1名
H30.08.31	指定障害福祉サービス事業者等集団指導	宮城県	石巻市	職員1名
H30.10.01 H30.10.02	宮城県社会福祉施設新任職員研修4班	宮城県社協	仙台市	職員1名
H30.10.24	登米市障害福祉サービス職員等研修②	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
H30.10.30	県立特別支援学校訪問指導(公開研究)	迫支援学校	登米市	職員6名
H31.01.18	発達障害児支援研修会	登米保健所	登米市	職員5名
H31.01.21 H31.02.20 H31.02.27	宮城県相談支援従事者現任研修	宮城県社協	仙台市	職員1名

H31.02.05	相談支援事業勉強会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
H31.02.25	医療的ケア児等支援者養成研修	相談支援従事者部会	仙台市	職員1名
H31.02.26				

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
スタッフ会議	月間予定, 事業方針・内容の調整協議	毎月1回	全職員対象
ケアカンファレンス	療育や支援に関する調整・協議 個別支援計画に関する確認	毎月1回 または随時	全職員対象

### (2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
随時	行政機関連携会議(市教委,福祉事務所 他)	こじか園	担当職員
随時	登米市障害者自立支援協議会(部会,研修,全体会)	登米市福祉事務所ほか	施設長
年12回	相談支援事業者 事例検討会	こじか園ほか	相談支援専門員
随時	迫支援学校 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随時	石越保育所 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随時	さくら幼稚園 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随時	豊里幼稚園 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随時	東郷幼稚園 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随時	錦織保育園 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随時	中田幼稚園 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随時	米山西幼稚園 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随時	浅水小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随時	上沼小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随時	佐沼小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随時	新田小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
随時	東郷小学校 連携会議	こじか園ほか	児発管,担当職員
不定期	障害児教育相談連絡会	迫支援学校	児発管、担当職員

## 3. 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	事故原因の分析・改善, サービス提供時におけるリスクの評価・検討	年11回	管理者,委員,関係職員
サービス向上・研修委員会	施設サービス向上のための検証・改善 研修計画の立案と実施	随時	管理者,委員,関係職員
防災委員会	非常災害時に備えた計画の整備や訓練活動の企画・実施	年11回	管理者,委員

### (2) その他の委員会

- 障害児者支援ワーキング部会
- 事務部会
- 看護師部会
- 栄養士部会
- リハビリテーション部会
- 地震防災対策委員会

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
H30.06.18	錦織保育園	施設見学, 療育体験	2名
H30.07.10	中田中スクールカウンセラー他	施設見学	2名
H30.07.23	迫支援学校	施設見学	16名
H30.08.02	ボランティア(佐沼中, 東和中, 登米総産高)	施設見学, 環境整備, 療育体験	4名
H30.08.02	中田幼稚園	施設見学	2名
H30.08.03	東郷幼稚園	施設見学	1名
H30.08.07	米山西幼稚園	施設見学	2名
H30.08.09	ボランティア(佐沼中, 中田中, 佐沼高)	施設見学, 環境整備, 療育体験	3名
H30.08.27	みどりご園	施設見学	1名
H30.08.27	ボランティア(石巻専修大)	施設見学, 環境整備, 療育体験	2名
H30.09.01	ボランティア(石巻専修大)	環境整備, 療育体験	1名
H30.09.03	ボランティア(石巻専修大)	環境整備, 療育体験	2名
H30.09.04	ボランティア(石巻専修大)	環境整備, 療育体験	2名
H30.09.06	ボランティア(石巻専修大)	環境整備, 療育体験	2名
H30.09.10	ボランティア(石巻専修大)	環境整備, 療育体験	1名
H30.09.11	ボランティア(石巻専修大)	環境整備, 療育体験	2名
H30.09.13	ボランティア(石巻専修大)	環境整備, 療育体験	2名
H30.09.14	中田幼稚園	施設見学	2名
H30.09.17	ボランティア(石巻専修大)	環境整備, 療育体験	2名
H30.09.18	ボランティア(石巻専修大)	環境整備, 療育体験	2名
H30.09.20	ボランティア(石巻専修大)	環境整備, 療育体験	2名
H30.09.27	さくら幼稚園	施設見学	1名
H30.10.29	南方幼稚園	施設見学	2名
H30.11.08	加賀野小学校	施設見学	1名
H30.11.29	中田保育所	施設見学	2名
H31.01.18	中田幼稚園	施設見学	2名
H31.03.12	南方幼稚園	施設見学	2名
H31.03.15	はげまし学園	施設見学	1名
計			66名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
H30.05.14	仙台白百合女子大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
H30.05.28	仙台青葉学院短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
H30.05.28	仙台医療福祉専門学校	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
H30.06.25	東北福祉大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2名	20名
H30.08.20	宮城学院女子大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
H30.09.03	聖和学院短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
H30.09.18	宮城誠真短期大学	保育実習(10日間) 観察・演習	2名	20名
H30.10.01	仙台こども専門学校	保育実習(10日間) 観察・演習	1名	10名
計			10名	100名

(3) フリーカフェ

年月	項目	利用数	年月	項目	利用数
H30.04	こじカフェ(家族交流支援)	23名	H30.10	こじカフェ(家族交流支援)	6名
H30.05	こじカフェ(家族交流支援)	9名	H30.11	こじカフェ(家族交流支援)	6名
H30.06	こじカフェ(家族交流支援)	5名	H30.12	こじカフェ(家族交流支援)	14名
H30.07	こじカフェ(家族交流支援)	14名	H31.01	こじカフェ(家族交流支援)	26名
H30.08	こじカフェ(家族交流支援)	8名	H31.02	こじカフェ(家族交流支援)	13名
H30.09	こじカフェ(家族交流支援)	0名	H31.03	こじカフェ(家族交流支援)	27名
計					151名

## 【今後の取り組み】

### 1. 【平成31年度に向けて】

こじか園では、障害児の通所支援事業所として平成23年度の指定管理開始から3期目の2年が経過し、指定管理施設として質の高い療育プログラムの提供を目指し、サービス提供および事業運営を行わせていただいています。

事業の実施にあたっては、児童福祉法や障害者総合支援法等関係法令および登米市児童発達支援センターこじか園条例、ならびに恵泉会理念に沿った運営を行うことを基本としながら、児童発達支援管理責任者を中心とする『全体集団活動』と、発達段階・習熟度・年齢等を総合的に勘案してクラス分けを行う『小集団活動』を中心療育形態とし、一人ひとりの強みや興味関心を引き出しながら、生きる力と意欲ある生活ができる療育訓練の実践に努めます。併せて、『医療的ケア児童』への対応については、継続して施設内の体制整備を進めると共に、適切かつ安全な看護・医療支援が提供できるよう対応の強化と質の向上を目指していきます。

また、保育所等訪問支援事業と障害児相談支援事業においては、効果的な推進及び更なる活性化を目標に掲げ、児童発達支援センターとしての役割でもある地域の中核的な機能を果たすべく、各事業内容の周知を図りながら、児童が集団での生活にしなやかに適応していけるよう、関係先との連携会議を定期的に計画し、事業の円滑かつ重層的・継続的な実施に繋がるよう努めていきます。

家族支援や地域支援については継続して力を入れていき、家族・支援者向けセミナー（通称:こじ豆）の実施においては、「家族と共に考える子育て」をテーマに、家族や地域で療育事業に関わる方々が知りたい知識や体験したい活動などを中心に開催し、地域の療育力・地域の子育て力を高められる取り組みを考えていきます。

#### \*\*\* こじか園が目指す児童発達支援センター \*\*\*

- 誰もが利用しやすい児童発達支援センター
- 相談から療育まで一貫した支援のできる児童発達支援センター
- 早めの「気づき」と「十分な支援」が約束できる児童発達支援センター
- ご家族や児童、学校等関係機関の意見を反映し、共に学び、連携のとれる児童発達支援センター
- 「認知・学習訓練」「感覚統合訓練」「運動・機能訓練」「体験・発見活動」「心とあそびの時間」の5領域が訓練のできる児童発達支援センター

### 2. 【平成31年度 こじか園 療育目標】

こじか園では、次の内容を療育目標と掲げ、子供たちの可能性を追求し、家族支援を強化して参ります。

- ㊦ 子供たちの「できる」「できた」、一瞬の感動を大切にします。
- ㊧ 自分で「伝える」、自分で「考える」、自分で「決める」力を伸ばしていきます。
- ㊨ 家族の「想い」、家族と一緒に「子育て」、家族同士の「交流」を大事にします。

### 3. 【児童発達支援センターとしての役割】

- ◇ 障害種別に関わらない適切な障害児通所支援サービスの提供
- ◇ 身近な障害児支援の拠点となる地域支援サービスの提供
  - ① 地域の障害児やその家族へのサービス利用に関する相談支援
  - ② 家族や地域の保育施設・学校等教育施設への援助・助言
- ◇ 関係機関との連携やノウハウの共有による地域支援体制の強化
- ◇ 関係機関との連携やノウハウの共有による地域支援体制の強化

### 4. 【施設機能の解放】

- ・保育士養成に係る現場実習の受入(平成31年度受入予定…16名)
- ・学生の職場体験やキャリア教育、ボランティア受け入れに関する協力
- ・母子通園による施設開放および支給決定前の児童を対象とした体験療育「すくすく広場」の随時開催
- ・「こじカフェ」の設置(毎週火曜日および行事实施に合わせて対応)  
保護者や地域で療育されている母子が自由に集う喫茶スペースを設置し、茶話会や図書貸し出し、ワークショップを開催する
- ・ご家族や保育施設等職員、障害児通所支援事業所職員等を対象としたセミナー(こじ豆)の実施
- ・障害児通所施設職員の療育実習受け入れや、中田町上沼地区の高齢者との交流機会の継続

# 平成30年度 南方保育所 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市南方町山成前1074-2 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人 惠泉会         |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人 惠泉会         |
| 4. 開 設 年 月 日 | 昭和53年 4月 1日        |
| 5. 利 用 定 員   | 70名                |

## 【 基 本 方 針 】

- 0歳児 一人ひとりの生活リズムを把握し、心地よく過ごせるよう保護者とも十分に連携を取り合うことができた。また、共通理解を図ることで、個々の成長を保護者とともに喜びあうことができた。
- 1歳児 一人ひとりとの信頼関係の確立に努め、成長、発達段階に合った援助や支援を行うことで安定した情緒の中で過ごすことができた。
- 2歳児 個人差に配慮し、家庭と連携を図りながら生活習慣を身に付けられるよう援助を行い、できることが増えた。また、保育士が丁寧に関わることで、友達との関わりも深めることができた。
- 3歳児 一日の流れが分かり、自分のことは自分で行うようとする意欲が見られ、基本的な生活習慣が身に付いた。また、友達との関わりの中では、ぶつかり合いも多く、その都度保育士が仲立ちし、落ち着いて気持ちを整理できるように配慮した。
- 4歳児 トラブルが多かった友達との関わり合いも、他児の思いに気付き、受け入れ、遊びを提案していく楽しさ、協力する楽しさを知ることができた。また、基本的な生活習慣も身に付けることができた。
- 5歳児 様々な活動や行事などでの経験とおし、見通しをもって粘り強く取り組むことで達成感や充実感を味わうことができた。

## 【 重 点 項 目 】

- 1, 子どもの発達について理解し、子ども相互の関わりを重視して成長を促した。
- 2, 一人ひとりの子どもの気持ちを受け入れ、共感しながら信頼関係を築いた。また、家庭と協力しながら、子どもの適切な生活リズムがつくられていくように努めた。
- 3, 連絡ノートや送迎時の対話など、様々な機会をとおして保護者の抱えている悩みなどの相互理解を図った。
- 4, 園内研修や外部研修に参加し、必要な知識や技術の習得に努めた。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 20,276 名

2. 月別利用状況(名) (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	168	177	191	186	174	187	190	193	183	172	169	178	2,168
1歳児	229	221	241	217	191	237	231	237	248	207	218	274	2,751
2歳児	347	336	355	327	311	342	334	328	329	285	312	209	3,815
3歳児	370	338	375	362	316	357	373	348	343	280	331	290	4,083
4歳児	272	293	299	282	242	257	301	283	265	226	252	256	3,228
5歳児	349	363	379	368	329	324	405	372	340	321	324	357	4,231
計	1,735	1,728	1,840	1,742	1,563	1,704	1,834	1,761	1,708	1,491	1,606	1,564	20,276

3. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	82	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	83
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末入所者数	82	83	83	83	83	83	83	83	83	83	83	83	83

【利用者サービスの状況】

1. 保 育

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.04.01	入園式	平成30年度新入所児入園式	利用者 14名
			職員 15名
H30.04.28	保育参観	クラス別保育参観をする	利用者 74名
			職員 14名
H30.05.15	あやめ園交流会	歌を披露したり、施設見学をしながら、交流をする(ゆき組5歳児)	利用者 17名
			職員 2名
H30.06.04	交通安全教室	交通指導隊に依頼し、交通ルール等の話を聞く	利用者 79名
			職員 14名
H30.06.06	キッズつぼみ交流会	事業所内保育所のキッズつぼみとの関わりの中で、一緒に遊びを見つけて楽しむ(ほし組)	利用者 10名
			職員 2名
H30.06.13	幼保交流会	南方幼稚園を訪問し、交流会実施(ゆき組5歳児)	利用者 18名
			職員 2名
H30.07.05	百楽荘交流会	歌や踊りを披露し、利用者の方々とふれあう(つき組)	利用者 17名
			職員 2名
H30.07.10	南風園交流会	歌や踊りを披露し、利用者の方々とふれあう(ゆき組4歳児)	利用者 12名
			職員 3名
H30.08.10	夕涼み会	保護者や近隣の方を招待して、宮太鼓や盆踊りを行い楽しいひとときを過ごす	利用者 78名
			職員 16名
H30.08.29	萩風園交流会	歌や踊りを披露し、利用者の方々とふれあう(つき組)	利用者 16名
			職員 4名
H30.09.04	南寿荘交流会	歌や踊りを披露し、利用者の方々とふれあう(ほし組)	利用者 11名
			職員 3名
H30.09.14	ほたるの郷交流会	歌や踊りを披露し、利用者の方々とふれあう(ゆき組5歳児)	利用者 18名
			職員 3名
H30.10.06	運動会	南方総合運動場体育館にて運動会を実施する	利用者 82名
			職員 14名
H30.10.17	人権教室	人権擁護委員が来園し、紙芝居の読み聞かせを行う(ゆき組4歳児、つき組)	利用者 27名
			職員 5名
H30.10.17	西郷小学校学芸会見学	小学生の劇などを見学する(ゆき組5歳児)	利用者 18名
			職員 2名
H30.10.25	ダンス教室	ダンスをとおして、体を動かす楽しさを知る(ゆき組)	利用者 31名
			職員 3名
H30.10.27	子育て講座	親子で楽しみながら子育て講座に参加する	利用者 36名
			職員 13名
H30.10.30	翔裕園交流会	歌や踊りを披露し、利用者の方々とふれあう(つき組)	利用者 17名
			職員 3名
H30.11.08	幼保合同人形劇鑑賞	南方幼稚園にて3園合同で人形劇鑑賞をする(ゆき組)	利用者 27名
			職員 3名
H30.11.09	西郷フェスティバル	小学校の子ども達とふれあい、小学校に期待を持つ(ゆき組5歳児)	利用者 9名
			職員 1名
H30.11.09	保幼小交流会	幼稚園や小学校の子ども達とふれあい、小学校に期待を持つ(ゆき組5歳児)	利用者 8名
			職員 1名
H30.12.01	お遊戯会	南方町環境改善センターにてお遊戯会を実施する	利用者 82名
			職員 14名
H30.12.18	南寿大学交流会	地域の高齢者の方々に歌や踊りを披露し、ふれあう(ゆき組)	利用者 30名
			職員 4名
H30.12.26	もちつき会	正月に向けて、昔ながらの杵と臼を使って餅をつき、日本の伝統行事を知る	利用者 76名
			職員 15名
H31.01.11	光風園交流会	歌や踊りを披露し、利用者の方々とふれあう(ゆき組5歳児)	利用者 17名
			職員 3名
H31.01.16	あやめ園交流会	地域の高齢者の方々に歌や踊りを披露し、ふれあう(ゆき組)	利用者 32名
			職員 4名

H31.02.13	茶道教室	お茶会の雰囲気を楽しみながら、日本の伝統文化に触れる(ゆき組5歳児)	利用者	16名
			職員	3名
H31.02.16	一日入所	平成31年度新入所児と保護者を対象にし、入所に関する話及び個人面談を行う	利用者	7名
			職員	5名
H31.02.23	保育参観	クラス別保育参観をする	利用者	75名
			職員	12名
H31.03.05	若生園交流会	歌や踊りを披露し、利用者の方々とふれあう(ゆき組)	利用者	13名
			職員	2名
H31.03.07	キッズつぼみ交流会	事業所内保育所のキッズつぼみとの関わりの中で、一緒に遊びを見つけて楽しむ(ほし組)	利用者	11名
			職員	2名
H31.03.13	修了式・お別れ会	修了児をお祝いし、バイキングで人気メニューを取り入れ、お別れ会を行う	利用者	81名
			職員	13名
H31.03.23	卒園を祝う会	平成30年度卒園児のお祝いの会を行う	利用者	17名
			職員	14名

## 【利用者サービスの向上】

### 1. 職員研修実施状況

#### (1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.04.24	防災設備(配電盤)について	介助員	保育士 5名
H30.04.28	防災設備(配電盤)について	介助員	保育士 9名
H30.05.11	新任職員研修	施設長心得	保育士 2名
H30.06.18	接遇、ケースの書き方等について	副主任	保育士 4名
H30.07.17	小児対象救急講習	保育士	保育士 3名
H30.10.16	心肺蘇生法、AEDの使い方等について	登米市消防署西出張所	保育士12名
H31.01.23	コンプライアンスについて	施設長心得	保育士 6名

#### (2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
H30.04.20	宮城県保育士養成校保育実習協議会説明会	宮城県保育士養成校連絡協議会	大崎市	副主任
H30.05.16~17	防火管理者講習	登米市	迫町	副主任
H30.06.14	登米地方保育所協議会1・2歳児部会	登米地方保育所協議会	迫町	保育士
H30.06.19	登米地方保育所協議会主任部会	登米地方保育所協議会	迫町	副主任
H30.06.20	登米地方保育所協議会3歳児部会	登米地方保育所協議会	迫町	保育士
H30.06.21	登米地方保育所協議会4歳児部会	登米地方保育所協議会	迫町	保育士
H30.06.26	登米市保育所・児童館等中堅・監督職員研修	登米市福祉事務所	南方町	保育士
H30.06.27	登米地方保育所協議会0歳児部会	登米地方保育所協議会	中田町	保育士
H30.07.12	安全運転管理者講習	宮城県公安委員会	中田町	施設長心得
H30.07.13	北海道・東北ブロック保育研究大会	宮城県保育協議会	仙台市	施設長心得
H30.07.19	午睡チェックセミナー	ユニファ(株)	仙台市	施設長心得
H30.07.20	クレーム対応研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	施設長心得
H30.07.26	チャイルドサマーセミナー	(株)チャイルド	仙台市	保育士
H30.09.12	登米地方保育所協議会4歳児部会	登米地方保育所協議会	中田町	保育士
H30.10.18	登米地方保育所協議会5歳児部会	登米地方保育所協議会	迫町	保育士
H30.10.24	登米地方保育所協議会0歳児部会	登米地方保育所協議会	迫町	保育士
H30.10.30	登米地方保育所協議会1・2歳児部会	登米地方保育所協議会	中田町	保育士
H30.12.05	保育施設長会議	登米市福祉事務所	南方町	施設長心得
H31.01.17	登米地方保育所協議会5歳児部会	登米地方保育所協議会	登米町	保育士
H31.01.18	登米地方保育所協議会4歳児部会	登米地方保育所協議会	中田町	保育士
H31.01.22	登米地方保育所協議会主任部会	登米地方保育所協議会	中田町	副主任
H31.01.23	登米地方保育所協議会1・2歳児部会	登米地方保育所協議会	中田町	保育士
H31.01.30	登米地方保育所協議会3歳児部会	登米地方保育所協議会	迫町	保育士
H31.02.06	登米地方保育所協議会0歳児部会	登米地方保育所協議会	迫町	保育士
H31.02.20	保育所訪問方研修会	登米市福祉事務所	南方町	保育士

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	次月の行事予定、各部署からの連絡	毎月1回	全職員
給食会議	前月の給食の状況、改善点等	毎月1回	施設長心得、副主任保育士、委託業者

### (2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
随 時	ケース検討会議	事務室	職員全員
毎月1回	防災委員会	事務室	委員他
毎月1回	リスクマネジメント委員会	事務室	委員他
3ヶ月に1回	地域交流委員会、研修委員会	事務室	委員他

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・職場体験受入状況

年月日	団 体 名	内 容	来 訪 者 数
H30.5.16～18	南方中学校	職場体験	15名
H30.8.2～3	登米市社会福祉協議会(Jボランティア)	職場体験	6名
H31.03.11	東北福祉大学	ボランティア	1名

### 2. 実習受入状況

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
H30.7.9～23	宮城誠真短期大学	保育実習Ⅰ期	1名	10名
H30.7.26～8.8	宮城誠真短期大学	保育実習Ⅱ期	1名	10名
H30.8.20～31	東北福祉大学	保育実習Ⅰ期	1名	10名
H30.9.1～15	東北福祉大学	保育実習Ⅱ期	1名	10名
計			4名	40名

## 【今後の取り組み】

### (1) 子どもの最善の利益を考慮

入所する子ども一人ひとりにとって、何が一番良いことなのかを最優先に考え、援助する。

### (2) 養護と教育の一体的に行う

家庭と緊密な連携を取り、子ども達の生命を保持し、子どもの心の安定を図る。

### (3) 保護者と地域の子育て家庭に対する支援

保護者との相互理解を深め、保護者の状況に配慮した個別の支援を行う。また、地域と連携を図りながら、開かれた保育所として地域の子育て力の向上に貢献していく。

### (4) 保育士の専門性の向上

質の高い保育を展開するために、一人ひとりの質を高め、さらに職員全体の専門性も高めていく。

# 平成30年度 事業所内保育所 キッズつぼみ 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市登米町寺池馬場塚777 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会        |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会        |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成28年 4月 1日       |
| 5. 利 用 定 員   | 11名               |

## 【 基 本 方 針 】

地域型保育事業所として事業所内保育の運営に当たっては、保育指針に基づき、それぞれの子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場として、子どもや保護者、地域、そしてそこで働く職員たちがお互いに育ちあえる場、安心して楽しく生活できる拠点にする。

## 【 重 点 項 目 】

- (1) 子育て、子育ての拠点として：地域の方にも事業所を開放する場を設け、事業所を知っていただくと同時に遊びの場の提供をした。今後は回数を増やし、地域の方が広く利用出来る様に働きかける。
- (2) 地域ニーズ：登米市の動向を視野に入れながら、地域・保護者のニーズを把握する様に努めた。
- (3) 保護者との連携：日々の保育を行う中で、子ども達の成長の様子を保護者に伝え、共に子育てについて考える場とした。また、登米市の保健師をお招きし、保護者と一緒に「子育てのポイント」について学べた。
- (4) 社会的使命感：社会ニーズをしっかりと把握しながら事業所は何をするべきなのかを職員間で考える場と
- (5) 研修：計画的に研修に参加し、それを職員に伝達研修する事で職員の質の向上に努めた。
- (6) 連携：市内でどの様な専門機関があるのかを把握し、研修に参加する事で職員の質を高めると同時に地域との繋がりを深める様にした。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員                      3,163 名

2. 月別利用状況(名) (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
0歳児	0	0	12	41	35	42	63	55	67	102	116	109	642
1歳児	63	57	62	63	54	53	70	54	58	51	59	58	702
2歳児	130	140	154	167	157	135	176	154	155	143	143	165	1,819
計	193	197	228	271	246	230	309	263	280	296	318	332	3,163

3. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	10	0	2	1	0	0	1	0	1	2	0	0	17
退所者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
月末入所者数	10	10	12	13	13	13	14	14	15	17	17	17	17

【利用者サービスの状況】

1. 保 育

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
30. 4. 7	ウェルカムパーティー	ご家族をお招きし、職員紹介をしたり、親子触れ合いゲームを楽しみながら保育所での様子を見ていただく	利用者 9名 職員 7名
30. 5. 8	お楽しみ会	保育室で異年齢児と交流を図りながら買い物ごっこを行う	利用者 9名 職員 7名
30. 5. 28	クッキング (筍ご飯おにぎり作り)	旬の食材を使い、自分で作る楽しさ、食べる喜びを味わう	利用者 10名 職員 6名
30. 6. 4	歯磨き教室	手作りパペットをとおして歯の大切さを知る	利用者 10名 職員 6名
30. 6. 11	クッキング (マセドアンサラダ)	お友だちと一緒にサラダを作る事を楽しみ、食べる喜びを味わう	利用者 10名 職員 5名
30. 6. 26	光風園訪問	光風園利用者様の前で歌ったり、踊ったりすることを楽しむ	利用者 8名 職員 4名
30. 7. 5	七夕交流会	高齢者の方々と触れ合いながら季節の行事に参加し、歌ったり、表現する事を楽しむ	利用者 11名 職員 7名
30. 8. 10	夏祭り	保護者や他利用者様と一緒に夏祭りの雰囲気を感じながら行事に参加する	利用者 9名 職員 8名
30. 9. 14	敬老交流会	恵はあと利用者様と歌を歌ったり、触れ合いを楽しむ	利用者 13名 職員 7名
30. 9. 16	登米秋祭り参加	地域の行事に参加し、キッズつぼみを知っていただく	利用者 7名 職員 4名
30. 9. 25	子育て講座 保育参観	子育てについて学びの場になるようにする。普段の様子を保護者様に見ていただく	利用者 9名 職員 8名
30. 10. 6	運動会 (南方保育所合同)	運動会に参加する事で丈夫な体と豊かな心を育てると共に事業所内保育所との交流を図る	利用者 12名 職員 7名
30. 10. 17	クッキング (さつま芋サラダ)	自分で作る事を楽しみお友だちと一緒に喜んで食べる	利用者 11名 職員 4名
30. 10. 22	クッキング (さつま芋茶巾)	収穫したさつま芋の感触や匂いを感じながら、自分で作って食べる喜びを味わう	利用者 10名 職員 6名
30. 10. 24	クッキング (芋煮汁)	季節の食材に触れながら楽しんで作り、味わう	利用者 11名 職員 6名
30. 11. 27	アウトリーチ事業	落ち着いた雰囲気の中で音楽に親しみながら、楽器や音に興味を持つ	利用者 14名 職員 7名
30. 12. 1	お遊戯会 (南方保育所合同)	お遊戯会をとおして歌ったり、リズムに乗ったり、体を動かして表現する楽しさを味わう	利用者 14名 職員 7名
30. 12. 25	キッズつぼみ遊ぼう会 クリスマス会	地域のお子さんをお招きし、クリスマスの雰囲気を味わいながら製作や歌を歌って楽しむ	利用者 15名 職員 7名
31. 2. 1	豆まき	節分の行事に参加し、伝統的な行事に興味を持つ	利用者 15名 職員 7名
31. 3. 1	ひな祭り会	桃の節句をお祝いし、みんなでひなまつりに関するゲームをして触れ合い楽しむ	利用者 16名 職員 7名
31. 3. 7	南方保育所体験	同年齢の子ども達との関わりの中で集団保育の楽しさを感じ、進級する事に期待感をもつ	利用者 8名 職員 2名
31. 3. 9	おもいでパーティー	1年間の成長や思い出を振り返り、楽しい時間を過ごす	利用者 8名 職員 2名
31. 3. 18	クッキング (ぼた餅)	季節の食材や食べ物に触れながら自分で作った物をお友だちと一緒に食べる	利用者 16名 職員 6名

\*この他、該当月にお誕生会を実施。

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
30. 4. 23	法令遵守に関する研修について	管理者	保育士 3名
30. 4. 25	法令遵守に関する研修について	管理者	保育士 3名 栄養士 1名
30. 5. 17	プライバシー保護研修・保育所保育指針読み合わせ	管理者	保育士 5名 栄養士 1名
30. 5. 24	管理職育成研修	WJU	管理者1名
30. 5. 25	食中毒予防対策について	遠山荘看護師	保育士 4名 栄養士 1名
30. 5. 30	皮膚疾患・手足口病について	遠山荘看護師	保育士 5名 栄養士 1名
30. 6. 1	管理職育成研修	WJU	管理者1名
30. 6. 7	職員研修(北上こども園施設見学)		管理者1名 保育士 5名
30. 6. 15	平成30年度恵泉会新任職員研修		保育士 1名
30. 6. 20	水遊びの安全性と危険性について	保育士	管理者1名 保育士 3名
30. 7. 3	管理職育成研修	WJU	管理者1名
30. 7. 19	伝達研修・カウンセリング研修	保育士	保育士 4名
30. 7. 30	健康づくり(熱中症予防)	宮城県登米保健所	管理者1名 保育士 4名 栄養士1名
30. 8. 6	管理職育成研修	WJU	管理者1名
30. 8. 16	伝達研修・特別支援教育研修	保育士	管理者1名 保育士 4名
30. 9. 18	管理職育成研修	WJU	管理者1名
30. 10. 10	虐待防止について	介護支援センターとよま	管理者1名 保育士 4名 栄養士 1名
30. 10. 11	インフルエンザ等の感染症について(処理の仕方等実践的な講習)	遠山荘看護師	管理者1名 保育士4名 栄養士1名
30. 10. 23	管理職育成研修	WJU	管理者1名
30. 11. 20	管理職育成研修	WJU	管理者1名
30. 12. 21	管理職育成研修	WJU	管理者1名
31. 1. 15	管理職育成研修	WJU	管理者1名
31. 1. 24	伝達研修・幼児教育・保育のポイント、発達障害児支援研修	保育士・管理者	保育士 4名
31. 2. 8	管理職育成研修	WJU	管理者1名
31. 2. 15	管理職育成研修	WJU	管理者1名
31. 2. 21	様式確認・教材研究		管理者1名 保育士 4名
31. 3. 6	管理職育成研修	WJU	管理者1名
31. 3. 18	管理職育成研修	WJU	管理者1名
31. 3. 26	保育事故研修	保育士	管理者1名 保育士 3名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
30. 6. 7	平成30年度第1回カウンセリング研修会	登米市	迫町	保育士
30. 6. 13	平成30年度登米市特別支援教育研修会	登米市	中田町	保育士
30. 7. 4	平成30年度第2回カウンセリング研修	登米市	迫町	保育士
30. 7. 19	「るくみー午睡チェック」セミナー&体験会	フレーベル館	仙台市	管理者
30. 7. 26	2018 チャイルドサマーセミナーinSENDAI	株式会社 チャイルド本社	仙台市	保育士
30. 9. 7	平成30年度宮城県保育士等キャリアアップ研修	宮城県	大崎市	保育士
30. 9. 14	平成30年度学校保健研修	宮城県	迫町	保育士
30. 9. 19	保育所施設長研修	宮城県保育協議会	仙台市	管理者
30. 9. 21	平成30年度第3回カウンセリング研修	登米市	迫町	保育士
30. 9. 26	平成30年度宮城県保育士等キャリアアップ研修(1日目)	宮城県	大崎市	保育士
30. 10. 3	平成30年度宮城県保育士等キャリアアップ研修(2日目)	宮城県	大崎市	保育士
30. 10. 4	平成30年度宮城県保育士等キャリアアップ研修(3日目)	宮城県	大崎市	保育士
30. 10. 23	平成30年度保育担当者及び児童館等指導員研修	登米市福祉事務所	登米市	保育士
30. 11. 19	平成30年度宮城県保育士等キャリアアップ研修(1日目)	宮城県社会福祉協議会	大崎市	保育士
30. 11. 26	平成30年度宮城県保育士等キャリアアップ研修(2日目)	宮城県社会福祉協議会	大崎市	保育士
30. 11. 27	平成30年度保育担当者及び児童館等指導員研修	登米市福祉事務所	登米市	保育士
30. 12. 3	平成30年度宮城県保育士等キャリアアップ研修(3日目)	宮城県社会福祉協議会	大崎市	保育士
30. 12. 5	平成30年度保育施設長会議	登米市福祉事務所	登米市	管理者
30. 12. 17	平成30年度私立保育園(所)部会保育士研修会	宮城県保育協議会	仙台市	保育士

31.	1. 18	平成30年度発達障害児支援研修会	宮城県登米保健所	登米市	管理者
31.	2. 20	平成30年度保育所訪問型研修会	宮城県子ども総合センター	登米市	保育士
31.	2. 27	登米地域食育推進研修会	宮城県	登米市	栄養士

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職 員 会 議	次月の行事予定、各部署からの連絡	毎月1回	全職員(保育状況を考慮)
保 育 会 議	利用者の状況について	随 時	保育士全員(保育状況を考慮)
給 食 会 議	前月の給食の状況、改善点等	毎月1回	栄養士、保育士全員(保育状況を考慮)

### (2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
毎月1回	防災委員会	保育室	委員他
毎月1回	安全管理対策委員会	保育室	委員他
毎月1回	感染予防対策委員会	保育室	委員他
毎月1回	研修委員会	保育室	委員他
必要時に開催	サービス評価委員会・マニュアル検討委員会	保育室	委員他

## 【 今後の取り組み 】

### (1) 子育て、子育ての拠点として

保育所を利用している子どもや保護者はもちろん、地域で子育てをしている人たちも含め、子育て、子育て親の拠点となるよう目指す。

### (2) 地域ニーズ

社会の変化を把握し、常に地域ニーズを意識した事業展開をする。

### (3) 保護者との連携

保護者と連携を図りながら子どもの成長を見守り、共に成長の喜びを分かち合う。家庭での子育てが楽しいものになるよう支援する。

### (4) 社会的使命感

地域型保育という公的な事業所を行う事業体として社会的使命感を持って運営する。

### (5) 研修

職員の資質の向上のため、計画的に研修を儲け、質の高い保育者を目指す。

### (6) 連携

保育の専門機関として、様々な専門機関との連携を図り、個別対応が必要とされる子どもたちの保育システムを向上させる。

# 平成30年度 特別養護老人ホーム光風園 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市登米町寺池金沢山60-3  
2) 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会  
3) 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会  
4) 開 設 年 月 日 昭和51年4月1日  
5) 事業・利用定員

事業	利用定員
介護老人福祉施設	50名
短期入所生活介護	5名
計	55名

できるかぎり最後まで住み慣れた場所で、自分らしい暮らしが継続できるよう、ご家族、主治医や各関係機関と継続的に連携しより専門的な介護に努めることを目指した。

従来からの身体介護を軸とした介護と、認知症介護を含めたケアはもとより、看取り介護の推進や専門的口腔ケアの研修開催など、利用者の状態に応じ必要なケアがタイムリーに出来るよう、研修や委員会活動で知識・介護技術習得を重ねた。特に看取り介護の実践は、職員の質の向上につながる事が出来、また改めて施設とご家族の関係が深まった。この取り組みにより、家族との信頼関係が強固なものになり「入居者のしあわせづくり」につながる事が出来た。

また、小中学校や地域婦人部・コミュニティー、こども園など地域でなじみの関係性を大切にし、「地域からの信頼」が得られるよう交流を図った。

## 【 重 点 項 目 】

1. 恵泉会基本理念を基に、倫理綱領を規範とし福祉施策の展開に努める。  
一日々の朗唱により意識付けを図る。重点的な目標として今後も継続し実践していく。
2. 入居者自身が自己決定できるよう必要な情報を提供し、情報の開示、広報活動にも積極的に取り組む。  
一食事や日課など、日々の生活場面に変化をつけ自己決定出来るよう配慮する。ひまわり通信の発行による情報の発信や定期的な家族への情報提供を実施。
3. 入居者の尊厳を守り、利用者個々の自立支援を第一に、「安全・安心」なサービス提供に努める。  
一平均介護度が高く自立支援が難しい場面が有る。傾聴に努め支援を行う。事故防止に関しては今後も検討課題が残る。
4. 地域包括ケアで求められている新しいニーズに対応すべく、介護の改善・開発に努めると共に、保健・医療・福祉との連携を強化し、円滑なチームワークの構築を図り「多職種協働」を実践する。  
一日々のケアはもとより加算取得、委員会活動等多職種協働を実践している。
5. 安定した高品質なサービスを提供するため、時代の要求に応じた各種の研修を通じ、質の高い職員の育成に努める。  
一幅広い内外の研修に参加、職員の質の向上に努めた。
6. 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組める職場づくりに努める。  
一人事考課制度やリーダー制を活用、目標を明確化し育成につなげた。
7. 地域住民、関係機関との連携により、地域公益(貢献)活動を実践する。  
一地域の方に対する認知症の研修や保育所等へのボランティア訪問の実施。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 16,869 名
2. 年間稼働率 92.43 %  
(目標稼働率 97.00 %)
3. 年間平均介護度 4.13
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	60	62	44	31	46	60	62	60	62	62	56	31	636
要介護3	150	163	184	247	248	270	279	270	310	279	292	341	3,033
要介護4	572	593	600	617	651	559	557	518	541	541	448	516	6,713
要介護5	553	613	557	548	583	570	520	492	517	500	464	570	6,487
計	1,335	1,431	1,385	1,443	1,528	1,459	1,418	1,340	1,430	1,382	1,260	1,458	16,869

## 5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	3	0	2	2	0	0	2	0	1	3	2	15
退所者数	1	1	2	0	0	0	3	1	1	2	1	1	13
月末入所者数	46	48	46	48	50	50	47	48	47	46	48	49	+2

## 【利用者サービスの状況】

### 1. 生きがいサービス

#### (1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.04.20	さくらまつり	春の季節を感じていただき、他の入居者様と共にコミュニケーションを図りながら、ボランティアの方々のお手伝いを楽しんでいただく。	利用者 44名 職員 10名
H30.05.08 ～10	菖蒲湯	菖蒲湯に入浴し、無病息災を願うと共に季節感を味わっていただいた。	利用者 52名
H30.06.26	キッズつぼみ交流会	子ども達の歌や踊りを観覧し、交流を図り楽しむ。	利用者 32名 職員 5名
H30.07.05	七夕交流会	七夕飾り・短冊を作成し、笹竹に飾り付けし季節感を感じていただくと共に、余興を楽しんでいただいた。	利用者 27名 職員 4名
H30.07.27	夕涼み会	利用者の方々に季節を実感してもらおうと共に、「光風園」「家族」「地域」の交流を楽しまれた。	利用者 45名 職員 19名
H30.08.16	盆供養	住職を招き利用者職員で祖先を敬い、亡くなられた方々のご冥福を祈った。	利用者 45名 職員 5名
H30.09.14	長寿を祝う会	利用者様の長寿を祝い、長年の労に感謝し、幸せを願い、地域の皆様やご家族を招待し盛大に行われた。	利用者 47名 職員 13名
H30.10.05	芋煮会	秋の味覚である芋煮汁を調理することで季節を感じていただいた。また、映画会を行い気分転換を図り楽しく過ごされた。	利用者 34名 職員 12名
H30.12.12	クリスマス忘年会	一年の思い出話をしながら一年を振り返ると共に、クリスマスの雰囲気を楽しむことで季節感を感じていただいた。	利用者 35名 職員 9名
H30.12.21	サンタばあばの贈り物	子ども達にサンタクロースに扮してプレゼントを配りながら交流を行う。	利用者 0名 職員 2名
H30.12.18 ～20	柚子湯	冬至に伝統的な柚子湯に浸かることで、季節感を味わっていただいた。	利用者 48名
H31.01.11	新年あけおめ交流会	今年一年健康で幸せに過ごしていただけるよう、利用者職員でお祝いをし、お正月メニューで新年を感じていただく。	利用者 29名 職員 6名
H31.02.01	節分	節分という伝統行事を、利用者職員共に楽しみながら、一年間の無病息災を願い豆まきが行われた。	利用者 25名 職員 6名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 1,703 名
2. 年間稼働率 93.32 %  
(目標稼働率 97.00 %)
3. 年間平均介護度 3.84
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	2	2	2	7	5	2	2	2	2	2	2	2	32
要介護2	9	7	9	9	3	3	13	27	4	4	4	5	97
要介護3	49	54	47	49	27	22	29	7	24	37	29	34	408
要介護4	59	62	63	62	59	59	93	41	44	70	60	62	734
要介護5	39	44	36	48	43	41	25	31	57	11	18	39	432
計	158	169	157	175	137	127	162	108	131	124	113	142	1,703

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.04.04	公用車特殊車両取扱・設備関係(止水栓等)について	介護福祉士	主任他3名
H30.5.11.14.24	身体拘束廃止について	介護福祉士	光風園職員17名
H30.05.17	服務規程について	施設長	新任職員5名
H30.05.17	介護の基本、介護禁句集について	介護福祉士	新任職員5名
H30.05.24	2018年度管理者研修オリエンテーション	WJU	施設長
H30.06.08	食中毒研修	管理栄養士	光風園職員12名
H30.06.08	恵泉会新任職員研修	理事長他	看護師
H30.06.15	恵泉会新任職員研修	理事長他	介護員
H30.06.15	感染症研修・褥瘡予防研修	准看護師	光風園職員10名
H30.07.03	2018年度恵泉会管理者研修(第1回)	WJU	施設長
H30.07.04	恵泉会管理者研修(第1回)	WJU	相談員
H30.07.13	脱水症の原因と予防について	看護師	光風園職員
H30.08.06	平成30年度管理職育成研修	WJU	施設長
H30.09.07	コンプライアンス研修	施設長	光風園職員
H30.09.18	恵泉会管理者研修	WJU	施設長
H30.09.19	恵泉会管理者研修(第2回)	WJU	相談員
H30.09.25	リスクマネジメント研修(食事介助について)	介護福祉士	光風園職員7名
H30.10.17	眠りSCAN使用法について	パナマウント株式会社	光風園職員10名
H30.10.19	身体拘束廃止について	介護福祉士	光風園職員8名
H30.10.23	恵泉会管理者研修	WJU	施設長
H30.10.31・11.20	中堅職員研修	宮城県社会福祉協議会	介護福祉士
H30.11.11・14・15	公用車(リフト)運転研修	介護福祉士	光風園職員5名
H30.11.20	恵泉会管理職研修	WJU	施設長
H30.12.20	恵泉会管理職研修	WJU	施設長
H31.01.11	公用車(リフト)運転研修	介護福祉士	光風園職員3名
H31.01.15	恵泉会管理職研修	WJU	施設長
H31.2.4、5	公用車(リフト)運転研修	介護福祉士	光風園職員4名
H31.2.8・15	恵泉会管理職研修	WJU	施設長
H31.3.6・18	恵泉会管理職研修	WJU	施設長
H31.03.15	リスクマネジメント研修	介護福祉士	光風園職員11名
H31.3.18・19 20・25・26・27・28	認知症内部研修	光風園研修委員	光風園職員16名

## (2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
H30.04.26	平成30年度宮城県老人福祉施設協議会通常総会	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	施設長
H30.06.07	平成30年度登米地区栄養士会研修会	宮城県登米保健所	登米市	管理栄養士
H30.06.08	平成30年度介護リーダー養成研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	介護福祉士
H30.06.28	安全運転管理者研修	佐沼警察署	登米市	施設長
H30.06.29	平成30年度トップセミナー I	宮城県社会福祉協議会	仙台市	施設長
H30.07.03	平成30年度社会福祉施設の階層別クレーム対応研修(入門編)	宮城県社会福祉協議会	仙台市	介護福祉士
2018/7/8.9	第81回宮城県緩和ケア研修会	大崎市民病院	大崎市	看護師
H30.07.12	平成30年度宮城県社会福祉施設中堅・監督職員研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	介護福祉士
H30.07.20	平成30年度社会福祉施設の階層別クレーム対応研修(管理監督者編)	宮城県社会福祉協議会	仙台市	相談員
H30.07.25	平成30年度職場のリーダーシップ研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	介護福祉士
H30.08.02	平成30年度介護保険サービス事業者集団指導	宮城県東部保健福祉事務所登米地域事務所	登米市	相談員
H30.08.08	平成30年度介護報酬改定(栄養関連)に関する伝達研修会	宮城県社会福祉協議会	仙台市	管理栄養士
H30.9.13・14	東北ブロック老人福祉施設研修会	全国老人福祉施設協議会	福島県	介護福祉士
H30.09.19	介護事業場を対象とした労務管理セミナー	瀬峰労働基準監督署	栗原市	施設長
H30.09.21	平成30年度第1回登米栄養士会病院・福祉部会研修会	宮城県登米保健所	登米市	管理栄養士
H30.10.03	平成30年度リスクマネジメント研修(入門編)	宮城県社会福祉協議会	仙台市	介護員
H30.11.20	平成30年度高次脳機能障害者支援研修会	宮城県登米保健所	登米市	介護福祉士
H30.11.27	平成30年度宮城県高齢者権利擁護推進研修権利擁護事例検討会	宮城県	仙台市	介護員
H30.11.27	平成30年度 第2回登米地区地域ネットワーク会議	登米・東和地域包括支援センター	登米市	介護福祉士
H30.11.29	平成30年度看護職員研修	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	看護師
H31.2.14・15	平成30年度第2回介護福祉士養成施設実施指導者研修会	宮城県介護福祉士会	仙台市	介護福祉士
H31.03.04	平成30年度宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市	生活相談員
H30.3.7・8	平成30年度第2回介護福祉士養成施設実施指導者研修会	宮城県介護福祉士会	仙台市	介護福祉士

## 2. 会議開催状況

## (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	事業計画の遂行並びに各種報告及び課題について検討	毎月第三金曜日	光風園全職員
連絡会議	各セクションの代表者により次週並びに翌月の事業予定について検討	随時	各セクションの代表者
サブリーダー会議	課題・問題についてチームで検討・協議	随時	介護職員
サービス担当者会議	ケアプランに基づき適切なサービスが実施されるよう検討	入所時	各セクションの代表並び担当
ケア会議	利用者介護の質の向上とケアの課題等を協議	毎月第2金曜日	介護・看護スタッフ、相談員
ケアカンファレンス	利用者への援助過程に於いて、的確な援助を行うため討議	随時	各セクションの職員
給食会議	食事サービスの質的向上を図るため、実施	毎月1回	代表利用者・給食事業者・給食委員
サービス評価会議	法人のサービス評価基準に則り、施設としての自己評価を実施	年2回	各セクションの代表者
各種部会	法人内の各部門別の検討事項について協議	月1～2回	各部会代表者

## 3. 委員会開催状況

## (1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
感染症対策検討委員会	感染症の予防及び蔓延防止の検討	金曜日	施設長と委員
褥瘡予防検討委員会	利用者個人々の分析・評価による予防対策の検討		
研修委員会	職員の資質及びサービスの質的向上に向けた検討	金曜日	委員
マニュアル検討委員会	既存のマニュアルの見直し、新規マニュアルの作成を行う		
サービス向上検討委員会	介護サービスの質的向上に向けた検討	金曜日	施設長と委員
個別ケア検討委員会	利用者の個々の状況に応じた支援方法の検討		
リスクマネジメント委員会	介護事故防止の検討	金曜日	施設長と委員
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束の完全廃止に向けての検討		
防災委員会	消防計画の立案及び訓練の実施について検討	随 時	委員
入所判定委員会	第三者委員を交えて入所申込み者の入所順位を決定する	3ヶ月おき開催	施設長と委員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
H30.04.20	とよまボランティア友の会	さくらまつり 歌・踊り	6名
H30.06.26	キッズつほみ	歌・踊り	12名
H30.07.05	きたかみ子供園	七夕交流会、踊り	23名
H30.07.27	日根牛太鼓桜の会	夕涼み会余興 太鼓演奏	4名
H30.07.27	登米児童館	夕涼み会余興 ゲーム・踊り	35名
H30.08.04	北海道大学・北海道武蔵女子短期大学	よさこい演奏	28名
H30.09.12	登米中学校	光風園・ゆりの郷清掃、窓ふき	30名
H30.09.14	宮野浅太郎様御一行	長寿を祝う会余興 踊り	3名
H30.09.14	北上保育園	長寿を祝う会 花束贈呈	3名
H30.10.31	登米小学校JRC委員会	交流会 歌・ゲーム	10名
H30.12.17	小野寺克己様御一行様	歌・踊り	12名
H31.03.01	登米謡曲会	狂言	5名
計			171名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
H30.05.18~10	登米中学校(2学年)	職場体験実習	2名	6名
H30.05.21.28	登米総合産業高等学校(3年)	介護実習	2名	4名
H30.06.25	登米総合産業高等学校(3年)	介護実習	2名	2名
H30.07.2.9	登米総合産業高等学校(3年)	介護実習	2名	
H30.07.10.17	登米総合産業高等学校(3年)	介護実習	2名	8名
H30.09.3.4	登米総合産業高等学校(3年)	介護実習	2名	
H30.09.10.11	登米総合産業高等学校(3年)	介護実習	2名	8名
計			26名	28名

【今後の取り組み】

1. ケアプランに基づいた適切な支援—栄養ケアマネジメント・口腔衛生・褥瘡マネジメント等専門的支援はもとより、生活の場として穏やかな気持ちで過ごすことが出来るようきめ細かいケアを行う。
2. 看取り体制の整備—重度者を積極的に受け入れる。家族や地域とつながりを持ち、最期まで安心して過ごせるよう、嘱託医と協力体制を密にし、看取りの体制を整備する。
3. 事故防止—研修や資格取得に重点を置き、職員の専門知識を高めると共に、利用者との関係を構築し介護事故防止に努める。また、働く環境を整備し職員の労働災害防止に努める。
4. ロボット等介護機器やIT機器の導入—見守りセンサーやケア用Iパッド導入検討。利用者への迅速な対応、記録の分析による個人の体調や行動の予測が可能となり、より確実に根拠のあるケアにつなげることができ、利用者・介護職員の負担軽減を行う。
5. 在宅中・重度者の積極的な受け入れ—訪問看護ステーションと連携し、短期入所利用中も在宅時と変わらない体制で健康管理を行う。
6. 施設整備—施設設備が老朽化しており、計画的な移築・改修等が行えるよう、広い視野と地域の実情や福祉施策を踏まえ慎重に検討を進める。
7. 法人内他事業所との連携—安定経営を目指し、法人の登米・豊里エリア事業所が一丸となり、協力体制を構築し支え合う体制を作る。

# 平成30年度 特別養護老人ホーム松風園 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所 在 地 宮城県登米市登米町寺池金沢山60-3  
2) 設 置 主 体 社会福祉法人 恵泉会  
3) 経 営 主 体 社会福祉法人 恵泉会  
4) 開 設 年 月 日 昭和51年4月1日  
5) 事業・利用定員

事業	利用定員
介護老人福祉施設	50名
短期入所生活介護	5名
計	55名

新たな時代に対応した福祉サービス提供の中、地域から必要とされる法人運営が求められ、高齢者介護に携わる施設としても医療、介護、地域との連携を密にしながらのサービス提供に努めた。

入所者の重度化、高齢化に伴い、医療機関との連携を密にし、利用者個々の生活が継続出来るように援助し、看取りの体制も意識した支援に努めてきた。又、在宅での生活が困難な要介護者を支える中核的役割を果たしながら、日々生活の中で「楽しく」「自信と誇りを持てる」活動を提供し、利用者の「生きる力」に繋げ、笑顔のあふれる施設生活の実現に努めてきた。

しかし、全利用者に対して、細やかな個々のニーズにしっかり答えられたか、疑問が残る点も有り、引き続き「基本に忠実なサービス提供」に努めていく。

又、地域貢献として、豊里地域ならではの15介護事業所等との協力体制のもと『認知症カフェ とよさと』を地域の方々の参加により実施出来た事は喜ばしいことであり、今後も継続していく。そして、職員が介護の担い手として「意欲」と「自信」を持ちながら働き続けられる様に、施設内研修の実施やグループ研修、面談により、職員の想いに寄り添い、共感と受容に努めた。

## 【 重 点 項 目 】

1. 利用者の“自信”と“誇り”“望み”を大切にし、生きる喜びを保障しながら、その人らしい生活が送れる様に支援する。
  - ・利用者及び家族の意向を尊重したケアプランを作成し、個々のニーズに則した生活が継続出来るように支援した。
  - ・利用者の意向に耳を傾け、茶話会や生きがいケア等により、施設生活の中で喜びを感じて頂けるよう支援に努めた。
2. 利用者個々が有する能力に応じて自立した生活を営み、“潤いのある生活”“充実した時間”を提供する。
  - ・リハビリ等必要な利用者の方に対して、個別リハビリに取り組み、残存機能維持、向上に努めた。
  - ・ふれあいケア、生きがいケアを通じ、利用者お一人おひとりと関わる時間を設けることにより、寄り添う介護が実践できた。
3. 中重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、対応できる様に医療機関・関係機関との連携を密にし、精神的なケアの充実と身体的機能の維持向上に努める。
  - ・短期入所生活介護利用の際、医療機関との連携が図れるよう調整し、利用者の緊急時受け入れも対応出来ている。地域との連携を密にして、地域包括ケアシステムの中心施設としての役割を果たすよう努めた。
4. 地域で求められている施設の役割をさまざまな視点から探り、公益的な取り組みの実施に努める。
  - ・定期的に広報誌を発行し、施設の役割を地域に伝え、交流会等行事により地域への開放に取り組んだ。
5. 安定経営を目指し、節電・節水はもとより施設内設備の管理徹底や早めの修繕に努め、健全な財政運営を実施する。
  - ・日常において、節電・節水に心掛け、施設内設備品の管理を行い、常に早めの修繕に心掛け節約に努めた。
6. 事故発生の誘因となるすべてのリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、事故防止に努める。
  - ・事故発生の原因分析から、改善案を探り事故防止策の検討を行い、その周知徹底を図り再発防止に努めてきた。
  - ・常に利用者支援の中に潜むリスクに着目し、事故防止に努めるのはもとより、利用者個々の詳細な行動を分析し、職員間の周知徹底に努めた。
7. 情報公開を積極的に行い、利用者家族はもちろん、関係機関からの意見や苦情等も真摯に受け止めながら、事業運営に努める。
  - ・定期的に広報誌を発行した。又、利用者及び家族に対しアンケートを実施し、その結果を広報誌に掲載したり、面会時家族の忌憚のない意見を傾聴し真摯に受け止め改善に努めてきた。

8. 研修・介護等の実習者を積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手を育成し、人材確保に繋げる。  
・社会人の生活援助実習や、福祉系高校生の介護実習を積極的に受け入れ、次世代の人材育成に努めて来た。
9. 職員が意欲と自信をもって働ける様に、積極的に研修参加させ、良質な職場作りと職員の育成に努める。  
・内部研修会の開催を定期的に行った。又、外部研修会や、資格取得に関する研修会に全職員が参加した。今年度は介護福祉士資格を取得し、社会福祉主事資格認定取得にも取り組んできた。
10. 介護人材の確保や生産性の向上に向けた取り組みを推進する。  
・各種研修会等に参加し、受講内容を伝達することにより、職員個々のレベルアップを図り、職員の資質向上に努めてきた。
11. スーパービジョンの育成方法を考慮しながら、適切なフィードバックを実践し、職員教育に努める。  
スーパービジョンを実践し、行動した事象に対しての結果から、何を改善すべきか、どこが良かったのかを伝える事で人材育成を行っている。
12. 地域との連携を強化し、認知症カフェ“とよさと”を実践しながら、家族介護支援に努める。  
・津山・豊里地域包括支援センターや地域の介護事業所と協賛し、「認知症カフェとよさと」を開催し、地域包括ケアシステムを構築しながら、情報交換に努めている。
13. 緊急時・災害時(火災・地震・水害・土砂崩れ・原発事故対応等)の体制強化を図る。  
・様々な想定での防災訓練を実施し、地震火災時の防火訓練はもとより原子力災害(UPZ圏内)対策について避難計画、マニュアル策定し訓練を行った。また、施設内だけでなく、平林・笑沢地区事業所間とも防災防火講習を行い、近隣とも連絡体制を確立し緊急時の協力体制を強化してきた。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 17,683 名
2. 年間稼働率 96.89 %  
(目標稼働率 97.00 %)
3. 年間平均介護度 4.15
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護3	232	248	264	279	217	200	214	210	217	217	196	167	2,661
要介護4	714	790	750	713	750	727	757	750	744	681	588	638	8,602
要介護5	450	441	416	502	526	501	462	489	525	598	563	582	6,055
計	1,426	1,510	1,460	1,525	1,524	1,458	1,464	1,479	1,517	1,527	1,375	1,418	17,683

## 5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	3	1	2	0	1	0	1	0	0	0	1	2	11
退所者数	1	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	4	10
月末入所者数	49	49	50	50	50	50	50	50	50	49	50	48	+1

## 【利用者サービスの状況】

### 1. 生きがいサービス

#### (1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.04.18	春の会食会	職員紹介(担当)後、ご家族様方とアトラクションを楽しみ、その後会食を共にした。	利用者 54名 職員 19名 家族 24名
H30.07.20	夏祭り	百楽荘合同でアトラクションを楽しみ、模擬店のメニューを食べ夏祭りの雰囲気を楽しむ。	利用者 41名 職員 13名 百楽荘 28名
H30.08.17	盆供養	香林寺住職が来園し、故人の冥福を祈った。	利用者 21名 職員 5名
H30.09.09	長寿を祝う会	利用者の長寿に敬意を表し、家族様と共に祝い、皆さんとアトラクションを楽しんだ。	利用者 50名 職員 18名 家族他 41名

H30.10.16	いも煮会	野外で行い、豚汁・焼き芋は好評で美味しくいただいた。	利用者 47名 職員 10名
H30.12.19～20	ゆず湯	ゆずの香りに包まれながら、1年の疲れを癒し、季節を感じていただいた。	利用者 53名 職員 12名
H30.12.21	クリスマス会	利用者と職員でハンドベルを演奏し、クリスマス会の雰囲気の中サンタクロースよりプレゼントを頂き、楽しいひと時を過ごした。	利用者 44名 職員 11名
H30.12.27	もちつき大会	杵と臼で餅つきを行い、正月の準備としてみずの木に餅や飾り付けを行った。	利用者 43名 職員 5名
H31.01.10	新年会	新年にあたり甘酒を頂き、職員による獅子舞にて悪魔を追い払い、その後かるた取りを行い新年会を楽しんだ。	利用者 35名 職員 10名
H31.02.01	節分	年男・年女の方々が、豆をまきながら鬼と棟内を回り無病息災を祈願した。	利用者 51名 職員 6名
H31.02.11	ゲーム大会	釣りゲームを利用者皆さんで楽しみ気分転換を図る。	利用者 17名 職員 4名
H31.03.01	ひな祭り会	ひな祭りの歌を皆さんで合唱し、ひなあられや甘酒を頂く。その後カラオケを行い楽しい一時を過ごしている。	利用者 21名 職員 4名
H31.03.13	彼岸供養	香林寺住職が来園し、利用者と共に故人の冥福を祈っていただいた。	利用者 54名 職員 6名

### 【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 1,454 名
2. 年間稼働率 99.59 %  
(目標稼働率 94.00 %)
3. 年間平均介護度 2.71
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	23	18	18	11	11	13	19	19	26	19	17	29	223
要介護2	42	47	43	59	49	42	53	33	42	35	20	36	501
要介護3	32	52	47	20	32	21	22	16	3	3	15	28	291
要介護4	13	17	13	20	32	23	30	32	42	47	39	45	353
要介護5	9	4	6	5	5	5	5	7	10	13	6	11	86
計	119	138	127	115	129	104	129	107	123	117	97	149	1,454

### 【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
  - (1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.04.17	介護保険について	職員	職員10名
H30.04.20	コンプライアンス研修	職員	職員12名
H30.04.28	公用車の操作方法について	職員	職員8名
H30.04.30	公用車の操作方法について	職員	職員3名
H30.05.01	施設感染症対策研修	職員	職員2名
H30.05.18	腰痛予防職員研修	職員	職員12名
H30.05.22	食中毒予防について	職員	職員10名
H30.06.19	体位交換について	職員	職員7名
H30.06.27	コンプライアンス研修	職員	職員6名
H30.07.13	褥瘡予防について	職員	職員10名
H30.07.18	コンプライアンス研修	職員	職員6名
H30.07.24	コンプライアンス研修	職員	職員1名
H30.07.26	感染症対策について	職員	職員14名
H30.08.30	口腔ケアについて	職員	職員10名
H30.09.21	移乗介助について	職員	職員6名
H30.09.25	介護事故防止	職員	職員11名
H30.10.17	リスクマネジメントについて	職員	職員9名

H30.10.24	接遇・マナーについて	職員	職員3名
H30.10.25	インフルエンザ対策について	職員	職員9名
H30.11.30	認知症について	職員	職員9名
H30.12.21	オムツ交換について	職員	職員6名
H31.01.22	高齢者権利擁護(身体拘束・高齢者虐待)について	職員	職員9名
H31.02.19	入浴介助について	職員	職員8名
H31.02.25	救命救急・AED操作講習	登米市消防署	職員10名
H31.03.18	消防機器の取り扱いについて	職員	職員9名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
H30.04.23	人事考課者研修	恵泉会	登米市	職員1名
H30.05.24	WJU管理職育成研修	恵泉会	法人本部	職員1名
H30.06.08	恵泉会新任職員研修	恵泉会	登米市	職員1名
H30.06.15	恵泉会新任職員研修	恵泉会	登米市	職員1名
H30.06.18・21	新任職員研修 1班	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
H30.06.20	OJT指導者研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
H30.06.28	安全運転者講習会	宮城県警察	登米市	職員1名
H30.06.4.6.18.19	平成30年度介護支援専門員更新研修 I	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
H30.07.03	WJU管理職育成研修	恵泉会	法人本部	職員1名
H30.07.12	宮城県社会福祉施設中堅・監督職員研修	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	職員1名
H30.07.2.4.9.10	平成30年度介護支援専門員更新研修 I	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
H30.08.1・2	新任職員研修 3班	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
H30.08.02	介護サービス事業者集団指導	宮城県東部保健福祉事務所	登米市	職員1名
H30.08.06	WJU管理職育成研修	恵泉会	法人本部	職員1名
H30.08.09	宮城県看護職員合同研修会	宮城県看護協会	登米市	職員1名
H30.08.16	宮城県看護職員合同研修会	宮城県看護協会	登米市	職員1名
H30.08.22	職場のモチベーション向上研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
H30.08.10.20.28.29	平成30年度介護支援専門員更新研修 II	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
H30.09.04	災害ボランティア研修会	登米市社会福祉協議会	登米市	職員1名
H30.09.06	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
H30.09.13～14	東北ブロック老人福祉施設研究会	東北ブロック老人福祉施設協議会	福島県	職員1名
H30.09.14	福祉レクリエーション研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
H30.09.18	WJU管理職育成研修	恵泉会	法人本部	職員1名
H30.09.19	介護事業所を対象とした労務管理セミナー	労働基準監督署	栗原市	職員1名
H30.09.19	WJU中核職員研修	恵泉会	法人本部	職員1名
H30.09.27	メンタルヘルスケア研修	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	職員1名
H30.10.1・2	新任職員研修 4班	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
H30.10.03	平成30年度リスクマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
H30.10.03	企業視察研修	平林地区・笑沢地区事業所連絡協議会	名取市	職員1名
H30.10.03	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
H30.10.04	平成30年度高齢者権利擁護推進研修	宮城福祉オンブズネット「エール」	仙台市	職員1名
H30.10.16	老人福祉施設職員研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
H30.10.19	平成30年度人材育成研修	県老協登米地区連絡協議会	登米市	職員2名
H30.10.23	WJU管理職育成研修	恵泉会	法人本部	職員1名
H30.10.24	企業視察研修	平林地区・笑沢地区事業所連絡協議会	仙台市	職員1名
H30.10.31	中堅職員研修	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	職員1名
H30.10.31	平成30年度社会福祉施設の階層別リスクマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
H30.11.07	平成30年度福祉関係者・市町村担当者のための成年後見制度講座	宮城県社会福祉士会	仙台市	職員1名
H30.11.09	平成30年度人材育成研修	県老協登米地区連絡協議会	登米市	職員2名
H30.11.20	WJU管理職育成研修	恵泉会	法人本部	職員1名
H30.11.20	中堅職員研修	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	職員1名
H30.11.21	WJU中核職員研修	恵泉会	法人本部	職員1名
H30.11.22	宮城県キャリアパス支援事業研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
H30.11.27	宮城県キャリアパス支援事業研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
H30.11.27	宮城県高齢者権利擁護推進研修会	宮城福祉オンブズネット「エール」	仙台市	職員1名
H30.11.29	看護職員研修	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	職員1名
H30.12.05	口腔ケア・栄養管理研修	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	職員1名

H30.12.06	宮城県キャリアパス支援事業研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	職員1名
H30.12.20	WJU管理職育成研修	恵泉会	法人本部	職員1名
H31.01.15	WJU管理職育成研修	恵泉会	法人本部	職員1名
H31.01.15	看取りケア研修	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	職員1名
H31.01.15	平成30年度恵泉会准職員フォローアップ研修	恵泉会	法人本部	職員1名
H31.02.01	口腔ケア研修会	特別養護老人ホーム光風園	登米市	職員1名
H31.02.07	平成30年度実践研究発表会	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	職員1名
H31.02.08	WJU管理職育成研修	恵泉会	法人本部	職員1名
H31.02.15	WJU管理職育成研修	恵泉会	法人本部	職員1名
H31.03.06	WJU管理職育成研修	恵泉会	法人本部	職員1名
H31.03.08	防災防火講習会	平林地区・笑沢地区事業所連絡協議会	登米市	職員2名
H31.03.18	WJU管理職育成研修	恵泉会	法人本部	職員1名

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	各職種の連絡調整に関する事項の協議	第3水曜日	施設長、各部代表者
サービス担当者会議	サービス提供に関する事項の協議	随時	施設長、介護支援専門員、各部代表
連絡調整会議	松風園、百楽荘との連携	第1水曜日	施設長、各部代表者
ケア会議	利用者サービス内容及びケア内容等の検討	第3水曜日	施設長、介護支援専門員、各部代表

### (2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
H30.04.10	認知症カフェネットワーク会議	登米市豊里町	職員1名
H30.04.27	平林地区・笑沢地区事業所等連絡協議会	登米市豊里町	職員1名
H30.05.10	認知症カフェ	登米市豊里町	職員2名
H30.05.11	実習先指導担当者説明会	登米市中田町	職員1名
H30.06.12	認知症カフェ企画・運営会議	登米市豊里町	職員2名
H30.06.26	登米市豊里地域ネットワーク会議	登米市豊里町	職員1名
H30.07.19	認知症カフェ	登米市豊里町	職員2名
H30.08.09	介護保険サービス事業者集団指導	登米市迫町	職員1名
H30.08.09	認知症カフェ企画・運営会議	登米市豊里町	職員2名
H30.09.04	災害ボランティアセンター運営協議会	登米市豊里町	職員1名
H30.10.05	認知症カフェ企画・運営会議	登米市豊里町	職員1名
H30.10.18	認知症カフェ企画・運営会議	登米市豊里町	職員1名
H30.11.08	認知症カフェ	登米市豊里町	職員1名
H31.01.10	認知症カフェ	登米市豊里町	職員2名
H31.01.25	平林地区・笑沢地区事業所等連絡協議会	登米市豊里町	職員1名
H31.02.15	認知症カフェ企画・運営会議	登米市豊里町	職員1名
H31.02.19	登米市豊里地域ネットワーク会議	登米市豊里町	職員1名
H31.03.22	認知症カフェ企画・運営会議	登米市豊里町	職員2名

## 3. 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
サービス向上検討委員会	利用者の自立促進のための評価項目毎の自己評価	第4木曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災訓練の計画と実施、安全対策の内容検討	随時	施設長、防火管理者、各委員
マニュアル検討委員会	職員の業務標準化を目指しマニュアルの検討	第3木曜日	施設長、各委員
感染症対策委員会	感染症の防止と対策を図る	随時	施設長、各委員
リスクマネジメント検討委員会	リスクの検証、検討、評価の実施	第2木曜日	施設長、各委員
褥瘡対策委員会	褥瘡の発生要因と予防の検討	随時	施設長、各委員
身体拘束廃止・高齢者虐待廃止検討委員会	身体拘束の改善と処遇の検討	随時	施設長、各委員

## (2) その他の委員会

開催日	内 容	場 所	出 席 者
H30.06.04	平成30年度第1回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
H30.09.05	平成30年度第2回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
H30.12.05	平成30年度第3回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員
H31.03.06	平成30年度第4回入所検討委員会	松風園会議室	入所検討委員

## 【施設機能の開放】

## 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

## (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
H30.04.18	フラ・ハウオリゴ一行	春の会食会演芸	8名
H30.05.11	F様	音楽ボランティア	1名
H30.07.13	F様 他	音楽ボランティア	2名
H30.07.20	錦流熊谷旭英ご一行	夏祭り演芸	9名
H30.09.09	熊谷流社中	長寿を祝う会演芸	7名
H30.09.14	F様	音楽ボランティア	1名
H30.11.09	F様 他	音楽ボランティア	2名
H31.01.18	F様	音楽ボランティア	1名
H31.03.08	F様	音楽ボランティア	1名
計			32名

## (2) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
H30.5.21~9.11	宮城県登米総合産業高等学校3年生	介護実習	2名	32名
H30.7.18~10.3	宮城県登米総合産業高等学校2年生	介護実習	1名	11名
H30.7.6~11.29	仙台医療福祉専門学校	相談援助実習	1名	24名
H30.11.06	東北薬科大学2年生	介護体験学習	1名	1名
H30.11.08	東北薬科大学2年生	介護体験学習	1名	1名
計			6名	69名

## 【今後の取り組み】

## ○介護・支援体制の強化

利用者お一人おひとりの“自信”“誇り”“望み”を大切に、生きる喜びを感じながら、その人らしい生活が送れるように支援の充実に努める。

## ○重度・認知症高齢者の受け入れ

重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、在宅で生活が困難な利用者の精神的なケアの充実と、個別対応での身体的機能の維持・向上に努める。

## ○専門性の向上と職員人材育成

職員が意欲と自信を持って働けるように、各種研修会に積極的に参加し、基本に忠実な介護実践と一歩先を見通せる人材育成に努める。又、研修から習得した学びを職員間で共有し、日々の業務に即活かせる体制を構築し、利用者に寄り添える介護実践を行う。

## ○安全・安心なサービス提供

介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、介護事故防止に努める。

## ○地域に根ざした施設の役割

- ・地域との連携により、「認知症カフェとよさと」を開催し、家族介護、地域貢献活動に努める。
- ・緊急時、災害時(火災・地震・水害・土砂崩れ・原発事故対応等)の体制強化を図る。

# 平成30年度 豊里デイサービスセンター百楽荘 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |          |                             |
|----------|-----------------------------|
| 1. 所在地   | 〒987-0353 宮城県登米市豊里町笑沢153-78 |
| 2. 設置主体  | 社会福祉法人 恵泉会                  |
| 3. 経営主体  | 社会福祉法人 恵泉会                  |
| 4. 開設年月日 | 平成8年4月1日                    |
| 5. 利用定員  | 30名                         |

地域に根ざした事業所としての役割を果たし、要支援、要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らせる包括的なサービス提供に努めた。

地域福祉社会の中核的役割を果たすべく、利用者及び家族のニーズを把握し、一人ひとりの個別的配慮に努めた。専門職によるチームケアの実現にて、日々見守られている安心感を得られるように、事業所が担うべき役割を様々な視点から探り、公益的な取り組みの実施に努めた。

又、地域貢献として、豊里町ならではの15介護事業所等との協力体制のもと『認知症カフェとよさと』を実施出来た事は喜ばしいことであり、これからも継続していく。

そして、職員が介護の担い手として「意欲」と「自信」を持ちながら働き続けられる様に、施設内研修の実施やグループ研修、面談により、職員の想いに寄り添い、共感と受容に努めた。

## 【 重 点 項 目 】

1. 利用者の“自信”“誇り”“望み”を大切にし、生きる喜びを保障しながら、その人らしい生活が送れる様に支援する。
  - ・利用者及び家族の意向を重視したサービスを提供し、個々の生活が豊かになるよう支援に努めた。
  - ・利用者の意向に耳を傾け、季節毎の外出、茶話会等職員と歓談する場を設け、利用者の望むサービス提供に努めた。
2. 利用者の生活状況を確認した上でリハビリテーションの視点を持ちながら、自立と日常生活の充実を図れる様に支援する。
  - ・利用者個々の生活状況と身体能力を居宅訪問により確認し、一人ひとりにあった個別機能訓練や生活リハビリ等で、自立した生活を営むことが出来るように支援し、利用者が充実した時間を過ごせるように努めた。
3. 中重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、精神的ケアの充実と身体的機能の維持向上に努める
  - ・家族介護の負担軽減が図れるよう、中重度・認知症高齢者をスムーズに受け入れられるよう介護支援専門員及び医療機関と連携が密に図れるよう調整をし対応を行った。
4. 地域で求められている事業所の役割をさまざまな視点から探り、公益的な取り組みの実施に努める。
  - ・定期的に広報誌を発行し、施設の役割を地域に伝えた。
  - ・地域の介護事業所と共に、「認知症カフェとよさと」を開催し、地域包括ケアシステムの構築しながら情報交換に努めた。
5. 安定経営を目指し、節電・節水はもとより施設内設備の管理徹底や早めの修繕に努め、健全な財政運営を実施する。
  - ・日常において、節電・節水に心掛け節約に努めた。フロアの段差修復工事を行い、安全な環境維持に努めた。
6. 事故発生の要因となるすべてのリスクを検証し、全職員での共有を図りながら、事故防止に努める。
  - ・事故発生の原因分析から改善策を探り、事故防止策の検討を行い、それらを全職員に周知し再発防止に努めた。
7. 情報公開を積極的に行い、利用者家族はもちろん、関係機関からの意見や苦情等も真摯に受け止め、事業運営に努める。
  - ・定期的に広報誌を発行した。又、利用者及び家族に対しアンケートを実施し、その結果を広報誌で掲載し、家族等からの意見を収集し改善に努めてきた。
8. 研修・介護等の実習者を積極的に受け入れ、次世代の介護の担い手を育成し、人材確保に繋げる。
  - ・高校生の介護実習を一年を通し受け入れ、次世代の人材育成に努めてきた。
9. 職員が意欲と自信をもって働ける様に、積極的に研修参加させ、質の高い職場作りと職員の育成に努める
  - ・内部研修会の開催を定期的実施し、質の高いサービスを提供できる職場作りに努めた。また、介護福祉士初任者研修、介護福祉士実践者研修受講している。外部研修も含め、全職員が研修参加している。

10. 介護人材の確保や生産性の向上に向けた取り組みを推進する。  
・各種研修会等に参加し、受講内容を伝達することにより、職員個々のレベルアップを図り、職員の資質向上に努めてきた。
11. スーパービジョンの育成方法を考慮しながら、適切なフィードバックを実践し、職員教育に努める。  
スーパービジョンを実践し、行動した事象に対しての結果から、何を改善すべきか、どこが良かったのかを伝える事で人材育成を行っている。
12. 地域との連携を強化し、認知症カフェ“とよさと”を実践しながら、家族介護支援に努める。  
・津山・豊里地域包括支援センターや地域の介護事業所と協賛し、「認知症カフェとよさと」を開催し、地域包括ケアシステムを構築しながら、情報交換に努めている。
13. 緊急時・災害時(火災・地震・水害・土砂崩れ・原発事故対応等)の体制強化を図る。  
・様々な想定での防災訓練を実施し、地震火災時の防火訓練はもとより原子力災害(UPZ圏内)対策について避難計画、マニュアルを策定し訓練を行った。また、施設内だけでなく、平林・笑沢地区事業所間とも防災防火講習を行い、近隣とも連絡体制を確立し緊急時の協力体制を強化してきた。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 8,054 名
2. 年間稼働日数 308 日
3. 年間稼働率 87.16 % (通所介護+予防通所介護+生きがい)  
(77.45) % (通所介護)  
(9.71) % (予防通所介護)  
(0.00) % (生きがい)

4. 年間平均介護度 2.05 (通所介護)  
0.86 (予防通所介護)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	194	231	209	185	197	205	222	202	175	162	159	171	2,312
要介護2	247	217	217	242	246	237	263	287	293	274	264	296	3,083
要介護3	93	109	105	104	103	109	85	85	83	82	86	112	1,156
要介護4	35	30	25	30	29	29	27	26	24	16	14	21	306
要介護5	22	28	28	32	28	21	20	21	23	21	26	29	299
計	591	615	584	593	603	601	617	621	598	555	549	629	7,156
事業対象者	4	5	4	4	5	4	4	5	4	4	2	4	49
要支援1	10	14	13	9	10	8	9	9	8	8	8	15	121
要支援2	67	75	65	65	65	77	74	65	55	51	40	29	728
計	81	94	82	78	80	89	87	79	67	63	50	48	898
合計	672	709	666	671	683	690	704	700	665	618	599	677	8,054

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	3	0	0	1	3	0	4	3	2	1	2	4	23
契約終了者数	1	0	3	1	1	2	5	3	2	1	3	4	26
月末契約者数	88	88	85	85	87	85	84	84	84	84	83	83	83

## 【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

### (1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.4.16~18	お花見	ドライブを兼ねて近隣のお花見へ外出する	利用者 38名 職員 12名
H30.05.23	松風園との交流会	合同でおやつ作りを行い、会食しながら交流を図る	利用者 24名 職員 7名
H30.6.18~20	ミニ運動会	紅白に分かれ3種目の競技を実施する	利用者 73名 職員 26名
H30.07.23	南方保育所交流会	南方保育所の園児を招いて歌やゲームを楽しむ	利用者 26名 職員 8名

H30.7.6～7	七夕会	七夕飾りを眺めながら歌や踊りを楽しむ	利用者 51名 職員 15名
H30.07.20	合同夏祭り	アトラクションや屋台風の食事などで夏祭りを楽しむ	利用者 27名 職員 10名
H30.08.22	松風園との交流会	松風園利用者とゲームを通じて楽しみながら交流を図る	利用者 24名 職員 8名
H30.9.10～12	長寿を祝う会	利用者の方々に長寿をお祝いする	利用者 83名 職員 24名
H30.10.10	芋煮会	施設内にて、野菜を切るなど芋煮会の気分を味わっている	利用者 25名 職員 9名
H30.11.07	焼き芋会	百楽荘農園で収穫したサツマイモで焼き芋を楽しんで頂く	利用者 28名 職員 8名
H30.12.12～14	リンゴ狩り	市内の農園にてリンゴ狩りを楽しむ	利用者 36名 職員 12名
H30.12.13～15	クリスマス忘年会	ツリーを眺めながら、プレゼントやアトラクションで楽しんで頂く	利用者 81名 職員 23名
H30.12.26	餅つき	杵と臼で餅つきを行い、みずの木に飾り付けを行う	利用者 31名 職員 8名
H31.1.7～9	新年会	おとそ配りや獅子舞で新年を祝い、アトラクションを楽しんで頂く	利用者 76名 職員 24名
H31.2.1～3	節分・豆まき	年男、年女の利用者が袴を着て豆まきを行い福を招く	利用者 78名 職員 21名
H31.03.03	ひな祭り会	ひな人形を飾り、ひなあられを食べながら祭りを楽しむ	利用者 26名 職員 7名
実 施 回 数		31回	延べ参加者数 949名

## 【利用者サービスの向上】

### 1. 職員研修実施状況

#### (1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.04.23	公用車ハイエースのリフト操作	介護福祉士	3名
H30.04.28	移乗介助の方法の説明	作業療法士	4名
H30.05.25	介護の基本について	介護福祉士	2名
H30.06.11	着脱介助について	施設長	11名
H30.08.06	実習受入体制について	介護福祉士	3名
H30.08.06	排泄介助について	介護福祉士	4名
H30.08.06	感染症対策について	准看護師	6名
H30.08.15	法令遵守・コンプライアンス研修	施設長	11名
H30.08.27	体位変換の方法と褥瘡発生のメカニズムについて	作業療法士	4名
H30.09.12	身体拘束について	作業療法士	4名
H30.10.25	入浴介助について	介護福祉士	3名
H30.11.09	感染症対策について	准看護師	4名
H30.12.25	口腔ケアについて	介護福祉士	4名
H30.01.30	オムツ交換について	介護福祉士	5名
H30.03.14	褥瘡について	介護福祉士	4名

#### (2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
H30.07.12	安全運転講習会	平林・実沢地区事業所等連絡協議会	登米市	介護福祉士
H30.08.22	平成30年度危険物取扱者保安講習会	宮城県危険物安全協会連合会	登米市	介護福祉士
H30.08.02	平成30年度介護保険サービス事業者集団指導説明会	宮城県保健福祉部	登米市	管理者兼生活相談員
H30.09.13	平成30年度東北ブロック老人福祉施設研究会	全国、東北ブロック老人福祉施設協議会	福島県	介護福祉士
H30.10.12	福祉レクレーション研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	介護員
H30.11.01	平成30年度社会福祉施設の階層別リスクマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	介護福祉士
H30.11.12	機能訓練加算についての研修会	恵泉会本部	登米市	作業療法士
H30.11.21	モビバンインストラクターによる訓練実演	恵泉会本部	登米市	作業療法士
H31.03.06	防災防火講習会	平林・実沢地区事業所等連絡協議会	登米市	介護福祉士

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
連絡調整会議	松風園、百楽荘との行事や連絡事項等を話し合い業務の徹底を図る	第1火曜日	管理者
サービス調整会議	百楽荘の行事、利用者や家族の意見、業務連絡をし徹底を図る	第3金曜日	施設長・事務員・栄養士・DS職員
給食会議	委託業者と給食についての評価、検討及び情報交換	毎月1回	施設長・栄養士・生活相談員・介護員
職員会議	各セクション、職員間の業務調整及び曙懸案の協議	毎月1回	生活相談員
デイサービス部会	各デイサービスとの情報交換	第3水曜日	生活相談員

### (2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
随時	サービス担当者会議	利用者自宅	生活相談員

## 3. 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
サービス評価委員会	評価項目毎の自己評価、改善項目の検討	隔月第1火曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災訓練の計画と実施、安全対策の内容検討	随時	施設長、防火管理者、各委員
マニュアル検討委員会	職員の業務標準化を目指しマニュアルの検討	隔月第1火曜日	施設長、各委員
感染症対策委員会	感染症の防止と対策を図る	随時	施設長、各委員
リスクマネジメント検討委員会	ヒヤリハット・事故等の検証、検討、評価の実施	第1火曜日	施設長、各委員

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
H30.04.14	支援ボランティア	利用者とのコミュニケーションを図って頂く	1名
H30.04.17	支援ボランティア	利用者とのコミュニケーションを図って頂く	1名
H30.04.27	ピーチダンベル	音楽に合わせて体操する	8名
H30.05.30	藤間智栄光舞踊会	舞踊を披露していただく	8名
H30.07.06	豊里町・喜楽楽会	七夕会にて歌や踊りを披露していただく	6名
H30.07.07	豊里町・喜楽楽会	七夕会にて歌や踊りを披露していただく	7名
H30.07.20	築館町・錦流・旭英会	夏祭りにて舞踊を披露していただく	27名
H30.08.04	北海道大学・武蔵野女子短期大学	よさいこいを披露していただく	8名
H30.09.10	鈴の流舞美会	長寿を祝う会で民謡を披露していただく	9名
H30.09.11	米山町・衣川会(宮城県民謡道連合会)	長寿を祝う会で舞踊を披露していただく	14名
H30.09.12	ふるさと千謡会	長寿を祝う会で民謡を披露していただく	8名
H30.10.30	ピーチダンベル	音楽に合わせて体操する	9名
H30.12.13	豊里町・喜楽楽会	クリスマス忘年会にて民謡を披露していただく	8名
H30.12.14	鈴の流舞美会	クリスマス忘年会にて舞踊を披露していただく	6名
H30.12.15	おじゃまーず	クリスマス忘年会にて舞踊を披露していただく	12名
H31.01.07	熊谷流	新年会にて舞踊を披露していただく	9名
H31.01.08	錦流・旭英会	新年会にて舞踊を披露していただく	7名
H31.01.09	フラハウオリ	新年会にてフラダンスを披露していただく	11名
H31.02.27	ピーチダンベル	音楽に合わせて体操する	9名
延べボランティア数			168名

## 【今後の取り組み】

1. ○支援体制の強化
  - ・利用者の“自信”“誇り”“望み”を大切にし、生きる望みを感じながら、その人らしい生活が送れるように支援する。
  - ・様々な活動メニューにより、利用者の個々の能力に応じた、“潤いのある生活”“充実した時間”を提供する。
  
2. ○中重度・認知症高齢者の受け入れ
  - ・中重度・認知症高齢者の積極的な受け入れを行い、精神的なケアの充実と身体的機能の維持・向上に努める。
  
3. ○安全・安心なサービス提供
  - ・介護事故発生の誘因となるリスクを検証し、全職員で情報の共有を図りながら、事故防止に努める。
  
4. ○専門性の向上と職員人材育成
  - ・各種研修会に積極的に参加し、基本に忠実な介護実践と一歩先を見通せる職員の育成に努める。
  
5. ○地域に根ざした施設の役割
  - ・地域との連携により、「認知症カフェとよさと」を開催し、家族介護、地域貢献活動に努める。
  - ・緊急時、災害時(火災・地震・水害・土砂崩れ・原発事故対応等)の体制強化を図る。
  
6. ○稼働率増に努める
  - ・低所得者等の利用ニーズに答えるべく、食事代を無料にし、安定した稼働率の確保に努める。

# 平成30年度 特別養護老人ホーム萩風園 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所在地 宮城県登米市中田町浅水字長谷山352-4  
 2) 設置主体 社会福祉法人恵泉会  
 3) 経営主体 社会福祉法人恵泉会  
 4) 開設年月日 平成2年4月1日  
 5) 事業・利用定員

事業	利用定員
介護老人福祉施設	50名
短期入所生活介護	5名
計	55名

介護が必要になった方の尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要なサービスを提供することを目的とし、提供されるサービスは、要介護状態等の軽減又は悪化の防止に資するものであることが求められております。プライバシーを尊重し、ご利用者皆様にあった自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現を今後も継続いたします。

一方、介護を必要とする方が増大する一方で、その支え手が減少することが見込まれております。「介護離職者ゼロ」を目指し、一億総活躍社会の実現に向けた最大のチャレンジであります。平成30年度は障害者雇用の増員、働きながら学校へ通う職員の採用を致しました。一人ひとりのニーズにあった、納得のいく働き方を実現するため、「働き方改革」の実現に向けて取組を進めています。

## 【 重 点 項 目 】

### ◎中重度の要介護者や認知症高齢者への対応強化

- ① 在宅生活の移行または継続するための支援、新しいニーズに向けた積極的な改善・改革を短期利用者中心に働きかけました。
- ② 重度のご利用者への対応充実。尊厳ある「看取り」に向け、ご利用者・ご家族の意向を最大限に取り入れ対応いたしました。
- ③ 個別ケアとプライバシーに配慮した住環境改善については重度化傾向のご利用者に対し、特浴室・特浴槽一式を刷新し、よりプライバシーの確保を実現いたしました。
- ④ 介護に留まらず「地域の核」となるべく、地域の方々と防災訓練の実施や研修の実施を通し地区への働きかけや、機能解放を実践しました。
- ⑤ 職員が意欲を持って仕事に取り組む職場づくりとして、改修等に関して積極的な参加を促し、職員目線での改善を実施しました。参画意識と、サービスを考える専門性の向上が図られました。
- ⑥ これまでも介護実習施設として、次世代の担い手を育成して参りましたが、学校等との連携がより図られ、就職に結びついております。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 16,569 名  
 2. 年間稼働率 90.79 %  
 (目標稼働率 95.00 %)  
 3. 年間平均介護度 4.11  
 4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
要介護3	290	303	322	330	341	330	350	300	279	287	252	279	3,663
要介護4	489	477	410	428	458	480	555	570	639	633	535	583	6,257
要介護5	534	570	546	574	585	532	516	512	504	481	447	483	6,284
計	1,343	1,381	1,308	1,363	1,415	1,372	1,452	1,412	1,453	1,432	1,262	1,376	16,569

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	2	1	1	1	2	0	3	1	1	0	2	2	16
退所者数	0	3	0	1	0	2	1	1	1	1	3	2	15
月末入所者数	48	46	47	47	49	47	49	49	49	48	47	47	+1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.04.19	桜まつり	家族の方々と三味線愛好会の演奏や踊りを楽しまれており、手拍子をしたり一緒に踊る等されており大変盛会であった。	利用者 41名 職員 18名
H30.04.19	ご利用者家族との懇談会	今年度の行事予定の説明及びご家族の要望や質疑応答が行われた。	利用者 0名 職員 12名
H30. 05. 04・05	菖蒲湯	浴室内が菖蒲の香りに包まれ、無病息災を祈りながらリラックスした。	利用者 38名 職員 8名
H30.07.28	萩の風まつり	食堂にて余興やゲーム(業者委託)で夏の楽しい一時を過ごした。余興では長谷子ども打ち囃子保存会の太鼓演奏や職員の腹踊り、理容若草の鈴木れい子様や千葉静子様のご歌や踊りで盛り上がった。	利用者 38名 職員 17名
H30.08.24	盆供養	故人の冥福を祈り、焼香し、団子や落雁を頂いた。	利用者 18名 職員 5名
H30.09.09	長寿を祝う会	沢山のご家族が出席の中、記念品を頂き感激されていた。アトラクションの歌や踊りでは笑顔で手拍子をとり楽しまれた。	利用者 46名 職員 16名
H30.10.03	芋煮会	青空の下、園庭で歌や体操をして体を動かした。また、利用者も調理に参加し、秋の味覚に舌包みを打ち、芋煮も好評であった。	利用者 23名 職員 11名
H30.12.19	忘年会	利用者と職員によるゲームや歌、にて大盛況であった。	利用者 38名 職員 15名
H30. 12. 21. 22	ゆず湯	浴室内がゆずの香りに包まれ、無病息災を祈りながらリラックスした。	利用者 48名 職員 10名
H30.12.27	餅つき大会	利用者と一緒に餅つきを行い、お供え用に丸めたり、ミズの木に飾ったりしながら、新年を迎える準備をした。	利用者 34名 職員 14名
H31.01.16	新年会	職員が付き添い施設長によるお屠蘇配り、職員による獅子舞披露、カラオケ、新年の抱負を職員も利用者も語り合い正月気分を味わった。	利用者 43名 職員 14名
H31.02.01	節分	年男、年女が袴と袴を身につけ、棟内に豆をまき、一年の厄を払った。	利用者 45名 職員 10名
H31.03.20	彼岸供養	故人の冥福を祈り、焼香し、団子や落雁を頂いた。	利用者 13名 職員 4名
実施回数		13回	延べ参加者数 571名

【短期入所者生活介護サービス】

- 年間延べ利用人員 1,632 名
- 年間稼働率 89.42 %  
(目標稼働率 95.00 %)
- 年間平均介護度 2.95
- 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	2	4	17	15	14	22	8	15	11	8	11	127
要介護2	28	26	27	33	20	23	30	24	32	42	42	48	375
要介護3	69	69	77	74	63	73	56	75	45	68	44	21	734
要介護4	26	17	13	10	15	13	14	17	34	16	30	33	238
要介護5	32	26	32	11	4	4	4	4	4	6	1	30	158
計	155	140	153	145	117	127	126	128	130	143	125	143	1,632

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.04.23	新任者研修(コンプライアンス、身体拘束廃止)	施設長	4名
H30.05.23	排泄について(適切なオムツの当て方)	白十字	11名
H30.06.27	食中毒の予防について	栄養士	5名
H30.07.18	コンプライアンス研修	施設長	7名
H30.08.22	認知症に関すること	中田・石越地域包括支援センター	16名
H30.09.19	身体拘束廃止について	副主任	7名
H30.10.25	事故発生防止について	副主任	6名
H30.11.21	認知症について	相談員	5名
H30.12.26	感染症対策、急変時対応について	看護師	10名
H31.01.23	身体拘束スピーチロックについて	介護福祉士	11名
H31.01.31	コンプライアンス研修	施設長	8名
H31.02.27	褥瘡予防について	看護師	12名
H31.03.28	看取りについて	看護師	10名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
H30.04.23	平成30年度 人事考課者研修	恵泉会	法人本部	1名
H30.06.08	平成30年度 介護リーダー育成研修「リーダーの意義・役割」	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	1名
H30.06.15	平成30年度 恵泉会新任職員研修	恵泉会	法人本部	1名
H30.06.15	平成30年度 恵泉会新任職員研修	恵泉会	法人本部	1名
H30.07.03	平成30年度 管理職育成研修 ①	恵泉会	法人本部	1名
H30.07.04	平成30年度 管理職研修「WJU中核職員研修」①	恵泉会	法人本部	1名
H30.07.04	平成30年度 管理職研修「WJU中核職員研修」①	恵泉会	法人本部	1名
H30.07.13	中田・石越地域包括ケア推進研修会	中田・石越地域包括支援センター	中田町改善センター	1名
H30.08.06	平成30年度 管理職育成研修 ②	恵泉会	法人本部	1名
H30.08.07	平成30年度 特定給食施設等従事者研修会	宮城県登米保健所	宮城県登米合同庁舎	1名
H30.09.13-14	東北ブロック老人福祉施設研究会	全国老人福祉施設協議会	福島県	1名
H30.09.18	平成30年度 管理職育成研修 ③	恵泉会	法人本部	1名
H30.09.19	平成30年度 管理職研修「WJU中核職員研修」②	恵泉会	法人本部	1名
H30.09.19	平成30年度 管理職研修「WJU中核職員研修」②	恵泉会	法人本部	1名
H30.09.19	介護事業場を対象とした労務管理セミナー	瀬峰労働基準監督署	エポカ21	1名
H30.10.12	平成30年度 人材育成研修「専門性とは」	宮城県老人福祉施設協議会	迫風園	1名
H30.10.19	平成30年度 人材育成研修「組織力とは」	宮城県老人福祉施設協議会	迫風園	1名
H30.10.19	平成30年度 人材育成研修「組織力とは」	宮城県老人福祉施設協議会	迫風園	1名
H30.10.23	平成30年度 管理職育成研修 ④	恵泉会	法人本部	1名
H30.10.24	平成30年度 介護リーダー育成研修「業務改善」	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	1名
H30.10.26	平成30年度 人材育成研修「組織力とは」	宮城県老人福祉施設協議会	迫風園	1名
H30.11.02	平成30年度 人材育成研修「聴く」技術	宮城県老人福祉施設協議会	迫風園	1名
H30.11.02	福祉レクリエーション研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	1名
H30.11.20	平成30年度 管理職育成研修 ⑤	恵泉会	法人本部	1名
H30.11.21	平成30年度 管理職研修「WJU中核職員研修」③	恵泉会	法人本部	1名
H30.11.21	平成30年度 管理職研修「WJU中核職員研修」③	恵泉会	法人本部	1名
H30.12.04	アンガーマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	1名
H30.12.20	平成30年度 管理職育成研修 ⑥	恵泉会	法人本部	1名
H31.01.15	平成30年度 管理職育成研修 ⑦	恵泉会	法人本部	1名
H31.01.16	平成30年度 恵泉会職員フォローアップ研修	恵泉会	法人本部	1名
H31.02.01	口腔ケア研修「OHATと口腔ケアについて」	光風園	光風園	1名
H31.02.01	口腔ケア研修「OHATと口腔ケアについて」	光風園	光風園	1名
H31.02.07	平成30年度 実践研究発表	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	1名
H31.02.08	平成30年度 管理職育成研修 ⑨	恵泉会	法人本部	1名
H31.02.15	平成30年度 管理職育成研修 ⑩	恵泉会	法人本部	1名
H31.02.19	宮城県福祉施設防犯訓練(高齢者福祉施設向け)	宮城県環境生活部	和風園	1名
H31.03.16	平成30年度 管理職育成研修 ⑪	恵泉会	法人本部	1名
H31.03.18	平成30年度 管理職育成研修 ⑫	恵泉会	法人本部	1名

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
職員会議	行事予定及び実施報告反省点の検討、各部門の連絡調整等	月1回	施設長、生活相談員他
ケアスタッフ会議	看護・介護・給食支援共有、新規更新利用者各種プラン説明等	月1回	施設長、生活相談員他
給食会議	献立メニュー、療養食・低栄養高リスクケース提供食の検討等	月1回	施設長、生活相談員他
連絡調整会議	施設運営、各種会議の議題設定等の検討	月1回	施設長、生活相談員他
サービス担当者会議	ケア手段・方法の検討、プラン目標の設定検討等	月2回	施設長、生活相談員他

## 3. 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
入所判定検討委員会	入所申込の確認、入所判定基準に従い優先順位の決定	3ヶ月1回	施設長、生活相談員他
栄養ケアマネジメント検討委員会	栄養ケアマネジメントに関わる関連職種間の情報交換	月2回	施設長、生活相談員他
サービス向上検討委員会	介護サービス計画の検討、サービス評価の実施・評価	月1回	施設長、生活相談員他
防災対策・安全運転検討委員会	防災計画の作成、防災訓練の実施、災害対策の検討	月1回	施設長、生活相談員他
感染症・褥瘡予防対策委員会	感染症の蔓延防止対策の検討、褥瘡予防計画書の作成	月1回	施設長、生活相談員他
身体拘束・虐待廃止対策委員会	身体拘束ゼロ対策の検討、虐待防止対策の検討	月1回	施設長、生活相談員他
事故防止・苦情対策委員会	事故防止対策の検討、ヒヤリハット・苦情処理等の検討	月1回	施設長、生活相談員他

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
H30.04.26	さくら幼稚園	園児との交流会	24名
H30.06.21	浅水小学校	児童との交流会	17名
H30.08.29	南方保育所	園児との交流会	17名
計			58名

#### (2) 実習

年月日	団体名	実習・見学内容	実人数	延人数
H30.7.18~11.14	宮城県登米総合産業高等学校	施設実習(2学年15日間)	2名	30名
H30.5.21~9.11	宮城県登米総合産業高等学校	施設実習(3学年16日間)	2名	32名
計			4名	62名

## 【今後の取り組み】

1. 在宅生活の移行または継続するための支援。新しいニーズに向けた積極的な改善・改革。  
2025年に向けて、一人ひとりが、住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるよう、医療、介護、介護予防、生活支援が包括的に確保される「地域包括ケアシステム」を構築していくことを継続して重点とする。
2. 尊厳ある「看取り」に向け、ご利用者、ご家族、嘱託・協力医療機関である米谷病院との連携強化。  
年々ご利用者が重度化しており、医療と介護の研修が必要となってくる。今後「看取り」実施の方向となっていくことは確実であり、それに向けた、ご利用者・ご家族・医療との検討と連携。研修会の実施等行っていき、安らかな最期が迎えられるようにしていく。
3. 業務仕訳で効率化を図り、介護ロボット・ICT導入により職員負担の軽減を図る。  
介護現場の改善に向け、自立支援や重度化防止の取り組みを事業者に促す介護報酬のインセンティブがさらに強化される方向性を鑑み、介護ロボットなどの技術を積極的に活用していく。
4. 介護について「地域の核」となるべく、地域貢献事業を通し地区への働きかけや、機能解放を実践する。  
これまで同様、施設の持つ機能を広める事はもちろん、一般家庭では実際に聴くことが難しい介護用品メーカーの専門的研修を行う。
5. 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり。専門性の向上を図り更なる資質向上を図る。  
参画意識を持って望める事業運営体制を進め、介護ロボット・ICTに関しては職員主体の導入計画を図る。
6. 介護実習施設として、次世代の担い手を育成する。  
登米総合産業高校等の介護実習を通し、指導する職員の知識・技術も確立していく。

# 平成30年度 中田デイサービスセンター菊風荘 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地	宮城県登米市中田町浅水字長谷山352-2
2. 設 置 主 体	社会福祉法人 恵泉会
3. 経 営 主 体	社会福祉法人 恵泉会
4. 開 設 年 月 日	平成2年3月15日
5. 利 用 定 員	30 名

## 【基本方針の実施内容について】

介護が必要になった方の尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要なサービスを提供することを目的とし、提供されるサービスは、要介護状態等の軽減又は悪化の防止に資するものであることが求められています。個別機能訓練についても実施1年以上経過し、対象ご利用者を広げ、本来デイサービスの求められている「リハビリ」を充実いたしました。ご利用者皆様にあった自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現を今後も継続いたします。

一方、介護を必要とする方が増大する一方で、その支え手が減少することが見込まれております。平成30年度は一人ひとりのニーズにあった、納得のいく働き方を実現するため、「働き方改革」の実現に向けて取組を進めました。

## 【 重 点 項 目 】

### ◎中重度の要介護者や認知症高齢者への対応強化

- ① 在宅生活を継続するための支援、新しいニーズに向けた積極的な改善・改革を中心に働きかけました。基本方針の通り、個別機能訓練加算Ⅰをご利用者負担とさせていただいておりますが、個別機能訓練加算Ⅱに準ずる内容の個別リハを実施しました。
- ② 重度のご利用者への対応充実。ご利用者・ご家族の意向を最大限に取り入れ対応いたしました。
- ③ 個別ケアとプライバシーに配慮した環境改善については①と重複いたしますが、個別機能訓練の充実が図られ成果が現れております。プライバシーに関してはハード面の不利を、施設内の配置等数年ぶりに見直し工夫により改善を図っております。
- ④ 地域ごとで行われる「ミニデイ」へ出向き、作業療法士による簡単なリハビリ体操やミニゲームを行い、施設機能解放を実践しました。
- ⑤ 職員が意欲を持って仕事に取り組む職場づくりとして、改修計画に関して積極的な参加を促し、サービスのすすめ方、改善点をフリー記述で集め職員目線での改善を実施しました。参画意識と、サービスを考える専門性の向上が図られました。
- ⑥ これまでも介護実習施設として、次世代の担い手を育成して参りましたが、学校等との連携がより図られ、就職に結びついております。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員	7,551 名
2. 年間稼働日数	308 日
3. 年間稼働率	(81.72) % (通所介護+総合事業)
	(71.69) % (通所介護)
	(10.03) % (総合事業)
4. 年間平均介護度	2.38 (通所介護)
	0.74 (総合事業)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	131	149	155	164	140	143	147	126	122	114	116	131	1,638
要介護2	214	248	234	213	199	192	210	197	223	204	220	247	2,601
要介護3	92	73	80	95	99	75	108	119	117	121	98	111	1,188
要介護4	62	59	56	59	54	27	48	54	43	44	42	81	629
要介護5	41	49	43	31	46	50	46	55	57	48	47	55	568
計	540	578	568	562	538	487	559	551	562	531	523	625	6,624
事業対象者	16	19	17	17	19	15	15	12	12	12	11	11	176
要支援1	8	9	8	9	8	7	9	8	8	7	10	11	102
要支援2	59	69	55	50	61	57	65	67	51	48	38	29	649
計	83	97	80	76	88	79	89	87	71	67	59	51	927
合計	623	675	648	638	626	566	648	638	633	598	582	676	7,551

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	0	1	2	4	1	1	3	2	1	0	1	18
契約終了者数	1	3	3	1	3	0	2	1	3	3	0	1	21
月末契約者数	86	83	81	82	83	84	83	85	84	82	82	82	-3

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.8.23 H30.8.24	菊風荘夏祭り	やぐら、ゲームやおやつ模擬店を設置し、お祭り気分を味わっていただきながら余興を見学、会場全体で盆踊りを踊った。	利用者 54名 職員 18名
H30.9.20 H30.9.21	長寿を祝い会	長寿の方のお祝いと、一年間の皆勤賞を表彰した。その後踊り等の余興を楽しんで頂いた。	利用者 53名 職員 17名
H30.12.22 H30.12.24	クリスマス会	クリスマスの装飾を行いサンタクロースからのプレゼントを受け取りクリスマス気分を味わいながらビンゴゲームを楽しんで頂いた。	利用者 50名 職員 14名
H31.2.2	節分豆まき	季節の風物詩である豆まきを行い邪気を払い無病息災を願う。	利用者 32名 職員 7名
H31.3.2	ひな祭り会	桃の節句を皆さんでお祝いし、ゲームなどをして楽しんで頂いた。	利用者 30名 職員 7名
実施回数	5回	延 べ 参 加 者 数	282名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.04.23	新任者研修(職員就業規則・服務規程・感染症予防他)	施設長	3名
H30.05.23	排泄について	白十字	2名
H30.05.25	コンプライアンスについて	施設長	4名
H30.06.27	食中毒予防	栄養士	1名
H30.07.18	コンプライアンスについて	施設長	3名
H30.09.19	身体拘束廃止研修	副主任	1名
H30.12.26	感染症予防対応・急変時対応について	准看護師、看護師	1名
H31.01.23	身体拘束スピーチロックについて	介護福祉士	1名
H31.02.27	褥瘡について	准看護師	2名
H31.03.08	看取りについて	准看護師	1名

## (2)外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
H30.04.23	平成30年度 人事考課研修	恵泉会	登米市	1名
H30.07.04	平成30年度 管理職研修「WJU中核職員研修」①	恵泉会	登米市	1名
H30.07.05	宮城県認知症介護基礎研修	宮城県社会福祉協議会	大崎市鹿島台	1名
H30.07.13	登米市中田・石越地域包括ケア推進会議	中田農村環境改善センター	登米市	1名
H30.08.02	介護保険サービス事業者集団指導	宮城県保健所	登米市	1名
H30.09.05-11	宮城県認知症介護実践者研修	宮城県社会福祉協議会	大崎市鹿島台	1名
H30.09.13-14	東北ブロック老人福祉施設研究会	全国老人福祉協議会	福島県文化センター	1名
H30.09.19	平成30年度 管理職研修「WJU中核職員研修」②	恵泉会	登米市	1名
H30.10.16	老人福祉施設職員研修	宮城県老人福祉協議会	仙台市	1名
H30.11.02	福祉レクリエーション研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	1名
H30.11.21	平成30年度 管理職研修「WJU中核職員研修」③	恵泉会	登米市	1名
H30.12.04	アンガーマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	1名
H31.02.01	口腔ケア研修「OHATと口腔ケアについて」	光風園	登米市	1名
H31.02.07	平成30年度 実践研究発表会	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	1名

## 2. 会議開催状況

## (1) 定例会議

会議名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	萩風園を含め施設管理等運営に関する検討	月1回	生活相談員1名
デイサービス調整会議	デイ行事企画・事業執行等の検討	月1回	施設長他12名
給食会議	給食内容・栄養管理等の検討	月1回	生活相談員1名

## 3. 委員会開催状況

## (1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
防災対策・安全運転委員会	防災計画の作成、防災訓練の実施	月1回	生活相談員他4名
サービス向上委員会	①サービス提供内容の検討②介護サービス提供計画の作成③サービス評価の実施・評価④サービス情報公表の実施・評価⑤内部・外部職員研修計画の作成⑥研修会の開催⑦記録整備の検討毎月1回別添計画の内容で実施	月1回	生活相談員他4名
事故防止・苦情対策検討委員会	事故防止対策、ヒヤリハット、苦情処理、安全対策の検討、記録整備の検討。毎月1回別添計画の内容で実施	月1回	生活相談員他3名
身体拘束・虐待廃止対策委員会	身体拘束ゼロ対策、人権擁護、人間の尊厳、虐待廃止対策の検討。	随時	生活相談員他3名
感染症・褥瘡予防対策委員会	感染症の蔓延防止、衛生管理体制の検討、褥瘡予防対策の検討。	随時	生活相談員他4名

## 【施設機能の開放】

## 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

## (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
H30.08.23	でこぼこ一座	踊り他	7名
H30.08.23	M氏	踊り他	1名
H30.08.24	優友会	踊り他	6名
H30.09.20	友の会芸能部	踊り他	8名
H30.09.21	石越民謡同好会	踊り・民謡他	6名
H30.12.07	太鼓愛好会「風の鼓響」	太鼓・踊り他	5名
H31.02.04	A氏	歌他	1名
H31.03.05	A氏	歌他	1名
H31.03.19	A氏	歌他	1名
実 施 回 数		9回	延 べ 参 加 者 数
			36名

## (2) 活動ボランティア

年 月 日	団 体 名	内 容	来 訪 者 数
4月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	7名
5月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	6名
6月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	6名
7月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	8名
8月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	7名
9月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	5名
10月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	7名
11月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	7名
12月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	5名
1月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	6名
2月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	5名
3月	ボランティア友の会 他	活動ボランティア	6名

## (3) 実習

年 月 日	団 体 名	実習内容	実人数	延べ人数
30.07.10	宮城県登米総合産業高校	介護実習	1名	1名
30.8.1.3.8.10.21	宮城県登米総合産業高校	介護実習	1名	5名
30.10.23.30	宮城県登米総合産業高校	介護実習	1名	2名
30.11.6	宮城県登米総合産業高校	介護実習	1名	1名
30.12.11~13	宮城県登米総合産業高校	介護実習	1名	3名

## 【今後の取り組み】

- 在宅生活を継続するための個別機能訓練支援の強化及び認知症ケア。
  - ①機能訓練を中心とした自立支援の要素の強いサービス
  - ②専門性を持って認知症ケアに特化したサービス  
より専門的介護サービスが提供できるよう、外部研修への積極参加、内部研修によるOJTを通し知識及び技術の向上を図り、当施設の現状に照らし合わせよりよいサービスを選択する。
- 重度のご利用者への対応充実。その実現のため具体的計画(設備面含)作成。  
旧ボイラー室の活用によりプライバシーを重視したスペースの確保、中間浴の更新にてより重度ご利用者に対応する選定など行う。
- 業務仕訳、ICTにより効率化を図り業務負担の軽減を実施。  
重複する記録などを一元化し、データを直接保存する事により転記ミス等のリスク及び事務量の軽減を図る。
- 介護について「地域の核」となるべく、地域貢献事業を通し地区への働きかけや、機能解放を实践する。  
今年度同様、地域のミニデイや催し物に積極的に出向き施設機能の解放や、地域に根ざす事業者であることのアピールに取り組む。しいては、「地域包括ケアシステム」中心事業者となりうるような取り組みを行う。

# 平成30年度 特別養護老人ホーム迫風園 事業報告

## 【 施設概要 】

- 1) 所在地 宮城県登米市迫町北方字大洞56番地6
- 2) 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
- 3) 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
- 4) 開設年月日 平成5年4月1日
- 5) 事業・利用定員

事業	利用定員
介護老人福祉施設	50名
短期入所生活介護	10名
計	60名

## 【 基本方針 】

迫風園は、法人の基本理念である「人間の尊厳」「人権の擁護・平等・主体性の尊重」を大切にする施設運営を目指す。人は誰もが良くなるために努力するという「信頼」の上に、温かい思いやりを持ってご利用者と、そして職員同士、または地域住民と、互いに助け合える環境の整備を図る。当施設が地域の中の社会資源として十分に貢献できるように、これまでの経験から培った資源、とりわけ有益な情報をコミュニティ・カフェ(RUI Cafe)を利用し積極的に発信していく。そして社会福祉法人の運営する特養として、社会福祉法人の原点である安定経営(事業の継続性)と奉仕の精神をもとに、高齢者ケアの基本理念である自立支援(①自己決定の尊重②残存能力の活用(能力の発揮)③生活(サービス)の継続性)を個別の施設サービス計画書に基づき実践する。また、地域包括ケア体制の中にきちんとしたポジションを確立できるように、他事業所や病院、学校などと連携し、地域共生社会の実現を目指す。理念と戦略と運営の三つが揃った経営スタイルを目指す。その他の法人理念である「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」も強く意識した上で、法人が示す以下の5つの柱を基に実行する。

1. 地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり
2. 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
3. 安定した経営を目指した健全な財政運営
4. 社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
5. 時代の要求に応じた各種の研修と質の高い職員の育成

## 【 重点項目 】

1. 地域ご利用者のしあわせを考えた支援と組織づくり
  - ・利用者が地域に出向く機会を十分に設定できなかった。
  - ・地域交流や年中行事、日々の日中活動を連動させ、心身の活動性を上げられた。
  - ・利用者、家族の意見を取り入れた個別ケア提供によりその人らしく生活できるサービス体制に努めた。
  - ・定期的なモニタリングの実施と職員の情報共有で、現状の把握を行い課題分析されたケアプランに基づいたサービス提供の実施を継続できた。
  - ・定期的にマッサージ師・音楽療法士を招き、心身の活性化を図れた。
  - ・利用者の医療ニーズを各医療機関に適切につなげられた。
  - ・定期的な歯科医師の専門指導を受け、口腔ケアの徹底を図れた。
  - ・介護機器・設備・施設各所の定期点検と修繕により、安全確保と業務の効率化を図れた。
  - ・ヒヤリハット、事故報告の検証を徹底し、予防策・対応策の立案と実行を図れた。
  - ・感染症予防・対策、防災・防犯・非常時対応に対する危機管理の徹底に努めた。
  - ・ご利用者及びご家族等からの苦情や提案に速やかに対応し、解決を図った。
  - ・ボランティアの積極的受入れ、幼児・児童との交流を定期的に開催し施設理解を図れた。
  - ・高校・大学・専門学校・教職員の実習を積極的に受入れ、マンパワーの養成に努めた。
  - ・高校生や専門学校生、大学生などの就職支援として、介護・福祉業界の説明ができた。
  - ・行政区自治会、婦人会、公民館、民生委員と連携、施設内のカフェを利用し地域ニーズの把握に努めた。
  - ・介護関連の講演会や研修会、説明会などを地域住民や学生、進路指導教員に向け実施した。
  - ・地域のケアマネジャーや地域包括支援センターなどと連携し、緊急ショートスティなど積極的に受け入れた。
  - ・併設する翠風荘と連携して、生活リハビリの積極的な導入を図るよう努めた。

2. 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
  - ・十分ではないが、一人ひとりの役割を明確にして目標に向けた取り組みが行える環境設定に努めた。
  - ・定期的な健康診断・検診を実施した。
  - ・法人内の研修(新任、階層別、フォローアップ)に計画的に参加した。
  - ・施設の内部研修(テーマ別)を毎月開催できた。時に他施設や地域住民も参加する拡大版でも実施した。
  - ・マニュアルを利用した業務習得状況の確認と、必要な指導を行うOJT体制を整備した。
  - ・腰痛予防体操は実施したが、ストレスチェックは実施できなかった。
  - ・「企画王」(利用者に関する事、業務に関する事、職員に関する事等様々な事を企画する取組)は実施した。
  - ・昼の20分ミーティングを定期的に開催し、波長合わせを行う。
  
3. 安定した経営を目指した健全な財政運営
  - ・水道光熱費・燃料等常に市場管理を実施し、コスト意識を強く持ちエコ対策に努めた。
  - ・修繕できるものは修繕し利用することを心し、常に「我が身」対応を心がけた。
  - ・十分ではないが、5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)を徹底的に行い、ムダを省くよう努めた。
  - ・金銭、スペース、探す時間、取りに行く時間のムダを洗い出し削減に努めた。
  - ・ベンチマーク(完成度の高いサービスやその水準を理解する)を設定し、近づく手順や方法を検討した。
  - ・見守りロボットを導入し職員の負担軽減を図ると同時に、利用者のデータを分析し個別ケアに活用するように努めた。
  
4. 社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
  - ・専門職以外のマンパワーの育成・活用に向けカフェ等の取り組みは開始したが、実際に活用するまでに至らなかった。
  - ・介護医療一体化構想を理解し、一層の連携強化を図れた。
  - ・地域貢献を積極的に推進している先進施設を見学し、取り入れられることはすぐに取り入れた。
  
5. 時代の要求に応じた各種の研究と質の高い職員の育成
  - ・各委員会活動の充実を図れた。
  - ・実践研究を宮城県老人福祉施設協議会の発表会や法人内研修会で発表できた。
  - ・各種・各機関の研修会に積極的に参加し専門的知識を身につけ、伝達を行うことができた。
  - ・キャリアアップ研修の継続で、指導監督職職員が次世代の育成を担う役割が遂行できるよう努めた。
  - ・安心・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現に努めた。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 17,715 名
2. 年間稼働率 97.07 %  
(目標稼働率 97.00 %)
3. 年間平均介護度 4.06
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	60	62	60	62	62	60	62	90	93	93	84	62	850
要介護3	222	217	240	248	279	270	251	270	310	290	252	310	3,159
要介護4	567	562	600	679	656	660	683	690	681	673	618	675	7,744
要介護5	564	572	509	545	509	510	527	450	465	468	416	427	5,962
計	1,413	1,413	1,409	1,534	1,506	1,500	1,523	1,500	1,549	1,524	1,370	1,474	17,715

0

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	1	4	2	2	0	1	0	0	1	0	0	12
退所者数	1	5	1	1	1	0	1	0	0	1	1	0	12
月末入所者数	49	45	48	49	50	50	50	50	50	50	49	49	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.04.26	さくら祭り	衣川会による民謡がアトラクションとして行われた。ご家族も参加し楽しい一時を過ごした。	利用者 43名 職員 14名
H30.07.05	七夕会	短冊に願い事を書いて飾り付ける。記念撮影の後、カラオケを皆で楽しんだ。	利用者 33名 職員 6名
H30.07.19	流しそうめん	企画王の中で季節感を得られる企画として実施。普段は小食の利用者も嬉しそうに食べていた。	利用者 42名 職員 12名
H30.07.21	佐沼夏祭り	前夜祭に参加したり、とめ青年会議所の山車を見学したり、すいか割りをしたりして、夏祭りを実感していただく。	利用者 26名 職員 12名
H30.08.02	夕涼み会	アトラクションや家族参加を無くして、職員とご利用者がゆっくり交流できる形の会を実施する。	利用者 26名 職員 10名
H30.08.23	盆供養	心性寺の住職に依頼し、亡き利用者の冥福を祈る。	利用者 26名 職員 10名
H30.09.13	長寿を祝う会	長寿を祝う会として、登米市敬老祝い金の贈呈や敬老記念品の贈呈など行い、フラダンスのアトラクションでお祝いする。	利用者 49名 職員 16名
H30.10.04	お月見会	グループ合同で、壁画作成に取り組む。互いに声を掛け合い器用に作成している。	利用者 35名 職員 7名
H30.12.23	クリスマス会	おやつ作りや余興を楽しみ、クリスマスの雰囲気を感じながら楽しい一時を過ごす。	利用者 38名 職員 5名
R1.12.27	餅つき大会	新年に願いを込めお供え餅を作る。また、正月の飾り付けを行いその雰囲気を味わう。	利用者 31名 職員 12名
H31.01.01	新年会	食堂において新年を迎えたことを祝い、食事を味わいながら楽しい時間を過ごす。	利用者 31名 職員 7名
H31.02.01	節分・豆まき	年男・年女の写真撮影をロビーで行い、正面玄関から各居室・廊下を鬼が逃げ回り、豆まきをし、一年の健康を祈願する。	利用者 25名 職員 9名
H31.03.07	ひな祭り	食堂にひな人形を飾りひな祭りの雰囲気を味わい、ひな祭りの由来やクッキングを行い楽しい一時を過ごす。	利用者 32名 職員 8名

【短期入所者生活介護サービス】

- 年間延べ利用人員 3,365 名
- 年間稼働率 92.19 %  
(目標稼働率 87.00 %)
- 年間平均介護度 3.50
- 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
要支援2	3	0	2	5	3	3	2	3	4	0	0	2	27
要介護1	2	4	2	0	0	3	3	0	0	0	3	13	30
要介護2	56	53	47	48	44	53	50	56	55	69	51	61	643
要介護3	102	111	83	69	81	75	72	76	67	82	63	67	948
要介護4	80	84	114	106	114	74	89	79	79	89	64	87	1,059
要介護5	60	61	55	57	61	67	52	52	67	68	33	19	652
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4
計	303	313	303	285	303	275	268	266	272	310	214	253	3,365

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.04.26	防災・災害時・緊急時の対応研修	生活相談員	6名
H30.05.17	介護基礎・身体拘束・高齢者虐待研修	施設長	8名
H30.06.07	行動規範・個人情報保護研修	施設長	5名
H30.07.12	感染症(食中毒)研修	管理栄養士	8名
H30.08.16	安全運転・安全衛生研修	施設長	8名
H30.09.06	認知症研修	副主任	10名
H30.10.11	皮膚疾患	maruho株式会社	10名
H30.10.18	機能訓練・排泄機能の向上研修	看護師	9名
H30.11.08	看取り研修	施設長	12名
R1.11.29	介護記録の書き方・ケアマネジメント研修	副主任	7名
R1.12.13	褥瘡・感染症対応研修	看護師	8名
H31.01.24	事故防止研修①(リスクマネジメント)・虐待防止	生活相談員	8名
H31.02.21	介護保険制度	生活相談員	10名
H31.03.07	接遇	施設長	10名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
H30.04.03	新任職員研修	老施協	仙台市	1名
H30.05.24	管理職育成研修	法人本部	登米市	1名
H30.05.29	安全運転管理者講習	宮城県公安委員会	登米市	1名
H30.05.30	新任職員研修	法人本部	登米市	1名
H30.07.03	管理職育成研修	法人本部	登米市	1名
H30.07.04	中核職員研修	法人本部	登米市	2名
H30.07.10	宮城県認知症介護実践リーダー研修	宮城県	大崎市	1名
H30.07.11	宮城県認知症介護実践リーダー研修	宮城県	大崎市	1名
H30.07.12	宮城県認知症介護実践リーダー研修	宮城県	大崎市	1名
H30.07.13	宮城県認知症介護実践リーダー研修	宮城県	大崎市	1名
H30.07.23	宮城県認知症介護実践リーダー研修	宮城県	大崎市	1名
H30.07.24	宮城県認知症介護実践リーダー研修	宮城県	大崎市	1名
H30.07.25	宮城県認知症介護実践リーダー研修	宮城県	大崎市	1名
H30.07.26	宮城県認知症介護実践リーダー研修	宮城県	大崎市	1名
H30.07.27	宮城県認知症介護実践リーダー研修	宮城県	大崎市	1名
H30.08.02	平成30年度介護サービス事業者集団指導	宮城県	登米市	2名
H30.08.06	管理職育成研修	法人本部	登米市	1名
H30.08.08	経営人材育成研修	老施協	仙台市	1名
H30.08.31	障害福祉サービス事業者集団指導	宮城県	石巻市	1名
H30.09.05	経営人材育成研修	老施協	仙台市	1名
H30.09.06	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	宮城県	仙台市	1名
H30.09.18	管理職育成研修	法人本部	登米市	1名
H30.09.19	中核職員研修	法人本部	登米市	2名
H30.09.26	認知症リーダーフォローアップ研修	宮城県	大崎市	1名
H30.09.28	恵泉会職員研修大会	法人本部	登米市	副主任他
H30.10.17	経営人材育成研修	老施協	仙台市	1名
H30.10.23	中核職員研修	法人本部	登米市	2名
H30.10.24	管理職育成研修	法人本部	登米市	1名
H30.11.14	経営人材育成研修	老施協	仙台市	1名
H30.11.20	管理職育成研修	法人本部	登米市	1名
H30.11.21	管理職育成研修	法人本部	登米市	1名
H30.11.27	キャリアパス支援事業研修「個別ケアの展開とチームケア」	宮城県	仙台市	1名
H30.11.27	宮城県高齢者権利擁護推進研修	宮城県	仙台市	1名
H30.12.04	介護講座「転ばないで歩こう」	宮城県	大崎市	1名
H30.12.20	管理職育成研修	法人本部	登米市	1名
H30.12.21	管理職育成研修	法人本部	登米市	1名

H31.01.15	管理職育成研修	法人本部	登米市	1名
H31.01.16	危険物取扱者保安講習	県危険物安全協会	仙台市	1名
H31.01.29	宮城県介護新任職員交流会	宮城県	栗原市	1名
H31.02.07	実践研究発表会	老施協	仙台市	1名
H31.02.08	平成30年度ロボット等介護機器導入セミナー	宮城県	仙台市	3名
H31.02.08	管理職育成研修	法人本部	登米市	1名
H31.02.15	管理職育成研修	法人本部	登米市	1名
H31.03.06	管理職育成研修	法人本部	登米市	1名

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
リーダー会議	グループケアを進めるうえでの業務改善点を話し合い、協議しながらグループ間の調整を図る	第1木曜日	グループリーダー
ケア会議	介護全般及び個別支援内容の統一を図る。	第2木曜日	施設長、栄養士、相談員 看護師、介護職員
職員会議	利用者の生活の質の向上に向け、業務全体が円滑に進むよう連絡、調整を図る	第3木曜日	全職員
給食会議	充実した食事提供のため、献立、調理に関する事項の検討及び改善を行う	第2金曜日	施設長、栄養士、調理員、相談員、看護師、介護職員、利用者

### (2) その他の会議

開催日	内 容	場 所	出席者
随時	モニタリング・ケアカンファレンス(ケアプランの見直し等)	介護部	相談部、介護部、給食部、看護部
随時	サービス担当者会議(更新・変更・新規)	会議室	施設長、相談部、介護部、給食部、看護部、利用者、家族

## 3. 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
リスクマネジメント委員会	リスクマネジメント、身体拘束廃止の取り組み、検討	第3木曜日	施設長、各委員
感染症・褥瘡対策委員会	感染症予防や褥瘡予防の検討	奇数月第3木曜日	施設長、各委員
アクティビティケア検討委員会 (自立支援・重度化防止検討委員会)	地域交流や日中活動の内容検討 科学的根拠に基づいた理論と技術の実践	第1木曜日	施設長、各委員
業務改善委員会 (介護ロボット活用委員会)	職員の資質の向上やサービス内容の向上 業務の省力化、効率化を検討する	第2木曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災に関する検討	随 時	施設長、各委員
入所検討委員会	第三者委員を交えて入所申込者の入所順番を決定する。	随 時	施設長、各委員
拠点連携委員会	併設通所介護事業所との連携事業の検討	随 時	施設長、各委員

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
H30.06.27	新田中学校2年生 職場体験	体験3日間	2名
H30.07.26	登米総合産業高等学校農業科	見学	20名
H30.07.24	ジェイ商事株式会社	車椅子清掃等	5名
H30.10.29	三日月舞踊一座 慰問	舞踊ショー	5名

#### (2) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
H30.04.12	宮城県迫桜高等学校3年	介護実習Ⅱ	1名	25名
H30.05.21	登米総合産業高等学校3年生	介護実習Ⅱ	2名	32名
H30.07.18	登米総合産業高等学校2年生	介護実習Ⅰ	2名	22名
H30.09.06	宮城県迫桜高等学校2年	介護実習Ⅱ	1名	16名
H30.10.29	介護労働安定センター	介護実習	1名	2名
H30.11.07	東北医科薬科大学医学部	介護・在宅医療体験学習	2名	2名
H30.10.24	登米総合産業高等学校2年生	介護実習Ⅱ	2名	8名

## 【今後の取り組み】

1. 地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり
  - ・利用者、家族の意見を取り入れた個別ケア提供により、その人らしく生活できるサービス体制を構築する。
  - ・利用者、家族の同意のもとに、看取り介護を実施し、ご利用者の尊厳や人権、生活の質を最後まで保つ。
  - ・定期的なモニタリングの実施で、課題分析されたケアプランに基づいたサービス提供の実施を継続する。
  - ・定期的にマッサージ師・音楽療法士を招き、心身の活性化を図る。
  - ・定期的な歯科医師の専門指導を受け、口腔ケアの徹底を図る。
  - ・利用者の医療ニーズを各医療機関に適切につなげる。
  - ・介護機器・設備・施設各所の定期点検と修繕により、安全確保と業務の効率化を図る。
  - ・ヒヤリハット・事故報告の検証を徹底し、予防策・対応策の立案と実行を図る。
  - ・感染予防・対策、防災・防犯・非常時対応に対する危機管理の徹底。
  - ・ご利用者及びご家族等からの苦情や提案に速やかに対応し、解決を図る。
  - ・幼児・児童・生徒・学生・地域住民との交流を定期的に開催し施設理解を図る。
  - ・実習やインターンシップ、見学やボランティアを積極的に受け入れ、マンパワーの養成と確保に努める。
  - ・行政区自治会、婦人会、公民館、民生委員などと連携、地域ニーズを把握。
  - ・認知症サポーター養成研修、認知症介護教室などを開催したり、講師を派遣したりする。
  - ・地域のケアマネジャーや地域包括支援センターなどと連携し緊急ショートステイなど積極的に受け入れる。
  - ・併設する翠風荘と連携して、生活リハビリの積極的な導入を図る。
  - ・施設行事と地域貢献活動を同時に行えるよう、他事業所や他団体、学校などとの共同開催を図る。
  
2. 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
  - ・行動目標シートの作成と、実行及び評価を通じて、職員一人ひとりの行動目標の達成を目指す。
  - ・定期的な健康診断・検診を実施する。
  - ・法人内の研修の新任職員研修、階層別研修、フォローアップ研修に計画的に参加する。
  - ・施設の内部研修(テーマ別研修)を毎月開催。時に他施設や地域住民も参加する拡大版で実施。
  - ・マニュアルを利用した業務習得状況の確認と、必要な指導を行うOJT体制を確立する。
  - ・禁煙や健康増進体操(モビバン利用)などに取り組み、労働災害防止にも繋げる。
  - ・「企画王」(利用者に関する事、業務に関する事、職員に関する事等様々な事を企画する取組)の実施。
  - ・昼の20分ミーティングを定期的に開催し、波長合わせを行う。
  
3. 安定した経営を目指した健全な財政運営
  - ・節電、節水を常に意識し、光熱水費の削減を図る。
  - ・修繕できるものは修繕し利用することを心し、常に「我が身」対応を心がける。
  - ・5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)を徹底的に行い、ムダを省く。
  - ・業務の3M(ムリ・ムダ・ムラ)を洗い出し効率化・最適化を図る。
  - ・ベンチマーク(完成度の高いサービスやその水準を理解する)を設定し、近づく手順や方法を検討する。
  - ・見守りロボットを活用し、職員の負担軽減を図ると同時に、利用者のデータを分析し個別ケアに活用する。
  
4. 社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
  - ・専門職以外のマンパワーの育成・活用を検討していく。
  - ・介護医療一体化構想を理解し、一層の連携強化を図ることができる。
  - ・地域貢献の新しい形(伝統芸能の継承など)を模索し、その為に必要な連携や協力に取り組む。
  
5. 時代の要求に応じた各種の研究と質の高い職員の育成
  - ・各委員会活動の充実を図る。
  - ・認知症介護実践者研修・リーダー研修、実習担当者養成研修等計画的に参加する。
  - ・各種・各機関の研修会に積極的に参加し専門的知識を身につけ、伝達を行うことができる。
  - ・指導監督職職員が次世代の育成を担う役割が遂行できる。(介護職員初任者研修講師や国家試験対策講師)
  - ・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現を図る。

# 平成30年度 迫デイサービスセンター翠風荘 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所在地	宮城県登米市迫町北方字大洞45-3
2. 設置主体	社会福祉法人 恵泉会
3. 経営主体	社会福祉法人 恵泉会
4. 開設年月日	平成3年4月1日
5. 利用定員	35名

翠風荘は、法人の基本理念である「人間の尊厳」「人権の擁護・平等・主体性の尊重」を大切にする施設運営を目指す。人は誰もが良くなるために努力するという「信頼」の上に、温かい思いやりを持ってご利用者と、そして職員同士、または地域住民と、互いに助け合える環境の整備を図る。困難を克服する活力が枯れないように、そしてご利用者やご家族が自発的に困難を克服できるように支援する関係の構築を目指す。当事業所が地域の中の社会資源として十分に貢献できるように、これまでの経験から培った資源、とりわけ有益な情報を積極的に発信していく。そして社会福祉法人の運営する通所介護事業所として、社会福祉法人の原点である安定経営(事業の継続性)と奉仕の精神をもとに、高齢者ケアの基本理念である自立支援(①自己決定の尊重②残存能力の活用③生活の継続性)を実践する。また、他事業所や病院、学校、地域住民などと連携し、地域共生社会の実現を目指す。その他の法人理念である「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」も強く意識した上で、法人が示す以下の六つの柱を基に実行する。

- ・地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり。
- ・職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり。
- ・安定した経営を目指した健全な財政運営。
- ・社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革。
- ・時代の要求に応じた各種の研修と質の高い職員の育成。
- ・30年度介護保険制度の改正に伴いサービス提供時間は7時間以上8時間未満とする。

## 【 重 点 項 目 】

1. 地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり
  - ・利用者及び家族の意向や意見を尊重しケアプランを基に個別ニーズを把握しサービスの向上に繋げた。
  - ・一人ひとりの活動を尊重しながらグループ毎の活動を充実し自立支援に繋げた。
  - ・対人援助技術の向上を図り、あらゆる場面で心地よい接遇に努めた。
  - ・季節感ある環境整備により、生活の活性化を図っている。
  - ・介護機器・設備・施設各所の定期点検と修繕により、安全確保と業務の効率化を図れた。
  - ・ヒヤリハット・事故報告の検証を徹底し、予防策・対応策の立案と実行を図れた。
  - ・感染予防・対策、防災・防犯・非常時対応に対する危機管理の徹底に努めた。
  - ・ボランティアの積極的な受け入れ、幼児・児童の交流を定期的開催し地域との交流を図れた。
  - ・高校・大学・専門学校・教職員の実習を積極的に受け入れ、マンパワーの養成に努めた。
  - ・利用者や家族のニーズを捉え、サービスの改善に積極的に取り組んだ。
  - ・利用時の対話から思いを把握し個人個人の連絡帳の活用を図り信頼関係を築いた。
  - ・担当者会議において各事業者等と互いに情報の共有に努めた。
  - ・介護関連の研修や認知症サポーター研修、介護教室等の開催、講師派遣については十分ではなかった。
  - ・広報誌の発行(年12回)により施設の活動内容を発信し、理解を深めた。
  - ・交流や年中行事、日々の日中活動を連動させ、心身の活動性をアップした。
  - ・行政区自治会、婦人会、公民館、民生委員と連携、施設内のスペースの解放、コミュニティ・カフェの開催で地域ニーズを把握することについては十分ではなかった。
2. 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
  - ・一人ひとりの役割を明確にして目標に向けた取り組みが行える環境設定に努めた。
  - ・定期的な健康診断・検診を実施した。
  - ・法人内研修の新任職員研修、階層別研修、フォローアップ研修に計画的に参加した。
  - ・事業所内部研修(テーマ別研修)を実施したが、他施設や地域住民も参加する拡大版での実施は十分ではなかった。
  - ・健全な心身の状態では利用者や接することが出来るように、腰痛予防体操実施やストレスチェック、負担軽減の為の業務改善、職員相互のチェック体制など、多様な取り組みを実施することについては十分ではなかった。
3. 安定した経営を目指した健全な財政運営
  - ・節電、節水を常に意識し、光熱水費の削減に努めた。
  - ・修繕できる物は修繕し利用することを心し、常に「我が身」対応を心がけた。
  - ・十分ではないが、5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)を徹底的に行い、ムダを省くよう努めた。
  - ・ベンチマーク(完成度の高いサービスやその水準を理解する)を設定し、それに近づく手順や方法を検討した。
  - ・利用者状況に応じた適時の介護ルーティングの見直しを実行し消費を抑えた。

4. 社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
  - ・十分ではないが、専門職以外のマンパワーの育成・活用を検討した。
  - ・介護医療一体化を理解し、一層の連携強化を図れた。
  - ・地域貢献を積極的に推進している先進施設を見学し、取り入れることについては十分ではなかった。
5. 時代の要求に応じた各種の研修と質の高い職員の育成
  - ・各委員会活動の充実を図れた。
  - ・認知症介護実践者研修・リーダー研修、実習指導担当者養成研修等計画的な参加については十分ではなかった。
  - ・各種・各機関の研修会に参加し専門的知識を身につけ伝達を行うことができた。
  - ・キャリアアップ研修の継続で、指導監督職職員が次世代の育成を担う役割が遂行できるよう努めた。
  - ・安心・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現を図れた。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 10,986 名
2. 年間稼働日数 361 日
3. 年間稼働率 86.95 % (通所介護＋総合事業)  
(78.99) % (通所介護)  
(7.96) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.50 (通所介護)  
0.71 (総合事業)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護 1	155	174	171	154	167	165	148	179	175	172	193	212	2,065
要介護 2	239	261	260	273	279	279	296	278	292	293	286	381	3,417
要介護 3	234	229	212	225	208	215	233	216	198	182	187	205	2,544
要介護 4	107	93	86	107	113	123	126	121	119	101	98	124	1,318
要介護 5	51	65	59	56	60	75	58	46	43	37	43	43	636
計	786	822	788	815	827	857	861	840	827	785	807	965	9,980
事業対象者	8	9	8	13	11	10	11	13	12	12	12	17	136
要支援 1	24	23	26	20	16	24	23	24	24	16	15	18	253
要支援 2	62	59	56	54	59	54	61	40	48	45	37	42	617
計	94	91	90	87	86	88	95	77	84	73	64	77	1,006
合計	880	913	878	902	913	945	956	917	911	858	871	1,042	10,986

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	4	2	2	2	9	1	3	4	3	4	5	6	45
契約終了者数	2	1	1	4	2	2	4	0	6	3	2	8	35
月末契約者数	111	112	113	111	118	117	116	120	117	118	121	119	10

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.04.13	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 32名 職員 12名
H30.05.21	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 32名 職員 13名
H30.06.06	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 30名 職員 12名
H30.06.13	佐沼保育園交流会	佐沼保育園園児と歌を通して交流会を行う。	利用者 30名 職員 14名
H30.07.17	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 31名 職員 12名
H30.08.22	夏祭り	射的や水ヨーヨーなどのゲームを行い、盆踊りを踊り夏祭りの雰囲気を楽しんでいただく。	利用者 33名 職員 13名

H30.08.23	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 32名 職員 12名
H30.09.11 ～09.14	長寿を祝う会	利用者の長寿をご家族と一緒に祝い、アトラクションなどを楽しんでいただく。	利用者 147名 職員 47名
H30.09.28	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 29名 職員 11名
H30.10.22	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 36名 職員 12名
H30.11.02	北方小学校5年生との交流会	地元の北方小学校5年生の皆さんと交流を図り楽しいひと時を過ごしていただく。	利用者 35名 職員 11名
H30.11.07	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 33名 職員 11名
H30.12.17	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 35名 職員 12名
H30.12.24 ～12.26	クリスマス忘年会	職員と一緒に余興に参加したり職員の扮するサンタクロースからクリスマスプレゼントを貰い、クリスマスを満喫していただく。	利用者 95名 職員 34名
H31.01.09 ～01.12	新年会	ボランティアによる余興を見たりお屠蘇を振る舞い、新年を迎えたことをみんなで祝う。	利用者 130名 職員 45名
H31.01.17	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 34名 職員 11名
H31.02.01 ～02.04	節分会	年男・年女の利用者様を紹介し豆まきを行い、邪気や厄を払い一年間健康に過ごせるよう祈願する。	利用者 124名 職員 43名
H31.02.15	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 30名 職員 11名
H31.03.25	ミュージックケア	ボランティアの先生と一緒に音楽に合わせたリズム体操や合唱に参加し楽しく過ごしていただく。	利用者 39名 職員 11名
		延べ参加者数	利用者 987名 職員 347名

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員 47 名
2. 年間稼働日数 361 日
3. 年間稼働率 0.37 %
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
身障デイ	区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	区分6	5	3	3	4	4	5	3	4	5	2	4	5	47
	合計	5	3	3	4	4	5	3	4	5	2	4	5	47

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
  - (1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.05.13 ～05.22	接遇研修	生活相談員兼介護福祉士	4名
H30.05.15 ～05.18	認知症ケア研修	管理者	14名
H30.06.11 ～06.15	安全運転講習	生活相談員兼介護福祉士	12名
H30.08.08	食中毒予防	管理栄養士	6名
H30.09.21 ～09.25	虐待防止・身体拘束廃止研修	施設長	11名

H30.11.20	リスクマネジメント研修	生活相談員兼介護福祉士	5名
H30.11.22	感染症対策研修	准看護師	3名
H30.12.20 ～12.21	冬道の安全運転研修	生活相談員兼介護福祉士	13名
H31.01.22 ～01.23	個人情報保護(プライバシー)・コンプライアンス施設内研修	施設長	14名
H31.03.12 ～03.15	緊急時対応(救命救急)研修	管理者	11名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
H30.06.13	登米市迫地域高齢者ネットワーク会議	迫包括支援センター	登米市	職員2名
H30.07.04	中核職員研修	法人本部	登米市	職員1名
H30.08.02	介護保険サービス事業者集団指導	宮城県東部保健福祉事務所	登米市	職員1名
H30.09.19	中核職員研修	法人本部	登米市	職員1名
H30.10.23	中核職員研修	法人本部	登米市	職員1名
H30.10.24	登米市障害福祉サービス事業所職員研修会	登米市福祉事務所	登米市	職員1名
H30.11.06	デイサービスセンター職員研修会	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	職員2名
H31.02.07	実践研修発表会	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	職員2名

(3) 認知症カフェ

年月日	項 目	内 容	参加者数
H30.04.21	出前カフェ	介護予防PPK・介護予防レクリエーション	35名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	利用者職員に関わる議題内容	月1回	生活相談員 1名
スタッフ会議	利用者利用状況等に関わる議題内容	月1回	施設長他 18名
デイサービス部会	各デイサービスの利用状況報告等	月1回	生活相談員 1名
給食会議	給食に関する事項等	月1回	給食係、利用者各1名

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
サービス検討委員会	利用者のサービス向上について	月1回	生活相談員他5名
リスクマネジメント委員会	リスクマネジメント、身体拘束廃止について	月1回	生活相談員他5名
アクティビティケア検討委員会	地域交流、利用者ケアの充実について	月1回	生活相談員他5名

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
H30.04.13	F様	ミュージックケア	1名
H30.04.19	熊谷流	演芸	11名
H30.05.21	F様	ミュージックケア	1名
H30.05.29	笑笑(ニコニコ)	演芸	5名
H30.06.06	F様	ミュージックケア	1名
H30.07.11	M様とご家族	施設見学	2名
H30.07.17	F様	ミュージックケア	1名
H30.08.03	ボランティア協会様	施設見学	2名
H30.08.23	F様	ミュージックケア	1名
H30.09.11	でこぼこ一座	演芸	8名
H30.09.12	迫町ボランティア友の会演芸チーム	演芸	6名
H30.09.13	迫文化協会こらぼ座	演芸	8名
H30.09.14	優友会	演芸	8名
H30.09.28	F様	ミュージックケア	1名
H30.10.22	F様	ミュージックケア	1名
H30.11.07	F様	ミュージックケア	1名
H30.11.10	I・W様	施設見学	2名
H30.11.15	H様ご家族	施設見学	3名
H30.11.21	宮城いきいき学園登米栗原校11期生希11期会	歌、カラオケ、手遊び、コカリナ、踊り	16名
H30.12.17	F様	ミュージックケア	1名
H30.12.18	フレッシュ燦美	3B体操、歌	15名
H30.12.21	M&L PUROJECT	シックスパックデモンストレーション	9名
H30.12.22	S様ご家族	施設見学	4名
H30.12.24	KI音楽企画	歌	3名
H30.12.26	宮野流宮野会 宮野浅太郎	演芸	4名
H31.01.09	三日月舞踊一座	演芸	10名
H31.01.10	迫文化協会こらぼ座	演芸、獅子舞	14名
H31.01.11	翔乃流 秀扇会	演芸	6名
H31.01.12	鈴乃流	演芸	10名
H31.01.15	松島オルゴール館	オルゴール演奏、合唱	3名
H31.01.17	F様	ミュージックケア	1名
H31.02.15	F様	ミュージックケア	1名
H31.03.18	童謡ボランティア「もくせい」	童謡・唱歌合唱	15名
H31.03.25	F様	ミュージックケア	1名
計			176名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
H30.07.10 ～08.03	登米総合産業高等学校	介護実習(通所介護) I 夏季	1名	6名
H30.07.26 ～08.08	迫桜高等学校	介護実習(通所介護) I	1名	8名
H30.10.25 ～10.26	介護労働安定センター	介護労働講習(実務者研修を含む)	1名	2名
H30.11.07	東北医科薬科大	介護・在宅医療体験	1名	1名
H30.10.23 ～12.13	登米総合産業高等学校	介護実習(通所介護) I 秋・冬季	1名	6名
計			5名	23名

## 【今後の取り組み】

1. 地域ご利用者のしあわせを考えた支援と施設づくり
  - ・利用者及び家族の意向や意見を尊重しケアプランを基に個別ニーズを把握しサービスの向上に繋げる。
  - ・一人ひとりの活動を尊重しながらグループ毎の活動を充実し自立支援に繋げる。
  - ・対人援助技術の向上を図り、あらゆる場面で心地よい接遇を心掛ける。
  - ・季節感ある環境整備により、生活の活性化を図る。
  - ・介護機器・設備・施設各所の定期点検と修繕により、安全確保と業務の効率化を図る。
  - ・ヒヤリハット・事故報告の検証を徹底し予防策・対応策の立案と実行を図る。
  - ・感染予防・対策、防災・防犯・非常時対応に対する危機管理の徹底。
  - ・幼児・児童・生徒・学生・地域住民との交流を定期的に開催し交流を図る。
  - ・実習やインターンシップ、見学やボランティアを積極的に受け入れ、マンパワーの養成と確保に努める。
  - ・利用者や家族のニーズを捉え、サービスの改善に積極的に取り組む。
  - ・利用時の対話から思いを把握し個々人の連絡帳の活用を図り信頼関係を築く。
  - ・担当者会議において各事業者等と互いに情報の共有に努める。
  - ・認知症サポーター養成研修、認知症介護教室、介護予防教室等を開催したり、講師を派遣したりする。
  - ・広報誌の発行(年12回)により施設の活動内容を発信し、理解を深めていただく。
  - ・行事や地域貢献を、他事業所や他団体、学校などと連携し、共同開催を図る。
  - ・行政区自治会、婦人会、公民館、民生委員と連携、コミュニティ・カフェ等で地域ニーズを把握。
2. 職員が健康で意欲を持って仕事に取り組む職場づくり
  - ・行動目標シートの作成と、実行及び評価を通じて、職員1人ひとりの行動目標の達成を目指す。
  - ・定期的な健康診断・検診を実施。
  - ・法人内の研修の新任職員研修、階層別研修、フォローアップ研修に計画的に参加する。
  - ・事業所内部研修(テーマ別研修)を実施。時に他施設や地域住民も参加する拡大版で実施。
  - ・禁煙や健康増進体操(モビバン利用)などに取り組み、労働災害防止にも繋げる。
3. 安定した経営を目指した健全な財政運営
  - ・節電・節水を常に意識し、光熱水費の削減を図る。
  - ・修繕できる物は修繕し利用することを心し、常に「我が身」対応を心がける。
  - ・5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ)を徹底的に行い、ムダを省く。
  - ・ベンチマーク(完成度の高いサービスやその水準を理解する)を設定し、それに近づく手順や方法を検討する。
  - ・業務の3M(ムリ・ムダ・ムラ)を洗い出し、効率化・最適化を図る。
4. 社会の新しいニーズに向けた積極的な改善・改革
  - ・専門職以外のマンパワーの育成・活用を検討していく。
  - ・介護医療一体化を理解し、一層の連携強化を図ることができる。
  - ・地域貢献の新しい形(伝統芸能の継承など)を模索し、その為に必要な提携や協力に取り組む。
5. 時代の要求に応じた各種の研修と質の高い職員の育成
  - ・各委員会活動の充実を図る。
  - ・認知症介護実践者研修・リーダー研修、実習指導担当者養成研修等計画的に参加する。
  - ・各種・各機関の研修会に参加し専門的知識を身につけ伝達を行うことができる。
  - ・指導監督職が次世代の育成を担う役割が遂行できる(介護職員初任者研修講師や国家試験対策講師)。
  - ・安全で、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現を図る。

# 平成30年度 特別養護老人ホーム南風園 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所在地 宮城県登米市南方町高石6番地43
- 2) 設置主体 社会福祉法人恵泉会
- 3) 経営主体 社会福祉法人恵泉会
- 4) 開設年月日 平成6年5月1日
- 5) 事業・利用定員

事業	利用定員
介護老人福祉施設	54名
短期入所生活介護	16名
計	70名

恵泉会基本理念である「人間の尊厳」「人権の擁護・平等・主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」、「職員の資質・専門性の向上」を具体化し、安定経営と個人としての尊厳が守れる介護を基本とした公平な処遇・権利が擁護される施設運営を目指す。また、地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療と介護の連携・役割分担が重要になるが、その中で高齢者福祉施設は地域の拠点となり、公益性・地域密着を基本として専門性の高いサービスの提供と地域を支える積極的な事業展開をし、介護保険制度が目指す「高齢者の尊厳の保持・自立支援」の実現や地域貢献に力を入れる。地域の声に耳を傾け、施設運営に活かし、法人の理念を追求し、その使命を遂行していく。そのために、今年度は安定したサービス提供ができるよう職員の人材確保・育成及び、短期利用者の稼働率を上げ、在宅生活が続けられる手助けをすることを目指す。

1. 残存機能を活用し、できるだけ自宅と同じ様な生活が実現できるよう温かみのある施設作りを目指す。
2. 個人情報の保護及び基本的人権が擁護される施設を目指す。
3. 地域社会との交流・連携を保ち、地域社会の一員として自覚する生活を送り、地域住民から「福祉の拠」と認められる事業所を目指す。
4. 職員は常に研鑽し、介護保険の目的を忘れず業務に取り組み、相互に責任と信頼で協調性のある職場環境を作る。

## 【 重 点 項 目 】

1. 介護保険法の基本的視点に立った質の高いサービスの提供  
（「生活の場の拡大・生活の活性化」、「同性介護の推進」、「中重度の要介護者への個別ケア」、「口腔・栄養管理に関する取り組みの充実」、「身体拘束ゼロに高齢者虐待防止」、「看取り期における対応の充実」）
2. 介護事故を未然に防止してリスクの軽減を図る  
（「事故の検証・分析し再発防止策を講じる」、「認知症高齢者の生活プログラム作成」、「感染症・食中毒の予防」）
3. 地域包括ケアシステムの構築に向け、地域福祉の拠点として施設機能の充実  
（「緊急短期入所体制の構築」、「実習生・ボランティアを積極的に受け入れる」、「地域住民との交流」、「地域福祉資源の活用」）
4. 稼働率の向上と安定した事業経営  
（「空床発生時、スムーズな新規利用者の入所」、「居宅介護支援事業所との連携強化」、「介護人材確保」）
5. 職員の資質・専門性の向上  
（「新任職員研修、内部研修、外部研修を効果的に活用」、「人事考課の育成面接」、「国家資格等取得のための研修」、「新しいシステム等へのチャレンジ」）

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 18,843 名
2. 年間稼働率 95.60 %  
(目標稼働率 97.00 %)
3. 年間平均介護度 4.11
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	330	341	339	341	341	325	279	270	279	273	224	248	3,590
要介護4	862	899	870	899	829	801	821	809	811	790	622	647	9,660
要介護5	356	378	390	405	465	413	434	461	496	552	560	683	5,593
計	1,548	1,618	1,599	1,645	1,635	1,539	1,534	1,540	1,586	1,615	1,406	1,578	18,843

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	2	1	1	0	1	1	2	1	1	0	4	15
退所者数	2	0	1	0	3	3	0	1	0	2	1	4	17
月末入所者数	51	53	53	54	51	49	50	51	52	51	50	50	-2

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.04.22	春まつり	家族の方と一緒に余興を楽しみながら、絆を深めていただくと共に、花見気分を満喫していただく。	利用者 47名 職員 18名
H30.05.02 ～5	菖蒲湯	端午の節句にちなみ、昔からの風習に習い、湯船に菖蒲を浮かべ健康と無病息災を願う。	利用者 50名 職員 23名
H30.07.10	七夕交流会	七夕の雰囲気を感じながら保育所の子供達と楽しい時間を過ごす。また、子供達との交流を通して気分転換を図り有意義なひとときを過ごす。	利用者 27名 職員 11名
H30.08.01	夕涼み会	余興を楽しんでいただくと共に、スイカ割りや出店を廻って頂き、夏祭りの雰囲気を満喫していただく。	利用者 52名 職員 22名
H30.08.20	盆供養	住職を迎え読経・焼香を行い物故者の冥福を祈る。	利用者 36名 職員 9名
H30.09.10	長寿を祝う会	長年の労に感謝し、余興を楽しみながら家族と共に祝う。	利用者 54名 職員 22名
H30.10.13	あやめ園との交流会	地域障害者施設の方々を招待し、ゲーム等行い交流を深める。	利用者 43名 職員 8名
H30.12.21	クリスマス忘年会	余興や会食を楽しみながら、この一年を振り返り、思い出を語り合う。	利用者 53名 職員 16名
H30.12.19 ～22	ゆず湯	昔からの風習に習い、湯船にゆずを浮かべ利用者の方々が入浴し、健康祈願、無病息災を祈願する。	利用者 66名 職員 24名
H31.02.01	新年会	新年の雰囲気を感じながら新年を祝い、一年の健康を願う。また、余興を楽しみ和やかな時間を過ごしていただく。	利用者 37名 職員 8名
H31.02.01	節分	健康と長寿を願い、豆まき厄を払う。	利用者 61名 職員 5名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 5,769 名
2. 年間稼働率 98.78 %  
(目標稼働率 88.00 %)
3. 年間平均介護度 3.12
4. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	7
要支援 2	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
要介護 1	50	36	51	37	34	32	55	53	35	33	35	30	481
要介護 2	135	140	133	152	125	166	129	122	155	104	105	136	1,602
要介護 3	113	137	126	117	144	123	135	113	160	145	119	96	1,528
要介護 4	49	35	62	56	48	59	56	45	46	47	92	88	683
要介護 5	119	97	80	93	104	125	144	121	112	91	107	96	1,289
その他	16	18	16	19	15	12	16	15	15	3	15	15	175
計	482	463	468	481	470	517	539	469	523	423	473	461	5,769

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況
  - (1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.04.17	ボイラー・防災機器の取り扱い研修	相談員	16名
H30.05.03	正しい血圧の測り方研修(ミニ研修)	南風園看護師	11名
H30.05.29	オムツのあて方研修	白十字(株)・(株)あかぬ福祉	9名
H30.06.12	防災研修(消火訓練・消火器の使い方)	南風園相談員	19名
H30.06.19	食中毒予防研修	管理栄養士	10名
H30.06.20	介護事故防止研修(前期)	南風園介護福祉士	7名
H30.07.17	普通救命講習	登米市消防署西出張所	9名
H30.07.24	普通救命講習	登米市消防署西出張所・相談員	6名
H30.07.30	医療研修 腰痛予防について	南風園准看護師	10名
H30.08.10	コンプライアンス研修	南風園施設長	10名
H30.08.21	普通救命講習	登米市消防署西出張所・相談員	9名
H30.08.28	普通救命講習	登米市消防署西出張所・相談員	7名
H30.08.29	医療研修 褥瘡予防について	南風園看護師	7名
H30.09.27	身体拘束廃止推進研修(1回目)	南風園看護師	8名
H30.09.30	ポジショニングについて(ミニ研修)	南風園看護師 准看護師	1名
H30.10.01	新人研修(施設内における感染症について)	南風園准看護師	1名
H30.10.03	ブラッシング研修	高橋歯科クリニック医院長	7名
H30.10.30	コンプライアンス研修	南風園施設長	19名
H30.10.31	カテーテル留置中の感染について(ミニ研修)	南風園看護師	10名
H30.11.06	交通安全教室・防犯指導教室	佐沼警察署	13名
H30.11.28	夜間の急変時の対応と報告の仕方(ミニ研修)	南風園看護師・准看護師	7名
H30.11.30	感染予防研修	南寿荘准看護師	14名
H30.12.23	夜間の急変時の対応と報告の仕方(ミニ研修)	南風園看護師・准看護師	11名
H30.12.25	認知症高齢者介護基本研修	南風園介護福祉士	7名
H31.01.14	身体拘束廃止推進研修(2回目)	南風園介護福祉士	12名
H31.01.25	介護予防研修	南寿荘作業療法士	11名
H31.02.15	プライバシー研修	南風園副主任	7名
H31.02.20	認知症サポーター研修	南方・米山地域包括支援センター	11名
H31.02.22	事務処理研修	南風園主任	12名
H31.02.22	ケース記録記入について(ミニ研修)	南風園相談員	6名
H31.03.13	介護事故防止研修(後期)	南風園介護福祉士	10名

## (2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開催地	参 加 者
H30.07.19	介護福祉士養成施設実習指導者研修	宮城県介護福祉士会	仙台市	1名
H30.08.07	平成30年度特定給食施設等調理従事者研修会	宮城県登米合同庁舎	登米市	1名
H30.08.09	介護福祉士養成施設実習指導者研修会②	宮城県介護福祉士会	仙台市	1名
H30.08.31	平成30年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導研修会	宮城県石巻合同庁舎	石巻市	1名
H30.10.01	平成30年度社会福祉施設「新任職員研修」	宮城県社会福祉協議会	仙台市	1名
H30.10.04	平成30年度瀬峰地区産業安全衛生大会	瀬峰労働基準監督署	栗原市	1名
H30.10.04	平成30年度宮城県高齢者権利擁護推進研修	宮城福祉オンブズネット「エール」	仙台市	1名
H30.10.16	平成30年度宮城県社会福祉施設「老人福祉施設研修」	宮城県社会福祉協議会	仙台市	1名
H30.10.26	ほのぼのフォーラム2018in仙台	NDソフトウェア株式会社	仙台市	2名
H30.12.05	平成30年度「口腔ケア・栄養管理研修」	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	1名
H30.12.19	平成30年度宮城県高齢者権利擁護推進研修	宮城福祉オンブズネット「エール」	仙台市	1名
H31.01.15	平成30年度「看取りケア研修」	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	1名
H31.02.01	「OHAT(オーハット)と口腔ケアについて」	特別養護老人ホーム光風園	登米市	1名
H31.02.07	平成30年度宮城県登米保健所管内結核対策研修会	登米地区地域医療対策委員会	登米市	1名
H31.02.19	平成30年度宮城県ユニットケア研修	宮城県保健福祉部長寿社会政策課	仙台市	1名

## 2. 会議開催状況

## (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第2木曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
ケアスタッフ会議	利用者のサービス内容に関する事項の検討	毎月第3木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	月1回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
サービス担当者会議	個別サービス内容及び問題ケースに関する検討	月1回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
栄養ケアマネジメント会議	利用者栄養状態の把握等をマネジメント及び検討	月1回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

## 3. 委員会開催状況

## (1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
苦情処理リスクマネジメント委員会	家族・利用者の苦情・に対しリスクを考慮しながら予防と防止対策を図る。	毎月第1木曜日	施設長・相談員・看護師・介護職員
サービス向上委員会	利用者サービスの質の向上を検討企画し、サービス評価事業に取り組む。	毎月第3木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
研修委員会	職員の資質の向上を図れるよう、施設内研修の実施の企画調整を行う。	毎月第3木曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束0をめざし誘発原因の除去や環境の整備を行う。	毎月第4木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
予防衛生対策委員会	各種感染症の予防・対策の検討を行い、まん延の防止に努める。	毎月第4木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡が発生しないよう体制の整備及び、研修等を行う。	毎月第4木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
防災委員会	非常時に備え、防災訓練の実施、安全な環境を整備する。	毎月第1金曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員

【施設機能の開放】

1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

(1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
H30.04.05	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.04.12	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.04.19	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.04.22	若泉貴智栄会	春祭りでの演舞	9名
H30.05.03	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.05.10	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.05.17	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.06.07	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.06.09	みちのくミュージックケア研究会	リズム体操	3名
H30.06.14	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.06.21	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.07.05	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.07.12	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.07.19	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.08.01	社会福祉協議会ボランティア南方レクリエーション部	夕涼み会でのアトラクション	5名
H30.08.02	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.08.09	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.08.16	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.09.06	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.09.09	社会福祉協議会ボランティア南方レクリエーション部	長寿を祝う会でのアトラクション	5名
H30.09.13	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.09.15	メガネの相澤	メガネの洗浄とフレームの調整	1名
H30.09.20	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.10.04	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.10.11	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.11.03	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.11.08	社会福祉協議会	趣味の会の援助	16名
H30.11.09	茶道裏千家みなみかた	抹茶と饅頭を利用者に振る舞っていただく	6名
H30.11.21	社会福祉協議会	趣味の会の援助	18名
H30.12.06	社会福祉協議会	趣味の会の援助	19名
H30.12.13	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H30.12.20	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H31.01.10	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H31.01.30	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H31.02.07	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H31.02.14	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H31.02.21	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H31.03.07	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H31.03.14	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名
H31.03.21	社会福祉協議会	趣味の会の援助	1名

## 【今後の取り組み】

### 1. 自立支援生活

「身体的」・「精神的」・「社会的」自立を達成し、改善または、維持するよう介護という方法によって支援する。生活の継続性を見ていくとき、健康状態に心身、活動、参加の状況がどのように関わっているか個別に把握し、心身共に自立した生活を送ることが可能となる活動や参加を主体とした取り組みを実施する。

1) 栄養マネジメントでは、栄養(1,400～1,500kcal/日)と水分(1,500ml)の摂取目標とする。

2) 運動は、定期的に機能訓練プログラム(認知機能・運動器機能)を充実し、生きがいサービス活動(生花・書道・音楽・創作・レク活動・外出等)の一環として実施する。機能向上や維持の効果測定にはADL評価にて実施する。

3) 個別ケアの充実のため、24hシートにて生活リズムを把握し、その人にあった介護(排泄、3日以内に1回の自然排便、排尿コントロール)に取り組む。また、入浴を週3回の実施。スキントラブルや希望者の方を中心に取り組む。

4) 生活に潤いと生きがい、楽しみを持つ取り組みについて、希望者によるグループ外出、買い物イベント(年2回:6月・10月)・ボランティアとのふれあい等、年間行事を実施していく。

### 2. 認知症介護

高齢者人口は高止まりながら、2040年までは続く予想。年代人口の分、認知症となる方も多数の割合を占め、家族での介護は限界、地域で支えることとなるため、認知症介護を充実させていく。

1) 認知症カフェ「みなみかぜ」を年2回実施する。認知症理解と啓蒙、専門性の向上、介護の情報発信を目指す。

2) 認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターの協力のもと開催し、地域の方に認知症についての理解を深め、ケアに携わる人の価値を認め、支援や協力体制(仮称:認知とも)の取り組みを検討していく。

3) 認知症の特性に応じた介護技術研修や認知症プログラムにより、特性に応じたケアや予防としての取り組みを検討していく。

### 3. 中重度ケア

特に中重度の利用者の生活リズムを整え、生活にメリハリを持つことは、心身の健康維持を保つことになる。基本的介護である食事、入浴、排泄の介助の他、更衣を促し、活動参加や環境衛生、栄養管理、口腔ケア、褥瘡予防に委員会を通じて取り組んでいく。

1) 興味・関心チェックシートを使用し、その人にとって意味のある作業・生活行為を見つけ個別ケアとして支援していく。

2) 生活のリズム、メリハリのある生活のため支援を実践していく。就寝着から日常着へ着替えやその方にあった服装選びなど、希望や思いに添った支援を行う。

3) 余暇支援の充実は生活に潤いを持たせること。季節行事、買い物イベント、目的に応じた外出、踊りや歌、生け花や書道など取り組む。またボランティアによる慰問や実習を積極的に受け入れし、賑わいと充実を図っていく。

### 4. 職員の資質・専門性の向上

1) 外部研修や伝達研修、内部研修の開催の充実を継続して取り組む。時間の合間を見つけたミニ研修も随時実施し、理論と実践の学びを深める。

2) 認知症ケア実践者研修、リーダー研修へ参加、修了により「認知症ケア加算」取得を進める。また、実施している褥瘡予防委員会の取り組みを加算へつなげ、「褥瘡ケア加算」取得を進める。24hシートにより、排泄支援に取り組む「排泄ケア加算」取得を進める。

3) 基本理念、倫理綱領の理解と行動、服務規定等、その他取り巻く規則規定の遵守の徹底を図り、職員間共通認識を高めよりよい職場環境にしていく。

### 5. 継続的な事業運営

1) 取り損ねている加算の取得(認知症ケア、褥瘡ケア)により、収入増を目指す。

2) 毎月事業収支の把握、月管理を徹底し、省エネやムダを省く等細やかに実践していく。

3) 短期目標の明確化と長期目標の共有を図り、新規事業の展開、経営効率を検討する。

# 平成30年度 南方デイサービスセンター南寿荘 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                |
|--------------|----------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市南方町高石6-8 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会     |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会     |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成6年5月1日       |
| 5. 利 用 定 員   | 30 名           |

恵泉会の基本理念である「人間の尊重」、「人権の擁護・平等・主体性の尊重」、「生活の質の向上」、「地域福祉の向上」、「職員の資質・専門性の向上」を基本とし、

- ・利用者の個人としての生活、暮らし方を尊重した個別ケアを実践します。
  - ・利用者の意思で生活が楽しめるよう、機能維持、拡大を目指す自立支援を追求します。
  - ・利用者が生きがいと潤いのある安心な生活が送れるように支援します。
  - ・利用者が地域社会の一員として自覚する生活を送り、地域住民から「福祉の拠」として認められる事業所を目指します。
  - ・利用者が職員を自分の生活の援助者として心から信頼する関係を構築します。
- を南寿荘の基本的な方針として、利用者が明るく楽しく毎日を過ごされ、そして安全・安心な生活の場の実現を目指します。

## 【 重 点 項 目 】

1. 利用者の意向に添ったサービスの提供
  - ・園芸活動において、作付けから収穫までを行い、作る楽しみを持つ事やまた収穫した作物を調理し食する事で、サービス利用に対する楽しみや、意欲の向上につながった。
  - ・外出機会の少ない利用者には、買い物、四季折々の観光名所へのドライブ等で潤いのある生活を支援する事ができた。
2. 機能訓練に取り組みやすい環境作り
  - ・専門職(OT)を中心とした、身体機能の向上・維持・回復を目的とした要介護利用者を対象とした個別機能訓練の実施し、並びに  
総合事業対象者とした運動器機能向上事業への実施に向け、試行的取り組みを行った。
3. 地域包括ケアシステムの構築に向け、地域福祉の拠点として施設機能の充実を図る
  - ・定期的に地域の幼児、児童、ボランティアの受け入を行い、交流を図れた。
  - ・毎月、広報誌を発行し施設の活動を発信し理解を深めた。
  - ・利用者家族との交流の中で(行事に参加、1回/年)、家族介護者教室的な話し合ができる場面を持つ事が出来た。具体的には本人を中心に家族と相談、長寿を祝う会の際に実施する事で相互の考えを共有する事が出来た。
  - ・オレンジカフェの実施により、地域福祉の拠点として地域住民に周知を図る事ができた。
  - ・認知症の理解や予防に対して見識を深める事ができた。
4. 稼働率と事業経営の安定
  - ・居宅支援事業所からの新規利用者紹介依頼やスポット利用の受け入れ、並びに重複利用者の受け入れ等行ってきたが、目標稼働率88%に対して利用者の死去や体調不良者が多く84%の実績であった。目標達成については、登録者を確保し利用者の増員が必要である。
5. 職員の資質・専門性の向上
  - ・施設内研修に参加することで職員の資質の向上を図ることが出来た。
  - ・職員フォローアップ研修等に参加し職員の意識の向上や次世代の育成に繋げることが出来た。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 7,776 名
2. 年間稼働日数 308 日
3. 年間稼働率 84.16 % (通所介護+総合事業)  
(77.00) % (通所介護)  
(7.16) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.20 (通所介護)  
0.80 (総合事業)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	131	176	186	200	193	153	171	174	158	155	148	151	1,996
要介護2	225	245	260	227	259	227	261	241	228	232	221	240	2,866
要介護3	133	132	118	130	125	111	113	108	106	87	86	109	1,358
要介護4	37	46	44	44	51	50	62	48	45	43	65	84	619
要介護5	24	22	19	18	20	19	20	31	32	27	17	27	276
計	550	621	627	619	648	560	627	602	569	544	537	611	7,115
事業対象者	0	0	3	4	5	4	4	5	4	6	10	11	56
要支援1	11	4	4	4	8	10	7	9	8	9	20	24	118
要支援2	35	42	34	45	47	45	47	40	42	40	31	39	487
計	46	46	41	53	60	59	58	54	54	55	61	74	661
合計	596	667	668	672	708	619	685	656	623	599	598	685	7,776

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	3	4	5	3	6	1	3	1	1	3	5	5	40
契約終了者数	4	2	6	2	4	0	3	0	2	3	6	2	34
月末契約者数	73	75	74	75	77	78	78	79	78	78	77	80	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.9.13~15	長寿を祝う会	社会に貢献された利用者の方々に感謝と敬意を表し、長寿をお祝いする。	利用者 78名 職員 27名
H30.12.17~19	忘年会	職員と一緒に余興に参加して頂き、身体を動かされたり楽しい雰囲気味わうと共に今年一年を振り返る機会に繋げる。	利用者 75名 職員 32名
H31.1.10~12	新年会	新年のお祝いをすると共に、ボランティアによる余興で楽しい時間や地域の方々と交流する事で、張りの有る生活に繋ぐ。	利用者 80名 職員 29名

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.04.17	車輻ボイラー取扱研修	光風園主任生活相談員兼介護支援専門員	2名
H30.05.29	オムツの当て方研修	(株)あかね福祉・白十字(株)	1名
H30.06.12	防災研修「消火訓練」(消火器の使い方)	生活相談員兼介護支援専門員	6名
H30.06.19	食中毒予防研修	管理栄養士	2名
H30.06.20	介護事故防止研修(前期)	介護福祉士	1名
H30.07.17	普通救命講習	登米市消防署西出張所	1名
H30.07.23	ミニ研修「安全講習」(車の誘導)	介護福祉士兼生活相談員	4名
H30.08.10	コンプライアンス	施設長	2名

H30.08.21	普通救命講習	登米市消防署西出張所	2名
H30.08.28	普通救命講習	登米市消防署西出張所	1名
H30.08.29	褥瘡予防について	看護師	2名
H30.09.27	身体拘束廃止推進研修	看護師	1名
H30.10.30	コンプライアンス	施設長	5名
H30.11.06	「交通安全教室」「防犯指導教室」	登米市佐沼警察署	3名
H30.11.30	感染症予防研修	准看護師	1名
H30.12.25	認知症高齢者介護基本研修	介護福祉士	2名
H31.01.24	身体拘束廃止推進研修	介護福祉士	2名
H31.01.25	介護事故防止研修	作業療法士	1名
H31.02.15	プライバシー研修	生活相談員兼介護支援専門員	2名
H31.02.20	認知症サポーター研修	認知症地域支援推進員 社会福祉士	3名
H31.02.22	事務処理(各種様式の記入等)について	南風園主任	2名
H31.03.13	介護事故防止研修(後期)	介護福祉士	2名
実 施 回 数		22 回	延 べ 参 加 者 数
			35名

(2) 外部研修

年 月 日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
H30.07.03	クレーム対応研修	宮城県社会福祉協議会	仙台	1名
H30.11.06	デイサービスセンター職員研修会「取り組み事例を通じた情報交換会」	宮城県老人福祉施設協議会	仙台	1名
H30.11.26	生活相談員研修	宮城県老人福祉施設協議会	仙台	1名
H30.11.29	看護職員研修	宮城県老人福祉施設協議会	仙台	1名
H31.02.02	准看護師の研修と懇談会	宮城県看護協会	石巻	1名
実 施 回 数		5回	延 べ 参 加 者 数	5名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第2木曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
連絡会議	各セクションの調整・業務の効率を図る。	毎月第3月曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
デイ職員会議	利用者のサービス内容に関する事項の検討	毎月第2金曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・看護師・介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3木曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
ケアスタッフ会議	個別サービス内容及び問題ケースに関する検討	毎月第2金曜日	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
防災委員会	非常時に備え、防災訓練の実施、安全な環境を整備する。	毎月第1金曜日	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員
苦情処理・リスクマネジメント委員会	家族及び利用者の苦情に対応し、リスク(介護事故等)を考慮して対策を行う。	毎月第3金曜日	施設長、看護師、生活相談員、介護員
サービス向上委員会	サービス提供のための過程や結果を検討し、サービスの質の向上に努める。	毎月第3金曜日	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員
身体拘束廃止委員会	利用者の自由と人権、尊厳を守るため、身体拘束ゼロの実現をめざす。	毎月第3火曜日	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員
研修委員会	介護等における基礎知識の習得、及び専門的知識、技術の向上を図る。	毎月第3木曜日	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員
予防衛生対策委員会	感染予防や食中毒の予防、研修などを行い、リスクに備えた環境作りを行う。	毎月第4木曜日	施設長、事務員、栄養士、看護師、生活相談員、介護員

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
毎週 月木金曜日	ボランティア南方	利用者の整髪手伝い、布団敷き、その他	187名
H30.04.27	東郷小学校	交流会と児童の発表	23名
H30.09.04	南方保育所	交流会と園児遊戯発表	14名
H30.09.04	ボランティア南方	長寿を祝う会(舞踊、歌)	7名
H30.09.14	千謡ふるさと会	長寿を祝う会(舞踊、歌)	7名
H30.09.15	若泉流貴智栄会	長寿を祝う会(舞踊、歌)	9名
H30.09.25	いきいき学園	余興・交流(舞踊、歌)	26名
H30.12.12	東郷幼稚園	交流会と園児遊戯発表	28名
H31.01.10	ボランティア南方	新年会(舞踊、歌)	6名
計			300名

## 【今後の取り組み】

### 1. 「自立支援」の取り組み

- 1) 運動器機能向上プログラム(転倒予防)を実施し、筋力低下の防止、身体機能維持、介護予防に取り組む。
- 2) 個別機能訓練では、専門職による計画介入により心身機能の維持向上を図る。
- 3) 生活に潤いと生きがい、楽しみを持つ心のサポートの取り組みは、希望者によるグループ外出、買物訓練、社会適応訓練等、四季折々の年間行事の中で実施していく。

### 2. 認知症介護」の取り組み

- 1) 認知症カフェ「みなみかぜ」を年2回実施。認知症理解と啓蒙、専門性の向上、介護の情報発信を目指す。
- 2) 認知症サポーター養成講座を地域包括支援センターの協力のもと開催し、地域の方に認知症についての理解を深め、ケアに携わる人の価値を認め、支援や協力体制(仮称:認知とも)が組める取り組みを検討していく。
- 3) 認知症の特性に応じた介護技術研修や認知症予防プログラムにより、特性に応じたケアや予防としての取り組みをすすめる。

### 3. 「中重度ケア」の取り組み

- 1) 興味・関心チェックシートを使用し、その人にとって意味のある作業・生活行為を見つけ個別ケアとして支援していく。
- 2) 生活のリズム、メリハリのある生活のため支援を実践していく。一日活動参加できる体力をつける。
- 3) 余暇支援の充実には生活に潤いを持たせること。季節行事、月行事、買物等目的に応じた外出、ボランティアによる歌や踊りの慰問や学生実習の積極的受入をすす、刺激と充実を図っていく。

### 4. 「職員の資質・専門性の向上」の取り組み

- 1) 外部研修や伝達研修、内部研修の開催の充実を継続して取り組む。時間の合間を見つけたミニ研修も随時実施し、理論と実践の学びを深める。
- 2) 認知症ケア実践者研修、リーダー研修へ参加し、知識と技術を身に付ける。
- 3) 基本理念、倫理綱領の理解と行動、服務規程等、その他取り巻く規則規程の遵守徹底を図り、職員間共通認識を高めよりよい職場環境にしていく。

### 5. 「継続的な事業運営」の取り組み

- 1) 毎月事業収支の把握、月管理を徹底し、省エネやムダを省く等細やかに予算管理をしていく。

# 平成30年度 地域密着型特別養護老人ホーム東和 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所在地 宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地
- 2) 設置主体 社会福祉法人恵泉会
- 3) 経営主体 社会福祉法人恵泉会
- 4) 開設年月日 平成21年4月1日
- 5) 事業・利用定員

事業	利用定員
地域密着型介護老人福祉施設	20名
短期入所生活介護	空床
計	20名

利用者様が家庭での生活の延長線として過ごしていただけるよう、馴染みの品を持ち込んでいただき、24時間シートを活用した介護を実践しました。ご家族と一緒にの食事会や、季節折々の景色を楽しんでいただく外出、地域行事への参加を実施しました。また、地域の方々やご家族様を招いての行事(桜まつり、敬老会)を展開してきました。地域貢献事業等を通して、交流、情報発信の拠点施設として地域に必要なとされる施設運営を目指しました。

## 【 重 点 項 目 】

1. 利用者が家庭的な雰囲気の中で安心して暮らせるように、ユニットケアの充実と個別ケアを促進します。  
利用者が家庭の延長として、日常生活が安心、安全に過ごすことができ、大きな事故も1件のみであった。24時間シートの作成と見直しを行い、利用者個々の身体状況や生活習慣に合わせて作成された個別ケアを基に、ユニットケアの充実に努めてきた。今後も介護保険の基本理念である「自立支援」を念頭に、利用者の残存機能を最大限に活かし、本人なりの自立した生活が継続できるよう支援していきたい。
2. 利用者の健康状態や嗜好に応じた食事の提供に努めると共に、栄養ケアマネジメントを通して、低栄養者の予防・改善を図ります。  
利用者の健康状態の把握や嗜好調査を行い、よりよい食事の提供を行ってきた。また、栄養士と看護師、担当職員との連携を密に図り、低栄養者の把握と対応を検討してきた。それに伴って、予防、改善を図ってきた。
3. 利用者の安心安全な生活を最優先に考え、苦情や事故が発生した際には迅速に行動して、早期解決、再発防止に努めます。  
今年度も苦情はなく、事故についても発生した際は、リスクマネジメント委員会を通して、分析とモニタリングを継続してきた。また、記録の重要性を認識し、些細な事案でも事故報告の提出を徹底し、迅速な早期解決、再発防止に努めてきた。今後もヒヤリハットの積極的な提出を働きかけていきたい。
4. 協力医療機関と連携を図りながら、利用者の病状悪化防止、感染症の発生や褥瘡予防に努めます。  
近隣に協力医療機関がある利点を活かし、協力医療機関との密な連携を図りながら、利用者の病状悪化防止、感染症の発生及び褥瘡予防に努めてきたが、病状悪化に伴い、退所された利用者が通年の倍以上となった。但し、感染および褥瘡予防は図られた。
5. 人材確保と育成のため、施設内外の研修に積極的に参加し、職員各自の資質向上を目指します。  
職場の一人ひとりが働きやすい職場の環境に配慮し、1年間を通して大きく体調を崩したりする職員は出なかったが、家庭の事情で離職された職員は1名であった。法人の研修大会では当施設より代表が発表を行い、それに伴って職員同士が発表内容をグループごとに検討し資質の向上が図れた。
6. 施設設備の開放や地域住民との交流機会を増やし、地域社会の一員として積極的に地域貢献活動に取り組みます。  
地域貢献事業としては、長年の地域行事への参加と地域の小学校、こども園の交流を行ってきた。また、地域の一員として地域の除草作業や防災訓練の場の提供等を行ってきた。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 6,787 名
2. 年間稼働率 92.97 %  
(目標稼働率 94.00 %)
3. 年間平均介護度 3.90
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	30	31	30	31	0	0	0	0	0	0	0	0	122
要介護2	59	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	394
要介護3	115	124	120	124	155	148	155	180	184	185	193	242	1,925
要介護4	174	207	206	204	193	190	189	150	142	85	100	122	1,962
要介護5	180	172	175	217	217	197	217	188	219	215	196	191	2,384
計	558	565	561	607	596	565	592	548	576	516	517	586	6,787

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	3	0	7
退所者数	1	1	0	0	0	0	1	0	0	3	0	0	6
月末入所者数	19	19	19	20	20	20	19	20	20	17	20	20	+1

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

○合同行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.04.22	桜まつり	家族と共に季節を感じながら、桜茶を提供し季節を感じていただく。	利用者 19名 家族 16名 職員 9名
H30.05.04 ~05	花菖蒲湯	湯船に菖蒲を浮かべ皆様に入浴を楽しんでいただく。	利用者 14名 職員 7名
H30.08.05	夕涼み会	午後より水ヨーヨーやスイカ割り職員によるサザエさん体操を行い、後日花火大会を行い楽しく過ごしていただく。	利用者 17名 職員 6名
H30.09.09	長寿を祝う会 (1丁目・2丁目)	家族と共に利用者の長寿を祝い、喜びを感じて頂く。	利用者 19名 職員 13名
H30.12.17 ~18	ゆず湯	季節の風物詩としてゆず湯につかっていただく。	利用者 17名 職員 4名

○ユニット行事(1丁目)

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.05.20	新緑ドライブ	「もくもくハウス」まで新緑を楽しみながらドライブを行う。	利用者 2名 職員 2名
H30.05.20	園芸	ミニトマト、きゅうり、ゴーヤの苗植えと、ひまわりと朝顔の種をまく。	利用者 5名 職員 2名
H30.06.12	買い物外出	道の駅「三滝堂」で昼食を召し上がりその後買い物を楽しむ。	利用者 1名 職員 1名
H30.06.15	出前昼食	食べたい物を注文していただき会食する。	利用者 7名 職員 2名
H30.07.07	七夕会	短冊に願い事を書き、事前に作成した七夕飾りと一緒に笹竹に飾って記念撮影を行う。	利用者 10名 職員 2名
H30.09.24	お月見会	夕食後中央テラスにて名月を拝み季節を感じていただく。	利用者 3名 職員 2名
H30.10.11	出前昼食	食べたい物を注文していただき会食する。	利用者 8名 職員 2名
H30.10.25	手作りおやつ	かぼちゃ蒸しパンを作り食べる	利用者 6名 職員 3名
H30.11.18	紅葉ドライブ	紅葉を眺めながら東和町内をドライブし、季節の移り変わりを感ずる。	利用者 1名 職員 1名

H30.12.19	クリスマス会	ロールケーキにトッピングしクリスマスケーキを作り会食する。	利用者 8名 職員 2名
H31.01.20	新年会	2丁目と合同で獅子舞や職員によるよさこいを楽しみ茶話会を行う。	利用者 9名 職員 3名
H31.02.03	節分	豆まきを行い福を呼び込む。	利用者 9名 職員 3名
H31.02.14	バレンタイン	ホットケーキを焼き、綺麗にトッピングし会食する。	利用者 9名 職員 2名
H31.03.03	桃の節句	お雛様の前で撮影し、皆さんと楽しくレクリエーションを行い、おやつを召し上がる。	利用者 8名 職員 3名

○ユニット行事(2丁目)

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.04.18	お花見ドライブ	桜が見頃となり、みんなで桜を見に出掛ける。	利用者 3名 職員 2名
H30.05.20	園芸	夏に向けて野菜を植える。	利用者 4名 職員 2名
H30.06.13	出前	利用者様からの要望にて出前を取りみんなで会食する。	利用者 8名 職員 3名
H30.06.12	買い物外出	新しく出来た道の駅「三滝堂」にて昼食を取り、買い物をする。	利用者 1名 職員 1名
H30.07.06	七夕クッキング	七夕にちなんだひんやりとしたゼリー作りに挑戦している。	利用者 6名 職員 2名
H30.07.09	さんさん商店街へ外食	さんさん商店街へ出掛け、海の幸を堪能する。	利用者 1名 職員 1名
H30.07.31	蓮見学	蓮の季節となり、一面に咲いた蓮の花を見に行く。	利用者 1名 職員 1名
H30.09.16	パフェ会	各々好きなパフェを選び、みんなで会食する。	利用者 7名 職員 3名
H30.09.23	ノンアル大会	利用者様からの要望で、ノンアルコール飲料で晩酌気分を味わう。	利用者 7名 職員 2名
H30.10.31	クッキング	ハロウィンにちなみ、かぼちゃプリンをみんなで作る。	利用者 6名 職員 4名
H30.11.18	紅葉ドライブ	色づいた紅葉を見に外出する。	利用者 1名 職員 1名
H30.12.16	クリスマス会	ホットケーキにデコレーションし、クリスマスケーキを作る。	利用者 5名 職員 3名
H30.01.20	新年会	職員による余興を楽しまれた後、抹茶と和菓子を召し上がりながら新年を祝っている。	利用者 8名 職員 3名
H31.02.03	節分	豆まきを行い福を呼び込む。	利用者 7名 職員 4名
H31.02.10	バレンタインクッキング	たこ焼き器を使用し、甘いチョコたこ焼きをみんなで作り召し上がる。	利用者 7名 職員 4名
H30.03.03	桃の節句	お雛様の前で記念撮影をし、おやつにはお雛様のまんじゅうをみんなで美味しく召し上がる。	利用者 6名 職員 3名
H30.03.13	出前会	利用者様からの要望有り、出前を取りみんなで召し上がる。	利用者 6名 職員 3名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 44 名  
 2. 年間平均介護度 2.11  
 3. 月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	15	4	0	22
要介護 2	0	2	0	0	0	0	0	8	0	0	0	3	13
要介護 3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	0	9
計	0	2	3	0	0	0	0	8	0	15	13	3	44

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.4.20～5.23	施設設備研修	職員2名	職員14名
H30.5.24～6.27	介護事故防止研修・医療研修	職員3名	職員14名
H30.06.08	新任職員研修	職員3名	職員1名
H30.6.13～7.17	防災基本研修	職員3名	職員14名
H30.06.14	食中毒予防研修	職員1名	職員5名
H30.06.19	脱水症予防研修	明治	職員6名
H30.07.03	管理職育成研修	WJU	職員1名
H30.07.26	防犯教室	登米警察署	職員6名
H30.7.17～8.29	公用車操作研修	施設長	職員12名
H30.08.02	管理職育成研修	WJU	職員1名
H30.08.22	身体拘束廃止及び虐待防止研修	職員1名	職員6名
H30.09.22	介護予防研修	職員1名	職員5名
H30.09.27	普通救命講習	登米市消防署	職員3名
H30.09.28	恵泉会職員研修大会	WJU	職員6名
H30.10.23	管理職育成研修	WJU	職員1名
H30.10.23	認知症高齢者基本研修	職員1名	職員5名
H30.10.30	褥瘡予防・感染予防研修	職員1名	職員5名
H30.11.20	管理職育成研修	WJU	職員1名
H30.12.27	医療研修	職員1名	職員4名
H30.12.28	身体拘束廃止及び虐待防止研修	職員1名	職員3名
H31.01.15	管理職育成研修	WJU	職員1名
H31.01.16	恵泉会職員フォローアップ研修	理事長・迫風園施設長	職員1名
H31.01.29	介護事故防止研修	職員1名	職員2名
H31.02.01	法令遵守研修	施設長	職員7名
H31.02.01	口腔ケア研修会	中江歯科院長	職員1名
H31.02.08	管理職育成研修	WJU	職員1名
H31.02.26	プライバシー研修	職員1名	職員4名
H31.03.06	管理職育成研修	WJU	職員1名
H31.03.18	管理職育成研修	WJU	職員1名

## (2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
H30.04.05	登米地区連絡協議会総会	県老協協登米支部	柳風園	職員1名
H30.04.26	宮城県老人福祉施設協議会通常総会	県老協協	仙台市シルバセンター	職員1名
H30.05.11	「介護実習」実習先指導者担当者説明会	登米総合産業高校	登米総合産業高校	職員1名
H30.06.28	安全運転管理者講習	県安全運転管理者会	中田農村環境改善センター	職員1名
H30.07.06	介護講座〔PDCAサイクルを活かして無駄のないケアを目指すには〕	県介護研修センター	県介護研修センター	職員1名
H30.08.02	介護サービス事業者集団指導	宮城県	県登米合同庁舎	職員1名
H30.08.07	特定給食施設等調理従事者研修会	県登米保健所	県登米合同庁舎	職員1名
H30.08.30～31	介護支援専門員更新研修Ⅱ	県社協	宮城県庁ほか	職員1名
H30.09.03	介護支援専門員更新研修Ⅱ	県社協	宮城県庁	職員1名
H30.09.06	介護支援専門員更新研修Ⅱ	県社協	東京エレクトロンホール宮城	職員1名
H30.09.10～11	介護支援専門員更新研修Ⅱ	県社協	宮城県庁	職員1名
H30.09.12	第1回東和地区地域ネットワーク会議	東和・登米地域包括支援センター	登米市東和支所	職員1名
H30.09.13	介護支援専門員更新研修Ⅱ	県社協	東京エレクトロンホール宮城	職員1名
H30.09.13～14	東北ブロック老人福祉施設研究会	東北ブロック老協協	福島県文化センター	職員1名
H30.09.18	介護支援専門員更新研修Ⅱ	県社協	宮城県庁	職員1名
H30.09.19	介護事業場を対象とした労務管理セミナー	瀬峰労働基準監督署	エボカ21	職員1名
H30.09.19	介護講座（認知症の人の気持ち・支える家族の気持ち）	県介護研修センター	県介護研修センター	職員1名
H30.11.21	第2回東和地区地域ネットワーク会議	東和・登米地域包括支援センター	登米市東和支所	職員1名

## 2. 会議開催状況

## (1) 定例会議

会議名	内 容	開 催 日	参加職員
職員会議	行事、業務改善、施設運営管理等の企画・調整。	毎月第3木曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
給食会議	受託業者と給食内容、栄養管理について検討。	毎月第3水曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・相談員・介護職員
運営推進会議	サービス内容の評価・改善、利用者の生活状況報告。	2か月に1回	施設長・相談員・運営推進委員
ユニット会議	ユニット行事や入居者のケアについて検討。	毎月第2火・木曜日	ユニットリーダー・介護職員
セクション会議	各セクションの調整、業務の効率を図る。	必要時開催	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員
入所判定会議	実態調査の結果を基に、総合的に入居の可否を判定。	必要時開催	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

## 3. 委員会開催状況

## (1) 定例委員会

委員会名	内 容	開 催 日	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	毎月第1月曜日	施設長・介護職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等の検討を行う。	毎月第1水曜日	施設長・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討を行う。	毎月第2水曜日	施設長・相談員・栄養士・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成等を行う。	毎月第2月曜日	施設長・介護職員
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	毎月第1金曜日	施設長・相談員・介護職員
入所検討委員会	新規入所申込者の入所順位を決定する。	3か月に1回	施設長・相談員・栄養士・看護師・介護職員

## 【施設機能の開放】

## 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

## (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
H30.04.22	和楽会	踊りと歌を披露していただく	11名
H30.07.07	フラアロハ	フラダンスを披露していただく	10名
H30.09.09	香扇会	踊りを披露していただく	6名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
H30.05.21 5.28・6.25	登米総合産業高校	介護実習	1名	3名
H30.07.02 7.9～7.10	登米総合産業高校	介護実習	1名	3名
H30.07.17 8.6～8.8	登米総合産業高校	介護実習	1名	4名
H30.8.20.21 9.3～9.4	登米総合産業高校	介護実習	1名	4名
H30.09.10 H30.09.11	登米総合産業高校	介護実習	1名	2名
計			5名	16名

【今後の取り組み】

1. ユニットケアのソフト面の充実を図っていく。ユニットケアを行っている施設でしか出来ない個別ケアを充実させ、ご利用者様により良い環境で暮らしていただけるようサポートしていく。また、ご利用者様の声に耳を傾け、要望や希望を出来る限り実現していく。
2. 内部研修を密に行い、出来る限り多くの職員に研修機会を与え知識習得に努める。また職員一人ひとりが介護のプロとしての自覚を持ち、各々のスキルアップを目指していく。
3. 地域の特性を活かし、社会福祉法人の運営する施設として事業所を開放し、認知症サポーター養成講座の開催などを通じ、地域における社会資源としての機能と地域づくりの拠点としての機能を構築し、地域に貢献できる開かれた施設になるよう働きかけていく。

# 平成30年度 東和高齢者福祉施設デイサービス 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                     |
|--------------|---------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会          |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会          |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成14年10月15日         |
| 5. 利 用 定 員   | 30 名                |

在宅生活の継続支援に重点を置き、認知症高齢者の利用者様や、重度の利用者様、また、病院に隣接する施設でもあり退院直後の利用者様を積極的に受け入れてきました。家族の介護負担の軽減を図りながら、利用者様が満足いただけるように施設ならではの利点を活かし、ハード面の有効活用やスポット利用として柔軟な受入体制を整え、職員の知識、技術等資質の向上を図ると共に、認知症サポーター研修を地域包括支援センターに依頼し、利用者の家族にも参加していただき、認知症に対する理解が深まり、関係も深まった様に思われます。また、緊急時の対応の強化に努め、安心して利用していただき、より身近に信頼される施設として稼働率も高め安定出来ました。今後も地域包括ケア体制を支える施設として、地域の中での施設の役割を自覚し、信頼され利用していただけるよう自己研鑽に努め職員同士の共通理解、チームワークの強化に努め、安定した質の高い丁寧な支援を行い、地域貢献も検討、実行しながら地域の中でより身近で安心して利用しやすい施設となるよう取り組んできました。

## 【 重 点 項 目 】

1. 法人の基本理念に基づき、利用者ご家族が安心してご利用していただけるように、サービス内容の充実に努めます。  
法人の基本理念に基づき、丁寧な対応を心掛け、利用者ご家族が安心してご利用していただけるように、スポット利用も柔軟に受け入れながらサービス内容の充実に努めました。
2. 利用者の安心安全な生活を支援する為、リスクの分析から改善策を的確に検討し、事故防止に努めます。  
ヒヤリハットや事故が発生した場合は速やかに報告書を作成し、ミーティングで改善策を更に検討し職員に周知徹底を図り、事故の再発防止に努めてきました。
3. 在宅生活の継続を支えるサービスとして、認知症高齢者や重度の要介護者を積極的に受け入れ、家族の介護負担軽減を支援します。  
リクライニング車イスや特別浴槽等、施設機能を最大限に活かし、他の事業所では対応が困難となった認知症高齢者や重度要介護者、退院直後の利用者も積極的に受け入れ、在宅生活の継続を支えるサービスとして、身近で頼れるように取り組んできました。
4. 利用者個々の心身状況に応じた個別プランを作成し、身体機能の維持と認知症ケアの充実に努めます。  
サービス担当が会議に出席し、ケアマネジャーのケアプランと利用者様の意向に沿った個別援助計画書の作成に努めてきました。看護師による機能訓練を毎利用時に行い筋力維持に努め、内部研修を通して認知症の利用者様に対する関わり方を職員に理解してもらい、良質なサービスに繋げてきました。
5. 人材確保と育成のため、施設内外の研修に積極的に参加し、職員各自の資質向上を目指します。  
施設内の研修では、職員の知識技術の向上を行い、外部への研修にも参加し、自己研鑽を図りました。
6. 時間外労働の抑制や年次有給休暇の取得促進を図り、職員が健康で意欲を持って仕事に取り組める職場づくりに努めます。  
年次有給休暇の取得促進を図ってきました。また、職員健康診断や腰痛検査等の実施により、異常の早期発見と健康維持に努めてきた。職員一人ひとりが働きやすい職場環境になるよう配慮してきました。
7. 施設設備の開放や地域住民との交流機会を増やし、地域社会の一員として積極的に地域貢献活動に取り組めます。  
施設前の除草作業を中心に行い、認知症サポーター養成講座を施設を会場とし実施。地域行事にも出向き、地域貢献の足掛かりとしました。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 8,474 名
2. 年間稼働日数 308 日
3. 年間稼働率 91.71 % (通所介護+総合事業)  
(84.53) % (通所介護)  
(7.18) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.47 (通所介護)  
0.96 (総合事業)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	118	120	132	124	134	137	155	154	146	121	108	113	1,562
要介護2	236	238	223	213	238	223	238	231	239	220	203	228	2,730
要介護3	222	236	248	218	218	198	214	185	151	160	165	170	2,385
要介護4	19	28	21	37	38	48	57	62	57	57	60	67	551
要介護5	66	71	67	67	50	44	38	39	39	33	33	36	583
計	661	693	691	659	678	650	702	671	632	591	569	614	7,811
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	4	5	4	0	0	0	3	3	5	4	8	10	46
要支援2	39	51	55	56	49	48	55	50	56	40	48	70	617
計	43	56	59	56	49	48	58	53	61	44	56	80	663
合計	704	749	750	715	727	698	760	724	693	635	625	694	8,474

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	2	1	2	3	4	1	3	3	1	2	4	28
契約終了者数	2	0	1	4	1	2	1	2	0	2	4	9	28
月末契約者数	90	92	92	90	92	94	94	95	98	97	95	90	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.04.16 ～04.21	お花見ドライブ	桜の季節を感じていただく為に登米市内の桜の名所に見学に行っている。	利用者 45名 職員 10名
H30.05.14 ～05.19	新緑ドライブ	市内の新緑を見学している。	利用者 27名 職員 6名
H30.07.05 ～07.07	七夕会	七夕会で慰問の方々による余興を見ていただき、最終日には菊風荘の利用者様との交流会を行っている。	利用者 81名 職員 23名
H30.07.16 ～07.19	紫陽花ドライブ	季節の花、紫陽花を見学している。	利用者 27名 職員 8名
H30.08.06 ～08.15	蓮ドライブ	長沼の蓮を見学に出掛けている。	利用者 41名 職員 12名
H30.08.20 ～08.22	夏祭り	はっぴを着て御輿を担ぎ、盆踊りで体を動かした後は出店でかき氷を食べていただいている。	利用者 83名 職員 22名
H30.09.13 ～09.15	長寿を祝う会	慰問で舞踊を鑑賞し、自身で作成したコサージュを胸に付けていただき参加されている。	利用者 88名 職員 20名
H30.10.08 ～10.13	社会見学	地域の資料館で町の歴史を見学していただいている。休館日の際は、動物園の見学を行っている。	利用者 26名 職員 12名
H30.10.15 ～10.17	芋煮会	大鍋を使い芋煮を作り、秋の味覚を味わっていただいた。	利用者 80名 職員 4名
H30.11.05 ～11.10	紅葉ドライブ	色鮮やかに染まった紅葉を見学していただいている。	利用者 51名 職員 16名
H30.12.19 ～12.21	クリスマス会	プレゼントや余興を楽しんでいただいている。	利用者 51名 職員 16名
H31.01.07 ～ 1.12	お屠蘇配り	新年の抱負とご挨拶を行いながらお屠蘇をお配りしている。	利用者 84名 職員 20名

H31.01.14 ～ 1.19	初詣ドライブ	津島神社や横山不動尊に初詣に行き無病息災を祈願している。	利用者 27名 職員 10名
H31.02.01 ～02.04	節分ゲーム	年男、年女の利用者の方々による豆まきが実施されている。併せてアトラクションも楽しまれている	利用者 75名 職員 19名
H31.03.02	ふるさと文化祭	利用者の作品を展示し、観覧に行っている。	利用者 5名 職員 1名
H31.03.04 ～03.06	ひな祭りゲーム	ひな人形を飾り、桃の節句を祝い、ゲームを楽しみました。	利用者 69名 職員 18名

## 【利用者サービスの向上】

### 1. 職員研修実施状況

#### (1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
H30.06.19	脱水症予防研修	明治	職員1名
H30.07.04	管理職研修[WJU中核職員研修]	WJU	職員1名
H30.07.26	防犯教室	登米消防署	職員7名
H30.08.22	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修	職員	職員2名
H30.09.19	管理職研修[WJU中核職員研修]	WJU	職員1名
H30.09.24	介護予防研修	職員	職員5名
H30.09.27	普通救命救急	登米市消防署	職員1名
H30.09.28	恵泉会職員研修大会	WJU	職員1名
H30.10.23	認知症高齢者基本研修	職員	職員1名
H30.10.30	褥瘡予防・感染予防研修	職員	職員1名
H30.11.21	管理職研修[WJU中核職員研修]	WJU	職員1名
H30.12.27	医療研修	職員	職員3名
H30.12.28	身体拘束廃止推進及び虐待防止研修	職員	職員2名
H31.01.16	恵泉会職員フォローアップ研修	理事長ほか	職員2名
H31.01.29	介護事故防止研修	職員	職員1名
H31.02.01	法令遵守研修	施設長	職員2名
H31.02.26	プライバシー研修	職員	職員1名

#### (2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
H30.05.17	甲種防火管理新規講習	登米市消防署	登米市防火センター	職員1名
H30.06.05	介護講座「認知症高齢者の医学知識」	宮城県介護研修センター	宮城県介護研修センター	職員1名
H30.06.19	「介護実習」実習先指導担当者説明会	登米総合産業高校	登米総合産業高校	職員1名
H30.08.02	介護サービス事業者集団指導	県東部保健福祉事務所	県登米合同庁舎	職員1名
H30.09.12	第1回東和地区地域ネットワーク会議	東和・登米地域包括支援センター	登米市東和支所	職員1名
H30.9.13～14	東北ブロック老人福祉施設研究会	東北ブロック老協ほか	福島県文化センター	職員1名

### 2. 会議開催状況

#### (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第3木曜日	施設長、事務員、栄養士、相談員、看護師、介護職員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3水曜日	施設長、事務員、栄養士、相談員、看護師、介護職員
セクション会議	各セクションの調整、業務の効率を図る。	必要時開催	施設長・相談員・栄養士・看護師
デイサービス調整会議	サービス提供の内容・行事企画・業務執行等の運営に関し検討	毎月第3月曜日	施設長・デイサービス職員

### 3. 委員会開催状況

#### (1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	毎月第1月曜日	施設長・栄養士・介護職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等の検討を行う。	毎月第1水曜日	施設長・栄養士・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討を行う。	毎月第2水曜日	施設長・相談員・栄養士・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成等を行う。	毎月第2月曜日	施設長・栄養士・介護職員
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	毎月第1金曜日	施設長・相談員・介護職員

#### 【施設機能の開放】

#### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

##### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団 体 名	内 容	来訪者数
H30.04.18	きずなの会様	歌、フラダンスを披露していただいた。	4名
H30.04.30	T様	一人芝居を披露していただきました。	1名
H30.05.12	H様	昭和の歌を披露していただきました。	2名
H30.06.05	C様と歌踊りショー	歌、マジック、太鼓を披露していただきました	4名
H30.07.05	T様	一人芝居を披露していただきました。	1名
H30.07.06	菊風荘様との交流会	ゲーム、茶話会をおこないました。	23名
H30.07.11	丸藤会様	舞踊や唄を披露していただいた。	5名
H30.08.26	フラ・アロハ様	ハワイの踊りを中心に披露していただいた。	16名
H30.08.29	O様	狂言を披露していただいた。	2名
H30.09.10	I様	舞踊を披露していただいた。	1名
H30.09.13	F様	舞踊や唄を披露していただいた。	4名
H30.09.14	東北股旅会一座様	舞踊や唄を披露していただいた。	7名
H30.09.15	三日月舞踊一座様	舞踊や唄を披露していただいた。	9名
H30.10.23	A様	弾き語りを披露していただいた。	1名
H30.10.24	米谷幼稚園様との交流会	ゲーム、触れあい遊びを行っている。	20名
H30.11.02	米谷小学校5年生様	ゲーム、触れあい遊びを行っている。	19名
H30.11.19	A様	弾き語りを披露していただいた。	1名

##### (2) 実習

年月日	団 体 名	実 習 内 容	実人数	延人数
H30.07.10	登米総合産業高等学校	介護実習	2名	2名
H30.07.30	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	1名
H30.07.31	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	1名
H30.08.01	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	1名
H30.08.02	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	1名
H30.08.03	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	1名
H30.08.06	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	1名
H30.08.07	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	1名
H30.08.08	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	1名
H30.08.09	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	1名
H30.08.10	登米総合産業高等学校	介護実習	1名	1名
H30.10.23	登米総合産業高等学校	介護実習	2名	2名
H30.10.30	登米総合産業高等学校	介護実習	2名	2名
H30.11.26	登米総合産業高等学校	介護実習・レクリエーション	2名	2名
H30.11.06	登米総合産業高等学校	介護実習・レクリエーション	2名	2名
H30.12.11	登米総合産業高等学校	介護実習	2名	2名
H30.12.12	登米総合産業高等学校	介護実習	2名	2名
H30.12.13	登米総合産業高等学校	介護実習	2名	2名
計			2名	26名

## 【今後の取り組み】

1. 法人の基本理念、自立支援に基づき、利用者、家族が安心してご利用いただけるように、サービス内容の充実に努めます。
2. 利用者の安心安全な生活を支援するため、リスクの分析から改善策を的確に検討し、事故防止に努めます。
3. 在宅生活の継続を支えるサービスとして、認知症高齢者や重度の要介護者を積極的に受け入れ、家族の介護負担軽減を支援します。
4. 在宅での自立支援に向け、利用者個々の心身状況に応じた個別プランを作成し、身体機能の維持と認知症ケアの充実に努めます。
5. 人材確保と育成のため、施設内外の研修に積極的に参加し、職員各自の資質向上を目指します。
6. 時間外労働の抑制や年次休暇の取得促進を図り、職員が健康で意欲を持って仕事に取り組める職場づくりに努めます。
7. 施設設備の開放や地域住民との交流機会を増やし、地域社会の一員として積極的に地域貢献に取り組みます。

# 平成30年度 東和高齢者福祉施設生活支援ハウス 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- 1) 所在地 宮城県登米市東和町米谷字新細待井2番地
- 2) 設置主体 社会福祉法人恵泉会
- 3) 経営主体 社会福祉法人恵泉会
- 4) 開設年月日 平成14年10月1日
- 5) 事業・利用定員

事 業	利 用 定 員
生活支援ハウス	10 名
介護家族支援レスパイト	空床
計	10 名

生活支援ハウスでは、入所する利用者の状況に応じ支援機能、住宅機能、交流機能を提供し穏やかな生活が送れるよう、支援を行ってきた。施設が周知されてきており、冬期募集時には定員を上回る申込みを受けている。しかし、中には支援ハウス入所基準を満たさない方の申請もあった。また、三割の利用者が弊所を退所後、他施設へ入所されている。高齢化社会といわれて久しいが、高齢者が自宅で安心して生活していくためには、まだまだ課題山積である。今後も事業実施主体の登米市及び各地域包括センターと連携を図りながら、利用者の安全・安心・自立の支援を行っていく。

## 【 重 点 項 目 】

1. 個々の意志を尊重し、その人らしい自立した生活が送れるよう支援します。  
独居が長く、それぞれの生活スタイルが確立されている中での共同生活である。生活支援ハウスの枠組みの中ではあるが、自室ではご自宅で過ごしているようにお過ごしいただいている。
2. 複合施設ならではの特色を活かし、他者との交流が持てる機会を提供します。  
併設しているデイサービスや特別養護老人ホーム利用者とは自由に行き来している。また、行事等が催された際には参加させて頂いている。共同製作などは皆さん積極的に参加され、和やかに活動されている。
3. 地域の福祉ニーズを踏まえつつ、セーフティネットの機能を高めるために、社会福祉法人による地域貢献に積極的に取り組みます。  
支援ハウスという、自立、要支援1要支援2の方々が入所出来る数少ない施設として、地域のニーズに応えてきた。入所の理由は様々であるが、高齢者が地域で安心して暮らせるようセーフティネットの役割を果たしている。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 1,734 名
2. 年間稼働率 47.51 %  
(目標稼働率 50.00 %)
3. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要援助者	30	57	30	31	31	30	31	51	46	62	56	30	485
要支援1	0	0	0	12	31	29	0	1	114	103	95	104	489
要支援2	60	45	37	30	24	8	17	31	119	124	112	153	760
計	90	102	67	73	86	67	48	83	279	289	263	287	1,734

4. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	2	0	1	1	0	1	3	6	0	1	0	15
退所者数	1	1	1	1	0	2	0	1	0	1	0	7	15
月末入所者数	2	3	2	2	3	1	2	4	10	9	10	3	± 0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.12.10 ～03.10	貼り絵クラブ	支援ハウス棟の壁画(干支や季節の風物)や米谷公民館で行われる「ふるさと文化祭」へ出展する為の貼り絵を作る。	利用者 10名 職員 2名
H31.01.23	手作りクッキング	小豆ぱっと作り	利用者 8名 職員 2名
H31.03.07	手作りクッキング	お好み焼きづくり	利用者 8名 職員 2名

【その他の利用者サービス】

\*介護家族支援レスパイト事業

1. 年間延べ利用日数 52 日

2. 月別利用状況 (延べ利用日数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
日数	14	8	6	9	15	0	0	0	0	0	0	0	52
計	14	8	6	9	15	0	0	0	0	0	0	0	52

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.04.20	施設設備研修	職員	職員1名
H30.05.24	介護事故防止研修・医療研修	職員	職員1名
H30.06.08	新任職員研修	施設長	職員1名
H30.06.13	防災基本研修	施設長、他	職員1名
H30.06.14	食中毒予防研修	職員	職員1名
H30.06.19	脱水症予防研修	明治	職員1名
H30.07.17	公用車操作研修	施設長	職員1名
H30.07.26	防犯教室	登米警察署	職員1名
H30.08.22	身体拘束廃止及び虐待防止研修	職員	職員1名
H30.09.22	介護予防研修	職員	職員1名
H30.09.27	普通救命講習	登米市消防署	職員1名
H30.10.23	認知症高齢者基本研修	職員	職員1名
H30.10.30	褥瘡予防・感染予防研修	職員	職員1名
H30.12.27	医療研修	職員	職員1名
H30.12.28	身体拘束廃止及び虐待防止研修	職員	職員1名
H31.01.29	介護事故防止研修	職員	職員1名
H31.02.01	法令遵守研修	施設長	職員1名
H31.02.26	プライバシー研修	職員	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日	参加職員
職員会議	事業計画・相互調整に関する事項の検討	毎月第3木曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
支援ハウス調整会議	利用者状況報告・入所希望者の実態把握	毎月第4金曜日	施設長・事務員・生活援助員
給食会議	調理・食生活、栄養管理に関する事項の検討	毎月第3水曜日	施設長・事務員・栄養士・看護師・介護職員
支援ハウス利用検討会議	入所申請が上がった際に、登米市福祉事務所に主催に随時開催	随時	登米市職員・包括支援センター職員・生活援助員

### 3. 委員会開催状況

#### (1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため施設内研修の企画を行う。	毎月第1月曜日	施設長・介護職員
リスクマネジメント委員会	事故防止、身体拘束廃止、虐待防止等の検討を行う。	毎月第1水曜日	施設長・栄養士・介護職員
防災委員会	地震・火災等の災害対策について検討を行う。	毎月第2水曜日	施設長・事務員・相談員・栄養士・介護職員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル作成等を行う。	毎月第2月曜日	施設長・栄養士・介護職員
感染予防対策委員会	感染症の予防・拡大防止について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
褥瘡予防対策委員会	褥瘡等の予防・対策について検討する。	毎月第4月曜日	施設長・栄養士・看護師・介護職員
地域貢献推進委員会	地域貢献活動の立案、取り組み	毎月第1金曜日	施設長・相談員・栄養士・介護職員

#### 【今後の取り組み】

1. 自宅に戻ってからも自立した生活が送れるような支援を心掛ける。また、余暇活動なども、皆さんと一緒に工夫しながら楽しく活動していく。
2. バランスの取れた食事の提供を基本に、健康的で安心できる生活環境を提供する。
3. 複合施設の特徴を活かし交流の場を設け楽しむ機会を作ることで、入所中の生活が活気あるものにする。また、地域貢献活動に積極的に取り組む。

# 平成30年度 地域密着型特別養護老人ホームゆりの郷 事業報告

## 【 施設概要 】

- 1) 所在地 宮城県登米市登米町寺池金沢山60-5
- 2) 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
- 3) 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
- 4) 開設年月日 平成23年4月18日
- 5) 事業・利用定員

事業	利用定員
地域密着型介護老人福祉施設	34名
短期入所生活介護	空床
計	34名

入居者一人ひとりの意思や人格を尊重し、住み慣れた地域の中で、笑顔で明るく安心して生活を送る事ができるよう、ユニットケアの特質である、家庭的な雰囲気を生かす取り組みをおこなった。地域交流の関わりを大切にしながら、地域公益活動の実践で、地域で施設が認識され入居者はもとよりご家族との交流もより深くおこなうことが出来た。また看取り介護の実践は、職員の質の向上や入居者・家族とのより深い関係性の構築につながった。

## 【 重点項目 】

1. 一人ひとりに最適なサービスを提供するとともに、自立支援・重度化防止に資する介護サービスを提供する

入居者及び家族の意向を捉えたアセスメントをもとに、心身機能の状態を把握しながら、生活リハビリ等を重視し、また、看護師と連携を図り機能訓練等のサービスを提供している。

2. ケアプランに基づき個別ケアを重視したその人らしい暮らしが出来るよう、細やかなサービス提供する。

24時間シートを使用しながら、各ユニット毎に、個々の生活リズムに合わせたサービスを提供している。

3. 地域福祉拠点としての機能の充実を図り、地域行事等を通して地域住民と積極的に関わり、地域に根ざしたより良いサービスを提供する。

趣味の会活動や地域交流会を通じて、地域の方にボランティア協力を得ながらの開催や、地域行事への外出、また、学校・地域のボランティア受け入れを通じて施設開放を行っている。

4. リスクマネジメントに対し福祉サービスの基本的視点、(①入居者尊厳の保持②良質かつ適切なサービス③個別サービスによる事故防止)を心がけ、安全・安心なサービス提供に努める。

リスクマネジメント委員会にて分析し、事故防止に向け、事故発生時の対応や検証を行い職員へ周知している。

5. 職員個々の意識レベルと技術の質的向上のスキルアップで、良質なサービス提供に努める。

専門職として資質向上を目指し、ユニットリーダー研修をはじめ、各研修会へ参加し研鑽している。内部研修においては、研修委員会を通じて定期的実施しサービスの質的向上に繋がっている。

6. 健康状態等に配慮し看護師、栄養士と連携しながら、嗜好に添える食事メニューを提供する。

栄養マネジメントの実施により、介護・医療の連携のもと低栄養の改善を図っている。また委託業者との連携を図り、嗜好に添えるようセレクトメニューも実施した。委託業者との関係についても、良好な関係が築けている。

7. 地域住民、関係機関との連携により、新たな地域福祉、サービスの開発、提供を行う。

地域住民、各関係機関との連絡調整等を目的に運営推進会議を実施している。その中で話し合われた内容をもとに施設運営に活かしている。社会福祉協議会の協力のもと、地域の方々を招き日常生活での介護の困り事相談を受けるオレンジカフェも実施している。

【 利 用 状 況 】

1年間延べ利用人員 11,917 名  
 2年間稼働率 96.03 %  
 (目標稼働率 98.00 %)  
 3年間平均介護度 3.72  
 4月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	60	62	60	62	62	60	62	60	62	61	56	62	729
要介護3	390	403	376	357	386	411	409	350	341	293	226	238	4,180
要介護4	372	372	343	366	372	360	372	370	434	465	420	439	4,685
要介護5	171	176	150	155	181	180	186	210	217	217	219	261	2,323
計	993	1,013	929	940	1,001	1,011	1,029	990	1,054	1,036	921	1,000	11,917

5 入 退 所 状 況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	0	1	2	3	1	0	1	0	0	0	1	9
退所者数	0	1	3	2	1	0	1	0	0	0	1	0	9
月末入所者数	34	33	31	31	33	34	33	34	34	34	33	34	±0

【利用者サービスの状況】

1 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.04.13	さくらまつり会食会	パブリックスペースにて、お花見膳を皆で頂きお花見をしている。	入居者 28名 職員 7名
H30.04.18	さくらまつり開所記念日	御家族を招きボランティアの余興を入居者と共に鑑賞し記念日のお祝いとお花見をする。	入居者 34名 職員 14名
H30.08.28	納涼会	余興見学後各ブースごとのゲームやかき氷等で夏の雰囲気を感じる。	入居者 34名 職員 15名
H30.09.12	長寿を祝う会	来賓を招き敬老式典を開催する。永年の労に感謝し敬老祝い金授与、記念品贈呈等し、ボランティア余興にてお祝いをする。	入居者 33名 職員 17名
H30.10.11	芋煮会	入居者様と豚汁を作り秋の雰囲気を楽しむ。	入居者 30名 職員 9名
H31.01.10	新年会	職員による「南京玉すだれ」、カラオケ、獅子舞の余興を見ながら新年を迎えたことをお祝いする。	入居者 31名 職員 10名

【短期入所者生活介護サービス】

1年間延べ利用人員 173 名  
 2年間平均介護度 3.02  
 3月別利用状況

(延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	15	3	0	0	4	5	0	0	0	0	27
要介護3	14	9	19	17	9	0	3	8	0	7	22	21	129
要介護4	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	13	13
計	14	9	38	20	9	0	7	13	0	7	22	34	173

【利用者サービスの向上】

1 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.04.11	服薬忘れ・誤薬防止について	看護師	介護職員6名
H30.05.15	感染症予防研修(手洗い)	准看護師	介護職員4名他3名
H30.06.19	食中毒について	管理栄養士	介護職員3名他2名
H30.07.03	ターミナルケアについて	看護師	介護職員5名他1名
H30.07.18	認知症介護基本について	介護福祉士	介護職員4名他1名
H30.07.31	高齢者虐待と身体拘束防止について	介護福祉士	介護職員5名
H30.08.23	コンプライアンスについて	施設長	介護職員6名他4名
H30.10.15	ユニットケアについて	介護福祉士	介護職員1名他2名
H30.10.16	体圧分散・ポジショニングについて	(株)モルテン	介護職員4名他1名
H30.10.22	オムツのあて方・オムツ診断について	(株)白十字	介護職員7名
H30.10.25	インフルエンザについて	看護師	介護職員6名他2名
H30.11.30	褥瘡予防研修について	看護師	介護職員4名他2名
H30.12.25	身体拘束廃止事例検討について	介護福祉士	介護職員3名
H31.01.31	介護予防について	介護福祉士	介護職員3名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
H30.05.17	平成30年度甲種防火管理新規講習	登米市消防防災センター	登米市迫町	生活相談員
H30.06.05	平成30年度登米栄養士会総会	登米市民生活部	登米市迫町	管理栄養士
H30.06.15	平成30年度恵泉会新任職員研修	恵泉会	登米市迫町	管理栄養士
H30.07.03	平成30年度クレーム対応研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	生活相談員
H30.08.02	平成30年度介護保険サービス事業者集団指導	宮城県保健福祉部	登米市迫町	生活相談員
H30.08.07	平成30年度特定給食施設等従事者研修会		登米市迫町	管理栄養士
H30.8.7~8.9	平成30年度ユニットリーダー研修	日本ユニットケア推進センター	仙台市	介護福祉士
H30.8.2	平成30年度宮城県キャリアパス支援事業研修	宮城県介護人材確保協議会	大崎市	介護員
H30.9.4~9.7	平成30年度ユニットリーダー研修実地研修	日本ユニットケア推進センター	仙台市	介護福祉士
H30.9.13~9.14	平成30年度東北ブロック老人福祉施設研究会	全国社会福祉協議会	福島県	介護福祉士
H30.9.2	平成30年度第1回登米地域ネットワーク会議	登米東和地域包括支援センター	登米市登米町	生活相談員
H30.10.03	平成30年度社会福祉施設の階層別リスクマネジメント研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	介護福祉士
H30.10.09	平成30年度宮城県社会福祉職員研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	管理栄養士
H30.10.16	平成30年度宮城県社会福祉職員研修	宮城県社会福祉協議会	仙台市	介護福祉士
H30.10.25	平成30年度宮城県キャリアパス支援事業研修	宮城県介護人材確保協議会	大崎市	介護福祉士
H30.11.07	成年後見制度活用講座	一般社団法人	仙台市	生活相談員
H30.11.09	平成30年度宮城県キャリアパス支援事業研修	宮城県介護人材確保協議会	石巻市	介護福祉士
H30.11.14	平成30年度宮城県キャリアパス支援事業研修	宮城県介護人材確保協議会	仙台市	介護福祉士
H30.11.27	平成30年度第2回登米地域ネットワーク会議	登米東和地域包括支援センター	登米市登米町	生活相談員
H30.11.27	平成30年度宮城県キャリアパス支援事業研修	宮城県介護人材確保協議会	仙台市	介護福祉士
H30.12.04	社会福祉施設職員のためのアンガーマネジメント	宮城県社会福祉協議会	仙台市	介護福祉士
H30.12.12	平成30年度宮城県キャリアパス支援事業研修	宮城県介護人材確保協議会	大崎市	介護福祉士

## 2 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
ユニット会議	入居者状況、業務課題・問題・24Hシートの見直しおよび検討する。	毎月1回	管理栄養士・看護師・介護職員
リーダー・サブリーダー会議	ユニット間の連絡調整、行事・サービス・ケア内容の検討。	毎月1回	管理栄養士・看護師・介護職員
職員会議	事業計画の遂行、並びに各種報告及び課題等について検討する。	第3回火曜日	全職員
運営推進会議	サービス評価・改善、入居者の生活状況確認。	6回/年	運営推進委員・入居者代表・施設長・相談員
給食会議	調理部門と給食内容、栄養管理に関して検討する。	第3回火曜日	入居者代表・施設長・管理栄養士・調理員・看護師・介護部
入所判定会議	実態調査を終了した方の入居の可否を検討、決定する。	4回/年	施設長・相談員・看護師・介護職員

### (2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
随時	担当者会議(ケアプランの確認、見直し)	相談室	ご家族、施設長、相談部、看護部、介護部

## 3 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
施設指名委員会	見積り合わせなどの指名業者の審議、入札の場合は法人本部に内申を行う。	随時	施設長、総務部、担当職員
身体拘束廃止推進委員会	身体拘束廃止に向けての検討。	第1火曜日	各委員
リスクマネジメント委員会	事故等の防止対策を検証・共有し再発防止に努める。	第1火曜日	各委員
感染症対策・褥瘡予防委員会	感染症・褥瘡等の予防対策。	第2水曜日	各委員
サービス向上委員会	サービス評価、環境整備、マニュアル等の評価・改善。	随時	各委員
研修委員会	職員の資質の向上を図るため、研修の企画・実施する。	随時	各委員
防災委員会	災害時等の防災訓練を企画・実践し、施設の安全な環境整備を行う。	随時	各委員
マニュアル検討委員会	施設に合ったマニュアルの作成及び整備を行う。	第2火曜日	各委員
入所判定検討委員会	入所申し込みの確認、入所判定基準に従い優先順位の審査、決定する。	3ヶ月に1回	第3者委員、施設長、栄養士、看護部、相談部、ユニットリーダー

## 【施設機能の開放】

### 1. 地域交流・視察・見学・実習受入状況

#### (1) 地域交流

年月日	団体名	内容	来訪者数
H30.04.18	佐沼ロータリークラブ	踊り	15名
H30.05.24	岩渕幽清社中	煎茶手前	8名
H30.06.05	登米町婦人会	窓ふき	20名
H30.06.21	花かご・地域の方	こけ玉作り	12名
H30.07.05	登米幼稚園	七夕交流会	28名
H30.07.25	登米児童館	映画交流会	46名
H30.07.30	コーチズみやぎ	ガンバルーン体操とゲーム	2名
H30.08.28	登米町ボランティア友の会演芸部	唄と踊り	7名
H30.09.12	三浦吉記と仲間の会	民謡、歌謡、舞踊	7名
H30.10.25	登米幼稚園	ハロウィン交流会	27名
H30.11.05	登米市足もみた〜い	フット・ハンドマッサージ	7名
H30.11.08	岩渕幽清社中	煎茶手前	7名
H30.11.26	東和・登米地域包括支援センター職員・地域の方	オレンジカフェ(包括支援センター職員による寸劇・講話や認知症についての座談会)	22名
H30.12.12	寺池地区コミュニティ推進協議会	クリスマス訪問	8名
H30.12.20	S様	しめ縄作り	1名
H30.12.27	寺池地区コミュニティ推進協議会	餅つき	7名
H31.03.07	岩渕幽清社中	ひな祭り茶会	7名

## (2) 視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
H30.12.01	専門学校学生	施設見学	2名

## (3) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
H30.05.21	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名	1名
H30.05.28	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名	2名
H30.06.25	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名	3名
H30.07.02	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名	4名
H30.07.09	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名	5名
H30.07.10	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名	6名
H30.07.17	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名	7名
H30.08.03	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名	8名
H30.8.6~8.9	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名	12名
H30.09.03	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名	13名
H30.09.04	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名	14名
H30.09.10	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名	15名
H30.09.11	登米総合産業高等学校福祉科	介護実習Ⅱ	1名	16名

## 【今後の取り組み】

- 1 ケアプランに基づいた適切な支援—栄養ケアマネジメント・口腔衛生・看取りケア・認知症ケア等専門的支援はもとより、自立支援を重視したきめ細かいケアを行う。
- 2 看取り体制の整備—最期まで施設での生活が継続できるよう嘱託医、協力病院と連携をはかり施設での看取りの体制を整備する。
- 3 職員の質の向上—研修や資格取得に重点を置き、職員の専門的知識を高める。
- 4 事故防止—資質の向上や専門性の向上・環境整備により介護事故・労働災害の防止に努める。
- 5 地域に根ざした施設運営—運営推進会議や行事等を通じ地域住民と交流・情報交換を行う。施設の機能を解放しオレンジカフェ等の実施により地域福祉向上に努める。
- 6 ロボット等介護機器やIT機器の導入検討—見守りセンサーやケア用IPット等の導入を検討する。利用者の安全確保、記録の分析による体調管理や行動予測により利用者・介護者の負担を軽減する。費用対効果や各機器の性能等精査し、早期導入につなげる。

# 平成30年度 地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷 事業報告

## 【 施設概要 】

- 1) 所在地 宮城県登米市東和町米川字寺内28-22
- 2) 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
- 3) 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
- 4) 開設年月日 平成23年4月18日
- 5) 事業・利用定員

事業	利用定員
地域密着型介護老人福祉施設	34名
短期入所生活介護	空床型
計	34名

地域密着型特別養護老人ホームほたるの郷は、入居者様一人ひとりの意志及び人格を尊重しながら、心穏やかに充実した生活が送れるよう支援しました。

地域の方々との交流の場を大切にし、地域行事の参加など、人と人の人間関係が営まれる生活支援を行い、この地域で暮らしてよかったと思える施設づくりを目指し余暇活動や行事に取り組みました。

恵泉会の基本理念である「人間の尊厳」「人権の擁護・平等・主体性の尊重」「生活の質の向上」「地域福祉の向上」「職員の資質・専門性の向上」の5つの理念を基本的な方針として、「福祉」＝「幸せ」となるように入居後も入居者がその能力に応じ自律した日常生活を営むことができるよう自己実現の支援を行い、入居者様の心身機能の維持が図られるよう取り組みました。

また、ユニットケアの特質を活かし、入居者様一人ひとりの暮らしをそれぞれの生活リズム、スタイルに沿って支援し、個人を重視した取組に努めました。更に、初めての試みとして、ほっとカフェ(認知症カフェ)を開催し、地域貢献

## 【 重点項目 】

1. ケアプラン、個別援助計画、24時間シートなどのツールを使い、個別ケアを重視した取り組みを実践し、ターミナルケアの充実にも取り組んでいきます。  
入居者一人一人の生活リズムを把握し、ケア提供を行っていくために24時間シートを活用しケア提供を実施することで、排泄のリズムを掴み、誘導を行いトイレでの排泄に繋がる方や食事の内容や介助方法を検討することで、「個」に重点を於いたサービスを継続する努力をしております。委員会をとおり、ターミナルケアの研修充実にも努力しました。
2. ユニット毎の余暇活動(時間)の充実を図り楽しみと潤いのある生活を提供します。  
各ユニット毎に日々の余暇活動を実施し、孤立や寝たきりの予防を図っています。また、生花教室、書道教室など地域の方のボランティア協力を得ながら開催、地域行事へ出かけ参加し楽しみや、懐かしさを感じていただける企画を実施しています。
3. 地域福祉の拠点として機能の充実と地域行事等へ参加し交流を続けていきます。  
施設入所に係る相談は、勿論のこと、伝統行事見学や施設内行事開催には、近隣住民を招待し交流を行いながら、施設の理解を深めてもらいました。また、松坂地区ミニディサービスや認知症カフェを当施設で開催するなど施設機能の開放に取り組みました。
4. リスクマネジメントに心がけ、安全・安心が確保され快適な生活ができるようサービス提供をします。  
リスクマネジメント委員会を中心に、ヒヤリハット等を検証し、改善案に基づく対応を実践しました。移動時の転倒、食事介助の際、誤嚥防止、入浴介助中の事故など事故防止が図られていますが、少数の事故報告があり今後も継続して取り組み、介護事故ゼロが目標です。
5. 質の高いサービス提供に向け各種研修等へ参加し職員の資質・専門性の向上に努めます。  
宮城県や宮城県社会福祉協議会主催の研修会への参加をはじめ、研修委員会が中心となり、施設内研修を企画、実施し職員の知識や技術の向上に繋がる研修を実施しています。  
また、外部研修としてユニットリーダー研修や認知症研修に職員を派遣し、ケアの質向上をはかりました。  
更に、地元高校の実習受入を視野に、実習担当者養成研修へも職員を派遣し、技術や知識の習得を行っています。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 12,087 名
2. 年間稼働率 97.40 %  
(目標稼働率 98.00 %)
3. 年間平均介護度 3.99
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	60	62	30	62	62	60	62	60	62	62	56	62	700
要介護3	180	186	210	210	248	240	248	240	262	279	252	291	2,846
要介護4	420	411	402	412	406	355	372	341	372	323	304	310	4,428
要介護5	360	376	309	310	310	360	344	355	341	372	315	361	4,113
計	1,020	1,035	951	994	1,026	1,015	1,026	996	1,037	1,036	927	1,024	12,087

5. 入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入所者数	0	1	1	3	1	1	0	1	1	0	1	2	12
退所者数	0	2	3	1	1	0	1	1	0	1	2	0	12
月末入所者数	34	33	31	33	33	34	33	33	34	33	32	34	±0

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.09.14	長寿を祝う会	入居されている皆様の長寿をご家族・地域の方々とお祝いする。	利用者 30名 職員 14名
H30.10.24	芋煮会	秋の風物詩である芋煮をユニットで育てた里芋を使い、皆で調理することで親睦を深め楽しんでいただく。	利用者 32名 職員 9名
H30.12.27	正月飾り作り	餅をついて、正月飾りをみずの木に飾りつけ、新年の準備を行う。	利用者 27名 職員 7名
H31.02.03	節分・豆まき	厄を祓い健康と幸せを願い豆まきをし無病息災を願う。	利用者 33名 職員 9名

【短期入所者生活介護サービス】

1. 年間延べ利用人員 19 名
2. 年間平均介護度 3.58
3. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	0	0	0	0	0	0	2	13	0	0	0	0	15
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	4	0	0	2	13	0	0	0	0	19

【入居者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師（講演者）	参加者
H30.04.02	新人職員研修	施設長他	職員 1名
H30.04.13	手洗いについて	准看護師	職員 4名
H30.04.20	災害対応研修	迫防災	職員 9名
H30.04.23	コンプライアンスについて	施設長	職員 6名
H30.05.28	食中毒予防について	登米保健所	職員 8名
H30.06.08	結核について	准看護師	職員 5名
H30.06.25	身体拘束廃止研修	ユニットリーダー	職員 7名
H30.07.13	尿路感染について	准看護師	職員 4名
H30.07.23	事故防止研修	ユニットリーダー	職員 3名
H30.07.26	虐待防止研修	ユニットリーダー	職員 3名
H30.08.15	疥癬について	准看護師	職員 2名
H30.08.27	接遇研修	ユニットリーダー	職員 7名
H30.10.22	ユニットケア研修	介護福祉士	職員 7名
H30.10.24	オムツ研修	ユニチャームメンリック(株)	職員 6名
H30.10.25	身体拘束廃止研修	ユニットリーダー	職員 3名
H30.10.29	白癬菌について	准看護師	職員 3名
H30.11.09	インフルエンザについて	准看護師	職員 5名
H30.11.26	プライバシーについて	ユニットリーダー	職員 7名
H30.11.26	看取りについて	看護師	職員 7名
H30.12.19	ノロウイルス・ガウンテクニックについて	准看護師	職員 5名
H31.01.11	メンタルケアについて	看護師	職員 4名
H31.01.11	手洗い・インフルエンザについて	看護師	職員 3名
H31.01.25	救命救急講習	消防署東出張所	職員15名
H31.01.28	事故防止研修	ユニットリーダー	職員 5名
H31.02.08	褥瘡・ポジショニングについて	准看護師	職員 3名
H31.02.25	認知症について	ユニットリーダー	職員 6名
H31.02.25	権利擁護研修(復命研修)	ユニットリーダー	職員 6名
H31.02.25	口腔ケア・栄養研修(復命研修)	介護福祉士	職員 6名
H31.03.25	看取りについて(復命研修)	ユニットリーダー他	職員 5名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
H30.04.23	平成30年度恵泉会人事考課研修	恵泉会	登米市	生活相談員
H30.06.07	平成30年度登米栄養士会総会・研修会	登米栄養士会	登米市	管理栄養士
H30.6.12～14	平成29年度ユニットリーダー研修(座学)	ユニットケア推進センター	仙台市	介護福祉士
H30.06.28	平成30年度安全運転管理者講習	安全運転管理者会	登米市	施設長
H30.07.03	平成30年度恵泉会管理職育成研修	恵泉会	登米市	生活相談員
H30.7.24～27	平成29年度ユニットリーダー研修(実習)	ユニットケア推進センター	利府町	介護福祉士
H30.08.02	平成30年度介護サービス事業者集団指導	恵泉会	登米市	施設長他1名
H30.08.06	平成30年度恵泉会管理職育成研修	恵泉会	登米市	生活相談員
H30.09.18	平成30年度恵泉会管理職育成研修	恵泉会	登米市	生活相談員
H30.10.23	平成30年度恵泉会管理職育成研修	恵泉会	登米市	生活相談員
H30.11.14	遺族ケア・根拠に基づくエンゼルケアについて	お茶の水ケアサービス学院	仙台市	看護師
H30.11.20	平成30年度恵泉会管理職育成研修	恵泉会	登米市	生活相談員
H30.11.27	平成30年度権利擁護推進研修	宮城福祉オンブズネット	仙台市	ユニットリーダー
H30.12.05	平成30年度口腔ケア・栄養管理研修	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	介護福祉士
H30.12.20	平成30年度恵泉会管理職育成研修	恵泉会	登米市	生活相談員
H30.01.15	平成30年度看取りケア研修	宮城県老人福祉施設協議会	仙台市	ユニットリーダー他1名
H31.01.15	平成30年度恵泉会管理職育成研修	恵泉会	登米市	生活相談員
H31.01.16	平成30年度フォローアップ研修会	恵泉会	登米市	介護福祉士他2名
H31.01.24	平成30年度労務管理研修会	宮城県社会福祉協議会	仙台市	施設長
H31.02.01	口腔ケア研修会	恵泉会	登米市	看護師他1名
H31.02.04	特別公開講座「施設で死ぬということ」	宮城県介護研修センター	大崎市	介護福祉士

H31.02.08	平成30年度恵泉会管理職育成研修	恵泉会	登米市	生活相談員
H31.02.15	平成30年度恵泉会管理職育成研修	恵泉会	登米市	生活相談員
H31.02.19	平成30年度宮城県ユニットケア研修	宮城県	仙台市	介護福祉士他1名
H31.03.06	平成30年度恵泉会管理職育成研修	恵泉会	登米市	生活相談員
H31.03.18	平成30年度恵泉会管理職育成研修	恵泉会	登米市	生活相談員

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
ユニット会議	業務課題、問題、24Hシートの見直しをユニットで行う。	随時	各ユニット職員
セクション・リーダー会議	ユニット間の連絡調整、サービス、ケア内容の検討。	第3木曜日	各セクション職員
職員会議	事業計画の遂行、並びに各種報告及び課題等について検討。	第4月曜日	全職員
運営推進会議	利用者の状況説明、事故報告、施設状況の説明。	2ヶ月毎	施設職員、登米市職員、地域住民、包括支援センター
入所判定会議	実態調査等を元に入居可否の検討を行う。	随時	各セクション職員
給食会議	調理部門と給食内容、栄養管理に関して検討。	第3月曜日	施設長、栄養士、調理員、相談員、医師、介護員、SV

## 3. 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
サービス評価委員会	サービス評価、検討	随時	施設長、各委員
研修委員会	職員の資質向上を図るため、研修の計画実施を図る。	第1金曜日	各委員
感染症対策・褥瘡予防委員会	感染症・褥瘡の予防対策について	第2金曜日	各委員
リスクマネジメント委員会	リスクマネジメントの取り組み、検討	第1水曜日	施設長、各委員
マニュアル検討委員会	マニュアルの整備、見直しを行う。	第2木曜日	施設長、各委員
虐待防止・身体拘束防止委員会	入居者の虐待防止、身体拘束防止への取り組み。	第4木曜日	施設長、各委員
防災委員会	防災に関する検討	第2木曜日	施設長、各委員
入所検討委員会	入所申込者の点数、順位の見直し	3ヶ月毎	施設長、各委員、外部委員
環境整備委員会	施設の環境整備に関すること	第1木曜日	各委員
指名委員会	備品等の購入、契約に関する指名業者の選定	随時	施設長、各委員
ターミナル検討委員会	看取りに関する情報共有、対応	随時	施設長、各委員、ユニット職員

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
H30.04.30	〇様	園芸活動	1名
H30.05.21	〇様	園芸活動	1名
H30.05.25	フラワーショップ花かご	生花教室	1名
H30.05.29	〇様	園芸活動	1名
H30.06.04	Y様	書道教室	1名
H30.06.08	さくら幼稚園	踊り・手遊び	29名
H30.09.13	A様	長寿を祝う会(味噌作り)	1名
H30.09.14	はっとボランティア	長寿を祝う会(はっと作り)	8名
H30.09.14	南方保育所	長寿を祝う会(外部余興)	21名
H31.03.21	三日月舞踊一座	股旅舞踊	8名
H31.03.28	登米市足もみたへい	ハンドマッサージ	7名
合計			79名

(2) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
H30.05.21	登米総合産業高校	介護実習Ⅱ	1名	1名
H30.07.09	登米総合産業高校	介護実習Ⅱ	1名	1名
H30.07.30	登米総合産業高校	介護実習Ⅱ	1名	1名
H30.08.08	登米総合産業高校	介護実習Ⅱ	1名	1名
H30.10.03	登米総合産業高校	介護実習Ⅱ	1名	1名
H30.11.07	登米総合産業高校	介護実習Ⅱ	1名	1名
H30.11.17	登米総合産業高校	介護実習Ⅱ	1名	1名
計			7名	7名

【今後の取り組み】

1. 個人毎のケアプランと24時間シートに基づき個別ケアを重視した取り組みを実践し、細やかなサービスを提供します。
2. ユニット毎の余暇活動(時間)の充実を図り楽しみと潤いのある生活を提供します。
3. 地域福祉の拠点として機能の充実と地域行事等へ参加し交流を続けていきます。
4. リスクマネジメントに心がけ、安全・安心が確保され快適な生活ができるようサービス提供をします。
5. 質の高いサービス提供に向け各種研修等へ参加し職員の資質・専門性の向上に努めます。

# 平成30年度 恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所 在 地 宮城県登米市登米町寺池馬場埠777番地
2. 設 置 主 体 社会福祉法人恵泉会
3. 経 営 主 体 社会福祉法人恵泉会
4. 開 設 年 月 日 平成5年3月15日
5. 利 用 定 員 35 名

### ○事業内容

- [1]通所介護
- [2]介護予防通所介護
- [3]日常生活支援総合事業通所型サービス(第1号通所事業)
- [4]基準該当生活介護(障害デイサービス)
- [5]登米市生きがい対応デイサービス

- (1)「笑顔」「思いやり」「安心」のある支援、施設・人をつくる。
- (2) 質の高いサービス提供。
- (3) 施設機能解放・地域社会への貢献。
- (4) 利用者の安定確保・健全な経営。

## 【 重 点 項 目 】

1. 中重度の利用者を受け入れることにより、中重度者ケア体制加算の算定につながり、中重度利用者の地域生活を支援した。また、リハビリについては、個別機能訓練加算 I を取得し、機能維持向上に向け、利用者のやる気にも繋がった。レスパイト機能のみならず、精神的なケアと共に身体機能の維持向上を目指した。
2. 利用者・職員等が安心して生活できる施設や職場創り・・・オレンジカフェ「えん」の継続開催をすることで、利用者や家族、地域の方々との関係性が広がった。また毎回内容を工夫することで職員の創意工夫につながり、職員間のコミュニケーションも増え職場が活性化した。
3. 隣接施設との異世代交流を通じた生きがい作り・・・地域住民や3歳未満児との交流を継続的に行うことで、顔なじみが増え、活性化した。特に子供たちとの交流は子育てした頃を思い出したり、子供とふれ合う機会がなかなか少ない利用者にとっても良い刺激となり、自然と笑みがこぼれ楽しみとなった。
4. 事故ゼロに向けた取り組み・・・介護度が変わるような事故や交通事故は無く大きな成果とだ思う。事故やミス、ヒヤリハットは委員会等で検証を十分に行い今後の再発防止に努めた。
5. 経費削減・安定経営・・・新規利用者を断ることなく受け入れることで稼働率も徐々に上がった。次年度は食事代無料化に伴い、収入の減少が見込まれる。利用定員を増やすことや、中重度者ケア体制加算の取得、リハビリの重点化だけでなく、施設機能の専門性を深め効果的なサービスを提供することで利用者の獲得をねらう。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 9,777 名
2. 年間稼働日数 308 日
3. 年間稼働率 90.70 % (通所介護+総合事業)  
(82.23) % (通所介護)  
(8.47) % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.20 (通所介護)  
0.88 (総合事業)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	199	228	211	220	214	205	235	219	219	219	207	232	2,608
要介護2	216	223	240	244	245	236	270	271	307	292	312	363	3,219
要介護3	201	220	213	224	224	164	177	140	116	110	86	64	1,939
要介護4	67	75	59	59	57	74	59	80	80	68	69	69	816
要介護5	0	0	26	27	14	17	44	33	40	25	25	31	282
計	683	746	749	774	754	696	785	743	762	714	699	759	8,864
事業対象者	4	0	0	0	0	0	4	5	4	4	7	8	36
要支援1	6	8	9	6	10	8	7	10	9	12	15	19	119
要支援2	56	68	60	64	71	66	73	65	60	54	57	64	758
計	66	76	69	70	81	74	84	80	73	70	79	91	913
合計	749	822	818	844	835	770	869	823	835	784	778	850	9,777

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	3	3	2	0	3	3	1	5	4	1	4	30
契約終了者数	0	3	2	2	3	5	2	1	0	2	3	0	23
月末契約者数	94	95	96	96	93	91	92	92	97	99	97	101	+ 7

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.04.16	お花見ドライブ	桜見学(平等沼、南方千本桜、ゆりの郷)7日間実施	利用者 66名 職員 20名
H30.05.05	菖蒲湯	菖蒲湯	利用者 29名 職員 8名
H30.06.13	こけ玉教室	こけ玉作り	利用者 24名 職員 6名
H30.07.05	七夕交流会	キッツつぼみ、恵はあととの交流会	利用者 33名 職員 12名
H30.08.10	夏祭り	かき氷、フライドポテト、ボランティア訪問	利用者 34名 職員 12名
H30.09.12	敬老会	3日実施、ボランティア訪問	利用者 93名 職員 33名
H30.10.02	お月見交流会	登米児童館との交流会	利用者 8名 職員 2名
H30.10.23	秋の運動会	玉入れ、輪くぐりリレー、職員対抗リレー、パン食い競争	利用者 33名 職員 10名
H30.12.21	クリスマス会	ボランティア訪問、ケーキバイキング	利用者 34名 職員 11名
H30.12.22	ゆず湯	ゆず湯	利用者 37名 職員 9名
H31.01.07	新年会	2日実施、ボランティア訪問	利用者 67名 職員 22名
H31.01.12	百寿お祝い会	阿部昇様百寿お祝い会	利用者 33名 職員 11名

H31.02.02	節分・年祝い	豆まき	利用者 34名 職員 8名
H31.03.01	ひな祭り会	レクリエーション	利用者 35名 職員 11名

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員 270 名
2. 年間稼働日数 308 日
3. 年間稼働率 2.50 %
4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
デ生 イキ		2	2	4	2	0	3	4	3	1	4	4	3	
	計	2	2	4	2	0	3	4	3	1	4	4	3	32
身障 デ イ	区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分4	4	21	22	22	22	21	23	21	21	20	19	22	238
	区分5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	4	21	22	22	22	21	23	21	21	20	19	22	238
合 計	6	23	26	24	22	24	27	24	22	24	23	25	270	

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.06.12	防災設備について	登米市消防署職員	10名
H30.07.27	食中毒について	栄養士	4名
H30.08.21	個別機能訓練加算について	作業療法士	8名
H30.09.27	救急救命研修	登米市消防署職員	2名
H30.10.25	冬の感染症について	看護師	3名
H30.12.27	人と人との関わりについて	介護員	3名
H31.02.28	介護実践研修	介護福祉士	1名
H31.03.28	コンプライアンス研修	管理者	12名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
H30.04.05	平成30年度 登米地区連絡協議会総会	登米市	登米市	1名
H30.05.24	平成30年度管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	1名
H30.07.03	平成30年度管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	1名
H30.08.02	平成30年度介護保険サービス事業者集団指導	登米市	迫町	1名
H30.08.06	平成30年度管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	1名
H30.08.29	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者、事業所管理者研修会	宮城県	仙台市	1名
H30.09.06	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	宮城県	仙台市	1名
H30.09.18	平成30年度管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	1名
H30.09.25	平成30年度登米地区ネットワーク会議	登米市	登米市	1名
H30.09.28	恵泉会職員研修大会	恵泉会	登米市	4名
H30.10.03	平成30年度リスクマネジメント研修	宮城県	仙台市	1名
H30.10.23	平成30年度管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	1名
H30.11.02	福祉レクリエーション研修会	宮城県	仙台市	1名
H30.11.06	平成30年度デイサービスセンター職員研修会	宮城県	仙台市	1名
H30.11.23	平成30年度管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	1名
H30.11.27	平成30年度宮城県社会福祉施設保健担当職員研修	宮城県	仙台市	1名
H30.12.04	平成30年度 アンガーマネジメント研修	宮城県	仙台市	1名
H30.12.20	平成30年度管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	1名

H31.01.15	平成30年度管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	1名
H31.01.18	平成30年度コミュニケーションスキル向上研修	宮城県	仙台市	1名
H30.12.20	平成30年度管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	1名
H31.02.08	平成30年度管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	1名
H31.02.15	平成30年度管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	1名
H31.02.26	平成30年度 コーチング研修	宮城県	仙台市	1名
H31.03.06	平成30年度管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	1名

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
職員会議	全職員参加し、業務や利用者についてなど全般にわたり検討	月1回	全職員
給食会議	委託業者を交えて給食についての検討	月1回	委託業者・栄養士・利用者・職員
デイサービス部会	恵泉会内デイサービスの検討	月1回～2ヶ月に1回	生活相談員
担当者会議	モニタリング、計画書の確認	随時	全職員、生活相談員

## 3. 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束廃止に向けての検討	必要時	全職員
褥瘡予防検討委員会	褥瘡発生予防、高リスク利用者分析・評価	定期	全職員
感染症対策検討委員会	感染症対策に関すること	月1回程度	全職員
リスクマネジメント委員会	施設のリスク全般について	月1回程度	全職員
防災委員会	防災についての検討	随時	防災委員会

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

年 月 日	団 体 名	内 容	来 訪 者 数
H30.07.02	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.07.06	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.07.09	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.07.13	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.07.20	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.07.23	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.07.27	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.07.30	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.08.03	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.08.06	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.08.10	春嵐太鼓	太鼓演奏	9名
H30.08.17	K様 他1名	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	2名
H30.08.24	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.09.03	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.09.07	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.09.10	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.09.12	S様 他8名	民謡、踊り(敬老会アトラクション)	9名
H30.09.13	小野寺勲(宮野浅太郎)様 他3名	踊り(敬老会アトラクション)	4名
H30.09.14	衣川貞夫(衣川城二)様 他2名	踊り(敬老会アトラクション)	3名
H30.09.21	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.09.28	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.10.01	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.10.05	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.10.12	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.10.15	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名

H30.10.19	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H30.11.14	登米ボランティア友の会	歌、踊り	7名
H30.11.15	登米ボランティア友の会	歌、踊り	6名
H30.11.27	クインテット・アッシュ	木管五重奏(アウトリーチ事業)	5名
H30.12.11	登米ボランティア友の会	歌、踊り	6名
H30.12.12	登米ボランティア友の会	歌、踊り	9名
H30.12.21	衣川貞夫(衣川城二)様 他2名	歌、踊り、ハーモニカ演奏	3名
H31.01.07	登米ボランティア友の会	歌、踊り(新年会アトラクション)	5名
H31.01.08	登米ボランティア友の会	踊り(新年会アトラクション)	9名
H31.01.12	衣川貞夫(衣川城二)様	踊り(100歳誕生日会アトラクション)	1名
H31.02.23	登米ボランティア友の会	踊り	11名
H31.03.23	登米ボランティア友の会	歌、踊り	9名
H31.03.25	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
H31.03.29	K様	余暇活動準備、後片付け、お茶入れ、食事配膳	1名
	合 計		121名

#### 【今後の取り組み】

1. 中重度者ケア体制加算の算定により、中重度利用者の地域生活を支援する。また、リハビリについては個別機能訓練加算Ⅰを取得、レスパイト機能のみならず、精神的なケアと共に身体機能の維持向上を目指す。
2. オレンジカフェの開催、地域行事への参加を通し地域との共生を目指す。
3. 隣接するサービス付き高齢者向け住宅「恵はあと」、事業所内保育所「キッズつぼみ」、地域住民との交流を通じ生きがい作りの場を提供する。
4. 介護・交通事故「ゼロ」に向けた取り組みを行う。
5. 利用者確保を目指すと共に、経費削減に努め、安定経営につなげる。

# 平成30年度 地域密着型通所介護恵泉会デイサービスセンターほんわか 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                        |
|--------------|------------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市中田町宝江黒沼字十文字211-5 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会             |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会             |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成21年 3月15日            |
| 5. 利 用 定 員   | 10 名                   |

地域に密着した小規模事業所の特性を活かし、一人ひとりに寄り添った家庭的な雰囲気の中で、一人ひとりが安心してその人らしい生活が送れることを意識しながら支援することができた。住み慣れた地域や家庭での生活が継続できるように、個々の状況に合わせた支援を考慮し、一日を満足して過ごしていただく環境作りに取り組んだ。

創作活動では、利用者同士協力し作品を仕上げ、皆で達成感を味わい喜ぶ姿が見られた。ゲームやレクリエーション、軽運動では、楽しそうな笑顔や声が飛び交い充実した時間を過ごして頂いた。季節の移り変わりを感じていただくために、季節毎に花々の見学、りんご狩りや芋煮会に出掛け、気分転換の場が提供できた。また、沢山のボランティアの来所により踊りや歌で元気をもらい、沢山の方々とふれあい交流を深め、信頼関係の構築もできた。また、誕生会ではホールケーキと手作りの誕生カードでお祝いし大変喜んでいただくと共に昔話をしたり、語りの場と交流を図る時間の提供ができた。ただ今年度は、地域との連携や運営の透明性を確保するために事業所を開放し、地域に還元するための交流会を実施予定であったが出来なかった。今後の課題とする。今年度は施設入所等が多く目標稼働率を達成することが出来なかった。一年を通してスタッフ一人ひとりが質の高いサービス提供を目指し内部研修等で、技術の向上に努めた。

## 【 重 点 項 目 】

1. 利用者本人の思いを汲み取り在宅で快適な生活が送れるように、一人ひとりのニーズをとらえ、又利用者の状態を常に把握し、安心して過ごせる環境で、スタッフ全員が意識統一を図り最適なサービス提供ができた。
2. サービス会議やモニタリング等で利用者の状況について話し合い、小さな変化も見逃さず、ニーズに適した介護計画の見直しを行い、一人ひとりの状態にあったサービス提供ができた。
3. 担当者会議において利用者の幸せや家族の要望に配慮し、ケアマネージャーや各サービス担当者と情報の共有を密に行い、利用者本人が在宅でより快適に暮らすことが出来るような支援を心掛けることができた。
4. デイサービス連絡手帳にバイタルや利用状況を記載し、体調面や一日の様子について細かく伝えることができた。変化のあった際は家族やケアマネージャーに迅速に連絡して対応することができた。
5. 病状の変化や状態に応じ食事形態等を考慮した食事提供ができた。おやつは健康状態に配慮し、できる限りバラエティーに富んだ手作りおやつを提供して喜んで頂くことができた。
6. クッキングやタオルたたみ等の生活リハビリを行い日常の生活動作に結びつける事ができた。また、レクリエーション等を多く取り入れたり、個別リハビリ(柔道整復師によるマッサージ)の実施で身体機能の維持が図れた。
7. 地域のボランティアさんを招いて交流を深め信頼関係を築き、新鮮な雰囲気でのデイサービスを提供できた。年2回の運営推進会議で、ほんわかの様子を伝え地域の方々や御家族様にも伝えていくことが出来た。
8. 担当者会議等で情報の共有化を図り連携を深め、ケアプランに基づいたより良いサービス提供に努めた。
9. 研修計画に基づき毎月内部研修を実施し、職員一人ひとりの資質向上と専門性の向上に努め職員の意識改革に取り組むことができた。

【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 2,721 名
2. 年間稼働日数 308 日
3. 年間稼働率 88.34 % (通所介護・総合事業)  
79.67 % (通所介護)  
8.67 % (総合事業)
4. 年間平均介護度 2.49 (通所介護)  
0.57 (総合事業)

5. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	75	55	49	46	52	48	45	47	52	49	49	57	624
要介護2	43	47	43	42	45	52	58	50	55	47	53	59	594
要介護3	90	74	79	71	49	52	57	50	48	47	46	51	714
要介護4	28	29	16	25	24	26	37	39	60	55	55	50	444
要介護5	0	0	0	0	0	0	6	13	13	13	14	19	78
計	236	205	187	184	170	178	203	199	228	211	217	236	2,454
事業対象者	3	5	5	2	13	12	13	13	11	12	11	11	111
要支援1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
要支援2	9	9	12	14	15	14	16	18	11	9	12	13	152
計	14	16	17	16	28	26	29	31	22	21	23	24	267
合計	250	221	204	200	198	204	232	230	250	232	240	260	2,721

6. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	1	1	4	2	1	0	2	3	1	0	0	2	17
契約終了者数	3	2	1	2	1	1	1	1	0	1	0	1	14
月末契約者数	27	26	29	29	29	28	29	31	32	31	31	32	

【利用者サービスの状況】

1. 生きがいサービス

(1) 行事

実施日	行事名	内 容	参加者数
H30.04.10～ H30.04.13	桜の花見学	迫鹿ヶ城公園・石越総合運動場周辺・海上連親水公園 中田町海蔵寺・米山平筒沼の桜を見学(3日間)	利用者 30名 職員 10名
H30.04.26～ H30.05.20	チューリップ見学	米山のチューリップ園見学(5日間)	利用者 39名 職員 10名
H30.05.05	菖蒲湯	端午の節句に無病息災を祈って菖蒲湯に浸かって頂く。	利用者 7名 職員 1名
H30.05.11～ H30.5.14	藤見学	加賀野公園、中田庁舎、登米庁舎の藤の花を見学(2日間)	利用者 19名 職員 5名
H30.6.04～ H30.06.08	新緑ドライブ(外食)	道の駅三滝堂、登米町内、道の駅津山、さんさん商店街に出掛け、新緑の風景を楽しみ散策する。3日間は蔵ら〜にて外食をして頂く。	利用者 30名 職員 15名
H30.06.15～ H30.06.18	花菖蒲見学	南方花菖蒲園を見学・散策する。(3日間)	利用者 24名 職員 7名
H30.06.25～ H30.6.29	紫陽花見学	大嶽山・興福寺と中田町・弥勒寺の紫陽花を見学・散策する。(3日間)	利用者 26名 職員 10名
H30.07.07	七夕会	手作りの七夕飾りをホールに飾り短冊に願いを込める。踊りボランティアの来所で楽しく過ごす。	利用者 11名 職員 5名
H30.07.27～ H30.8.01	蓮の花見学	海上蓮親水公園(石越)の蓮の花見学(5日間)	利用者 28名 職員 7名
H30.08.23 H30.08.24	菊風荘夏祭り見学	菊風荘に招待され、演芸鑑賞や出店をまわり交流を図る。(2日間)	利用者 16名 職員 9名
H30.09.15	外出(登米秋祭り見学)	阿部床屋さんの駐車場にて、伝統ある「登米の秋祭り」の山車を見学する。	利用者 8名 職員 3名
H30.09.14～ H30.09.19	長寿を祝う会	利用者に敬意を表し、長寿と健康を祈念する。ボランティアさんによる演芸や「敬老祝い膳」で御祝い行っている。(4日間)	利用者 35名 職員 13名

H30.10.03 H30.10.09	りんご狩り	登米町の芳賀果樹園に出掛けりんご狩り体験を行って行く。(2日間)	利用者 20名 職員 6名
H30.10.04～ H30.10.05	外出(芋煮会)	東和町の三滝堂の出掛け芋煮会を行い散策を楽しむ。	利用者 17名 職員 8名
H30.10.10	ボラフェスinとめ 2018見学外出	登米祝祭劇場にて様々なボランティア団体のステージを鑑賞し、気分転換を図った。	利用者 9名 職員 4名
H30.12.04	中田保育所との 交流会	中田保育所の園児が来所して、肩もみやプレゼントを頂き交流を図る。(園児16名、職員3名)	利用者 10名 職員 4名
H30.12.11	感染症予防研修 会	他施設の看護師に講師を依頼して、「インフルエンザと食中毒」の予防と対策に対する正しい知識の習得の研修会を実施。	利用者 12名 職員 4名
H30.12.25	クリスマス会	クリスマスメニューの提供と、ビンゴゲームで上位三名の方にプレゼントを送った。ボランティアによるギター演奏を楽しんだ後、手作りのクリスマスカードを全員にプレゼントした。	利用者 12名 職員 5名
H30.12.27	正月飾り(門松)作 り	新年に飾る門松を利用者様に手伝っていただきながら作る。	利用者 12名 職員 2名
H31.01.04～ H31.01.10	新年会	ボランティアさん(3日間)に来所してもらい、歌や踊りで新年を祝う。また「新年御祝い御膳」を提供。喜んで召し上がっていただく。(6日間)	利用者 53名 職員 24名
H31.02.02	節分	一年間の無病息災を願い、豆まきを行う。	利用者 9名 職員 4名
H31.03.02	ひな祭り会	ひなまつりにちなんだ昼食とおやつのひなあられで桃の節句を祝う。午後の活動ではひな人形作りを行い持ち帰っていただいた。	利用者 9名 職員 4名
H31.03.15	ほんわか開所 10周年御祝い会	ほんわか10周年を記念して、昼食時に御祝い御膳を提供。紅白饅頭をおやつで提供。集合写真を撮りみんなで御祝いできた。	利用者 10名 職員 5名

## 【利用者サービスの向上】

### 1. 職員研修実施状況

#### (1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.04.03	車輛操作について(転入職員対象)	職員	職員1名
H30.05.01	コミュニケーション研修	管理者	職員4名
H30.07.02	リスクマネジメント研修	職員	職員4名
H30.08.01	法令遵守研修会	管理者	職員5名
H30.09.03	「関係性を強化するコミュニケーション」復命会	職員	職員5名
H30.10.01	苦情解決に関する研修会復命会	管理者	職員3名
H30.11.01	職員研修大会復命会	職員	職員4名
H30.12.11	感染症予防研修会(健康教室)	萩風園看護師	職員4名
H31.01.04	身体拘束・プライバシーの保護に関する研修	職員	職員5名
H31.02.21	防災教室	DVD	職員5名
H31.03.26	介護実践研修(体位交換・移乗)	職員	職員5名

#### (2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
H30.05.24	平成30年度 管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
H30.07.03	平成30年度 管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
H30.08.02	平成30年度 介護保険サービス事業者集団指導	登米市福祉事務所長寿介護課	迫町	職員1名
H30.08.06	平成30年度 管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
H30.08.29	介護サービスの質の向上に関する市町村担当者・事業所管理者等研修会	宮城県国民健康保険団体連合会	仙台市	職員1名
H30.09.06	福祉サービスの苦情解決に関する研修会	宮城県社会福祉協議会	仙台市	職員1名
H30.09.18	平成30年度 管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
H30.09.28	平成30年度 恵泉会職員研修大会	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員2名
H30.10.23	平成30年度 管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
H30.11.20	平成30年度 管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
H30.12.20	平成30年度 管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
H31.01.15	平成30年度 管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
H31.01.25	救命救急講習会	ほたるの郷	東和町	職員2名
H31.02.01	口腔ケア研修会	ゆりの郷	登米町	職員2名
H31.02.08	平成30年度 管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名

H31.02.15	平成30年度	管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名
H31.03.06	平成30年度	管理職育成研修	社会福祉法人恵泉会	迫町	職員1名

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
デイサービス部会	各デイサービスの利用状況報告等	月1回	生活相談員1名
サービス会議	利用者の利用状況や行事予定について	月1回	全職員
給食会議	食事に関する事項等	月1回	全職員
運営推進会議	事業報告等	年2回	管理者・生活相談員・事務員

## 3. 委員会開催状況

### (1) 定例委員会

委員会名	内容	開催日	参加職員
防災委員会	通報順位や通報訓練について	H30.4.3	全職員
	総合防災訓練について	H30.5.1	全職員
	総合防災訓練実施要綱について	H30.6.1	全職員
	避難訓練について	H30.8.1	全職員
	不審者対応訓練について	H29.10.1	全職員
	不審者対応訓練の振り返りと防災センター見学について	H30.11.1	全職員
	送迎時の緊急時対応訓練について	H31.1.4	全職員
	防災教室について	H31.2.1	全職員
研修委員会	今月の反省及び次月のコミュニケーション研修について	H30.4.23	全職員
	今月の反省及び次月の食中毒予防研修について	H30.5.28	全職員
	今月の反省及び次月の法令遵守研修について	H30.7.23	全職員
	今月の反省及び次月の外部研修の予定について	H30.8.20	全職員
	今月の反省及び次月の復命会について	H30.9.18	全職員
	今月の反省及び次月の法人研修大会復命会について	H30.10.17	全職員
	今月の反省及び次月の感染症予防研修について	H30.11.25	全職員
	今月の反省及び次月の身体拘束・プライバシー保護について	H30.12.25	全職員
	今月の反省及び次月の防災ビデオ鑑賞について	H31.1.15	全職員
リスクマネジメント委員会	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	H30.5.1	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	H30.6.1	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	H30.7.2	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	H30.8.1	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	H30.9.3	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	H30.10.1	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	H30.11.1	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	H30.12.3	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	H31.1.4	全職員
	前月の事故報告の検証及び危険箇所の確認	H31.2.1	全職員
サービス向上委員会	サービス評価の自己評価実施時期と提出時期について	H30.7.2	全職員
	サービス評価の提出時期について	H30.8.1	全職員
	サービス評価の自己評価のスケジュールについて	H30.9.3	全職員
	サービス評価自己評価配布と提出日の確認について	H30.10.1	全職員
	サービス評価の自己評価結果について	H30.11.1	全職員
	第三者委員によるサービス評価結果について	H31.1.10	全職員
	アンケート実施について	H31.1.10	全職員
	アンケート集計について	H31.2.1	全職員
	アンケート結果について	H31.3.1	全職員

褥瘡予防検討委員会	状況確認と対応について	H30.5.1	全職員
	状況確認と対応について	H30.6.1	全職員
	状況確認と対応について	H30.7.2	全職員
	状況確認と対応について	H30.8.1	全職員
	状況確認と対応について	H30.9.3	全職員
	状況確認と対応について	H30.10.1	全職員
	状況確認と対応について	H30.11.1	全職員
	状況確認と対応について	H30.12.3	全職員
	状況確認と対応について	H31.1.4	全職員
	状況確認と対応について	H31.2.1	全職員
	状況確認と対応について	H31.3.1	全職員
感染症対策検討委員会	感染症予防対策と寝具の天日干しについて	H30.4.23	全職員
	感染症予防対策とバルサン散布について	H30.5.28	全職員
	感染症予防対策について	H30.6.25	全職員
	感染症予防対策と利用者の皮膚状況について	H30.7.23	全職員
	感染症予防対策とバルサン散布について	H30.8.27	全職員
	感染症予防対策(インフルエンザ予防接種)について	H30.9.25	全職員
	感染症予防対策と感染症予防研修について	H30.10.29	全職員
	感染症予防対策について	H30.11.29	全職員
	感染症予防対策と利用者状況について	H30.12.28	全職員
	感染症予防対策と利用者状況について	H31.1.28	全職員
	感染症予防対策と利用者状況について	H31.2.28	全職員
感染症発症により蔓延対策の対応について	H31.3.20	全職員	
身体拘束廃止検討委員会	身体拘束の現状について	H30.9.3	全職員
	身体拘束の現状について	H31.2.1	全職員

#### 【今後の取り組み】

1. 利用者一人ひとりのニーズをとらえ、安全で快適に過ごせる最適なサービスを提供し、選ばれる事業所となる。
2. 地域の方々やボランティアの方々を招き、地域に根ざしたサービス提供を展開し、地域に貢献出来る事業所を目指す。
3. 家族やケアマネージャーとの連携を密に行い、情報の共有を図る。
4. 各種研修会や内部研修で専門性を高め、適切な支援を実践に活かし質の高いサービスを提供する。
5. 目標稼働率95%以上を達成する。

# 平成30年度 恵泉会ヘルパーステーション 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

1. 所在地 宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2
2. 設置主体 社会福祉法人 恵泉会
3. 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開設年月日 平成17年4月15日

在宅で医療を受ける人が多くなり、それに伴い、関わる機会も増加している。在宅医療、在宅介護に携わる大きなチームの一員として、ケアマネージャーや訪問看護師など他の職種とも連携を取り、質の高いサービス提供が行えるよう努めた。

また、在宅で日常生活をより良く営むことができるよう、障害を持った方に対し居宅介護・移動支援・通院介助において一人ひとりにあわせた援助を行った。

## 【 重 点 項 目 】

1. 良質なサービスを提供するために、サービス提供責任者が職員・登録ヘルパーの技術面・意識面においてサービスの質の向上を図るため指導をした。また、現在行っている業務についてはサービス内容等の見直しを行った。
2. 利用者が満足するサービスを提供するため、ケアマネージャーを通して各サービス事業所と連携し、利用者・家族の意向や介護生活の状況などをアセスメントを行い、計画に沿ったサービスを適確に行った。
3. 職員の専門知識の向上のため、外部研修への参加及び毎月内部研修を実施した。

## 【 利 用 状 況 】

1. 年間延べ利用人員 4,837 名
2. 年間稼働日数 365 日
3. 年間平均介護度 3.29 (訪問介護)  
0.80 (予防訪問介護)

### 4. 月別利用状況 (延べ利用者数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	20	22	27	33	35	39	41	45	36	36	43	56	433
要介護2	47	56	46	40	44	45	51	46	43	43	70	80	611
要介護3	126	119	105	105	101	113	120	136	138	138	126	109	1,436
要介護4	31	48	21	21	31	22	20	26	14	14	16	46	310
要介護5	92	123	135	125	119	101	94	78	88	88	65	43	1,151
計	316	368	334	324	330	320	326	331	319	319	320	334	3,941
要支援1	13	12	19	17	23	19	17	27	43	43	14	16	263
要支援2	45	41	62	51	45	66	82	48	36	36	47	57	616
事業対象者	3	4	5	4	0	1	0	0	0	0	0	0	17
計	61	57	86	72	68	86	99	75	79	79	61	73	896
合計	377	425	420	396	398	406	425	406	398	398	381	407	4,837

### 5. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	2	3	2	1	1	3	3	3	1	1	2	1	23
契約終了者数	1	1	1	1	0	3	3	0	1	2	3	0	16
月末契約者数	134	136	137	137	138	138	138	141	141	140	139	140	+ 7

【その他の利用者サービス】

1. 年間延べ利用人員 838 名  
 2. 年間稼働日数 365 日  
 3. 月別利用状況

(延べ利用者数)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅介護	区分1	1	11	1	1	1	1	1	0	0	1	1	20
	区分2	21	22	21	15	13	12	17	17	17	9	13	196
	区分3	9	9	9	8	10	1	2	2	3	1	2	69
	区分4	14	15	13	15	16	9	15	17	14	14	18	174
	区分5	30	32	7	11	15	38	5	0	9	10	29	218
	区分6	12	14	13	14	8	12	13	14	12	13	11	161
	計	87	103	64	64	63	73	53	53	55	55	70	98

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30.04.24	倫理及び法令の厳守について	職員	職員6名
H30.05.28	緊急時マニュアルの見直しについて	職員	職員5名
H30.06.05	登録ヘルパー研修会	管理者	登録ヘルパー9名
H30.06.18	感染症の予防について	職員	職員5名
H30.07.24	事故発生時及び再発防止について	職員	職員5名
H30.08.27	介護証にとっての接遇について	職員	職員6名
H30.09.28	身体拘束排除の取り組みについて	職員	職員6名
H30.10.22	リスクマネジメントについて	職員	職員5名
H30.11.21	認知症の理解・ケアの基本について	職員	職員6名
H30.12.21	食中毒の予防・蔓延防止について	職員	職員6名
H31.01.28	高齢者・障害者虐待について	職員	職員6名
H31.02.13	登録ヘルパー研修会	管理者	登録ヘルパー9名
H31.02.18	介護予防・要介護進行予防について	職員	職員5名
H31.03.18	プライバシーの保護について	職員	職員6名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
H30.05.25	登米市障害福祉サービス事業所職員研修	登米市	南方庁舎	職員1名
H30.06.13	登米市迫地域高齢者ネットワーク会議	迫地域包括支援センター	登米市民病院	職員1名
H30.07.25	平成30年度職場のリーダーシップ研修	宮城県社会福祉協議会	東京エレクトロンホール	職員1名
H30.08.01	介護保険サービス事業者集団指導	東部保健福祉事務所	登米合同庁舎	職員1名
H30.10.24	登米市障害福祉サービス事業所職員研修	登米市	南方庁舎	職員1名
H30.11.16	コミュニケーション技術・対人援助技術研修	宮城県社会福祉協議会	県管工事会館	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日	参加職員
ケアカンファレンス	契約利用者のサービス状況について	随時	介護福祉士
職員会議	業務に関する課題への対応方策について話し合う	月1回	介護福祉士
スタッフ会議	訪問介護員の技術指導を目的とする	月末	介護福祉士・登録ヘルパー
伝達会議	サービス提供責任者と訪問介護員の情報伝達および報告	月1回	介護福祉士・登録ヘルパー

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) 実習

年月日	団体名	実習内容	実人数	延人数
H30.08.07	宮城県登米総合産業高等学校1年	介護科介護実習	2名	4名
H30.08.22	宮城県登米総合産業高等学校1年	介護科介護実習	3名	6名
H30.10.23	介護労働安定センター	介護労働研修(実務者研修)	1名	1名
計			6名	11名

## 【今後の取り組み】

1. 他の職種とも連携を図り、利用者の必要としているサービスを見極め、満足していただけるサービスが提供できるよう努める。
2. サービス計画書と連動した訪問介護計画書を作成のうえ、訪問介護員に同行訪問による指導を行い、また、手順書を作成することで、適切で統一されたサービス提供ができるようにする。
3. サービス提供状況の確認を強化し、質の高いサービスを提供できるよう、積極的に研修会に参加し訪問介護員のキャリアアップに努める。また、登録ヘルパーを積極的に確保・育成しサービス提供の現場に送り出せるようにする。

# 平成30年度 恵泉会介護支援センターいきいき 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |          |                       |
|----------|-----------------------|
| 1. 所在地   | 宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2 |
| 2. 設置主体  | 社会福祉法人恵泉会             |
| 3. 経営主体  | 社会福祉法人恵泉会             |
| 4. 開設年月日 | 平成19年4月1日             |

## 【 重 点 項 目 】

- ・地域包括センターや医療機関、保険者など各関係機関との連携を常に意識し、良好な関係作りができた。
- ・職員一人ひとりが心身共に良好で気持ち良く働ける職場環境づくりに関しては、個々で問題を抱え込まず相談できる体制を強化し、風通しの良い職場環境の構築に努めたことで、一年を通して大きく体調を崩す職員や離職者を出さずに利用者に安定したサービスを提供出来た。
- ・困難事例に関しては、事業所全体での解決に向けた検討を重ねることで一職員に負担がかかり過ぎないような体制が取れた。
- ・対人援助技術の習得に努め、利用者・事業所との良好な関係作りでは、利用者や家族に対しての普段の関わりからの信頼構築に努めた。アンケートでも満足度の高いことが分析でき、苦情も出ていないことから達成できた。
- ・アセスメント、課題分析の充実に関しては、主任介護支援専門員のプランチェックや助言でスキルアップを図り、利用者の自立に向けた固有のニーズの引き出しができるようになっている。新任の職員も含め各自の力量も概ね平均化している。
- ・在宅緩和ケアや認知症・難病等各種疾患についての知識は、研修や伝達会議を通じて事業所全体で共有するよう努めた。実際のケース担当で学ぶことも多く、難しいケースの担当での経験を積むことが、今後必要と思われる。
- ・計画された事業所内事例検討会や施設内研修の開催、各種外部研修会には意欲をもって参加でき、専門職としての意識向上に繋がっていると思われる。また今年度、他居宅事業所との合同の事例検討会を2回開催でき、次年度からも継続できる足がかりとなった。
- ・退院退所時の連携の強化、ターミナルケアマネジメントの積極的な受け入れを行った結果、次年度の特定事業所加算Ⅳの取得が可能となった。
- ・重度要介護者の積極的な受け入れを行った結果、特定事業所加算Ⅰの継続取得が出来た。

## 【 利 用 状 況 】

### 1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	94	100	108	96	97	101	99	105	94	97	84	93	1,168
女	223	228	225	223	222	222	217	218	211	214	215	217	2,635
計	317	328	333	319	319	323	316	323	305	311	299	310	3,803

### 2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	55	56	57	56	54	56	54	55	54	52	55	57	661
要介護2	79	88	84	86	89	91	87	93	91	93	91	93	1,065
要介護3	91	95	95	83	86	87	85	88	80	87	76	85	1,038
要介護4	58	55	57	55	54	54	54	50	46	43	42	44	612
要介護5	34	34	40	39	36	35	36	37	34	36	35	31	427
計	317	328	333	319	319	323	316	323	305	311	299	310	3,803

3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	45	8	6	6	6	6	7	4	3	3	10	8	112
契約終了者数	8	5	8	6	8	3	6	10	10	8	8	10	90

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	57	59	60	57	58	58	57	54	52	51	50	49	662
訪問入浴	29	35	35	32	29	28	30	32	29	29	24	23	355
訪問看護	55	58	58	56	56	57	56	55	51	45	44	45	636
訪問リハ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
通所介護	194	190	188	193	200	200	208	201	195	190	190	191	2,340
通所リハ	30	30	28	28	27	25	25	27	25	24	24	23	316
福祉用具	214	221	222	218	217	217	219	213	203	201	197	198	2540
短期生活	84	82	79	81	84	79	80	76	86	76	72	81	960
短期療養	6	8	7	10	8	12	10	10	10	7	7	8	103
認知通所介護	5	5	5	4	3	3	3	3	3	3	3	3	43
地密通所介護	48	48	48	47	45	48	46	46	44	46	45	47	558
計	723	737	730	726	727	727	734	717	698	672	656	668	8,515

【認定調査状況】

1. 認定調査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	39	39	33	34	33	31	42	28	36	36	45	37	433

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	2	2	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	21
要支援2	1	1	0	0	0	0	1	2	1	1	1	1	9
計	3	3	1	1	1	2	3	4	3	3	3	3	30

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予 防 対 象 件 数	迫町	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	中田町	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	1	1	1	1	1	2	3	3	3	3	3	3	25
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	3	1	1	1	2	3	4	3	3	3	3	30	

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問介護	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所介護	1	1	0	0	0	1	2	2	0	2	2	2	13
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	3	1	1	1	2	3	4	3	3	3	3	30

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講 師・事 例 提 供 者	参 加 者
H30.04.12	平成30年度恵泉会介護支援センター新任職員研修	管理者	1名
H30.05.10	法令遵守について	恵泉会介護支援センター施設長心得	10名
H30.06.12	個人情報保護法のポイントについて	恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	10名
H30.07.11	地域ケア会議について	迫包括支援センター 管理者	10名
H30.10.10	認知症について	恵泉会東和介護支援センター 介護支援専門員	9名
H30.09.11	災害時の対応について	恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員	11名
H30.11.19	他事業所との合同事例検討会	恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	10名
H31.01.10	事例検討会	恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	11名
H31.02.06	入所施設の利用料と特色について	恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	10名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
H30.04.27	平成30年度新任介護認定調査員研修会	登米市 社会福祉事務所	登米市南方庁舎	1名
H30.5.10 他7日間	平成30年度主任介護支援専門員更新研修	宮城県 社会福祉協議会	宮城県庁他	1名
H30.06.13	新任研修「介護支援専門員の役割・ 理念」について	ケアマネジャー協 会 登米支部	登米市南方町庁 舎	1名
H30.07.12	安全運転管理者講習	宮城県公安委員 会	中田農村環境 改善センター	1名
H30.07.03	クレーム対応研修会	宮城県 社会福祉協議会	フォレスト仙台	1名
H30.07.18	新任研修「研修会開催」について	ケアマネジャー協 会 登米支部	登米市南方町庁 舎	1名
2018/7/20 他1日間	「在宅療養者カルテ」運用研修会	登米市医師会	登米総合支所	2名
H30.08.01	平成30年度介護サービス事業者集団指導	登米市 社会福祉事務所	宮城県 登米合同庁舎	1名
H30.8.10 他3日間	平成30年度介護支援専門員更新研 修Ⅱ	宮城県 社会福祉協議会	宮城県庁他	1名

H30.08.24	新任研修「研修会開催」について	ケアマネジャー協会 登米支部	登米市南方町庁舎	1名
H30.08.29	登米市介護従事者サポート研修会	ケアマネジャー協会 登米支部	登米市南方町庁舎	2名
H30.11.13	「運営基準からみた居宅介護支援」研修会	ケアマネジャー協会 登米支部	登米市南方町庁舎	5名
H30.11.16	平成30年度介護認定調査員現任研修	宮城県東部保健福祉事務所	宮城県登米合同庁舎	8名
H30.11.20	平成30年度高次脳機能障害者支援研修会	登米市立登米市民病院	登米市民病院医療連携センター	2名
H30.12.05	平成30年度介護支援専門員実務研修実習指導者研修	宮城県社会福祉協議会	宮城県庁	1名
H30.12.17	新任研修「看取り」について	ケアマネジャー協会 登米支部	登米市民病院医療連携センター	1名
H31.02.07	平成30年度登米保健所管内結核対策研修会	登米保健所	ホテルニューグランピア	1名
H31.02.09	認知症研修会	登米市訪問看護ステーション	登米市民病院医療連携センター	2名
H31.02.12	自立支援を目指す人工知能活用研修会	株式会社CDI	仙台市仙都会館	1名
H31.03.01	地域医療意見交換会	登米市民病院地域医療連携室	登米市民病院医療連携センター	1名
H31.03.04	ケアマネジメントの振り返り	ケアマネジャー協会 登米支部	宮城県登米合同庁舎	10名

### (3) その他の研修

年月日	内 容	主催者 講師	開催地	参加者
H30.5.24 他12回	平成30年度経営管理職研修	WJU	恵泉会研修室	1名
H30.09.28	恵泉会職員研修大会・講演会	恵泉会	水の里ホール	7名

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内 容	開催日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週水曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等事業所内周知を図る	毎月1回

### (2) その他の会議

開催日	内 容	開催地	出席者
H30.06.13	登米市迫地域高齢者ネットワーク会議	登米市民病院医療連携センター	3名
H31.03.05	登米市米山・南方地域高齢者ネットワーク会議	迫保健センター	3名

## 3. 委員会開催状況

委員会名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	研修計画、施設内研修、他事業所との合同研修について	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
マニュアル検討委員会	各種マニュアル、災害時要援護者台帳の整備	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
サービス向上委員会	自己評価、満足度調査の実施、サービス情報公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理者、委員

## 【今後の取り組み】

新規マネジメントの依頼は月ごとにばらつきがあるため、契約件数は月ごとには安定しなかったものの、給付管理件数はほぼ前年度並みとなった。引き続き新規獲得に努め安定した給付管理数を確保していく。毎年度、担当ケアマネごとに給付管理件数に偏りが出てしまい、業務量に差が見られる傾向にある為、認定調査件数を含めた業務量の平均化が必要である。職員の半数が主任介護支援専門員を取得しており、その職員を中心に医療依存度の高い利用者や困難ケースの受け入れ実績を上げること、新人介護支援専門員の育成に取り組む。特定事業所加算Ⅰの取得が安定する為に、伝達会議の充実、重度割合の維持、ケア会議への参加、用件を満たす職員の主任介護支援専門員資格取得などに積極的に取り組む。更なる医療と介護の連携の強化が求められるので、入・退院時の医療機関との連携の強化を図り、地域に根ざした質の高いケアマネジメントが提供出来るよう職員全員で取り組んでいきたい。

# 平成30年度 恵泉会介護支援センターらくらく 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                       |
|--------------|-----------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市迫町佐沼字江合三丁目16番地2 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会            |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人 恵泉会            |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成19年4月1日             |

## 【 重 点 項 目 】

・職員一人ひとりが心身共に健康で、意欲を持って仕事に取り組める職場作りに関しては、新任職員が加わったことで職場の雰囲気さらに明るくなり、相談、情報提供も円滑に行われ、職員同士お互いの業務遂行状況にも配慮することで病休者や退職者も出ず、利用者、家族に安定したサービス提供ができたと思われる。

・利用者、家族との良好な関係作りに関しては、対人援助技術の研修も取り入れ、アンケート結果からも利用者、家族の満足度が高いことがわかり、良好な関係作りが行えていると思われる。

・主任介護支援専門員によるケアプランチェックを継続して行うことにより、アセスメントの充実、課題分析、ニーズ設定まで適切に行え、自立に向けた支援にも繋がっていると思われる。

・各関係機関との連携に関しては、普段の情報交換以外にも、研修会等に積極的に参加することで、知識の習得と共に、顔の見える関係作りに繋がり、各サービス提供事業所を中心に、地域包括支援センター職員等と連携して支援することができた。

・在宅緩和ケア・認知症・難病等各種疾患の知識については、主治医を含め、各関係機関との連携に配慮し対応できているが、今後も研修会の参加や事業所での情報共有に努め、さらなる研鑽が必要と思われる。

・少ない人数での新規対応、毎週の情報伝達会議と課題はあるが、同法人内支援センターの協力も頂きながら特定事業所加算Ⅱの算定を継続することができた。

・地域包括支援センター、他事業所共同での研修会を実施することで、地域における介護支援専門員の資質向上を図ることができたと思われる。

以上、概ね達成できているが、今後も専門性の向上を図り、地域包括ケアに向けた医療連携、事業所間連携を深めていきたい。

## 【 利 用 状 況 】

### 1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	32	35	39	43	43	38	38	42	41	39	40	40	470
女	89	86	85	83	84	87	84	82	83	81	80	79	1,003
計	121	121	124	126	127	125	122	124	124	120	120	119	1,473

### 2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	51	52	55	56	56	52	47	51	47	49	50	50	616
要介護2	57	54	56	55	52	54	54	51	53	48	47	48	629
要介護3	10	15	13	14	16	15	17	17	17	17	16	15	182
要介護4	3	0	0	1	2	3	3	4	6	5	5	3	35
要介護5	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2	3	11
計	121	121	124	126	127	125	122	124	124	120	120	119	1,473

3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	14	3	4	3	4	1	2	4	1	2	2	5	45
契約終了者数	2	4	1	0	2	1	3	4	1	0	4	9	31

4. 契約終了等理由

理由	予防給付移行	施設入所	死亡	事業所変更	その他(転居)	計
利用者数	3	10	8	7	3	31

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	15	15	16	17	18	18	19	18	16	15	16	17	200
訪問入浴	0	0	1	2	2	2	2	2	2	2	3	4	22
訪問看護	7	6	7	6	7	7	8	7	7	6	7	6	81
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	82	84	82	83	83	80	88	89	90	88	85	89	1,023
通所リハ	9	8	9	9	8	8	8	7	7	7	7	7	94
短期生活	18	20	19	22	18	23	21	20	21	18	17	22	239
短期療養	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	3
福祉用具	52	55	55	57	58	53	52	54	57	57	55	56	661
地域密着通所	29	29	28	27	26	26	21	21	20	20	19	19	285
認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2
計	212	217	217	223	220	218	219	218	221	213	210	222	2,610

【認定調査状況】

1. 認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	15	16	17	15	16	12	20	6	24	14	18	20	193

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	1	1	2	2	2	2	1	0	1	1	1	1	15
計	1	1	2	2	2	2	1	0	1	1	1	1	15

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予 防 対 象 件 数	迫町	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7
	中田町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	0	0	1	1	1	1	0	0	1	1	1	1	8
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	2	2	2	2	1	0	1	1	1	1	15	

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所介護	1	1	2	2	2	2	1	0	1	1	1	1	15
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	2	2	2	2	1	0	1	1	1	1	15

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講 師・事 例 提 供 者	参 加 者
H30.04.12	平成30年度介護支援センター新任職員研修	恵泉会いきいき 施設長心得 恵泉会とよま 管理者 恵泉会らくらく 管理者	1名
H30.05.10	法令遵守について	恵泉会介護支援センターいきいき 施設長心得	3名
H30.06.12	個人情報保護について	恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	全職員
H30.07.31	合同研修会:地域ケア会議について	迫地域包括支援センター 管理者	全職員
H30.09.10	認知症について	恵泉会東和介護支援センター 介護支援専門員	3名
H30.10.10	災害時の対応について	恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員	全職員
H30.11.19	合同事例検討会	恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	全職員
H31.01.10	事例検討会	恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	全職員
H31.02.13	入所施設の利用料と特徴	サービス向上委員会	全職員

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
H30.04.27	平成30年度介護認定調査員新任研修	登米市福祉事務所	登米市役所 南方庁舎	1名
H30.6.13 他4日	宮城県ケアマネジャー協会登米支部新任研修	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市役所南方庁舎 登米市民病院	1名
H30.07.13	高齢者虐待防止法と地域ネットワークについて	中田・石越地域 包括支援センター	中田農村環境改 善 センター	1名
H30.08.30	平成30年度介護サービス事業者集団指導	登米市福祉事務所	登米合同庁舎	1名
H30.08.29	登米市介護従事者等サポート研修会	登米市	登米市役所 南方庁舎	2名
H30.9.3 他3日	平成30年度介護支援専門員更新研修Ⅱ	宮城県社会福祉 協議会	宮城県庁	1名
H30.10.17 他9日	平成30年度介護支援専門員再研修 及び更新研修	宮城県社会福祉 協議会	ハーネル仙台	1名
H30.11.13	平成30年度居宅介護支援にかかわる研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米市役所南方 庁舎	3名

H30.11.16	平成30年度介護認定調査員現任研修会	登米市・宮城県 東部保健福祉事 務所	登米市役所南方 庁舎	3名
H30.11.20	平成30年度高次脳機能障害者支援 研修会	宮城県東部 保健福祉事務所	登米市民病院	1名
H30.12.05	平成30年度介護支援専門員実務研 修実習指導者研修	宮城県社会福祉 協議会	宮城県庁	1名
H31.02.07	H30年度登米市保健所管内結核対 策研修会	登米保健所 登米医師会	ホテル ニューグランヴィア	1名
H31.02.09	認知症研修会	登米市訪問看護 ステーション	登米市民病院	1名
H31.03.01	地域医療意見交換会	登米市医療局	登米市民病院	1名
H31.03.04	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー 協会登米支部	登米市合同庁舎	1名

(3) その他の研修

年月日	内 容	主催者・講師	開催地	参加者
H30.09.28	第39回恵泉会職員研修大会	WJU	登米祝祭劇場	3名
H30.5.24 他12日	平成30年度恵泉会経営管理職研修	WJU	恵泉会在宅 サービス支援棟	1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開催日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週木曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開催日	内 容	開催地	出席者
H30.06.13	迫地域高齢者ネットワーク会議	登米市民病院医療連携センター	1名
H31.03.05	米山・南方地域高齢者ネットワーク会議	南方公民館 ホール	2名

3. 委員会開催状況

委員会名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	研修計画、施設内研修、他事業所との合同研修について	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
マニュアル検討委員会	各種マニュアル、災害時要援護者台帳の整備	毎月1回開催	施設長、管理者、委員
サービス向上委員会	自己評価、満足度調査の実施。サービス情報公表資料作成	毎月1回開催	施設長、管理者、委員

【今後の取り組み】

平成30年度は、新任職員を迎えてのスタートとなり、慌ただしく一年が過ぎたが、新任職員の成長はめざましく、新任職員の前向きな取り組み、そして指導、助言を通して支えた同僚職員の努力の成果であると感じている。平成30年度のケアマネジメント契約数、給付管理件数については前年度と比べ若干低めで推移したが、来年度は職員全員が新規の受け入れを柔軟に行えるよう、個々の資質向上を図り、個人の負担が大きくなるよう取り組んでいきたい。職員の健康状態にも配慮しながら、利用者・家族の安定した生活を支えられること、どの職員でも支援困難ケースの受け入れが柔軟に行えることを目標に努力していきたい。

# 平成30年度 恵泉会東和介護支援センター 事業報告

## 【 施 設 概 要 】

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 1. 所 在 地     | 宮城県登米市東和町米谷字新細待井2 |
| 2. 設 置 主 体   | 社会福祉法人恵泉会         |
| 3. 経 営 主 体   | 社会福祉法人恵泉会         |
| 4. 開 設 年 月 日 | 平成24年4月1日         |

## 【 重 点 項 目 】

- ・利用者の自立支援、重度化防止に資するケアマネジメントについては、情報伝達会議等とおして利用者個々の抱える問題を検討したり、アセスメント、課題分析のスキルを向上させ、利用者の自立を支援する事ができた。
- ・地域包括ケアシステム構築の為、各関係機関や団体と連携を図り顔の見える関係作りについては、各種研修会への参加等とおし顔の見える関係作りに関心がけた。また、サービス事業所との連携を強化し利用者の状況把握に努め利用者支援ができた。
- ・対人援助技術の習得に努め、利用者・家族との良好な関係を作ることにについては、利用者・家族の気持ちに寄り添うよう相談・支援を心がけることで、利用者満足度調査のアンケートでは比較的満足度が高く、苦情も少ない結果が得られた。
- ・在宅緩和ケア・認知症・難病等各種疾患の知識を深め、医療・介護の連携・調整を図ることにについては、職員一人ひとりが各種研修会へ積極的に参加し知識の習得に努め、多様なニーズに対応できるように努めた。
- ・専門職としての資質の向上については外部研修会参加、施設内研修、情報伝達会議を実施し、専門知識を習得し資質向上に努めてきた。
- ・職員一人ひとりが心身共に健康で気持ちよく働ける事業所の雰囲気を作ることにについては、職員が各々健康管理に努めると共に、働きやすい職場環境を作り病休者や退職者を出さずに業務を行う事ができた。
- ・医療ニーズの高い利用者に対しての支援については、軽度者が多く医療ニーズの高い利用者は少なかったが地域拠点となる病院が隣接しており医療との連携が図りやすく退院時迅速に対応する事ができた。また、サービス事業所との連携も図り終末期の看取り支援もできた。
- ・他の居宅介護支援事業所と共同し事例検討会や研修会等を実施することについては、特定事業所の要件に新たに追加された項目である。圏域の小規模事業所と合同で事例検討会、研修会を開催し各種制度の活用や疾患について理解を深めることができ事業所の垣根を越えて共にスキルアップを図る機会ができ良かった。

以上、重点項目は概ね達成できた。今後も専門性の向上を図り、医療連携、各関係機関との連携を深め利用者支援にあたりたい。

## 【 利 用 者 状 況 】

### 1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	45	39	42	37	41	43	37	38	39	36	38	34	469
女	83	82	82	83	82	83	86	86	85	86	82	81	1,001
計	128	121	124	120	123	126	123	124	124	122	120	115	1,470

### 2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	40	38	39	40	44	44	43	42	42	43	37	33	485
要介護2	59	59	59	54	55	55	55	54	53	51	51	54	659
要介護3	13	10	12	10	12	12	11	14	17	14	15	16	156
要介護4	11	9	9	10	8	9	8	9	9	11	11	9	113
要介護5	5	5	5	6	4	6	6	5	3	3	6	3	57
計	128	121	124	120	123	126	123	124	124	122	120	115	1,470

3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	9	3	2	6	3	1	1	5	3	3	1	5	42
契約終了者数	7	7	2	2	5	2	4	5	0	2	5	13	54

4. 契約終了等理由

理由	予防給付移行	施設入所	死亡	事業所変更	その他	計
利用者数	11	15	21	5	2	54

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	20	19	20	22	24	23	22	22	20	20	20	17	249
訪問入浴	4	5	4	7	5	4	5	6	5	5	5	5	60
訪問看護	18	16	16	17	16	17	17	15	14	13	12	11	182
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	76	78	76	75	78	81	84	85	87	89	84	83	976
通所リハ	10	8	9	9	7	8	8	8	8	6	6	7	94
短期生活	14	15	20	20	17	16	21	22	16	16	18	19	214
短期療養	1	1	0	0	0	0	2	1	0	1	1	1	8
福祉用具	71	71	72	73	71	73	72	69	68	69	67	64	840
認知通所介護	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
地域密着型通所介護	23	20	20	17	18	15	10	8	8	8	7	7	161
計	239	235	239	242	238	239	243	238	228	229	222	216	2,808

【認定調査状況】

1. 認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	18	23	15	17	15	17	15	16	20	19	12	17	204

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	1	2	2	2	1	2	2	2	3	3	3	3	26
要支援2	2	3	3	5	4	4	4	5	4	4	5	7	50
計	3	5	5	7	5	6	6	7	7	7	8	10	76

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予 防 対 象 件 数	迫町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中田町	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	13
	東和町	2	3	3	5	4	5	5	5	6	6	7	9	60
	登米町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	豊里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市外	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
計	3	5	5	7	5	6	6	7	7	7	8	10	76	

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問介護	1	1	1	2	1	1	1	1	2	2	3	3	19
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所介護	1	1	1	2	2	3	3	4	3	3	3	4	30
予防通所リハ	1	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	15
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	1	2	2	2	1	2	2	3	3	3	3	3	27
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防地域密着型通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	6	6	8	5	7	7	9	10	10	10	12	94

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講 師・事 例 提 供 者	参 加 者
H30.05.10	法令遵守について	恵泉会介護支援センターいきいき 施設長心得	4名
H30.06.12	個人情報保護について	恵泉会東和介護支援センター 介護支援専門員	4名
H30.07.31	合同研修会・地域ケア会議について	迫地域包括支援センター 管理者	4名
H30.09.10	認知症について	恵泉会東和介護支援センター 介護支援専門員	4名
H30.10.10	災害時の対応について	恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員	4名
H30.11.19	合同事例検討会	恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	3名
H31.01.10	事例検討会	恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	4名
H31.02.13	入所施設の利用料と特徴	サービス向上委員会	4名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
H30.07.13	中田・石越地域包括ケア推進研修会	中田・石越 地域包括支援センター	中田農村環境 改善センター	1名
R1.08.01	平成30年度介護保険サービス事業者 集団指導	宮城県東部 保健福祉事務所	宮城県登米合同 庁舎	1名
H30.08.10 ～4日間	介護支援専門員専門研修Ⅱ	社会福祉法人 宮城県社会福祉協議 会	宮城県庁他	1名
H30.08.29	登米市介護従事者等サポート研修会	登米市福祉事務所	南方庁舎	2名
H30.11.13	平成30年度居宅介護支援にかかる 研修会	宮城県ケアマネジャー 協会登米支部	南方庁舎	3名
H30.11.20	平成30年度高次脳機能障害者支援 研修会	宮城県東部 保健福祉事務所	登米市民病院 多目的ホール	1名
H30.11.16	平成30年度 介護認定調査員現任研修会	登米市	宮城県登米合同 庁舎	4名
H30.12.05	平成30年度介護支援専門員実務研 修実習指導者研修	社会福祉法人 宮城県社会福祉協議 会	宮城県庁	1名

H31.03.04	宮城県ケアマネジャー協会登米支部 研修会	宮城県ケアマネジャー 協会登米支部	宮城県登米合同 庁舎	1名
H31.03.13	「見守りファイル」運用開始説明会	登米市医師会	登米市民病院 多目的ホール	1名

(3) その他の研修

年月日	内 容	主催者・講師	開催地	参加者
H30年5月24日 ～ H31年3月18日	平成30年度管理職育成研修	WJU	恵泉会研修室	1名
H30.09.28	第39回恵泉会職員研修大会	恵泉会	登米祝祭劇場	3名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日
情報伝達会議	各担当毎における、マネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週木曜日
連絡会議	施設長以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開催日	内 容	開催地	出席者
H30.09.12	東和地区地域ネットワーク会議	東和総合支所	1名
H30.11.21	東和地区地域ネットワーク会議	東和総合支所	1名
H30.12.03	東和・登米地域包括支援センター事例検討会	東和高齢者福祉施設	4名

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	参加職員
研修委員会	研修・事例検討会の立案・実施	月1回	施設長、管理者、各委員
マニュアル委員会	マニュアル・災害時要援護者台帳の作成・見直し	月1回	施設長、管理者、各委員
サービス向上委員会	利用者アンケート・業務チェックの実施、サービス情報公表の準備	月1回	施設長、管理者、各委員

【今後の取り組み】

平成30年度はケアマネジメント給付管理件数が安定し推移していたが、年度末に給付管理件数が落ち込んでおり利用者の獲得が課題となっている。広域的に利用者を増やすことはできなく、事業所所在地域で利用者を獲得していかなければならない。地域の方に信頼され選ばれる事業所であるため、ケアマネジメントスキルの向上を図り、医療や介護サービス、関係機関と連携し多様なニーズに対応できるようにし利用者が安心して暮らせるように支援していきたい。

今年度、新任の介護支援支援専門員を迎えた。初めてのケアマネジメント業務に不安を感じる事なく利用者支援ができるよう、ケアマネジメントスキルの向上、専門知識を習得できるよう事業所全体で支援して行きたい。

# 平成30年度 恵泉会とよま介護支援センター 事業報告

## 【 施設概要 】

- |          |                     |
|----------|---------------------|
| 1. 所在地   | 宮城県登米市登米町寺池馬場塚777番地 |
| 2. 設置主体  | 社会福祉法人恵泉会           |
| 3. 経営主体  | 社会福祉法人恵泉会           |
| 4. 開設年月日 | 平成25年5月1日           |

## 【 重点項目 】

・利用者の自立に向けた支援については、主任介護支援専門員による新規ケアプランチェックによってケアマネジメント手法のスキルアップを図っており、さらに支援途中でのきめ細かい相談・助言を通して、利用者の様々な状態に合わせた質の高い支援の提供を行っている。

・地域包括ケアシステムの構築については、利用者の入退院時や自宅での病状管理における医療機関との連携、困難ケースの支援に関する包括支援センターとの連携、生活困窮者に関する福祉事務所等との連携を図っている。登米市医師会が主となって進めている「見守りファイル」作成についての協力も行っており、地域包括ケアシステムの構築に貢献している。

・利用者・家族との良好な関係作りについては、対人援助技術の活用と誠意ある対応を心がけながら利用者・家族との信頼醸成に努めており、アンケート調査での良好な結果や、職員に対する苦情等も無かったことからほぼ達成できたと考える。

・在宅緩和ケアや認知症・難病対象者の支援については、対象利用者に関する医療機関との連携、難病等の申請に係る手続きの仲介、さらに事業所内伝達会議等による職員間の知識共有を図っており、利用者にとって必要な連携・調整を図っている。

・専門職としての資質向上については、外部研修会参加や事業所内での事例検討会や伝達会議によって職員の知識やスキルの向上を図っており、利用者への質の高い支援提供と、制度遵守においても問題の無いレベルで対応できている。

・職員が健康で気持ち良く働ける職場作りに関しては、職員同士が何でも話せる雰囲気とお互いのフォローを行うことで病休者や退職者を出さず、利用者に対する安定的な支援を提供できた。

・事業所に対する信頼度の向上については、各職員が誰に対しても懇切丁寧な対応を心がけており、関係者との良好な関係作りを通して事業所の信頼度向上につながっている。

・困難ケースの支援については、担当職員に対して主任介護支援専門員が継続的な相談・助言を行い、担当職員が孤立することなく適切な支援対応を行うことで、大きなトラブルや事故もなく対象利用者の生活をつないでいる。

以上、重点項目に関しては概ね達成できたと思うが、今後も利用者の自立に向けた質の高い支援提供を継続するため、職員の知識やスキルの向上、各関係機関との連携、懇切丁寧な対応等を継続し、地域における居宅介護支援事業所としての信頼度向上に努めていく。

## 【 利用状況 】

### 1. 月別給付管理件数(男女別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
男	39	38	37	41	40	38	42	41	42	40	42	41	481
女	83	85	86	84	80	81	81	80	81	85	87	92	1,005
計	122	123	123	125	120	119	123	121	123	125	129	133	1,486

### 2. 月別給付管理件数(介護度別)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	47	49	49	50	45	44	40	36	36	37	39	42	514
要介護2	43	42	45	43	48	47	54	59	60	61	61	63	626
要介護3	17	18	17	19	16	15	16	13	13	13	15	16	188
要介護4	10	10	9	10	8	10	10	9	10	9	10	9	114
要介護5	5	4	3	3	3	3	3	4	4	5	4	3	44
計	122	123	123	125	120	119	123	121	123	125	129	133	1,486

3. 契約の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規契約者数	10	4	3	5	1	4	1	3	5	1	8	2	47
契約終了者数	2	2	2	2	6	2	2	2	4	1	3	4	32

4. 契約終了等理由

理由	予防給付移行	施設入所	死亡	事業所変更	その他	計
利用者数	5	7	16	3	1	32

【利用者サービスの状況】

1. サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
訪問介護	14	16	17	15	15	16	17	20	19	21	19	19	208
訪問入浴	7	6	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	54
訪問看護	17	17	16	15	17	15	15	16	16	16	18	18	196
訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通所介護	86	86	87	85	79	80	81	83	86	89	86	92	1,020
通所リハ	8	10	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	121
短期生活	17	17	19	19	13	13	15	14	16	13	19	16	191
短期療養	2	2	3	3	3	4	3	4	2	2	2	4	34
福祉用具	64	63	67	68	68	67	71	71	74	75	76	80	844
認知通所介護	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	1	1	11
地密通所介護	14	16	17	17	18	21	19	18	19	19	22	22	222
計	230	234	243	238	229	231	236	240	247	250	257	266	2,901

【認定調査状況】

1. 認定調査状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
調査件数	19	10	14	12	21	17	16	14	18	13	23	20	197

【介護予防支援利用状況】

1. 介護予防年間延べ委託件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	4	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	25
計	4	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	25

2. 市町村別委託件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
介護 予 防 対 象 件 数	迫町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中田町	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7
	東和町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	登米町	1	1	1	1	0	0	0	1	1	1	1	1	9
	豊里町	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	9
	津山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	米山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	南方町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石越町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	3	3	3	2	2	2	2	2	1	1	1	25	

3. 予防サービス種別給付管理数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
予防訪問介護	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
予防訪問入浴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問看護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防訪問リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防通所介護	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	9
予防通所リハ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防短期療養	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防福祉用具	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
予防認知通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
予防地密通所介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	4	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1	25

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講 師・事 例 提 供 者	参 加 者
H30.04.12	平成30年度介護支援センター新任職員研修	恵泉会いきいき・施設長心得 恵泉会らくらく・管理者 恵泉会とよま・管理者	1名
H30.05.10	法令遵守について	恵泉会介護支援センターいきいき 施設長心得	3名
H30.06.12	個人情報保護について	恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	4名
H30.07.11	他法人合同研修会・地域ケア会議について	迫地域包括支援センター 管理者	4名
H30.09.10	認知症新時代 どこから来て、どこに行くのか	恵泉会東和介護支援センター 介護支援専門員	4名
H30.10.10	災害時の対応について	恵泉会介護支援センターらくらく 介護支援専門員	4名
H30.11.19	他法人合同事例検討会	恵泉会介護支援センターいきいき 介護支援専門員	3名
H31.01.10	事例検討会	恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	4名
H31.02.13	入所施設の利用料と特色について	恵泉会とよま介護支援センター 介護支援専門員	4名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
H30.04.27	平成30年度介護認定調査員新任研修会	登米市福祉事務所	登米市南方支所	1名
H30.5.10～ 6.11	主任介護支援専門員 更新研修	宮城県ケアマネ ジャー協会	宮城県庁 フォレスト仙台	1名
H30.6.13～ 12.17	宮城県ケアマネジャー協会登米支部 新任研修	宮城県ケアマネジャー 協会登米支部	登米市南方支所 登米市民病院	1名
H30.07.03	平成30年度社会福祉施設の階層別ク レーム対応研修	宮城県社会福祉 協議会	フォレスト仙台	1名
H30.08.01	平成30年度介護サービス事業者集団 指導	登米市福祉事務所	登米合同庁舎	1名
H30.08.29	登米市介護従事者等サポート研修会	登米市福祉事務所	登米市南方支所	2名
H30.8.10～ 8.29	平成30年度介護支援専門員専門研 修Ⅱ及び更新研修Ⅱ	宮城県社会福祉 協議会	宮城県庁・東京エレクト ロンホール宮城	1名
H30.11.13	平成30年度居宅支援にかかわる研修会	宮城県ケアマネジャー 協会登米支部	登米市南方支所	2名

H30.11.16	平成30年度介護認定調査員現任研修	登米市 宮城県東部保健福祉 事務所登米地域事務所	登米合同庁舎	3名
H30.11.20	平成30年度高次脳機能障害者支援研修会	宮城県東部保健福祉 事務所	登米市民病院	1名
H30.12.05	平成30年度介護支援専門員実務者研修実習指導者研修	宮城県社会福祉 協議会	宮城県庁	1名
H31.02.09	認知症研修会	登米市訪問看護 ステーション	登米市民病院	1名
H31.03.01	地域医療意見交換会	登米市民病院	登米市民病院	1名
H31.03.04	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー 協会登米支部	登米合同庁舎	3名

(3) その他の研修

年月日	内 容	主催者・講師	開催地	参加者
H30.09.28	第38回恵泉会職員研修大会	恵泉会	登米祝祭劇場	2名
H30.5.24～ H31.3.18	平成30年度管理職育成研修	WJU	恵泉会在宅サービス支援棟研修室	1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会議名	内 容	開催日
情報伝達会議	各担当毎におけるマネジメント手法の確認並びに検証を行い事業所内で共有する	毎週水曜日
連絡会議	施設長心得以下補職における職員で、業務改善等を協議する	毎月1回
スタッフ会議	職員相互において会議を通じ業務連絡等、事業所内周知を図る	毎月1回

(2) その他の会議

開催日	内 容	開催地	出席者
H30.07.13	中田・石越地域包括ケア推進会議	中田農村環境改善センター	1名
H30.8.1～ H31.3.13	医療・介護連携のための「在宅療養者用カルテ」(みまもりファイル)運用に向けての会議	登米総合支所 登米市立登米市民病院	1名
H30.09.25	登米地区地域ネットワーク会議	登米公民館	1名
H30.11.27	登米地区地域ネットワーク会議	登米公民館	1名
H30.12.03	東和・登米地域包括主催 事例検討会	東和高齢者福祉施設	3名

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委員会名	内 容	開催日	出席者
研修委員会	施設内研修開催に向けた企画立案と調整	毎月1回	2名
マニュアル検討委員会	業務標準化に向けたマニュアルの作成と見直し	毎月1回	1名
サービス向上委員会	サービス向上に向けた自己評価と改善の検討	毎月1回	1名

## 【今後の取り組み】

平成30年度は前半の新規依頼が伸び悩んだこともあり、全体的には月平均124件程度の給付管理件数となった。近くに入院病棟を持つ病院が1ヶ所しかなく、市外の病院から新規依頼もあったが、全体的に病院からの新規依頼は少ない状況であった。

包括支援センターとの関わりについては4地域の包括支援センターから新規依頼を受けており、関係性も継続されているが、給付数の大きな伸びとまではつながらず、今年度も新規利用者の安定確保の難しさを痛感している。

今後の取り組みとしては、主任介護支援専門員を中心とした職員のケアマネジメント手法のスキルアップを図り、全職員が関係機関との連携をスムーズに行いながら利用者の自立支援に向けた質の高い支援を提供することで、利用者や地域からの信頼をさらに深めていきたい。

また、国による運営基準の変更によって介護支援専門員の責任と業務がさらに増加したことから、今後も最大限業務の効率化を進めながら、同時に利用者支援に関する質の維持も図っていきたい。

独居や高齢世帯の利用者増加に伴い、支援内容の複雑性も増している。これにより職員のメンタル面の負担も重くなっていることから、職員みんなが話しやすい職場環境を作り、職員に対するきめ細かな相談等の支援を行うことで、全職員が安心して働ける職場を作っていきたい。

# 平成30年度 登米市迫地域包括支援センター 事業報告

## 【 施設概要 】

1. 所在地 宮城県登米市迫町佐沼字中江二丁目6番地1
2. 設置主体 登米市
3. 経営主体 社会福祉法人 恵泉会
4. 開設年月日 平成18年4月1日

## 【 利用状況 】

### 1. 相談事業

#### (1) 形態別相談件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話	60	74	74	84	85	89	67	91	72	84	67	65	912
来所	37	44	41	49	40	28	20	18	28	24	39	29	397
訪問	198	185	212	202	181	183	207	142	169	174	184	189	2,226
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3
計	295	303	327	335	306	300	294	251	269	285	290	283	3,538

#### (2) 相談者別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
本人	221	226	218	229	224	215	222	188	193	224	206	227	2,593
家族	45	46	40	63	51	35	83	31	40	36	45	27	542
ケアマネ	6	19	20	13	13	5	5	15	17	8	13	7	141
サービス事業所	2	2	4	3	4	5	1	0	0	1	2	2	26
医療機関	10	3	7	5	2	11	3	4	1	4	8	2	60
民生委員・区長	7	3	4	5	3	10	2	1	8	5	6	5	59
社協	0	1	1	2	0	1	0	2	0	2	2	2	13
行政関係	10	7	15	12	11	13	4	11	8	11	6	6	114
その他	1	0	27	3	1	5	1	2	2	1	4	5	52
計	302	307	336	335	309	300	321	254	269	292	292	283	3,600

#### (3) 内容別相談件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
総合相談	サービス利用	86	66	63	70	72	57	50	43	51	60	66	53	737
	実態把握	10	27	29	15	13	23	13	5	12	4	13	9	173
	認知症関係	6	2	12	29	9	9	12	2	0	4	4	7	96
	その他	0	0	4	0	0	0	0	0	0	3	3	2	12
権利擁護	虐待関係	1	8	19	3	1	0	0	4	2	0	0	1	39
	成年後見関係	0	0	5	0	0	0	8	0	0	0	1	1	15
	消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	認知症関係	0	0	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	4
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
介護予防 ケアマネジメント	要支援・事業対象者	190	191	186	205	204	197	201	186	191	202	184	194	2,331
	福祉サービス	0	4	5	8	5	9	5	3	7	8	6	14	74
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
継続的 包括的 ケア・ 支援	ケアマネジメント支援	2	5	3	5	1	5	3	8	6	4	13	2	57
	困難事例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		295	303	327	335	306	300	294	251	269	285	290	283	3,538
予防給付関係	給付管理件数	163	163	162	174	163	169	174	166	173	174	171	175	2,027
	(内委託件数)	17	16	14	8	13	14	13	14	17	18	18	18	180
計		163	163	162	174	163	169	174	166	173	174	171	175	2,027

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参加者
H30. 4. 2	職員会議	管理者	職員1名
H30. 5. 24	平成30年度管理職育成研修オリエンテーション	WJU	職員1名
H30. 5. 30	平成30年度第1回管理職育成研修	WJU	職員1名
H30. 8. 6	平成30年度第2回管理職育成研修	WJU	職員1名
H30. 9. 18	平成30年度第3回管理職育成研修	WJU	職員1名
H30. 9. 28	平成30年度第39回恵泉会職員研修大会	WJU	全職員
H30. 10. 23	平成30年度第4回管理職育成研修	WJU	職員1名
H30. 11. 20	平成30年度第5回管理職育成研修	WJU	職員1名
H30. 12. 20	平成30年度第6回管理職育成研修	WJU	職員1名
H31. 1. 15	平成30年度第7回管理職育成研修	WJU	職員1名
H31. 1. 30	法令遵守研修	管理者	全職員
H31. 2. 8	平成30年度第8回管理職育成研修	WJU	職員1名
H31. 2. 15	平成30年度第9回管理職育成研修	WJU	職員1名
H31. 3. 6	平成30年度第10回管理職育成研修	WJU	職員1名
H31. 3. 18	平成30年度第11回管理職育成研修	WJU	職員1名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主催者	開催地	参加者
H30. 5. 10	平成30年度主任介護支援専門員更新研修	宮城県	フォレスト仙台	職員1名
H30. 5. 11	平成30年度主任介護支援専門員更新研修	宮城県	宮城県庁	職員1名
H30. 5. 14	平成30年度主任介護支援専門員更新研修	宮城県	宮城県庁	職員1名
H30. 5. 21	平成30年度主任介護支援専門員更新研修	宮城県	フォレスト仙台	職員1名
H30. 5. 23	平成30年度主任介護支援専門員更新研修	宮城県	宮城県庁	職員1名
H30. 5. 23	第1回登米市地域包括支援センター職員等研修会	登米市	南方庁舎	職員1名
H30. 5. 24	平成30年度宮城県地域包括支援センター職員等基礎研修	宮城県	宮城県庁	職員1名
H30. 5. 28	平成30年度主任介護支援専門員更新研修	宮城県	フォレスト仙台	職員1名
H30. 5. 29	平成30年度主任介護支援専門員更新研修	宮城県	フォレスト仙台	職員1名
H30. 6. 11	平成30年度主任介護支援専門員更新研修	宮城県	フォレスト仙台	職員1名
H30. 6. 13	迫地域高齢者ネットワーク会議	宮城県	登米市民病院	職員5名
H30. 6. 30	介護職員初任者研修	恵泉会	迫風園	職員1名
H30. 7. 3	メンタルヘルサポート事業「心の元気相談室」事例検討会	登米市	南方庁舎	職員1名
H30. 7. 5	宮城県地域支え合い生活支援推進連絡会議情報交換会	宮城県社協	JAビル	職員1名
H30. 7. 8	登米市生活支援体制整備事業モデル活動指定事業平成30年度第1回研修会	登米社協	新田駅前生活センター	職員1名
H30. 7. 24	平成30年度認知症地域支援推進員新任研修	宮城県	TKPガーデンシティ仙台	職員1名
H30. 7. 25	平成30年度認知症地域支援推進員新任研修	宮城県	TKPガーデンシティ仙台	職員1名
H30. 8. 1	平成30年度介護サービス事業者集団指導	宮城県	登米合同庁舎	職員1名
H30. 8. 10	平成30年度介護支援専門員研修Ⅱ及び更新研修Ⅱ	宮城県	宮城県庁	職員1名
H30. 8. 20	平成30年度介護支援専門員研修Ⅱ及び更新研修Ⅱ	宮城県	宮城県庁	職員1名
H30. 8. 28	平成30年度介護支援専門員研修Ⅱ及び更新研修Ⅱ	宮城県	東京エレクトロンホール宮城	職員1名
H30. 8. 29	平成30年度介護支援専門員研修Ⅱ及び更新研修Ⅱ	宮城県	宮城県庁	職員1名
H30. 8. 29	登米市介護従事者等サポート研修会	ケアマネジャー協会登米支部	南方庁舎	職員2名
H30. 9. 25	平成30年度宮城県地域づくりによる介護予防推進研修会	宮城県社会福祉協議会	宮城県庁	職員1名
H30. 10. 2	心の元気相談室事例検討会	登米市	南方庁舎	職員2名
H30. 10. 11	平成30年度認知症地域支援推進員現任研修	宮城県	TKPガーデンシティ仙台	職員1名
H30. 10. 12	平成30年度認知症地域支援推進員現任研修	宮城県	TKPガーデンシティ仙台	職員1名
H30. 10. 31	登米市地域包括支援センター職員研修会	登米市	南方庁舎	職員2名
H30. 11. 13	宮城県介護予防のための地域ケア個別会議推進研修会	宮城県	TKPガーデンシティ仙台	職員1名
H30. 11. 13	平成30年度居宅介護支援にかかわる研修会	登米市	南方庁舎	職員2名
H30. 11. 28	平成30年度宮城地方協議会(法テラス)	法テラス	TKPガーデンシティ仙台	職員1名
H30. 12. 17	平成30年度認知症地域支援推進員情報交換	宮城県	石巻合同庁舎	職員1名
H30. 12. 18	我が丸情報交換会	登米市社会福祉協議会	ホテルサンシャイン	職員1名
H31. 1. 10	地域包括ケア研修	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米合同庁舎	職員3名

H31. 2. 5	「こころの元気相談室」事例検討会	登米市	南方庁舎	職員1名
H31. 2. 7	摂食嚥下について	登米市民病院	登米市民病院	職員1名
H31. 2. 14	平成30年度第2回地域支え合い生活支援推進連絡会議情報交換会	宮城県社会福祉協議会	登米合同庁舎	職員1名
H31. 2. 19	平成30年度登米市社会福祉協議会「地域フォーラム」	登米市社会福祉協議会	豊里公民館	職員1名
H31. 2. 22	平成30年度宮城県認知症地域ケア推進研修会	宮城県	TKPガーデンシティ仙台	職員1名
H31. 3. 1	地域医療意見交換会	登米市民病院	登米市民病院	職員1名
H31. 3. 4	宮城県ケアマネジャー協会登米支部研修会	宮城県ケアマネジャー協会登米支部	登米合同庁舎	職員2名
H31. 3. 13	みまもりファイル運用説明会	登米医師会	登米市民病院	職員1名

## 2. 会議開催状況

### (1) 定例会議

会議名	内容	開催日	参加職員
登米市地域包括支援センター会議	業務連絡・確認、活動状況報告、研修	第3水曜日	管理者他2名輪番による
迫地区民生委員児童委員協議会定例会	業務連絡・確認、活動状況報告、相談	第3木曜日	管理者他1名輪番による

### (2) その他の会議

開催日	内容	場所	出席者
H30. 4. 6	関係者調整会議	迫総合支所内	職員1名
H30. 4. 9	関係者調整会議	迫総合支所内	職員1名
H30. 4. 10	関係者調整会議	栗原中央病院	職員1名
H30. 4. 10	関係者調整会議	包括センター内	職員1名
H30. 4. 12	第1回地域包括支援センター管理者会議	南方庁舎	職員1名
H30. 4. 16	関係者調整会議	登米市民病院	職員2名
H30. 4. 19	第1回経営者会議	恵泉会在宅支援棟2階	職員1名
H30. 4. 24	関係者調整会議	迫総合支所内	職員2名
H30. 4. 25	生活圏地域ケア会議	迫総合支所相談室	職員3名
H30. 4. 25	生活圏地域ケア会議	迫総合支所相談室	職員3名
H30. 4. 25	関係者調整会議	登米市民病院	職員1名
H30. 4. 26	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
H30. 4. 27	特別養護老人ホームせくれ運営推進会議	特養せくれ	職員1名
H30. 4. 27	在宅療養後方支援病院にかかる担当者会議	登米市民病院	職員1名
H30. 5. 7	関係者調整会議	恵泉会在宅支援棟2階	職員1名
H30. 5. 9	勤怠システム及び森のオフィス操作説明会	恵泉会在宅支援棟2階	職員1名
H30. 5. 17	第1回登米市認知症初期集中支援チーム員会議	登米市民病院	職員3名
H30. 5. 21	はさま元気応援研修会打合せ	迫総合支所相談室	職員1名
H30. 5. 21	講話(五日町行政区ミニデイサービス)	五日町集会所	職員2名
H30. 5. 23	関係者調整会議	登米市民病院	職員1名
H30. 5. 28	関係者調整会議	迫総合支所内	職員1名
H30. 5. 28	関係者調整会議	東部保健福祉事務所登米地域事務所	職員1名
H30. 5. 29	関係者調整会議	登米市民病院	職員2名
H30. 6. 4	講話(大網東行政区福寿会)	大網東集会所	職員2名
H30. 6. 5	平成30年度登米市生活支援体制整備事業第1回第一層協議体会議	迫老人福祉センター	職員1名
H30. 6. 12	関係者調整会議	迫総合支所会議室	職員3名
H30. 6. 14	迫地域高齢者ネットワーク会議	登米市民病院	職員5名
H30. 6. 15	平成30年度登米市生活支援体制整備事業第1回第二層協議体会議	迫老人福祉センター	職員1名
H30. 6. 28	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
H30. 6. 29	特別養護老人ホームせくれ運営推進会議	特養せくれ	職員1名
H30. 6. 30	介護職員初任者研修	迫風園	職員1名
H30. 7. 1	癒しの音楽カフェ	宝江ふれあいセンター	職員1名
H30. 7. 5	はさま元気応援研修会打合せ	迫総合支所相談室	職員1名
H30. 7. 5	第1回登米市認知症地域支援推進員会議	南方庁舎	職員1名
H30. 7. 11	講話(登米市迫圏域内3居宅)	恵泉会在宅支援棟2階	職員1名
H30. 7. 12	第2回登米市認知症初期集中支援チーム員会議	登米市民病院	職員3名
H30. 7. 19	はさま元気応援研修会	迫公民館	職員2名
H30. 8. 1	第2回経営者会議	恵泉会在宅支援棟2階	職員1名
H30. 8. 2	認知症サポーター養成講座(新田中学校)	新田中学校	職員2名
H30. 8. 10	はさま元気応援研修会打合せ	迫総合支所相談室	職員1名
H30. 8. 22	講話(いつも元気12期会)	迫公民館	職員2名

H30. 8.24	はさま元気応援研修会	迫公民館	職員2名
H30. 8.27	関係者調整会議	迫総合支所内	職員2名
H30. 9.5	登米市集いの場づくり介護予防事業事前打ち合わせ	登米市民病院	職員2名
H30. 9.10	関係者調整会議	登米市福祉事務所	職員1名
H30. 9.11	平成30年度苦情処理・サービス向上委員会	恵泉会在宅支援棟2階	職員1名
H30. 9.12	生活圏地域ケア会議	迫公民館	職員3名
H30. 9.13	第1回登米市集いの場づくり介護予防事業	大網東集会所	職員2名
H30. 9.13	第3回登米市認知症初期集中支援チーム員会議	登米市民病院	職員3名
H30. 9.18	デイサービスひなたぼっこ運営推進会議	デイサービスひなたぼっこ	職員1名
H30. 9.27	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
H30. 10.1	関係者調整会議	迫総合支所内	職員2名
H30. 10.4	関係者調整会議	迫総合支所相談室	職員1名
H30. 10.9	あんデイケアサービス運営推進会議	迫公民館	職員1名
H30. 10.9	あんデイスポルト運営推進会議	迫公民館	職員1名
H30. 10.9	あんデイ豆スポ運営推進会議	迫公民館	職員1名
H30. 10.15	平成30年度登米市生活支援体制整備事業第1回第二層協議体会議	迫老人福祉センター	職員1名
H30. 10.15	第2回登米市集いの場づくり介護予防事業	大網東集会所	職員1名
H30. 10.16	第3回経営者会議	恵泉会在宅支援棟2階	職員1名
H30. 10.17	第2回地域包括支援センター管理者会議	南方庁舎	職員1名
H30. 10.25	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
H30. 10.25	デイサービスこころ運営推進会議	デイサービスこころ	職員1名
H30. 10.31	特別養護老人ホームせくれ運営推進会議	特養せくれ	職員1名
H30. 11.1	認知症サポーター養成講座(登米総合産業高校)打合せ	米山包括	職員2名
H30. 11.1	認知症サポーター養成講座(フコク生命北宮城営業所)	フコク生命北宮城営業所	職員2名
H30. 11.5	癒しの音楽カフェ	石越福祉センター	職員2名
H30. 11.6	認知症サポーター養成講座(登米総合産業高校)打合せ	米山包括	職員2名
H30. 11.8	第4回登米市認知症初期集中支援チーム員会議	登米市民病院	職員3名
H30. 11.8	関係者調整会議	若柳病院	職員1名
H30. 11.9	はさま元気応援研修会打合せ	迫総合支所相談室	職員2名
H30. 11.12	認知症サポーター養成講座(登米総合産業高校)	登米総合産業高校	職員4名
H30. 11.19	第3回登米市集いの場づくり介護予防事業	大網東集会所	職員2名
H30. 11.19	講話(大網東共栄会館)	大網東集会所	職員2名
H30. 11.26	はさま元気応援研修会	迫公民館	職員2名
H30. 11.27	講話(グループホームあんど)	グループホームあんど	職員1名
H30. 12. 3	はさま元気応援研修会打合せ	迫総合支所相談室	職員2名
H30. 12. 10	第4回経営者会議	恵泉会在宅支援棟2階	職員1名
H30. 12. 10	関係者調整会議	ケース自宅	職員1名
H30. 12. 10	第4回登米市集いの場づくり介護予防事業	大網東集会所	職員1名
H30. 12. 11	生活圏地域ケア会議	迫公民館	職員4名
H30. 12. 13	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
H30. 12. 17	はさま元気応援研修会	迫公民館	職員2名
H30. 12. 20	特別養護老人ホームせくれ運営推進会議	特養せくれ	職員1名
H30. 12. 26	はさま元気応援研修会打合せ	迫総合支所相談室	職員1名
H31. 1. 10	はさま元気応援研修会	迫総合支所相談室	職員1名
H31. 1. 13	癒しの音楽カフェ	南方公民館	職員1名
H31. 1. 17	第5回登米市認知症初期集中支援チーム員会議	登米市民病院	職員3名
H31. 1. 21	第5回登米市集いの場づくり介護予防事業	大網東集会所	職員1名
H31. 1. 22	平成30年度宮城県認知症地域支援推進員情報交換会	TKPガーデンシティ仙台	職員2名
H31. 2. 4	第6回登米市集いの場づくり介護予防事業	大網東集会所	職員2名
H31. 2. 18	はさま元気応援研修会反省会	迫総合支所相談室	職員2名
H31. 2. 25	迫地域高齢者ネットワーク事業評価	迫包括事務所内	職員1名
H31. 2. 26	あんデイケアサービス運営推進会議	あんデイケアサービス	職員1名
H31. 2. 26	あんデイスポルト運営推進会議	あんデイケアサービス	職員1名
H31. 2. 28	グループホームあんど運営推進会議	グループホームあんど	職員1名
H31. 3. 5	あんデイ豆スポ運営推進会議	あんデイ豆スポ	職員1名
H31. 3. 7	第6回登米市認知症初期集中支援チーム員会議	登米市民病院	職員2名
H31. 3. 10	癒しの音楽カフェ	豊里多目的センター	職員2名
H31. 3. 12	生活圏地域ケア会議	迫公民館	職員4名

H31. 3. 14	生活圏域地域ケア会議	迫保健センター	職員1名
H31. 3. 15	集いの場づくり打合せ	登米保健所	職員2名
H31. 3. 20	大錦デイ運営推進会議	大錦デイ	職員1名
H31. 3. 22	はさまデイ運営推進会議	はさまデイ	職員1名
H31. 3. 26	認知症サポーター養成講座(登米地区農村生活研究グループ)	登米合同庁舎	職員3名
H31. 3. 27	登米市生活支援体制整備事業第2回第一層協議体会議	迫老人福祉センター	職員1名

# 平成30年度 恵泉会サービス付き高齢者向け住宅恵はあと 事業報告

## 【 施設概要 】

- 1) 所在地 宮城県登米市登米町寺池馬場塚777  
 2) 設置主体 社会福祉法人恵泉会  
 3) 経営主体 社会福祉法人恵泉会  
 4) 開設年月日 平成28年2月1日  
 5) 事業・利用定員

事業	利用定員
サービス付き高齢者向け住宅	36名
計	36名

開設して3年が経過し、ほぼ満室となりました。平成30年度の入居は、独居の方がその多くを占めました。住環境が整備され、安否確認や生活相談のついた生活にご本人やご家族からも、安心したとの声が多くありました。その一方で、年齢を重ねるにつれ、常時介護が必要となり、退去された方も数名おりました。入居者が増えるにつれ、身体状況や生活スタイルも様々で、ニーズの多様化がありました。運営懇談会やアンケートの意見、入居者の声などを反映し、職員一同少しでもそれに応えようと訪問販売に生鮮食品を取り入れたり、防災教室や健康教室の開催、地域活動への参加の協力などに努めてまいりました。

### 1. 入居者の自主性の尊重

入居者ひとり一人のライフスタイルが確立しており、その生活スタイルを把握しながら、個々に応じた距離感を持ち自宅と同じように周囲に気を使わず自由な生活を送って頂くように配慮した支援に努めてきました。また、共有スペースでは入居者同士の交流も深まっています。

### 2. 健康の保持

入居者においては外出等外部との接触の機会が多く、インフルエンザ等感染症は避けがたい状況にあるため、電解水を使用した清掃と室内の温度・湿度の徹底管理、健康教室を開催し予防の啓発に努めることで、インフルエンザ発生時においても感染拡大には至らず安定した日々を送って頂いています。入居者より体不調の訴えがあった場合には、血圧や体温を測定し、ご家族へ連絡や必要に応じて救急車の要請など迅速な対応に心がけました。

## 【 利用状況 】

1. 年間延べ利用人員 10,049 名  
 2. 年間稼働率 76.48 %  
 3. 月別利用状況

( 延べ利用者数 )

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
自立	225	254	240	248	248	240	248	240	233	248	224	248	2,896
要支援1	120	93	90	93	93	90	93	112	148	155	168	175	1,430
要支援2	60	93	90	124	124	120	93	90	124	93	84	93	1,188
要介護1	90	93	90	124	124	120	155	200	248	279	252	279	2,054
要介護2	180	186	210	155	155	150	164	180	186	186	157	212	2,121
要介護3	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	26	360
計	705	750	750	775	775	750	784	852	970	992	913	1,033	10,049

### 4. 入退居所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規入居者数	1	1	0	0	0	0	1	5	2	0	3	0	13
退去者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4
月末入居者数	23	24	24	24	24	24	25	30	32	32	34	31	+9

【利用者サービスの向上】

1. 職員研修実施状況

(1) 内部研修

年月日	内 容	講師(講演者)	参 加 者
H30.05.28	コンプライアンスについて	管理者	7名
H30.07.30	キッズつぼみ内部研修会:熱中症予防	登米保健所	職員5名、入居者3名
H30.08.09	疥癬について	マニュアルの確認	6名
H30.09.27	キッズつぼみ内部研修:救急救命、緊急時電話連絡対応	登米市消防署津山出張所	2名
H30.10.10	キッズつぼみ・計はあと内部研修:虐待防止について	介護支援センターとよま管理者	6名
H31.01.14	救急救命、緊急時電話連絡対応(9/27)の伝達研修	職員	3名
H31.01.22	コンプライアンスについて	管理者	4名
H31.02.18	認知症について	職員	4名
H30.04.04	消防設備の取り扱い研修	(株)迫防災	8名
H30.06.27	消防設備の取り扱い研修	登米市消防署津山出張所	5名
H30.11.27	防災講習会～地震発生時の行動について～	登米市消防署津山出張所	16名

(2) 外部研修

年月日	内 容	主 催 者	開 催 地	参 加 者
H30.12.20	有料老人ホーム集団指導	宮城県	登米合同庁舎	職員1名

2. 会議開催状況

(1) 定例会議

会 議 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
スタッフ会議	入居者の状況、業務内容の検討	月1回	管理者兼生活相談員・生活相談員
ケアカンファレンス	入居者の状況について	随時	管理者兼生活相談員・生活相談員

(2) その他の会議

開 催 日	内 容	場 所	出 席 者
H30.04.10	入居者申込者についての審査(2件)	恵はあと	理事長・常務理事・参事・管理者・看護師・生活相談員
H30.05.11	入居者申込者についての審査(2件)	恵はあと	理事長・常務理事・参事・管理者・看護師・生活相談員
H30.07.06	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	理事長・常務理事・参事・管理者・看護師・生活相談員
H30.10.16	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	理事長・常務理事・参事・管理者・看護師・生活相談員
H30.10.30	入居者申込者についての審査(2件)	恵はあと	理事長・常務理事・参事・管理者・看護師・生活相談員
H30.11.09	入居者申込者についての審査(2件)	恵はあと	理事長・常務理事・参事・管理者・看護師・生活相談員
H30.12.03	入居者申込者についての審査(2件)	恵はあと	理事長・常務理事・参事・管理者・看護師・生活相談員
H30.12.26	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	理事長・常務理事・参事・管理者・看護師・生活相談員
H31.02.08	入居者申込者についての審査(2件)	恵はあと	理事長・常務理事・参事・管理者・看護師・生活相談員
H31.03.25	入居者申込者についての審査(1件)	恵はあと	理事長・常務理事・参事・管理者・看護師・生活相談員

H30.09.18	運営懇談会	恵はあと	入居者代表・ご家族代表・区長・恵はあと職員
H31.02.14	運営懇談会	恵はあと	入居者代表・ご家族代表・区長・恵はあと職員

3. 委員会開催状況

(1) 定例委員会

委 員 会 名	内 容	開 催 日	参 加 職 員
マニュアル検討委員会	各種マニュアルの整備	随時	管理者兼生活相談員・生活相談員
研修委員会	職員の資質の向上を図るよう、施設内の実施の企画調整を行う	随時	管理者兼生活相談員・生活相談員
サービス向上委員会	サービス向上について、多角的に検討する	随時	管理者兼生活相談員・生活相談員

## 【施設機能の開放】

### 1. ボランティア・視察・見学・実習受入状況

#### (1) ボランティア・視察・見学

年月日	団体名	内容	来訪者数
H30.07.30	宮城県登米総合産業高等学校	見学	3人
H30.08.05	宮城県登米総合産業高等学校	見学	2人

## 【今後の取り組み】

1. 開設して3年が経過し、入居者も年齢を重ねるにつれ、要介護度が少しずつ上がってくる方が見られております。ご本人、ご家族、担当ケアマネジャーとも相談をしながら、必要に応じて外部サービスとも連携をし、安心して長期間住むことができるようにすすめていきます。
2. ほぼ満室となったため、地震や火災などの災害に備えた避難訓練や防災教室開催等により、安全・安心の充実に努めます。それに伴い消防署の指導のもと、自助・共助・公助のそれぞれの仕組みづくりなど、サービス付き高齢者向け住宅の防災・避難について探りながら実践していきます。

## 平成30年度

### 恵泉会グループホームスプリンクラー設備等整備事業報告

平成27年4月の改正消防法により、共同生活住居（グループホーム）で生活する入居利用者において障害支援区分4以上の方が概ね8割を超える居住建物については、スプリンクラー設備が必要となり付設整備が課せられました。（消防法施行令別表第1「(6)項ロ」の防火対象物）

恵泉会グループホームにおいては、「わたの実ホーム」（定員6名）がその要件に該当することから、社会福祉施設等施設整備事業の補助を活用してスプリンクラー設備を整え防火対策を行い、安心・安全性を高めた建物に改造しました。

1. 名称 恵泉会グループホーム わたの実ホームスプリンクラー設備等整備

2. 場所 宮城県登米市東和町錦織字大舟渡35番地

#### 3. 整備建物の内容

- |         |                                                                      |
|---------|----------------------------------------------------------------------|
| (1) 構造  | 木造2階建                                                                |
| (2) 面積  | 158.98㎡                                                              |
| (3) 設備等 | ・スプリンクラー用受水槽（ポンプ付き） 1基<br>・スプリンクラーヘッド（閉鎖型） 21個<br>・試験弁、給水管・消火管付設 一式等 |

4. 事業費等 4,104,000円  
(うち補助金対象額 3,513,024円)  
※対象面積案分率 85.6%

5. 財源 平成29年度 社会福祉施設等施設整備事業費補助金  
2,634,000円

#### 6. 施工期間等

- |           |                          |
|-----------|--------------------------|
| (1) 公告した日 | 平成30年 3月19日 (条件付き一般競争入札) |
| (2) 入札実施日 | 平成30年 4月 6日              |
| (3) 請負業者名 | 株式会社 菅 慶 (登米市)           |
| (4) 契約年月日 | 平成30年 4月10日 締結           |
| (5) 着工年月日 | 平成30年 4月11日              |
| (6) 完成年月日 | 平成30年 6月26日              |

# 平成30年度 特別養護老人ホーム迫風園ロボット等介護機器導入支援事業報告

迫風園は、介護ロボット導入による介護職員の身体的負担の軽減や業務の効率化など介護職員が継続して就労するための環境整備を図り、また利用者の高齢・重度化が進んでいることから看取り介護も実践する中、介護職員の精神的・身体的な負担をできる限り軽減し、組織的に安定した介護サービスを提供するため見守り介護ロボットを設置しました。

1. 名称 特別養護老人ホーム迫風園 ロボット等介護機器導入支援事業
2. 場所 宮城県登米市迫町北方字大洞56-6  
特別養護老人ホーム迫風園

### 3. 整備機器の内容

(1) aams介護セット（センサーマット及び接続機器）	10式
(2) aams専用管理マスターサーバー	1台
(3) aams介護用アクセスポイント・ACアダプター	各6個
(4) aams介護用モニター	1個
(5) aams介護用キーボード	1個
(6) aams介護用マウス	1個

4. 事業費等 1,684,800円  
(うち補助金対象額 1,526,200円)

5. 財源 平成30年度ロボット等介護機器導入支援事業補助金  
763,000円

### 6. 施行期間等

- (1) 通知した日 平成31年 1月 7日（随意契約・見積もり合わせ）
- (2) 見積合わせ日 平成31年 1月11日※見積書持参
- (3) 契約業者 株式会社 あかね福祉 仙台営業所（仙台市）
- (4) 契約年月日 平成31年 1月18日 締結
- (5) 納品年月日 平成31年 2月25日

# 平成30年度 ヒヤリハット・軽微・事故・苦情処理報告

## 【法人総括】

### ①ヒヤリハット・軽微・事故

事故分類	ヒヤリハット	軽微	事故	合計	割合
転倒	40	134	20	194	14.9%
転落	47	157	9	213	16.3%
誤嚥	2	11	2	15	1.2%
異食	2	15	0	17	1.3%
加害行為	1	31	0	32	2.5%
器物破壊	4	9	15	28	2.2%
投棄ミス	12	37	18	67	5.1%
施設外飛び出し	14	14	13	41	3.2%
送迎・訪問	3	5	7	15	1.2%
設備不良	1	2	0	3	0.2%
連絡ミス	5	7	4	16	1.2%
自傷	2	18	1	21	1.6%
介護・支援ミス	18	147	14	179	13.8%
食事提供ミス	23	10	2	35	2.7%
その他	67	320	38	425	32.6%
原因不明	0	0	0	0	-
合計	241	917	143	1301	100.0%
割合	18.5%	70.5%	11.0%	100.0%	

### ②苦情処理

	苦情処理
合計	3

#### I. 受付方法

来所	0
電話	3
訪問	0
文書	0
その他	0
計	3

#### II. 苦情の分類

ケアの内容	2
個人の嗜好・選択に係わる事項	0
財産管理(遺産・遺言)	0
その他 (デイサービス車輛の駐車について)	1 (1)
計	3

#### III. 第三者委員関連(申出人の希望)

	要	否
第三者委員への報告の要否	0	3
話し合いへの第三者委員の助言、立ち会い要否	0	3